

厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業))

社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる
施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のため
の研究

令和3年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 小川 俊夫
(摂南大学農学部食品衛生学科公衆衛生学教室)

令和4 (2022) 年3月

目 次

I. 総括研究報告書

社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究	1
---	---

今村 知明 小川 俊夫

＜参考資料 1＞令和 3 年度第 1 回班会議議事録

II. 分担研究報告書

ICD-11改訂と国内導入に関する動向整理	9
-----------------------	---

小川 俊夫

＜参考資料 1＞WHO-FIC ネットワーク会議参加報告

ICD-11V国内導入のための支援ツール作成； 採点用リファレンスガイドの更新および既存の評価尺度との項目対応の検討	15
---	----

向野 雅彦 小松 雅代

ICD-11準拠の新たな死因簡単分類の構築に関する研究	27
-----------------------------	----

小川 俊夫 滝澤 雅美

＜参考資料 1＞死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 の比較

ICD-11と標準病名マスターとのマッピングに関する研究	53
------------------------------	----

今井 健

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	140
---------------------	-----

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))

「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する

国際疾病分類の国内導入のための研究」

分担研究報告書(令和3年度)

社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する

国際疾病分類の国内導入のための研究

研究分担者 今村知明 奈良県立医科大学公衆衛生学教室

研究代表者 小川俊夫 摂南大学農学部食品栄養学科公衆衛生学教室

研究要旨

本研究は、ICD-11 の円滑な国内導入と普及・利活用に向け、ICD-11 国内導入に資する各種分析を行い、その結果を基礎資料として取りまとめ、厚労省や各学会などの意見集約と調整につなげ、情報発信を行うことを目的とする。具体的には、ICD-11 国内導入のわが国の公的統計に与える影響を考察し、ICD-11 の円滑な国内導入に資する知見を集積すること、わが国で標準的に利用されている臨床・研究を含む保健医療情報分野における ICD-11 の普及や利活用に資する基礎資料を作成すること、ICD-11 の国内導入に向けて ICD 改訂動向や各国における ICD-11 導入状況等について情報収集しわが国に適した ICD-11 の実現に資する基礎資料を作成すること、である。

研究2年目の本年度は、昨年度に引き続き WHO 主催の国際会議などに参加して ICD 改訂動向に関する情報収集を行なったほか、医療情報学連合大会において研究成果の発表を行い、ICD 改訂に関して意見集約と発信を実施した。また、ICD-11 のわが国への導入の公的統計への影響分析、V 章と ICF の解析や、ICD-11 と標準病名マスターのマッピング作業などを実施し、計画通りの進捗であった。ICD-11 の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD 改訂動向に関する情報収集と意見発信を行うほか、ICD-11 の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。

研究代表者	小川俊夫(摂南大学)
研究分担者	今村知明(奈良県立医科大学)
	今井 健(東京大学)
	小松雅代(大阪大学)
	滝澤雅美(国際医療福祉大学)
研究協力者	高橋幸恵(国際医療福祉大学)
	坂本幸平(国際医療福祉大学)

厚労省や各学会などの意見集約と調整につなげ、情報発信を行うことを目的とする。具体的には、下記の3つの目的から構成される。

本研究の第一の目的は、ICD-11 国内導入のわが国の公的統計に与える影響を考察し、ICD-11 の円滑な国内導入に資する知見を集積することである。ICD-11 の国内導入に伴い、人口動態統計や患者調査など各種公的統計への影響が考えられる。ICD-10 から ICD-11 への変更がそれぞれの公的統計に与える影響について、分類項目粒度・実データに対する集計影響の2つの観点から検証を行い、課題を抽出する。

A. 研究目的

本研究は、ICD-11 の円滑な国内導入と普及・利活用に向け、ICD-11 国内導入に資する各種分析を行い、その結果を基礎資料として取りまとめ、

第二の目的は、わが国で標準的に利用されている臨床・研究を含む保健医療情報分野における ICD-11 の普及や利活用に資する基礎資料を作成することである。具体的には、従来広く用いられてきた標準病名マスターと現在進められている ICD-11 用語和訳作業結果との対応に関する基礎資料を作成する。また、ICD-11 の利活用の一環として、ICD-11V 章の実際の活用事例の作成を通じて、わが国における ICD と ICF の活用について考察を実施する。

第三の目的は、ICD-11 の国内導入に向けて ICD 改訂動向や各国における ICD-11 導入状況等について情報収集し、わが国に適した ICD-11 の実現に資する基礎資料を作成することである。

ICD-11 の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD 改訂動向に関する情報収集と情報発信を行うほか、ICD-11 の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。

B. 研究方法

本研究は、(1) ICD 改訂と国内導入に関する動向調査、(2) ICD-11 の公的統計への影響分析、(3) ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究、の3つの研究より構成される。

(1) ICD 改訂と国内導入に関する動向調査

本研究では研究代表者、研究分担者などより構成される研究班を組織したうえで、各種会議への参加などを通じて、ICD 改訂動向、ニーズ調査を実施する。また、生活機能に関する ICD-11 V 章を詳細に分析し、また ICD-11 V 章の実際の活用事例の作成を通じ、ICD と ICF との相互利用の可能性について考察する。

研究 2 年目の本年は、WHO-FIC 年次会議への参加などにより ICD 改訂動向の調査を行った。また、ICD-11V 国内導入のための支援ツールの作成と採点リファレンスガイドの更新および妥当性の検証、既存の評価尺度との比較分析を行った。

(2) ICD-11 の公的統計への影響分析

ICD-11 導入が死亡統計（人口動態統計）、罹患統計（患者調査）など公的統計に与える影響について検証を行い、課題を抽出することを目的として実施する。

研究 2 年目の本年は、昨年度に実施した ICD-11 準拠の新たな死因簡単分類の作成の検討結果を用いて、WHO により公開されている ICD-10・ICD-11 のマッピングテーブルを用いて、ICD-11 準拠の新たな死因簡単分類の構築を試行した。また、平成 29 年度の人口動態調査の結果表を用いて、集計値の変化について推計を実施した。

(3) ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究

ICD-11 日本語版とわが国で広く用いられている標準病名マスターとの対応に関する分析を行い、基礎資料を作成することを目的として実施する。

研究初年度の昨年は、標準病名マスター中の個々の病名について7つの ICD-10 章(1, 2, 4, 6, 9, 10, 13)を対象に、ICD-11 コードとのマッピング試行を完了した。研究 2 年目の本年は、作業が完了していない2章の作業を進めると共に、新規に12個の ICD-10 章(3,5,7,8,11,12,14, 15,16,17,18,19)の標準病名に対し、ICD-11 とのマッピング作業を行った。また、この ICD-11 コーディングを行う上で注意すべき点や問題点について分析を行った。

(倫理面への配慮)

本研究は既存分類の分析と国内外の学会などでの情報収集と意見発出が研究主体であり、倫理的配慮は必要としない。

C. 結果

(1) ICD 改訂と国内導入に関する動向調査（参考資料1）

本研究の実施にあたり、研究班を組織して定期的な研究班会議を開催した。本年度は、

- ・第1回班会議（2021年5月13日開催）

の日程で班会議を開催した。班会議では、これま

での進捗について確認したほか、本研究班の方向性や、研究分担者として向野先生の加入に伴う新体制について議論した。具体的には、本研究班の研究初年度の成果としては、以下であったことを確認した。

ICD 改訂の動向調査としては、WHO-FIC ネットワーク会議への参加や医療情報学連合大会でのシンポジウム開催などにより、ICD 改訂に関する情報収集と発信を実施した。また、ICD-11 の V 章について分析を継続して実施した。

ICD-11 の公的統計への影響分析としては、死因簡単分類の見直し案の作成と死亡票・死亡小票の目的外申請、さらには分析用プラットフォームの構築などに取り組んだ。

ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究としては、標準病名への ICD-11 コーディングに取り組んでおり、特に本研究班としては新生物の章についてコーディングを実施した。

2021 年度からの新体制として、向野先生が研究分担者として参加され、ICD-11 の V 章など ICD と ICF の連携について、実施されることとなった。具体的な計画としては、アウトカムとしての要介護認定の解析を計画しており、介護保険データベースのデータを申請し、ICF コードを用いた解析を実施する予定である。また、ICD の中での ICF 及び V 章の活用について検討する方向が確認されたほか、ICF2020 の日本語訳に関する意見も出された。

2021 年度の ICD 改訂と国内導入に関する動向調査としては、昨年度に引き続き WHO-FIC ネットワーク会議に参加して最新の動向を調査し、医療情報学連合大会に参加して本研究班の成果を広く公表した。詳細については、本報告書小川論文「ICD 改訂と国内導入に関する動向整理」を参照されたい。

また、ICF 活用研究の一環として、ICD-11 の V 章の国内導入のための支援ツールの作成のため、V 章の採点リファレンスガイドの更新と活用に向けた既存の評価尺度等の項目から V 章の構成分析と今後の活用方法の検討に取り組んだ。詳細は本報告書の向野論文「ICD-11V 国内導入のための支援ツール作成；採点用リファレンスガイドの更新および既存の評価尺度との項目対応の検討」を

参照されたい。

（2）ICD-11 の公的統計への影響分析

研究 2 年目の本年度は、WHO により公開されている ICD-10・ICD-11 のマッピングテーブルを用いて、ICD-11 準拠の新たな死因簡単分類の構築を試行した。また、平成 29 年度の人口動態調査の結果表を用いて、集計値の変化について推計を実施した。本研究により構築を試行した新たな分類は ICD-11 の構造に基づいているため、現行分類とは異なる部分があることが明らかになった。具体的には、本研究で構築を試行した死因簡単分類 11 の項目数が死因簡単分類 10 より増加することとなり、また死亡者数が変化する項目が 3 割以上存在することが明らかとなった。また、死因簡単分類を集計することで、ICD の章ごとの死亡数の推計が可能であるが、新旧の分類で多くの章で変化が見られた。特に、ICD-10 と 11 の章で大きく増加すると推計されたのは、ICD-10 の章立てでは、「5 章 精神及び行動の障害」と「6 章 神経系の疾患」であり、逆に大きく減少すると推計されたのは「9 章 循環器系の疾患」と「11 章 消化器系の疾患」、「13 章 筋骨格系及び結合組織の疾患」であった。本年度研究により、ICD-11 国内導入に伴い、死因簡単分類など公的統計への影響があることが明らかになった。なお、本分析詳細は、本報告書小川論文「ICD-11 準拠の新たな死因簡単分類の構築に関する研究」を参照されたい。

（3）ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究

研究 2 年目の本年は、昨年度に引き続き ICD-11 と標準病名マスターとのマッピング作業を行った。具体的には、標準病名マスター中の個々の病名について、作業が完了していない 2 章の作業を進めると共に、新規に 12 個の ICD-10 章 (3,5,7,8,11,12,14, 15,16,17,18,19)の標準病名に対し、また、この ICD-11 コーディングを行う上で注意すべき点や問題点について分析を行った。詳細は、本報告書の今井論文「ICD-11 と標準病名マスターとのマッピングに関する研究」を参照されたい。

D. 考察

ICD-11 は 2018 年 6 月に公表され、さらに 2019 年 5 月の World Health Assembly にて承認され、その後各国への導入に向けた準備が始められている。わが国においても ICD-11 の導入に向け、わが国の臨床や研究で利用されている従来分類との整合性の確保や ICD-11 の日本語化など具体的な検討が開始されている。

研究 2 年目の本年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により各種会議がキャンセルあるいはオンライン開催となり大幅に活動が制限されるなか、本研究班として WHO 主催のオンライン国際会議などに積極的に参加して ICD 改訂動向に関する情報収集と発信を行なった。また、V 章の解析を行い、採点用リファレンスガイドの更新および既存の評価尺度との項目対応の検討を行った。ICD-11 国内導入の影響分析として、死因簡単分類の構築を試行し、さらに死因統計を用いた新旧分類の変化について試算を行った。ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究として、標準病名マスターと ICD-11 とのマッピング調査を通じて、post-coordination の必要性を確認し、ICD-11 国内導入への課題を取りまとめた。

ICD-11 の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD 改訂動向に関する情報収集と意見発信を行うほか、ICD-11 の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。本研究において実施した、ICD-11 のわが国への導入に向けた動向調査、影響分析、医学用語集の改訂分析を通じて、わが国への ICD-11 導入に向けた現状を明らかにし、課題を整理することができたと考えられる。今後も ICD-11 のわが国への円滑な導入に向けて、課題を整理して発信するとともに、導入の影響を分析して対策を講じるための基礎資料を作成し、さらに関連学会などとの連携を図ることが重要と考えられる。

E. 結論

ICD-11 の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD 改訂動向に関する情報収集と意見発信を行うほか、ICD-11 の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明. わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析. 医療情報学. 2021. Nov ; 41(Suppl.) : 660-664.

2. 学会発表

1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明. わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析. 2021 年 第 41 回医療情報学連合大会（第 22 回日本医療情報学会学術大会、2021 年 11 月 19 日、名古屋市・名古屋国際会議場）.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

＜参考資料1＞

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際疾病分類の国内導入のための研究」

令和3年度 第1回班会議

2021年5月13日(木)15:30～17:00
オンライン(Zoom)

参加者： 今村先生、今井先生、向野先生、小松先生、滝澤先生、小川
ICD 室の皆さま、研究協力者の皆さま(坂本先生、高橋先生)

議事録

冒頭に参加者の自己紹介を行ったうえ、厚労省渡室長よりご挨拶、ICD 研究班活動の進捗報告、2021 年度からの ICD 研究班新体制、2021 年度の活動計画などについて討議を行った。

1. 厚労省ご挨拶 (概要)

ICD-11 のわが国への導入については、告示の検討が差し迫っている。そのため、死因分類表と疾病分類表の検討を本年度に実施してほしい。ICD-11 の和訳については、現在ファウンデーションで実施しており、今後は告示を視野に ICD-11MMS の和訳についても取り組みたい。なお、死因分類については昨年度より ICD-11 準拠の死因簡単分類について本研究班で検討しているが、疾病分類についても同様に本研究班で実施して欲しい。

ICD-11 準拠の基本分類表の作成にあたり、基本的には ICD-11MMS を用いた検討を実施することになると思われるが、その妥当性については検討が必要と考えられる。特に、ICD-11MMS の WHO によるルール作りについて確認のうえで進めるのが適切と考えている。なお、本件については研究分担者の今村教授より、告示と日本分類は分けて考えた方が良いとの発言があり、厚労省としてもその方向で検討しているとのことである。特に、基本分類表の適切な粒度については今後検討する必要があると考えている。

告示、基本分類表、簡単分類それぞれの構築と確定が必要であるが、告示までの時間が限られていることもあり、基本分類表を告示に用いる可能性もある。ただし、ICD-10 のわ

が国への導入の際には、基本分類を告示してから簡単分類を作成したという経緯がある。なお簡単分類は変動する可能性が高く柔軟性が求められていることから、告示内容と簡単分類は分けて考えるのが適切と考えている。そのため、告示、簡単分類、基本分類の順で作業を行う予定である。なお、告示には **Post coordination** は含めない予定であるが、**Post coordination** も活用できるようにしたいと考えている。

告示後の公的統計への ICD-11 の導入にはタイムラグがあり、各統計への ICD-11 の導入は統計ごとの判断によると考えられる。参考までに、ICD-10 のわが国への導入の際には、告示から簡単分類まで 2 年かかり、さらに各統計への導入にはほぼ 5 年かかった、現在の予定としては、2022 年 1 月に ICD-11 が WHO より発行され、その内容を踏まえて告示内容を検討・確定することになると思われるため、告示は 2024 年頃ではないかと思われるが、今後変動があることも想定される。いずれにせよ、ICD-11 発行前から議論を進めていきたいと考えている。いずれにせよ、本研究班としては、死因分類表と疾病分類表について検討してほしい。

2. ICD 研究班活動の進捗報告

2020 年度の研究班活動の報告として、2020 年度報告書を用いて研究代表者の小川より活動報告を行った。2020 年度は、WHO-FIC ネットワーク会議へのオンライン参加をはじめとして、医療情報学連合大会でのシンポジウム「ICD-11 国内適用の現状と課題」の開催などを通じて、情報収集と発信を実施した。また、ICD-11 の V 章について分析を進めている。

ICD-11 の公的統計への影響分析としては、死因簡単分類の見直し案の作成と死亡票・死亡小票の目的外申請、さらには分析用プラットフォームの構築などに取り組んだ。

ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究としては、標準病名への ICD-11 コーディングに取り組んでおり、特に本研究班としては新生物の章についてコーディングを実施した。

3. 2021 年度からの ICD 研究班新体制について

2021 年度より向野先生が研究分担者として参加され、ICD-11 の V 章など ICD と ICF の連携について、実施されることとなった。具体的な計画としては、アウトカムとしての要介護認定の解析を計画しており、介護保険データベースのデータを申請し、ICF コードを用いた解析を実施する予定である。

ICF については、ICD の中で ICF をどう使うかという議論を是非していただきたく、例えば疾病分類、死因分類に対する V 章のあり方などについても検討いただきたいとの意見が参加者より出た。また、ICD と ICF を組み合わせることは大変重要で、ICD には重症度の概念がないので、その観点で V 章が使えるかどうかを評価する必要があると考えられるとの意見も寄せられた。また、ICD-11 の V 章の日本語訳を作成する際に、ICD と ICF それぞれで日本語訳を作成する可能性があるため、同じ項目に異なった訳語がつく可能性が指摘さ

れたが、ICF2020 に準拠して統一した訳語を当てる必要があることも確認された。

4. 2021 年度の活動計画

昨年度に引き続き、ICD 改訂動向の調査を行うほか、わが国への統計についても引き続き検討を実施する予定である。特に、死因簡単分類については見直しをする予定であり、さらに疾病分類についても取り組む予定である。ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究においては、ポストコーディネーションの分類の反映の仕方の検討が必要で、基本分類に加えて最初から議論すべきであると考えられる。特にポストコーディネーションのルール作りは WHO より実施される予定であるが、コーディングの順番などで議論していない可能性があり、WHO の動向を注視しながら検討が必要である。

以上

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際疾病分類の国内導入のための研究」

分担研究報告書(令和3年度)

ICD改訂と国内導入に関する動向整理

研究代表者 小川俊夫 摂南大学農学部食品栄養学科公衆衛生学教室

研究要旨

本研究の目的は、ICD-11の国内導入に向けてICD改訂動向や各国におけるICD-11導入状況等について情報収集し、わが国に適したICD-11の実現に資する基礎資料を作成することである。研究2年目の本年度は、ICD改訂動向に関する国際会議に参加して情報収集を行なったほか、医療情報学連合大会においてICD改訂に関する研究成果の発表を行い、ICD改訂に関して意見集約と意見発信を実現した。ICD-11の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD改訂動向に関する情報収集と意見発信を行うほか、ICD-11の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。

研究代表者 小川俊夫(摂南大学)
研究分担者 今村知明(奈良県立医科大学)
今井 健(東京大学)
向野雅彦(藤田医科大学)
小松雅代(大阪大学)
滝澤雅美(国際医療福祉大学)

(倫理面への配慮)

本研究は国内外の学会などでの情報収集と意見発信が研究主体であり、倫理的配慮は必要としない。

C. 結果

本年度は、WHO開催のICD改訂に関する会議としては、WHO-FICネットワーク会議(2021年10月18~22日オンライン開催)に出席した。

本年度のWHO-FICネットワーク会議は、昨年度に引き続き新型コロナ感染拡大の影響でオンライン開催となった。本年度のWHO-FICネットワーク会議は、10月18日から22日まで連日開催されたが、報告者が参加した会議は、10月18日のCouncilと、21日のOfficial Openingであった。

2021年のWHO-FICネットワーク会議では、ICD-11の各国導入の状況について説明があったほか、多言語対応やAPIなどを活用した利便性の向上、さらには途上国への導入に向けた検討や教育などについて発表があった。またICF改訂、ICHI

A. 研究目的

本研究の目的は、ICD-11の国内導入に向けてICD改訂動向や各国におけるICD-11導入状況等について情報収集し、わが国に適したICD-11の実現に資する基礎資料を作成することである。

B. 研究方法

ICD-11改訂作業の一環として、2021年度に開催されたWHO-FIC年次会議にオンライン参加して情報収集を行ったほか、第41回医療情報学連合大会に参加し、本研究班の研究成果と取り組むべき課題について発表を行った。

開発の現状について報告があったほか、ICD、ICF、ICHI の相互利用に向けたコンテンツモデルの統合に向けたファウンデーションの構築の状況についても説明があった。

ICD の各国導入については、先進各国を中心に準備が進められている状況であるが、途上国でも導入に向けた検討が行われているなどの報告からも、幅広い利用に向けて作業が進展していることがうかがえた。また、昨年度に引き続き WHO としても他言語対応の強化や API を利用した利便性の強化などに取り組んでいるとの報告があった。また、ICD の死亡統計への活用に向けた作業など、ICD-11 各国導入に向けた準備が進展しているとの報告があった。

ICF 改定については、ICF2020 が完成し、実用化にむけた教育プラットフォームの開発などの報告があったほか、ICHI 構築についても順調に進行しているとの報告があった。

ICD、ICF、ICHI の統合については、昨年度に公表されたコンテンツモデルを統合して実施する方法に基づき、実際に作業が進展しているとの報告があった。

D. 考察

本研究の主な目的の一つとして、ICD-11 の国内導入に向けて ICD 改訂動向や各国における ICD-11 導入状況等について情報収集し、わが国に適した ICD-11 の実現に資する基礎資料を作成することである。本報告で示したように、昨年度に引き続き本年度も WHO-FIC 年次会議に参加して情報収集をおこなったほか、医療情報学連合大会で研究成果の発表を行うなど、ICD-11 国内導入に向けて国内外での情報収集と基礎資料となる情報発信を実施した。特に、WHO 主催の会議に参加することにより、ICD-11 改訂状況を把握するとともに、ICD-11 国内導入に向けて有用な仕組みや機能について情報収集をするとともに、必要に応じて WHO に対してわが国からの提案を行うことも重要である。

本年度の WHO-FIC 年次会議において、ICD と ICF、ICHI との連携について様々に議論されており、ファウンデーションの共有などにより ICD、ICF、ICHI の共同利用に向けて一歩進んだと考え

られる。わが国でも、ICD のみならず ICF、ICHI の国内導入と利用について検討が進められているが、今後ますます ICD、ICF、ICHI の研究者が共同してわが国での方針について検討する必要があると考えられる。

ICD-11 の国内導入は医学界全体に影響があることから、関連学会などとの調整も必要と考えられる。本研究班としては、各関連学会の代表などから構成される ICD 国内検討委員会を開催する予定である。研究初年度に引き続き本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で本委員会の開催はできなかったが、今後は委員会のオンライン開催などをより効果的な情報収集と発信をする必要があると考えられる。

E. 結論

ICD-11 の国内導入は、わが国の医療全般に関わることからその影響は非常に大きい。わが国の実態を踏まえた適切な医療情報を将来に渡って確保するためには、ICD 改訂動向に関する情報収集と意見発信を行うほか、ICD-11 の分類体系や内容を正確に把握しわが国への影響について詳細に考察する必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明。わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析。医療情報学。2021. Nov ; 41(Suppl.) : 660-664.

2. 学会発表

- 1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明。わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析。2021 年 第 41 回医療情報学連合大会（第 22 回日本医療情報学会学術大会、

2021 年 11 月 19 日、名古屋市・名古屋国際会議場).

2. 実用新案登録
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし

3. その他
なし

<参考資料1>

WHO-FIC ネットワーク会議参加報告

WHO-FIC ネットワーク会議
2021 年 10 月 18～22 日(オンライン開催)

摂南大学 教授 小川俊夫

2021 年 10 月 18 日（月） Council (Opening)

主要な参加者の自己紹介に続いて、WHO の Robert Jacob より総括の発表があった。以下、その発表の概要である。

WHO のさまざまな活動の目的は人々の健康状態の向上にあり、WHO-FIC としても医療情報の専門家をはじめ医療政策に携わる人々がその目的を果たすことが目的と考えている。また、WHO-FIC ネットワークとしては、この活動をサポートし発展させるものであると考えている。

WHO-FIC 国際統計分類においては、統計分類を利用するための教育に関するメンテナンスの方式を確立したほか、伝統医学の reference group を構築した。さらに、WHO-FIC 協力センターを通じて各国政府との協力体制を強化した。特に、アフリカ諸国や中南米諸国で ICD-11 導入に向け各国政府との協力体制を強化した。もちろん、欧米諸国でも ICD-11 の導入に向けて WHO と各国政府の協力体制が強化されている。アジアでは、各国政府や WHO-FIC 協力センター間の協力体制の強化やインドにおける WHO-FIC 協力センターの設立などが実現している。また NGO などとの協力体制も強化されている。

ICD や ICF のトレーニングプログラムについては準備を進めており、ICF については英語での教育プログラムの構築と並行して各国言語での教育プログラムの開発も進めている。また、ICF2020 の開発とともに、ICD と ICF が同じプラットフォームで利用可能となる予定であり、その利用可能性が大きく広がると考えられる。その実現に向けて、API の実装などさまざまな機能追加などの活動を行なっている。また、ネットワークが十分に発達していない開発途上国などでも、ICD-11 や ICF を機能的に利用可能とすべく、日々努力を行なっている。さまざまなユースケースに対応するために、死亡や疾病統計との対応についても検討を行なっている。また多言語対応についても検討しており、フランス語やロシア語などではかなり言語対応が進んでいる。

上記 Robert からの発表後は、休憩を挟んで SNOMED CT との連携に関するプレゼンテーションがあった。SNOMED CT と ICD-11 との連携については、マッピング作業を継続して

実施しており、連携の実現に向けて検討を進めているとの発表があった。最後に、各委員会の活動状況に関する概要の報告があった。

2021 年 10 月 21 日（月） Official Opening

まず、会議の冒頭に ADG からの挨拶があった。ADG によれば、WHO-FIC をはじめ各国の努力により、医療関連データの質の向上が顕著で、今後とも参加者をはじめ皆さんの努力に期待したいとのことであった。次に、Robert より WHO-FIC ネットワークの現状について概要報告があった。ICD-11 については、各国への導入に向けた作業が各国で開始されており、また WHO によりファウンデーションやブラウザなど ICD、ICF、ICHI の実用化に向けた作業が鋭意行われているとのことである。また、ルワンダのような開発途上国での ICD-11 導入に向けた検討が行われているとのことであった。

続いて、各委員会の活動状況に関する報告があった。

(1) CSAC

CSAC からは、前回の年次総会で ICD-11 の修正案が 158 件提出され、うち 83 件が承認されたとの報告があったほか、ワクチンに対する副作用に関する項目が ICD-10 と ICD-11 の両方に追加されたとのことである。また、自殺など未解決の分類についても本年次会議で討議予定である。ICF に関しては、C-SEC の ICF 部分で討議されており、本年次会議にて ICD と同様に修正案について討議予定である。また、ICF について修正案の検討・決定に関する仕組みづくりも完成しており、新しいプラットフォームでの ICF の作業ワークフローが完成され、実施される予定である。

(2) EIC

EIC からは、教育に関する進展について報告があったほか、伝統医学や ICF に関する教育プラットフォームの開発と活用について報告があった。

(3) FDC

FDC からは、ICD、ICF、ICHI 共通のコンテンツモデルについて報告があった。また、ICD-11 の国内導入について、南アフリカでの取り組みについて報告があったほか、ICHI の開発状況について報告があった。

FDRG からは、ICF の活用に関する取り組みが報告されたほか、ICD との連携やユースケ

ースについての取り組みについても報告があった。また、WHO-FIC ファウンデーションに関する開発の現状についても報告があった。特に、共通のファウンデーションを用いた統合コンテンツモデルの構築が進んでおり、ICD、ICF、ICHI それぞれの活用が可能になったとの報告があった。またブラウザや Coding Tool の開発も進んでいるほか、死亡診断書の標準フォーマットの開発に関する取り組みについても報告があった。

(4) MbRG

MbRG からは、ICD-11 及び ICHI のケースミックスツールの開発をしており、ICD-11 導入における希少疾患やがん登録への活用についてもサポートしているとの報告があった。

MRG からは、ICD-11 導入に伴う死亡診断のルールについて検討を行ったほか、ICD-11 各国導入に向けたサポートを行い、また ICD-11 改訂プロポーザルのアドバイスをを行っているとの報告があった。

(5) MSAC

MSAC からは、昨年は提出されたプロポーザルのうち 28 件についてレビューを行い、MSAC のワークフローを構築したほか、COVID-19 の分類に関する討議を実施したとの報告があった。また、希少疾患における Human Phenotype Ontology (HPO) の適用についてパイロットテストを実施中との報告もあった。

(6) ITC

ITC からは、iCAT や多言語対応プラットフォーム、プロポーザルシステム、ブラウザなどのメンテナンスとアップデートについて報告があった。API の機能拡張として ICF と ICHI の統合についての取り組みや、MCCD (Medical Certificate of Cause of Death) の開発状況や omics などを用いたファウンデーションと他の分類との連携についても報告があった。

TMRG からは、ICD-11 TM1 のレビューが完了したことや、インドなど 8 カ国の参加により TM2 モジュールの開発が行われているとの報告があった。

(7) WHO 地域事務局からの報告

WHO の各地域事務局から WHO-FIC 関連の活動について報告があった。

以上

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
分担研究報告書

研究課題名：社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際疾病分類の国内導入のための研究

分担項目：

ICD-11V 国内導入のための支援ツール作成；

採点用リファレンスガイドの更新および既存の評価尺度との項目対応の検討

研究分担者：向野 雅彦（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座 准教授）

研究分担者：小松 雅代（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）

研究要旨：

2019年5月に採択され、適用に向け準備が進められているICD-11においては、疾病に関する第1章から第26章に加え、生活機能評価に関する補助セクションである「V章」が追加されている。

生活機能の評価を担う国際生活機能分類（ICF）のダイジェスト版ともいえるICD-11のV章は、WHOが開発した生活機能の評価スケールであるWHO障害評価面接基準（WHO-DAS2.0）、モデル障害調査（MDS）およびICFに基づく"一般的機能の構成要素"と呼ばれる項目群、の3つのパートからなる。この中で特に"一般的機能の構成要素"の項目群には質問紙が付属していないため、情報収集方法の開発が行われてきた。

本研究では、ICD11のV章を国内導入のための支援ツールとして、前年度に施行されたフィールドテストの結果に基づくICD-11V章の採点リファレンスガイドの更新、およびその活用を進めていくための既存の評価尺度等の項目からV章の構成分析と今後の活用方法の検討に取り組んだ。まず2021年に開発されたICD-11V章の採点リファレンスガイドは、既存の生活機能評価との互換性に課題があったため、本研究では、採点リファレンスガイドの更新および妥当性の検証を行った。また、ADL評価尺度であるBarthel Index（BI）、機能的自立評価のFunctional Independence Measure（FIM）、本邦にて使用されている患者の重症度による看護サービスの提供における人員の適正配置のための指標である看護必要度のB項目、介護保険認定調査に用いられる認定調査票項目をV章と比較検討を行った。

A. 研究目的

2019年5月にICD（国際疾病分類）-11が世界保健総会で採択され、適用に向け準備が進められている。ICD-11は、疾病に関する第1章から第26章に加え、生活機能評価に関する補助セクションである「V章」が追加された。

V章はWHOの国際分類ファミリーの一つであるICF(国際生活機能分類)のダイジェスト版ともいえる構造を持っており、具体的には三つのパートから構成されている。そのうち二つはWHOが開発した質問紙に基づいている。ひとつはWHOが開発した生活機能の評価スケールであるWHO障害評価面接基準（WHO-DAS2.0）、もう一つはWHOが世界銀行と共同で開発した障害調査のための質問紙で、モデル障害調査(MDS)の質問紙である。さらに、三つ目のパートとして、質問紙ではなくICFの項目に紐づいた、一般的機能の構成要素と呼ばれる項目群も用意されている。この項目群はICFの付録9“理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案されたICFデータの要件”に基づいており、ICFのダイジェスト版としての性格を持っている。この一般的機能の構成要素の項目群には質問紙が付属していないが、その臨床活用に向けて、採点をサポートする仕組みとして生活機能分類普及推進ワーキンググループにおいて採点リファレンスガイドが作成され、その信頼性、妥当性の検証が行われてきた[1]。本研究では、使用者のフィードバックに基づきリファレンスガイドの更新に取り組むとともに、V章の項目と、既存尺度と国内で使用されている評価指標項目を比較し、V章の利活用について検討を行った。

B. 研究方法

1. ICD-11V 章の採点用リファレンスガイドの更新、検者間信頼性の検証

ICD-11第V章の一般的機能の構成要素の項目は、ICFに準じて作成されている項目であり、ICFの評価点（0-4点）を採点に用いることが可能である。ところが、ICFの評価点には採点に際しての詳細の説明がなく、そのまま用いた場合には検者間信頼性が低いことが示されている[2, 3]。

その問題に対し、先行研究において採点補助のためのリファレンスガイド（以下「リファレンスガイド」という。）が作成され、信頼性、妥当性の検証がなされてきた。しかし、フィールドテスト後のフィードバック調査において、すでに普及している既存の評価尺度と点数の基準

が若干異なることが、普及の上で課題となる可能性が指摘された。そのため、本研究においては、本邦において広く普及している生活機能評価であるFunctional Independence Measure (FIM)およびBarthel Index (BI) の採点基準、およびICD-11Vリファレンスガイド作成時の臨床家による採点セッションの記録を基礎資料として修正の要否、修正を行う場合にはその内容について、専門家パネルにおける議論を実施した。専門家パネルは生活機能評価における経験のある医師2名、理学療法士2名、作業療法士2名より構成した。その結果に基づき、ガイドの修正を実施した。その上で、再度60名の患者を対象として検者間信頼性の検証を実施した。

評価者は経験の豊富な4人のリハビリテーション専門職とし、4人のうちいずれか2名が1名の患者を評価する形とした。それぞれが30名ずつ、評価を実施した。項目ごとの採点の一致については、重み付けκ係数を用いて検討を実施した。参考となるκ係数の基準としては、LandisとKochによる基準がよく用いられる[4]。この基準によると、<0.0, 0.0~0.2, 0.21~0.40, 0.41~0.60, 0.61~0.80, 0.81~1.00がそれぞれ“poor”, “Slight”, “Fair”, “Moderate”, “Substantial”, “Almost Perfect”とそれぞれ定義されている。本検討においては、この基準に従い、信頼性の判定を行った。

2. BI、FIM、看護必要度 B 項目、介護保険認定調査票項目の ICF コードのリンキングと V 章の項目との関連分析

BII0 項目、FIM18 項目、看護必要度 B 項目 7 項目、介護保険認定調査票項目 55 項目について、ICF コーディング作業をリンキングルールに基づいて行った。コーディングには、ICF に関する知識を得ている 3 名により実施した。各評価項目と ICF コーディングを行った後、該当する V 章のコードと一致させた。

C: 研究結果

1. ICD-11V 章の採点用リファレンスガイドの更新、検者間信頼性の検証

専門家パネルにおいて、FIM および BI の基準とより整合性を高めるため、旧ガイドにおいて軽度の問題に分類されていた見守り ICD-11V 章活動と参加項目のリファレンスガイドの修正を行った。修正したリファレンスガイドを資料1に示す。修正したガイドを用い、検者間信頼性の検討を行った。信頼性は重み付けκ係数を用いて検討した。検討の結果、全ての項目において重み付け κ 係数

は 0.6 以上となり、「Substantial」以上の信頼性を示す結果が得られた（資料 2）。

2. BI、FIM、看護必要度 B 項目、介護保険認定調査票項目の ICF コードのリンキングと V 章の項目との関連分析

BI と FIM のすべての項目は、V 章のコードと一致した（資料 3）。看護必要度 B 項目は、「寝返り」「危険行為」で該当する V 章コードは見当たらなかった。介護保険認定調査票項目は、55 項目中 30 項目が V 章と一致しなかった（54.5%）。4 つの評価項目で共通して V 章と一致していたのは、self-care、移乗に関する項目であった。

D: 考察

本研究ではこれまでに作成されてきた ICD-11 第 V 章の国内での活用の基礎となる評価ツールの更新を行い、信頼性の検証を実施した。ICD-11V 章でコードされる生活機能の問題は、患者にとっての疾患がどのような意味を持っているかを示すものであり、ICD 本体と組み合わせる事で、疾患の重症度等を含めた患者の状態をより立体的に表現することに貢献する可能性がある。今回の取り組みによって、広く普及している FIM や BI といった既存の尺度から ICF のどのような項目の情報が収集できるのかを明らかにし、点数の互換性も高めることで、ICD-11V 章の普及を進め、ICD-11 の本体のコードと組み合わせた活用に役立てられることが期待される。リファレンスガイドの修正後の信頼性の検討の結果、全ての項目で重み付け κ 係数は全て 0.6 を超える値を取り、臨床における使用に耐えうる信頼性が得られたと解釈できる。今後は教育ツールの作成、既存のスケールを ICD-11 第 V 章に読み替えるためのルール作りなどを進め、統計のツールとして ICD-11 の他章との併用による疾病統計への応用方法を確立していくことが求められる。

E: 結論

今年度は、ICD-11V 章の採点リファレンスガイドの更新および妥当性の検証を行った。また、V 章と複数の既存の評価尺度との関連分析を行った。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1 論文発表

Senju Y, Mukaino M, Prodinger B, Selb M, Okouchi Y, Mizutani K, Suzuki M, Yamada S, Izumi S-I and Sonoda S: Development of a clinical tool for rating the body function categories of the ICF generic-30/rehabilitation set in Japanese rehabilitation practice and examination of its interrater reliability. BMC Med Res Methodol 21, 1-14, 2021

2 学会発表

Mukaino M, Yamada S, Izumi S, Saitoh E, Otaka Y. Validity of ICF Generic-30 set in rehabilitation clinical practice 16th Congress of European Forum for Research in Rehabilitation, 23th-25th September, Online.

Mukaino M, Yamada S, Oikawa E, Izumi S. Collection and ICF-based categorization of clinical terms used in Japanese rehabilitation practice. WHO-FIC Network Annual Meeting 2021, 18th-22nd October, Online.

Mukaino M, Yamada S, Oikawa E, Izumi S. Development of a Clinical Data Collection Tool for Chapter V of ICD-11 and Cross-sectional Functioning Survey of Patients in Japanese Rehabilitation Wards WHO-FIC Network Annual Meeting 2021, 18th-22nd October, Online.

文献

1. 社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ[座長：向野雅彦]. 生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ成果報告書. 2021 年 2 月 <https://www.mhlw.go.jp/content/10701000/000750395.pdf>
1. Starrost K, Geyh S, Trautwein A, Grunow J, Ceballos-Baumann A, Prosiegel M, et al. Interrater reliability of the extended ICF core set for stroke applied by physical therapists. Phys Ther. 2008;88(7):841-51.
2. Uhlig T, Lillemo S, Moe RH, Stamm T, Cieza A, Boonen A, et al. Reliability of the ICF Core Set for rheumatoid arthritis. Ann Rheum Dis. 2007;66(8):1078-84.
3. Landis JR, Koch GG. The measurement of observer agreement for categorical data. Biometrics. 1977;33(1):159-74.
4. Cieza A, Brockow T, Ewert T, Amman E, Kollerits B, Chatterji S, et al. Linking health-status measurements to the international classification of

functioning, disability and health. J Rehabil Med. 2002
Sep;34(5):205-10.

資料1 修正した採点リファレンスガイド

Code			
VA10	立位の保持	立位の姿勢を保持する	0 問題なし：立位の保持を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：立位の保持を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する 2 中等度の問題：立位の保持を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：立位の保持を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：立位の保持を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA11	姿勢の変換-立つこと	立ち上がること、立位から他の姿勢(座位、臥位等)になること	0 問題なし：立ち座りを問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：立ち座りを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する 2 中等度の問題：立ち座りを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：立ち座りを大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：立ち座りを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA12	自宅内の移動	自宅内を歩行または移動する	0 問題なし：自宅内の移動を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：自宅内の移動を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する 2 中等度の問題：自宅内の移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：自宅内の移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：自宅内の移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA14	歩行（屋内）	平地での歩行（屋外、悪路を含む）	<u>屋内</u> 0 問題なし：屋内の歩行を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：屋内の歩行を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する 2 中等度の問題：屋内の歩行を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：屋内の歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：屋内の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
	歩行（屋外）	平地での歩行（屋外、悪路を含む）	<u>屋外、悪路</u> 0 問題なし：屋外、悪路の歩行を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：屋外、悪路の歩行を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する 2 中等度の問題：屋外、悪路の歩行を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：屋外、悪路の歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：屋外、悪路の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

VA20	自分の身体を洗うこと	身体の部分および全体を洗い、拭き、乾かす	0 問題なし：自分の身体を洗うことを問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：自分の身体を洗うことを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具、手すりを使用する 2 中等度の問題：自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：自分の身体を洗うことを大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA21	更衣	気候や状況に応じて適切な衣服と靴を着脱する	0 問題なし：更衣を問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：更衣を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具を使用する、あるいは着用可能な衣服に制限がある 2 中等度の問題：更衣を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：更衣を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：更衣を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA22	食えること	必要な手段を使って安全に食える	0 問題なし：食えることを問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：食えることを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが自助具を使用する、あるいは摂食可能な食形態や使用可能な食器に制限がある 2 中等度の問題：食えることを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：食えることを大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：食えることを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VA42	家事を行う	日常生活に必要な家事（調理を除く）を行う	0 問題なし：調理以外の家事を支援機器や他者のサポートなしに自分でやっている 1 軽度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが困難を伴う/ 装具や自助具の使用を要している 2 中等度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが、他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している 3 重度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが、大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している 4 完全な問題：調理以外の家事を全く自分で行えていない
VC20	乗り移り（移乗）	ベッドから車椅子へ、などの移乗	0 問題なし：移乗を問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：移乗を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する 2 中等度の問題：移乗を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：移乗を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VC21	物の運搬、移動及び操作	手や足を使って物の移動や操作を行う	0 問題なし：物の運搬、移動及び操作を問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：物の運搬、移動及び操作を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具等を使用する 2 中等度の問題：物の運搬、移動及び操作を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：物の運搬、移動及び操作を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：物の運搬、移動及び操作を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

VC22	用具を用いての移動	車椅子や歩行器などの補助具を使って移動する	0 問題なし：用具を用いての移動を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：用具を用いての移動を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが改造や動力が必要 2 中等度の問題：用具を用いての移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：用具を用いての移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：用具を用いての移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VC23	交通機関・交通手段の利用	乗客として様々な交通機関を使って移動する	0 問題なし：交通機関・交通手段の利用を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：交通機関・交通手段の利用を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが、装具や杖、手すりを使用する/自分で行っているがエレベーターの使用が必須 2 中等度の問題：交通機関・交通手段の利用を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：交通機関・交通手段の利用を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：交通機関・交通手段の利用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VC30	身体各部の手入れ	歯、髪、髭、爪、肌などの手入れをする	0 問題なし：身体各部の手入れを問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：身体各部の手入れを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが自助具を使用する 2 中等度の問題：身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：身体各部の手入れを大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VC31	排泄	日常に支障なく排泄（排尿、排便、生理）し、後始末する	0 問題なし：排泄を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：排泄を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する 2 中等度の問題：排泄を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：排泄を大部分（50%以上）サポート下で行っている 4 完全な問題：排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
VC40	調理	調理を計画、準備、実行する	0 問題なし：調理を問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：調理を自分で行っているが、何らかの困難がある/自分で行っているが、補助具・自助具等を使用する 2 中等度の問題：調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している 3 重度の問題：調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

資料 2 検者間信頼性

		weighted (linear weight)
VA10	立位の保持	
VA11	姿勢の変換 -立つこと	
VA12	自宅内の移動	
VA14	歩行（屋内）	
	歩行（屋外）	
VA20	自分の身体を洗うこと	
VA21	更衣	
VA22	食べること	
VA42	家事を行う	
VC20	乗り移り（移乗）	
VC21	物の運搬、移動及び操作	
VC22	用具を用いての移動	
VC23	交通機関・交通手段の利用	
VC30	身体各部の手入れ	
VC31	排泄	
VC40	調理	

資料3 V章と Barthel Index、Functional Independence Measure、看護必要度B、介護保険認定調査項目の比較

Supplementary section for functioning assessment		Barthel Index	FIM		看護必要度B	介護保険認定調査項目			
VA7Z	WHODAS 2.0 36-item version								
VA0Z	Cognition								
VA00	Attention functions								
VA01	Memory functions			記憶			短期記憶	ひどい物忘れ	
VA02	Solving problems			問題解決					
VA03	Basic learning								
VA04	Communicating with - receiving - spoken messages			理解（聴覚、視覚）	診療・療養上の指示が通じる				
VA05	Conversation								
VA1Z	Mobility	階段昇降		階段					話がまとまらない
VA10	Maintaining a standing position								
VA11	Changing body position - standing								
VA12	Moving around with in the home								
VA13	Moving around outside the home and other buildings								
VA14	Walking	歩行		歩行、車椅子					歩行
VA2Z	Self-care WHODAS								
VA20	Washing oneself	入浴		清拭			洗身	洗顔	
VA21	Dressing	着替え		更衣（上半身） 更衣（下半身）	衣服の着脱		上衣の着脱	ズボン等の着脱	
VA22	Eating	食事		食事（箸・スプーン）	食事摂取		食事摂取		
VA23	Carrying out daily routine								毎日の日課を理解
VA3Z	Getting along								
VA30	Relating with strangers								
VA31	Informal relationship with friends - maintaining								
VA32	Familial relationships								
VA33	Informal relationship with friends - making new friends								
VA34	Intimate relationships								
VA4Z	Life activities								
VA40	Taking care of household responsibilities								
VA41	Doing most important household tasks								
VA42Z	Doing housework								
VA42.0	Getting all needed housework done								
VA42.1	Getting household work done quickly								
VA43Z	Remunerative employment								
VA43.0	Difficulties in daily work or school								
VA43.1	Doing most important work or school task								
VA43.2	Getting all needed work or school work done								
VA43.3	Getting remunerative work or school work done quickly								
VA5Z	Participation and impact of health problems								
VA50	Recreation and leisure								
VA51	Problems by barriers								
VA52	Human rights								
VA53	Time spent on health condition								
VA54	Emotional effect of health condition								
VA55	Health drain on financial resources								
VA56	Health problems causing family problems								
VA57	Problems in relaxation or pleasure								
VB2Z	Brief Model Disability Survey								
VA90	Seeing and related functions								
VA91	Hearing and vestibular functions								
11コードなし	Mental functions								
VB00	Energy and drive functions								
VB01	Sleep functions								昼夜逆転
VB02	Emotional functions								感情が不安定 大声を出す
11コードなし	Sensory functions and pain								
VB10	Sensation of pain								
VB40Z	Generic functioning domains								
11コードなし	Voice and speech functions								
VB60	Voice and speech related functions			表出（音声、非音声）					
11コードなし	Functions of the cardiovascular, haematological, immunological and respiratory systems								
VB70	Exercise tolerance functions								
11コードなし	Functions of the digestive, metabolic and endocrine systems								
VB80	Functions related to the digestive system	排便コントロール		排便コントロール					
11コードなし	Genitourinary and reproductive functions								
VB90	Urination functions	排尿コントロール		排尿コントロール					
VB91	Sexual functions								
11コードなし	Neuromusculoskeletal and movement-related functions								
VC00	Mobility of joint functions								拘縮の有無
VC01	Muscle power functions								麻痺等の有無
VB40.5	Functions of the skin and related structures								
11コードなし	Learning and applying knowledge								
11コードなし	General tasks and demands								
VC10	Handling stress and other psychological demands								
11コードなし	Communication								
VA1Z	Mobility								
VC20	Transferring oneself	車椅子からベッドへの移動	ベッド、椅子、車椅子	トイレ	移乗				移乗
VC21	Carrying, moving and handling objects								
VC22	Moving around using equipment			浴槽、シャワー用具を用いての移動					
VC23	Using transportation								
11コードなし	Self-care								
VC30	Caring for body parts	整容		整容	口腔清潔		つめ切り	口腔清潔	整髪
VC31	Toileting	トイレ動作		トイレ			排尿	排便	
VC32	Looking after one's health								薬の内服
11コードなし	Domestic life								
VC40	Preparing meals								簡単な調理
VC41	Assisting others								
11コードなし	Interpersonal interactions and relationships								
VC50	Basic interpersonal interactions			社会的交流					自分勝手に行動する 集団への不適応
11コードなし	Major life areas								
11コードなし	Community, social and civic life								

資料 4 Barthel Index、Functional Independence Measure、看護必要度 B の評価項目と V 章コード

B I	
食事	VA22
食事	VB80
車椅子からベッドへの移動	VC20
整容	VC30
トイレ動作	VC31
入浴	VA20
歩行	VA14
歩行	VC22
階段昇降	VA1Z
着替え	VA21
排便コントロール	VB80
排尿コントロール	VB90

F M		
セルフケア	食事（箸・スプーン）	VA22
	整容	VC30
	清拭	VA20
	更衣（上半身）	VA21
	更衣（下半身）	VA21
	トイレ	VC31
排泄	排尿コントロール	VB90
	排便コントロール	VB80
移乗	ベッド、椅子、車椅子	VC20
	トイレ	VC20
	浴槽、シャワー	VC20
移動	歩行、車椅子	VA14
	（用具を用いての移動）	VC22
	階段	VA1Z
コミュニケーション	理解（聴覚、視覚）	VA04
	表出（音声、非音声）	VB60
社会認識	社会的交流	VC50
	問題解決	VA02
	記憶	VA01

看護必要度B	
寝返り	#N/A
移乗	VC20
口腔清潔	VC30
食事摂取	VA22
衣服の着脱	VA21
診療・療養上の指示が通じる	VA04
危険行動	#N/A

資料 5 介護保険認定調査の評価項目 V 章コード

介護保険認定調査項目	
麻痺等の有無	VC01
拘縮の有無	VC00
寝返り	#N/A
起き上がり	#N/A
座位保持	#N/A
両足での立位	#N/A
歩行	VA14
立ち上がり	#N/A
片足での立位	#N/A
洗身	VA20
つめ切り	VC30
視力	#N/A
聴力	#N/A
移乗	VC20
移動	#N/A
えん下	#N/A
食事摂取	VA22
排尿	VC31
排便	VC31
口腔清潔	VC30
洗顔	VA20
整髪	VC30
上衣の着脱	VA21
ズボン等の着脱	VA21
外出頻度	#N/A
意思の伝達	#N/A
毎日の日課を理解	VA23
生年月日を言う	#N/A
短期記憶	VA01
自分の名前を言う	#N/A
今の季節を理解	#N/A
場所の理解	#N/A
徘徊	#N/A
外出して戻れない	#N/A
被害的	#N/A
作話	#N/A
感情が不安定	VB02
昼夜逆転	VB01
同じ話をする	#N/A
大声を出す	VB02
介護に抵抗	#N/A
落ち着きなし	#N/A
一人で出たがる	#N/A
収集癖	#N/A
物や衣類を壊す	#N/A
ひどい物忘れ	VA01
独り言・独り笑い	#N/A
自分勝手に行動する	VC50
話がまとまらない	VA05
薬の内服	VC32
金銭の管理	#N/A
日常の意思決定	#N/A
集団への不適応	VC50
買い物	#N/A
簡単な調理	VC40

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際疾病分類の国内導入のための研究」

分担研究報告書(令和3年度)

ICD-11 準拠の新たな死因简单分類の構築に関する研究

研究代表者 小川俊夫 摂南大学農学部食品栄養学科公衆衛生学教室

研究分担者 滝澤 雅美 国際医療福祉大学

研究要旨

わが国の公的統計のうち、死因統計には ICD-10 準拠の「死因简单分類」が用いられているが、ICD-11 のわが国での国内適用に伴い、統計情報の継続性を維持しつつ ICD-11 に基づいた新たな分類を構築する必要がある。本研究の目的は、死因統計の死因简单分類について、現行の ICD-10 準拠から ICD-11 準拠の分類への改訂を試行し、新たな分類が死因統計に与える影響について考察することである。研究2年目の本年度は、昨年度の研究成果を用いて、WHO により公開されている ICD-10・ICD-11 のマッピングテーブルを用いて、ICD-11 準拠の新たな死因简单分類の構築を試行した。また、平成29年度の人口動態調査の結果表を用いて、集計値の変化について推計を実施した。本研究により、構築を試行した新たな分類は ICD-11 の構造に基づいているため、現行分類とは異なる部分があることが明らかになった。その結果として ICD-11 準拠の新たな分類を用いることで、ICD-10 から ICD-11 への構造変更に伴い各項目の内容が変化し、それにより死因統計の集計値が変動することで、わが国の公的統計に影響があることが示唆された。今後、わが国への ICD-11 適用が死因統計や罹患統計など公的統計に与える影響について精査する必要がある。また、公的統計の継続性を維持しつつ、新たな疾病分類のわが国への円滑な導入を図る必要がある。

研究代表者 小川俊夫(摂南大学)

研究分担者 滝澤雅美(国際医療福祉大学)

A. 研究目的

わが国の公的統計のうち、死因統計や患者調査等には疾病及び関連保健問題の国際統計分類(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems: ICD)の第10版である ICD-10 が用いられている。ICD-9 までは約10年ごとに改訂されていたが、ICD-10 は約30年改訂されていなかった。

ICD-11 は、2007年にWHOと専門家による改訂作業が開始され、2018年6月に公表、2019年5月の世界保健総会(World Health Assembly:

WHA)にて承認され、わが国をはじめ各国では ICD-11 導入に向けた準備が進められている。

現在、わが国の死因統計に用いられている死因分類表は、人口動態統計では死因简单分類と呼ばれている。死因简单分類は、わが国の死因構造を全体的に概観することを目的とし、ICD-10 準拠の死因基本分類表をもとに、WHOの死亡製表用リストを参考にして作成された分類表である¹⁾。死因简单分類には5桁コードが付与されており、最初の2桁はICD-10章、3桁目はいくつかの項目を統合した中間分類、最後の2桁は整理番号となっており、本研究では、それぞれ大分類、中分類、小分類と呼ぶこととする。

死因简单分類に収載された分類項目は、死亡

数が一定数以上認められるもの、死亡数は少ないが国民、研究者等にとって関心の高いものが選定¹⁾されている、また、これまでとの連続性等も考慮し、わが国における ICD-9 までの死因简单分類と可能な限りの整合性を図って作成されている。

ICD-11 のわが国への適用に伴い、現行の死因简单分類を ICD-11 の概念や構造に則した分類に改訂する必要があると考えられる。特に、新たな死因简单分類は、現行の分類からの連続性を考慮し、また ICD-11 の概念を取り込んで国際比較などにも耐えうる分類にする必要がある。

本研究は、新たな死因简单分類案の作成に向けて現行の死因简单分類と ICD-10、ICD-11 の構造を比較したうえで、現行の死因简单分類をベースに、ICD-11 の構造を取り入れた新たな死因简单分類の構築を目的として、昨年度に引き続き実施した。本研究において、新たな死因简单分類の作成に向けた考え方と課題を整理し、わが国に適した死因分類について議論するための基礎資料を作成することも目的である。

B. 研究方法

ICD-10 から作成された現行の死因简单分類をもとに、ICD-11 の分類概念を取り入れた新たな死因简单分類案（以下、新・死因简单分類案）の作成を試みた。また、新旧の死因简单分類の比較分析を実施し、わが国への ICD-11 導入の公的統計への影響に関する考察も実施した。

（1）新たな ICD-11 MMS 準拠の死因简单分類の作成

ICD-10/11 mapping tables、基本分類表、死因简单分類表、死亡数表を、ICD-10 コード（死因基本分類）をキー変数として名寄せした。なお、ICD-10/11 mapping tables に収載された項目によっては、単一の ICD-10 コードに複数の ICD-11 MMS コードが記載されているため、ICD-10/11 mapping tables とその他のテーブルは、1 対多対応で付加した。また、基本分類表及び死亡数表にのみに収載され、ICD-10/11 mapping tables に

は存在しない主としてわが国の独自コードについても名寄せし、全ての項目を収載した「統合表」を作成した。

統合表において、わが国独自コードなど一部の項目には ICD-11 MMS コードが付加されなかったため、ICD-10 と ICD-11 MMS の項目名、ICD-10 準拠の死因简单分類などを勘案し、ICD-11 MMS コードを推定し付加した。また、ICD-11 MMS コードから ICD-11 MMS の章を推定した。

次に、統合表に収載されている現行の ICD-10 準拠の死因简单分類（以下、死因简单分類 10）を参考にし、ICD-11 MMS コード・章の情報をもとに、新たな ICD-11 MMS 準拠の死因简单分類（以下、死因简单分類 11）の作成を試行した。死因简单分類 11 の作成にあたり、構造は ICD-11 MMS の章に準拠し、かつ既存の死因简单分類 10 で用いられている項目をそのまま継続する方向で作成した。

死因简单分類 11 においては、新たなコード体系を作成した。作成した新たなコードは、死因简单分類 10 と同様に 5 桁の数字としたが、死因简单分類 10 との差別化を図るため最初に「11_」を付与した。ついで、ICD-11 MMS の章番号の 2 桁（01 から 25 まで）を付与し、ICD-11 MMS コードの出現順に残り 3 桁コードを付与した。また、死因简单分類 10 の末尾 2 桁に数字が入っている詳細項目（例えば、09101 高血圧性心疾患及び心腎疾患や 02119 白血病）については、死因简单分類 11 でも同様に詳細項目を維持するとともに、それぞれの集計項目を作成した。さらに、新型コロナ関連コード（U07.1～U10.9）は、「11_25100 COVID-19 関連病態」として新規追加した。

なお、ICD-11 MMS コードの項目名は、研究実施時点ではまだ正式な日本語版が存在していないため、それぞれの項目を google translate を用いて日本語に自動翻訳した結果であり、仮訳である。

表 1 ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類（死因簡単分類 11）と 2019 年死亡者数推計

死因簡単分類11	死亡数・2019年		
	合計	男性	女性
11.01000 特定の感染症または寄生虫症	28,331	13,985	14,346
11.01100 胃腸炎または感染性大腸炎	2,262	1,006	1,256
11.01200 結核	2,087	1,173	914
11.01201 呼吸器結核	1,801	1,055	746
11.01202 その他の結核	286	118	168
11.01300 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	41	40	1
11.01400 細菌性髄膜炎	450	258	192
11.01500 重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0	0
11.01600 インフルエンザ	3,575	1,903	1,672
11.01700 ウイルス性肝炎	2,658	1,225	1,433
11.01701 B型ウイルス性肝炎	336	208	128
11.01702 C型ウイルス性肝炎	2,122	914	1,208
11.01703 その他のウイルス性肝炎	200	103	97
11.01800 敗血症	10,222	5,079	5,143
11.01900 その他の感染症及び寄生虫症	7,037	3,302	3,735
11.02000 新生物	390,182	227,678	162,503
11.02100 脳または中枢神経系の新生物	5,706	3,032	2,674
11.02101 脳又は中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	2,886	1,655	1,231
11.02102 脳又は中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	2,820	1,377	1,443
11.02200 造血組織又はリンパ組織の新生物	32,179	18,568	13,611
11.02201 白血病	9,288	5,612	3,677
11.02202 悪性リンパ腫	13,235	7,342	5,893
11.02203 その他の造血組織又はリンパ組織の悪性新生物	4,431	2,312	2,119
11.02204 造血組織又はリンパ組織のその他の新生物	5,225	3,303	1,922
11.02300 リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く悪性新生物	352,298	206,079	146,219
11.02301 口唇、口腔または咽頭の悪性新生物	7,764	5,504	2,260
11.02302 食道および食道胃接合部の悪性新生物<腫瘍>	11,619	9,571	2,048
11.02303 胃の悪性新生物<腫瘍>	42,931	28,043	14,888
11.02304 結腸の悪性新生物<腫瘍>	35,599	17,517	18,082
11.02305 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	15,821	9,899	5,922
11.02306 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	25,264	16,750	8,514
11.02307 膵の悪性新生物<腫瘍>	36,356	18,124	18,232
11.02308 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	17,924	9,341	8,583
11.02309 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	863	806	57
11.02310 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	75,394	53,338	22,056
11.02311 皮膚の悪性新生物<腫瘍>	1,702	848	854
11.02312 乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,935	96	14,839
11.02313 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,805	0	6,805
11.02314 卵巣の悪性新生物<腫瘍>	4,733	0	4,733
11.02315 前立腺の悪性新生物<腫瘍>	12,544	12,544	0
11.02316 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	8,913	6,016	2,897
11.02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	33,131	17,682	15,449
11.03000 血液または造血器官の疾患	3,545	1,581	1,964
11.03100 貧血	1,740	693	1,048
11.03200 その他の血液又は造血器官の疾患	1,805	888	917
11.04000 免疫系の疾患	3,722	1,514	2,208
11.05000 内分泌、栄養または代謝性疾患	22,761	11,795	10,966
11.05100 糖尿病	13,831	7,608	6,223
11.05200 その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	8,930	4,187	4,743
11.06000 精神障害、行動障害、または神経発達障害	38,607	13,748	24,860
11.06100 認知症	36,606	12,770	23,836
11.06200 その他の精神、行動又は神経発達の障害	2,001	978	1,024
11.07000 睡眠覚醒障害	119	66	53
11.08000 神経系の疾患	141,747	69,692	72,055
11.08100 パーキンソン病	3,735	1,880	1,855
11.08200 アルツハイマー病	5,518	2,003	3,515
11.08300 脳血管疾患	105,743	51,364	54,379
11.08301 脳内出血	32,776	17,957	14,819
11.08302 くも膜下出血	11,731	4,319	7,412
11.08303 脳虚血性脳卒中	59,267	28,172	31,095
11.08304 その他の脳血管疾患	1,969	916	1,053
11.08400 運動ニューロン疾患及び脊髄性筋萎縮症	2,660	1,534	1,126
11.08500 その他の神経系の疾患	24,092	12,912	11,180
11.09000 眼及び付属器の疾患	2	2	0
11.10000 耳及び乳様突起の疾患	15	9	6
11.11000 循環器系の疾患	232,820	108,747	124,073
11.11100 高血圧性疾患	9,549	3,971	5,578
11.11101 高血圧性心疾患	5,601	2,246	3,355
11.11102 その他の高血圧性疾患	3,948	1,725	2,223
11.11200 虚血性心疾患	198,950	92,933	106,017
11.11201 急性心筋梗塞	31,527	18,146	13,381
11.11202 その他の虚血性心疾患	35,799	21,441	14,358
11.11203 慢性リウマチ性心疾患	2,046	666	1,380
11.11204 慢性非リウマチ性心内膜疾患	11,783	3,761	8,022
11.11205 心筋症	3,820	2,186	1,634
11.11206 不整脈及び伝導障害	20,899	9,281	11,618
11.11207 心不全	89,804	35,613	54,190
11.11208 その他の心疾患	3,273	1,839	1,434
11.11300 大動脈瘤又は解離	18,830	9,342	9,488
11.11400 その他の循環器系の疾患	5,491	2,501	2,990
11.12000 呼吸器系の疾患	190,532	112,718	77,815
11.12100 慢性閉塞性肺疾患	17,836	14,822	3,014
11.12200 喘息	1,481	555	926
11.12300 肺炎	95,500	53,062	42,438
11.12400 急性気管支炎	371	137	234
11.12500 顕微鏡性肺炎と間質性肺疾患	59,873	35,540	24,333
11.12501 顕微鏡性肺炎	40,385	22,899	17,486
11.12502 間質性肺疾患	19,488	12,641	6,847
11.12600 その他の呼吸器系の疾患	15,471	8,602	6,870
11.13000 消化器系の疾患	43,063	23,516	19,547
11.13100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,499	1,427	1,072
11.13200 ヘルニア及び腸閉塞	7,127	3,348	3,779
11.13300 肝疾患	17,398	11,314	6,084
11.13301 肝硬変(アルコール性を除く)	8,088	4,389	3,699
11.13302 その他の肝疾患	9,310	6,925	2,385
11.13400 その他の消化器系の疾患	16,039	7,427	8,613
11.14000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,346	984	1,362
11.15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,702	1,883	2,819
11.16000 泌尿生殖器系の疾患	40,438	18,665	21,773
11.16100 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	4,611	1,764	2,847
11.16200 泌尿器系の疾患	26,644	13,573	13,071
11.16201 急性腎不全	2,596	1,211	1,385
11.16202 慢性腎臓病	19,534	10,268	9,266
11.16203 詳細不明の腎不全	4,514	2,094	2,420
11.16300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	9,183	3,328	5,855
11.17000 性的健康に関連する条件	0	0	0
11.18000 妊娠、分娩又は産褥	32	0	32
11.19000 周産期に起因する特定の状態	471	262	209
11.19100 周産期に発生した病態	39	23	16
11.19200 出生時の怪我	9	4	5
11.19300 胎児または新生児の感染症	30	20	10
11.19400 胎児または新生児の出血性または血液学的障害	56	33	23
11.19500 周産期又は新生児期に特有の呼吸器疾患及び心血管障害	267	146	121
11.19600 その他の周産期に発生した病態	70	36	34
11.20000 発達障害	1,896	878	1,018
11.20100 神経系の構造的発達異常	92	54	38
11.20200 循環器系の発達障害	821	378	443
11.20201 心臓の構造的発達異常	558	281	277
11.20202 その他の循環器系の構造的発達異常	263	97	166
11.20300 消化管の構造的発達異常	107	54	53
11.20400 その他の発達異常	418	208	210
11.20500 遺伝子変異を除く染色体異常	458	184	274
11.21000 他に分類されていない症状、徴候または臨床所見	169,048	59,043	110,006
11.21100 老衰	121,863	31,722	90,141
11.21200 乳幼児突然死症候群	78	47	31
11.21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	47,107	27,274	19,834
11.22000 傷病及び死亡の外因	4	2	2
11.23000 外傷、中毒、またはその他の外因	66,710	40,655	26,055
11.23100 外的要因による傷害	43,795	24,993	18,802
11.23101 交通事故	4,412	3,040	1,372
11.23102 転倒・転落・墜落	9,567	5,088	4,479
11.23103 不慮の溺死及び溺水	7,703	4,081	3,622
11.23104 不慮の窒息	8,095	4,072	4,023
11.23105 不慮の熱への曝露	2,228	1,298	930
11.23106 不慮の有害物質への曝露	557	342	215
11.23107 その他の不慮の事故	11,233	7,072	4,161
11.23200 故意の自傷及び自殺	18,882	13,310	5,572
11.23300 加害にもとづく傷害及び死亡	299	131	168
11.23400 その他の外因	3,734	2,221	1,513
11.24000 健康状態または医療サービスとの接触に影響を与える要因	0	0	0
11.25000 特殊目的用コード	0	0	0
11.25100 COVID-19関連病態	0	0	0
対象外(X章)	0	0	0
合計	1,381,093	707,421	673,672

(2) 新旧の死因簡単分類の死亡者数の比較分析

統合表において、単一の ICD-10 コードに対して複数の ICD-11 MMS コードが付与されている項目については、現行の ICD-10 コードで集計された死亡者数データを、それぞれの ICD-11 MMS コードに「分配」する必要があることが判明した。本研究では、死亡者数を複数の ICD-11 MMS コードに分配する場合、各コードに均等配分されると仮定し分配した。

また、ICD-11 MMS の項目によっては、複数のコードの組み合わせが存在する。例えば、「1A00&XN8P1」(コレラ菌によるコレラ)や「1C17.Z/GB52」(その他のジフテリア)である。このうち、「&」を用いて複数のコードが組み合わされた項目については、最初に記載されたコードを親コードと仮定し、最初のコードで集計を実施した。さらに、「/」で複数のコードが組み合わされた項目については、それぞれで主たるコードを判定した。さらに、ICD-11 MMS の X 章のコードが記載された項目が存在するが、X 章は死因統計では利用しない章とされていることから死亡者数の配分はなしとした。

上記の死亡者数の処理に基づき、死因簡単分類 11 での死亡数を推計し、また現行の死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 の死亡数の集計値の違いについて、ICD-10 と ICD-11 MMS の章ごとに解析を実施した。

(倫理面への配慮)

本研究においては、倫理面への配慮は必要としない。

C. 研究結果

(1) 新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類の作成

ICD-10/11 mapping tables と基本分類表、死因簡単分類表、死亡数表の名寄せにより「統合表」を作成した。この統合表に収載された項目数は

21,042 項目であり、その内訳は、ICD-10/11 mapping tables に収載されていた 15,350 項目、基本分類表のみに収載されていた 3,350 項目、死亡数表のみに収載されていた 2,342 項目であった。

この統合表を用いて、新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類である死因簡単分類 11 を作成した(表 1)。死因簡単分類 11 の項目数は集計項目も含めると 143 項目であり、死因簡単分類 10 の 136 項目より 7 項目増加した。

(2) 新旧の死因簡単分類の死亡者数の比較分析

死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 を用いて、それぞれ ICD-10 と ICD-11 MMS の章ごとに、2019 年の死亡者数を集計し、比較した(表 2、参考資料 1)。なお、ICD-10 と 11 では章立てが異なっており、本研究で使用した章は、それぞれ ICD-10 で 22 章、ICD-11 では対象外の X 章も含めて 26 章で、それぞれ対応する章ごとに死亡者数の集計値を比較した。

ICD-10 と 11 の章で死亡者数が同じと推計されたのは、ICD-10 の「7 章 眼及び付属器の疾患」、「8 章 耳及び乳様突起の疾患」、「15 章 妊娠、分娩及び産じょく」のみであり、これら以外の章では ICD-11 準拠の死因簡単分類 11 の適用により、集計値が異なると推計された。このうち、ICD-10 と比較して ICD-11 MMS で死亡者数が最も大きく増加すると推計された章は、「5 章 精神及び行動の障害」(23,542 から 38,607 人に、15,065 人増)と「6 章 神経系の疾患」(51,117 から 141,747 人に、90,630 人増)であり、逆に死亡者数が最も大きく減少すると推計されたのは、「9 章 循環器系の疾患」(350,505 から 232,820 人に、117,685 人減)と「11 章 消化器系の疾患」(52,742 から 43,063 人に、9,679 人減)、「13 章 筋骨格系及び結合組織の疾患」(8,996 から 4,702 人に、4,294 人減)であった。

表 2 新旧・死因簡単分類を用いた 2019 年死亡者数の ICD-10 及び ICD-11 MMS の章集計の比較

ICD-10	合計	男性	女性	ICD-11 MMS	合計	男性	女性
01000 感染症及び寄生虫症	23,544	11,531	12,013	11.01000 特定の感染症または寄生虫症	28,331	13,985	14,346
02000 新生物<腫瘍>	389,867	227,545	162,322	11.02000 新生物	390,182	227,678	162,503
03000 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,454	1,996	2,458	11.03000 血液または造血器の疾患	3,545	1,581	1,964
04000 内分泌、栄養及び代謝疾患	22,144	11,500	10,644	11.04000 免疫系の疾患	3,722	1,514	2,208
05000 精神及び行動の障害	23,542	8,675	14,867	11.05000 内分泌、栄養または代謝性疾患	22,761	11,795	10,966
06000 神経系の疾患	51,117	23,476	27,641	11.06000 精神障害、行動障害、または神経発達障害	38,607	13,748	24,860
07000 眼及び付属器の疾患	2	2	0	11.07000 睡眠覚醒障害	119	66	53
08000 耳及び乳様突起の疾患	15	9	6	11.08000 神経系の疾患	141,747	69,692	72,055
09000 循環器系の疾患	350,505	166,909	183,596	11.09000 眼及び付属器の疾患	2	2	0
10000 呼吸器系の疾患	193,234	114,136	79,098	11.10000 耳及び乳様突起の疾患	15	9	6
11000 消化器系の疾患	52,742	28,065	24,677	11.11000 循環器系の疾患	232,820	108,747	124,073
12000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,682	1,117	1,565	11.12000 呼吸器系の疾患	190,532	112,718	77,815
13000 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,996	3,644	5,352	11.13000 消化器系の疾患	43,063	23,516	19,547
14000 腎尿路生殖器系の疾患	40,946	18,972	21,974	11.14000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,346	984	1,362
15000 妊娠、分娩及び産じょく	32	0	32	11.15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,702	1,883	2,819
16000 周産期に発生した病態	454	251	203	11.16000 泌尿生殖器系の疾患	40,438	18,665	21,773
17000 先天奇形、変形及び染色体異常	2,076	954	1,122	11.17000 性的健康に関連する条件	0	0	0
18000 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	148,027	47,982	100,045	11.18000 妊娠、分娩又は産褥	32	0	32
20000 傷病及び死亡の外因	66,714	40,657	26,057	11.19000 周産期に起因する特定の状態	471	262	209
22000 特殊目的用コード				11.20000 発達障害	1,896	878	1,018
合計	1,381,093	707,421	673,672	11.21000 他に分類されていない症状、徴候または臨床所見	169,048	59,043	110,006
				11.22000 傷病及び死亡の外因	4	2	2
				11.23000 外傷、中毒、またはその他の外因	66,710	40,655	26,055
				11.24000 健康状態または医療サービスとの接触到影響を与える要因	0	0	0
				11.25000 特殊目的用コード	0	0	0
				対象外(X章)	0	0	0
				合計	1,381,093	707,421	673,672

D. 考察

ICD-11 は 2018 年 6 月に公表されたのち、2019 年 5 月の World Health Assembly にて承認され、その後各国への導入に向けた準備が始められている。わが国においても ICD-11 の導入に向け、わが国の臨床や研究で利用されている従来分類との整合性の確保や ICD-11 の日本語化など具体的な検討が実施されている。この検討の一環として、ICD-11 のわが国への適用に伴い、各種公的統計への影響について把握することは、わが国の公的統計の継続性と整合性を確保するために極めて重要である。

わが国で現在公示され使用されている ICD-10 (2013 年版) に準拠した「疾病、傷害及び死因」の統計分類は、(1) 基本分類表、(2) 疾病分類表(大分類、中分類、小分類)、(3) 死因分類表である。このうち、死因簡単分類は、わが国の死因構造を概観することを目的に、死因基本分類表から WHO の死亡製表用リストを参考にして作成

された分類表である。

本研究で構築を試行した死因簡単分類 11 は、従来の死因簡単分類 10 の各疾病項目を維持しつつ、ICD-11 MMS の構造を併せ持つものである。そのため、統計情報の継続性を維持しつつ新たな疾病分類の概念の導入を実現できると考えられ、今後のわが国の死因基本分類構築に大きく貢献できるものと期待される。

死因簡単分類 11 の項目については、ICD-10 から ICD-11 MMS への構造変化に伴い、死因簡単分類 10 では全体で 136 項目、うち章ごとの集計項目などの中間集計項目を除いた項目数は 110 項目であったが、死因簡単分類 11 では 116 項目に増加した。また死因簡単分類 10 の 110 項目のうち 67 項目(60.9%) は死因簡単分類 11 でも死亡数が同じと推計されたが、残りの 33 項目については死亡数が増減し、6 項目は死因簡単分類 11 で新規に追加された項目であった。すなわち、死因簡単分類の改訂を行うことで、死亡者数が変化する項

目が3割以上存在することが明らかとなった。このことは、統計情報の継続性の観点から、注意が必要である。

また、死因簡単分類を集計することで、ICDの章ごとの死亡数の推計が可能であるが、新旧の分類で多くの章で変化が見られた。特に、ICD-10と11の章で大きく増加すると推計されたのは、ICD-10の章立てでは、「5章 精神及び行動の障害」と「6章 神経系の疾患」であり、逆に大きく減少すると推計されたのは「9章 循環器系の疾患」と「11章 消化器系の疾患」、「13章 筋骨格系及び結合組織の疾患」であった。

このうち、「5章 精神及び行動の障害」については、認知症がこれまで「6章 神経系の疾患」に区分されていたが、ICD-11 MMSでは「精神障害、行動障害、または神経発達障害」として区分されたためと考えられる。「6章 神経系の疾患」は、上述した認知症の移動が見られたものの、脳血管疾患が「9章 循環器系の疾患」から移動したため、全体としては死亡者数の増加に繋がったと考えられる。

一方で、脳血管疾患が「9章 循環器系の疾患」から「神経系の疾患」に移動したため、ICD-11 MMSでは「循環器系の疾患」の死亡者数が大きく減少したと考えられる。また、「11章 消化器系の疾患」については、「K92.2 胃腸出血、詳細不明」などが「その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの」に移動したため項目数が減少したと考えられる。「13章 筋骨格系及び結合組織の疾患」については、全身性エリテマトーデスや多発（性）血管炎、全身性硬化症などが、ICD-11 MMSでは「免疫系の疾患」として区分されたため、死亡者数が大きく減少したと考えられる。

本研究で構築を試行した死因簡単分類 11 については、以下の課題が存在する。第一に、死因簡単分類は WHO が構築し公表している ICD-10/11

mapping tables を用いて作成した。しかしながら、この対応表は完成版ではなく精緻化の途中と考えられることから、今後、WHO によるアップデートなどにより、死因簡単分類 11 の内容や構造に影響があると考えられる。

第二に、本研究では複数の表を、ICD-10 コードをキー変数として名寄せしたが、WHO による ICD-10/11 mapping tables では、一つの ICD-10 コードに対して複数の ICD-11 MMS コードが付与されているものがあり、このような1対多対応については、本研究においては死亡者数を均等配分した。しかしながら、実際には特定の項目に死亡者数が集中することも想定され、今後より詳細な検討が必要である。また、複数の ICD-10 コードが複数の ICD-11 MMS コードに置換されているような、いわゆる多対多対応のケースが仮にあるとしたら、本研究の方法では対応できていない。さらに、わが国の臨床で用いられている標準病名はより詳細なコード体系であり、本研究で作成した死因簡単分類 11 と標準病名との対応はできていないのが現状である。今後、標準病名マスターを用いた検討を行うことで、より精緻な ICD-10 と ICD-11 MMS の対応表の作成が可能となり、その結果としてより精緻な死因簡単分類 11 の構築が可能と考えられる。

第三に、本研究で死因簡単分類 11 の作成にあたり、作成に用いたマッピングテーブルや基本分類表に収載されている項目のうち突合できない項目も見られた。これらの項目は個々に手作業で追加したほか、ICD-10 コードや ICD-11 MMS コードの一部は手作業で付加したため、今後付加したコードの妥当性の検討が必要である。

第四に、昨今の COVID-19 感染者数及び死亡者数の増加により、わが国をはじめ各国の疾病構造や死因も大きく変容していると考えられる。今般の新たな公的統計に用いる分類の構築には、最新

の疾病構造を考慮する必要があると考えられるが、本研究ではこの点は充分には配慮できていない。今後 WHO や厚生労働省とも協議しつつ、本研究を進める必要があると考えられる。

本研究により、ICD-10 から ICD-11 への構造変更に伴い、死因簡単分類の項目が変化し、それにより死因統計の集計値が変動することで、わが国の公的統計に影響があることが示唆された。今後、同様の検討を疾病統計に用いられている傷病分類などについても実施し、わが国への ICD-11 適用が死因統計や疾病統計など公的統計に与える影響について精査する必要がある。また、公的統計の継続性を維持しつつ、新たな疾病分類のわが国への円滑な導入を図る必要がある。

E. 結論

本研究では、ICD-10 と ICD-11 の構造を比較することで、ICD-11 準拠の新・死因簡単分類案の作成を試行し、わが国の死因統計における ICD-11 導入の課題を明らかにした。今後は、実際の死亡票、死亡小票データを用いて新・死因簡単分類案の実用性について検討する予定である。本研究の成果は、わが国に適した死因統計票の作成について考察するための基礎資料として、幅広く情報発信を行うなど活用したい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明. わが

国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析. 医療情報学. 2021. Nov ; 41(Suppl.) : 660-664.

2. 学会発表

- 1) 小川俊夫、滝澤雅美、今井 健、高橋幸恵、坂本幸平、小松雅代、向野雅彦、今村知明. わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察：ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析. 2021 年 第 41 回医療情報学連合大会 (第 22 回日本医療情報学会学術大会、2021 年 11 月 19 日、名古屋市・名古屋国際会議場).

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

引用文献

- 1) e-Stat 政府統計の総合窓口.人口動態調査/人口動態統計/確定数/分類表.1/死因分類の解説.
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&query=%E6%AD%BB%E5%9B%A0%E5%88%86%E9%A1%9E%E8%A1%A8&layout=dataset&toukei=00450011&stat_infid=000031982732&metadata=1&data=1

＜参考資料１＞ 死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 の比較

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
01100 腸管感染症	1,009	1,258	11_01100 胃腸炎または感染性大腸炎	1,006	1,256
			11_01800 敗血症	3	2
01201 呼吸器結核	1,055	746	11_01201 呼吸器結核	1,055	746
01202 その他の結核	118	168	11_01202 その他の結核	118	168
01300 敗血症	5,076	5,141	11_01800 敗血症	5,076	5,141
01401 B型ウイルス性肝炎	208	128	11_01701 B型ウイルス性肝炎	208	128
01402 C型ウイルス性肝炎	914	1,208	11_01702 C型ウイルス性肝炎	914	1,208
01403 その他のウイルス性肝炎	102	97	11_01703 その他のウイルス性肝炎	102	97
01500 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	40	1	11_01300 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	40	1
01600 その他の感染症及び寄生虫症	3,009	3,266	11_01703 その他のウイルス性肝炎	1	0
			11_01800 敗血症	0	0
			11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	2,444	2,948
			11_08500 その他の神経系の疾患	119	193
			11_12600 その他の呼吸器系の疾患	445	125
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0
			11_22000 傷病及び死亡の外因	0	0
			対象外(X 章)	0	0
合計	11,531	12,013	合計	11,531	12,013

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
02101 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	5,504	2,260	11_02301 口唇、口腔または咽頭の悪性新生物	5,504	2,260
02102 食道の悪性新生物<腫瘍>	9,571	2,048	11_02302 食道および食道胃接合部の悪性新生物<腫瘍>	9,571	2,048
02103 胃の悪性新生物<腫瘍>	28,043	14,888	11_02303 胃の悪性新生物<腫瘍>	28,043	14,888
02104 結腸の悪性新生物<腫瘍>	17,517	18,082	11_02304 結腸の悪性新生物<腫瘍>	17,517	18,082
02105 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	9,899	5,922	11_02305 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	9,899	5,922
02106 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	16,750	8,514	11_02306 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	16,750	8,514
02107 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	9,341	8,583	11_02308 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	9,341	8,583
02108 膵の悪性新生物<腫瘍>	18,124	18,232	11_02307 膵の悪性新生物<腫瘍>	18,124	18,232
02109 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	806	57	11_02309 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	806	57
02110 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	53,338	22,056	11_02310 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	53,338	22,056
02111 皮膚の悪性新生物<腫瘍>	848	854	11_02311 皮膚の悪性新生物<腫瘍>	848	854
02112 乳房の悪性新生物<腫瘍>	96	14,839	11_02312 乳房の悪性新生物<腫瘍>	96	14,839
02113 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0	6,804	11_02313 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0	6,804
02114 卵巣の悪性新生物<腫瘍>	0	4,733	11_02314 卵巣の悪性新生物<腫瘍>	0	4,733
02115 前立腺の悪性新生物<腫瘍>	12,544	0	11_02315 前立腺の悪性新生物<腫瘍>	12,544	0
02116 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	6,014	2,897	11_02316 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	6,014	2,897
02117 中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	1,650	1,227	11_02101 脳又は中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	1,650	1,227
02118 悪性リンパ腫	7,342	5,893	11_02202 悪性リンパ腫	7,342	5,893
02119 白血病	5,419	3,420	11_02201 白血病	4,261	2,840
			11_04000 免疫系の疾患	3	3
			対象外(X章)	1,155	577
02120 その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	2,311	2,118	11_02203 その他の造血組織又はリンパ組織の悪性新生物	2,296	2,102
			対象外(X章)	15	16
02121 その他の悪性新生物<腫瘍>	15,222	12,659	11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	15,222	12,659
02201 中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	1,261	1,375	11_02102 脳又は中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	1,202	1,328
			11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	59	47
02202 中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	5,945	4,861	11_02102 脳又は中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	174	115
			11_02204 造血組織又はリンパ組織のその他の新生物	3,203	1,853
			11_02313 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0	1
			11_02316 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	0	0
			11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	2,399	2,734
			11_03200 その他の血液又は造血器の疾患	65	81
			11_20400 その他の発達異常	14	19
			対象外(X章)	90	58
合計	227,545	162,322	合計	227,545	162,322

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
03100 貧血	888	1,307	11_03100 貧血	888	1,307
			11_11203 慢性リウマチ性心疾患	0	0
03200 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,108	1,151	11_02204 造血組織又はリンパ組織のその他の新生物	9	10
			11_03200 その他の血液又は造血器の疾患	774	785
			11_04000 免疫系の疾患	319	347
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	6	9
			11_20500 遺伝子変異を除く染色体異常	0	0
合計	1,996	2,458	合計	1,996	2,458

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
04100 糖尿病	7,615	6,231	11_05100 糖尿病	7,594	6,207
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	21	24
04200 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,885	4,413	11_04000 免疫系の疾患	0	0
			11_05200 その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	3,751	4,249
			11_07000 睡眠覚醒障害	11	19
			11_08500 その他の神経系の疾患	103	126
			11_12600 その他の呼吸器系の疾患	4	0
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	3	3
			11_16300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	1	3
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			対象外(X章)	12	13
合計	11,500	10,644	合計	11,500	10,644

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
05100 血管性及び詳細不明の認知症	7,587	13,807	11_06100 認知症	7,587	13,807
05200 その他の精神及び行動の障害	1,088	1,060	11_06200 その他の精神、行動又は神経発達の障害	787	977
			11_07000 睡眠覚醒障害	0	0
			11_08500 その他の神経系の疾患	239	33
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0
			11_17000 性的健康に関連する条件	0	0
			11_20400 その他の発達異常	62	50
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	0	0
			11_24000 健康状態または医療サービスとの接触に影響を与える要因	0	0
合計	8,675	14,867	合計	8,675	14,867

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
06100 髄膜炎	167	105	11_01400 細菌性髄膜炎	86	62
			11_08500 その他の神経系の疾患	81	43
06200 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1,534	1,126	11_08400 運動ニューロン疾患及び脊髄性筋萎縮症	1,534	1,126
06300 パーキンソン病	5,639	5,565	11_08100 パーキンソン病	5,639	5,565
06400 アルツハイマー病	7,186	13,544	11_06100 認知症	5,183	10,029
			11_08200 アルツハイマー病	2,003	3,515
06500 その他の神経系の疾患	8,950	7,301	11_01400 細菌性髄膜炎	168	128
			11_04000 免疫系の疾患	22	23
			11_05200 その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	0	1
			11_07000 睡眠覚醒障害	54	32
			11_08304 その他の脳血管疾患	10	22
			11_08500 その他の神経系の疾患	8,660	7,074
			11_09000 眼及び付属器の疾患	0	0
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	8	4
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	28	17
合計	23,476	27,641	合計	23,476	27,641

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
07000 眼及び付属器の疾患	2	0	11_09000 眼及び付属器の疾患	2	0
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	0	0
合計	2	0	合計	2	0

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
08000 耳及び乳様突起の疾患	9	6	11_10000 耳及び乳様突起の疾患	9	6
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	0	0
			対象外(X 章)	0	0
合計	9	6	合計	9	6

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
09101 高血圧性心疾患及び心腎疾患	2,246	3,355	11_11101 高血圧性心疾患	2,246	3,355
09102 その他の高血圧性疾患	1,725	2,223	11_11102 その他の高血圧性疾患	1,725	2,223
09201 慢性リウマチ性心疾患	666	1,379	11_11203 慢性リウマチ性心疾患	666	1,379
			11_11207 心不全	0	0
09202 急性心筋梗塞	18,146	13,381	11_11201 急性心筋梗塞	18,146	13,381
09203 その他の虚血性心疾患	21,441	14,358	11_11202 その他の虚血性心疾患	21,441	14,358
09204 慢性非リウマチ性心内膜疾患	3,761	8,022	11_11204 慢性非リウマチ性心内膜疾患	3,761	8,022
09205 心筋症	2,174	1,624	11_11205 心筋症	2,174	1,624
09206 不整脈及び伝導障害	15,197	16,064	11_11206 不整脈及び伝導障害	9,280	11,617
			11_11208 その他の心疾患	6	8
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	5,911	4,439
09207 心不全	33,678	51,887	11_11207 心不全	33,678	51,887
09208 その他の心疾患	3,147	2,789	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	1	4
			11_11203 慢性リウマチ性心疾患	0	1
			11_11205 心筋症	47	39
			11_11206 不整脈及び伝導障害	0	0
			11_11207 心不全	1,265	1,319
			11_11208 その他の心疾患	1,833	1,426
			11_11400 その他の循環器系の疾患	1	0
09301 くも膜下出血	4,319	7,412	11_08302 くも膜下出血	4,319	7,412
09302 脳内出血	17,957	14,819	11_08301 脳内出血	17,957	14,819
09303 脳梗塞	28,172	31,095	11_08303 脳虚血性脳卒中	28,172	31,095
			11_08304 その他の脳血管疾患	0	0
09304 その他の脳血管疾患	1,320	1,458	11_08304 その他の脳血管疾患	899	1,026
			11_08500 その他の神経系の疾患	421	432
09400 大動脈瘤及び解離	9,342	9,488	11_11300 大動脈瘤又は解離	9,342	9,488
09500 その他の循環器系の疾患	3,618	4,242	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	1	4
			11_04000 免疫系の疾患	42	33
			11_11207 心不全	635	955
			11_11400 その他の循環器系の疾患	1,894	2,566
			11_13302 その他の肝疾患	91	63
			11_13400 その他の消化器系の疾患	134	41
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	812	572
			11_20202 その他の循環器系の構造的発達異常	8	7
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	1	1
合計	166,909	183,596	合計	166,909	183,596

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
10100 インフルエンザ	1,903	1,672	11_01600 インフルエンザ	1,903	1,672
10200 肺炎	53,076	42,442	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	14	4
			11_12300 肺炎	53,062	42,438
10300 急性気管支炎	137	234	11_12400 急性気管支炎	137	234
10400 慢性閉塞性肺疾患	14,822	3,014	11_12100 慢性閉塞性肺疾患	14,649	2,946
			11_12600 その他の呼吸器系の疾患	173	68
10500 喘息	555	926	11_12200 喘息	555	926
10601 誤嚥性肺炎	22,899	17,486	11_12501 誤嚥性肺炎	22,899	17,486
10602 間質性肺疾患	12,641	6,847	11_12502 間質性肺疾患	12,641	6,847
10603 その他の呼吸器系の疾患	8,103	6,477	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	0	0
			11_04000 免疫系の疾患	0	0
			11_12600 その他の呼吸器系の疾患	8,103	6,477
合計	114,136	79,098	合計	114,136	79,098

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
11100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,427	1,072	11_13100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,427	1,072
11200 ヘルニア及び腸閉塞	3,348	3,779	11_13200 ヘルニア及び腸閉塞	3,348	3,779
11301 肝硬変(アルコール性を除く)	4,389	3,699	11_13301 肝硬変(アルコール性を除く)	4,389	3,699
11302 その他の肝疾患	6,847	2,338	11_13302 その他の肝疾患	6,847	2,338
11400 その他の消化器系の疾患	12,054	13,789	11_04000 免疫系の疾患	0	0
			11_06200 その他の精神、行動又は神経発達の障害	0	0
			11_13400 その他の消化器系の疾患	7,183	8,438
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	76	91
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	6	3
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	4,789	5,257
合計	28,065	24,677	合計	28,065	24,677

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
12000 皮膚及び皮下組織の疾患	1,117	1,565	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	422	540
			11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物＜腫瘍＞	0	0
			11_04000 免疫系の疾患	0	0
			11_06200 その他の精神、行動又は神経発達の障害	0	0
			11_11400 その他の循環器系の疾患	0	0
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	663	985
			11_15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	1
			11_16300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	0	0
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	1	2
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	30	37
合計	1,117	1,565	合計	1,117	1,565

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
13000 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,644	5,352	11_01202 その他の結核	0	0
			11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	188	161
			11_03200 その他の血液又は造血器の疾患	39	34
			11_04000 免疫系の疾患	1,088	1,757
			11_08500 その他の神経系の疾患	58	26
			11_10000 耳及び乳様突起の疾患	0	0
			11_12600 その他の呼吸器系の疾患	272	330
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	99	196
			11_15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,884	2,830
			11_18000 妊娠、分娩又は産褥	0	0
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	0	0
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	16	18
合計	3,644	5,352	合計	3,644	5,352

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
14100 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,864	2,942	11_16100 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,668	2,754
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	196	188
14201 急性腎不全	1,211	1,385	11_16201 急性腎不全	1,211	1,385
14202 慢性腎臓病	10,268	9,266	11_16202 慢性腎臓病	10,268	9,266
14203 詳細不明の腎不全	2,094	2,420	11_16203 詳細不明の腎不全	2,094	2,420
14300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	3,535	5,961	11_02313 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0	0
			11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	0	0
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0
			11_16203 詳細不明の腎不全	0	0
			11_16300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	3,208	5,718
			11_17000 性的健康に関連する条件	0	0
			11_18000 妊娠、分娩又は産褥	0	0
			11_20400 その他の発達異常	0	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	327	243
合計	18,972	21,974	合計	18,972	21,974

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
15000 妊娠、分娩及び産じょく	0	32	11_18000 妊娠、分娩又は産褥	0	32
合計	0	32	合計	0	32

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
16100 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	23	16	11_19100 周産期に発生した病態	23	16
16200 出産外傷	4	5	11_19200 出生時の怪我	4	5
16300 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	133	117	11_07000 睡眠覚醒障害	0	0
			11_19500 周産期又は新生児期に特有の呼吸器疾患及び心血管障害	133	117
16400 周産期に特異的な感染症	20	10	11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0
			11_19300 胎児または新生児の感染症	20	10
16500 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	33	23	11_19400 胎児または新生児の出血性または血液学的障害	33	23
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	0	0
16600 その他の周産期に発生した病態	38	32	11_13400 その他の消化器系の疾患	0	0
			11_19500 周産期又は新生児期に特有の呼吸器疾患及び心血管障害	13	4
			11_19600 その他の周産期に発生した病態	25	28
合計	251	203	合計	251	203

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
17100 神経系の先天奇形	54	38	11_05200 その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	0	0
			11_20100 神経系の構造発達異常	54	38
17201 心臓の先天奇形	274	266	11_20201 心臓の構造発達異常	274	266
17202 その他の循環器系の先天奇形	104	178	11_08304 その他の脳血管疾患	7	6
			11_20201 心臓の構造発達異常	7	11
			11_20202 その他の循環器系の構造的発達異常	89	159
			11_20400 その他の発達異常	1	2
17300 消化器系の先天奇形	54	53	11_20300 消化管の構造的発達異常	54	53
17400 その他の先天奇形及び変形	284	313	11_02203 その他の造血組織又はリンパ組織の悪性新生物	0	0
			11_02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物＜腫瘍＞	0	0
			11_03200 その他の血液又は造血器の疾患	2	4
			11_09000 眼及び付属器の疾患	0	0
			11_11400 その他の循環器系の疾患	0	0
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	0	3
			11_15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	0	1
			11_16300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	109	127
			11_20400 その他の発達異常	173	178
17500 染色体異常、他に分類されないもの	184	274	11_20500 遺伝子変異を除く染色体異常	184	274
合計	954	1,122	合計	954	1,122

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
18100 老衰	31,722	90,141	11_21100 老衰	31,722	90,141
18200 乳幼児突然死症候群	47	31	11_21200 乳幼児突然死症候群	47	31
18300 その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,213	9,873	11_01900 その他の感染症及び寄生虫症	4	1
			11_08500 その他の神経系の疾患	35	24
			11_13400 その他の消化器系の疾患	0	0
			11_14000 皮膚及び皮下組織の疾患	2	0
			11_21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	16,172	9,848
合計	47,982	100,045	合計	47,982	100,045

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
20101 交通事故	2,951	1,328	11_23101 交通事故	2,951	1,328
20102 転倒・転落・墜落	5,099	4,481	11_23102 転倒・転落・墜落	5,088	4,479
			11_23103 不慮の溺死及び溺水	11	2
20103 不慮の溺死及び溺水	4,070	3,620	11_23103 不慮の溺死及び溺水	4,070	3,620
20104 不慮の窒息	4,072	4,023	11_23104 不慮の窒息	4,072	4,023
20105 煙、火及び火炎への曝露	595	409	11_23105 不慮の熱への曝露	586	406
			11_23106 不慮の有害物質へ曝露	9	3
20106 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	333	212	11_23106 不慮の有害物質へ曝露	333	212
20107 その他の不慮の事故	5,274	2,717	11_22000 傷病及び死亡の外因	2	2
			11_23105 不慮の熱への曝露	712	524
			11_23107 その他の不慮の事故	4,560	2,191
			対象外(X章)	0	0
合計	22,394	16,790	合計	22,394	16,790

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
20200 自殺	13,668	5,757	11_23107 その他の不慮の事故	358	185
			11_23200 故意の自傷及び自殺	13,310	5,572
20300 他殺	131	168	11_23300 加害にもとづく傷害及び死亡	131	168
20400 その他の外因	4,464	3,342	11_23101 交通事故	89	44
			11_23107 その他の不慮の事故	2,154	1,785
			11_23400 その他の外因	2,221	1,513
合計	18,263	9,267	合計	18,263	9,267

死因簡単分類 10	男性	女性	死因簡単分類 11	男性	女性
22100 重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0	11_01500 重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0
22200 その他の特殊目的用コード	0	0	11_25100 COVID-19 関連病態	0	0
合計	0	0	合計	0	0

わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察

- ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析 -

小川俊夫^{*1}、滝澤雅美^{*2}、今井 健^{*3}、高橋幸恵^{*2}、坂本幸平^{*2}、小松雅代^{*4}、向野雅彦^{*5}、今村知明^{*6}

*1 摂南大学、*2 国際医療福祉大学、*3 東京大学、*4 大阪大学、*5 藤田医科大学、*6 奈良県立医科大学

**A Study on the Impact of Applying ICD-11 to Japan's Official Statistics
- Development and impact analysis of ICD-11-based "the condensed list of causes of death for Japan" -**Toshio Ogawa^{*1}, Masami Takizawa^{*2}, Takeshi Imai^{*3}, Yukie Takahashi^{*2}, Kohei Sakamoto^{*2}Masayo Komatsu^{*4}, Masahiko Mukaino^{*5}, Tomoaki Imamura^{*6}

*1 Setsunan University, *2 International University of Health and Welfare, *3 The University of Tokyo,

*4 Osaka University, *5 Fujita Health University, *6 Nara Medical University

As the current classifications of causes of death and disease used in Japan's official statistics are constructed in accordance with ICD-10, these classifications would be necessary to be updated in accordance with the introduction of the new classification of disease, namely ICD-11. Purpose of this study is to develop a new classification of the "the condensed list of causes of death for Japan" based on the ICD-11, and to analyse the changes of the vital statistics between current and new classifications. We develop a new "the condensed list of causes of death for Japan" based on the ICD-11 using the ICD-10/11 mapping table developed by WHO and vital statistics of Japan. We estimated the changes in the aggregated values of vital statistics 2019 by the current and newly developed classification. As the new classification was developed based on the structure of ICD-11, the number of aggregated items would increase compared with the current one. In addition, aggregated number of deaths was estimated differently between current and new classifications. This study indicated that the introduction of ICD-11 would be influenced on the Japan's official statistics. It is necessary to conduct a further study on the impact of the ICD-11 introduction on the Japan's official statistics.

Keywords: ICD-10, ICD-11, vital statistics, the condensed list of causes of death for Japan

1. 背景

わが国の公的統計に用いられている現行の死因分類や疾病分類は、ICD-10 国内適用に伴い ICD-10 準拠で構築されている。現在、わが国では ICD-11 の国内適用に向けて様々な準備が行われているが、公的統計で使用されている各種分類も、ICD-11 の国内適用に伴い ICD-11 準拠に変更する必要があると考えられる。また、前回の ICD-9 から ICD-10 への改訂時には、新たな分類準拠の死因統計分類の構築と新旧分類の比較分析がなされており、ICD-11 の国内導入に伴い、同様の検討が必要と考えられる。

本研究は、死因統計に用いられている死因簡単分類について、現行の ICD-10 準拠から ICD-11 準拠への改訂を試行し、新たな分類が死因統計に与える影響について考察することを目的として実施する。

2. 方法

WHO より作成・公開されている ICD-10/ICD-11 のマッピングテーブル (ICD-10/11 mapping tables)²⁾と 2013 年版準拠・基本分類表³⁾、死因簡単分類表⁴⁾、人口動態調査下巻・死亡数、死因 (死因基本分類)・性別表 (以下、死亡数表)⁵⁾を名寄せし、ICD-11 準拠の新たな死因簡単分類の構築を試行し、新旧の死因簡単分類の比較分析を実施した。

2.1 新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類の作成

ICD-10/11 mapping tables、基本分類表、死因簡単分類表、死亡数表を、ICD-10 コード (死因基本分類) をキー変数として名寄せした。なお、ICD-10/11 mapping tables に記載された項目によっては、単一の ICD-10 コードに複数の ICD-11 MMS コードが記載されているため、ICD-10/11 mapping tables

とその他のテーブルは、1 対多対応で付加した。また、基本分類表及び死亡数表にのみ記載され、ICD-10/11 mapping tables には存在しない主としてわが国の独自コードについても名寄せし、全ての項目を収載した「統合表」を作成した。

統合表において、わが国独自コードなど一部の項目には ICD-11 MMS コードが付加されなかったため、ICD-10 と ICD-11 MMS の項目名、ICD-10 準拠の死因簡単分類などを勘案し、ICD-11 MMS コードを推定し付加した。また、ICD-11 MMS コードから ICD-11 MMS の章を推定した。

次に、統合表に記載されている現行の ICD-10 準拠の死因簡単分類 (以下、死因簡単分類 10) を参考にし、ICD-11 MMS コード・章の情報をもとに、新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類 (以下、死因簡単分類 11) の作成を試行した。死因簡単分類 11 の作成にあたり、構造は ICD-11 MMS の章に準拠し、かつ既存の死因簡単分類 10 で用いられている項目をそのまま継続する方向で作成した。

死因簡単分類 11 においては、新たなコード体系を作成した。作成した新たなコードは、死因簡単分類 10 と同様に 5 桁の数字としたが、死因簡単分類 10 との差別化を図るため最初に「11」を付与した。ついで、ICD-11 MMS の章番号の 2 桁 (01 から 25 まで) を付与し、ICD-11 MMS コードの出現順に残り 3 桁コードを付与した。また、死因簡単分類 10 の末尾 2 桁に数字が入っている詳細項目 (例えば、09101 高血圧性心疾患及び心腎疾患や 02119 白血病) については、死因簡単分類 11 でも同様に詳細項目を維持するとともに、それぞれの集計項目を作成した。さらに、新型コロナウイルス関連コード (U07.1 ~ U10.9) は、「11_25100 COVID-19 関連病態」として新規追加した。

なお、ICD-11 MMS コードの項目名は、研究実施時点では

まだ正式な日本語版が存在していないため、それぞれの項目を google translate を用いて日本語に自動翻訳した結果であり、仮訳である。

2.2 新旧の死因簡単分類の死亡者数の比較分析

統合表において、単一の ICD-10 コードに対して複数の ICD-11 MMS コードが付与されている項目については、現行の ICD-10 コードで集計された死亡者数データを、それぞれの ICD-11 MMS コードに「分配」する必要がある。本研究では、死亡者数を複数の ICD-11 MMS コードに分配する場合、各コードに均等配分されると仮定し分配した。

また、ICD-11 MMS の項目によっては、複数のコードの組み合わせが存在する。例えば、「1A00&XN8P1」(コレラ菌によるコレラ)や「1C17.Z/GB52」(その他のジフテリア)である。このうち、「&」を用いて複数のコードが組み合わされた項目については、最初に記載されたコードを親コードと仮定し、最初のコードで集計を実施した。「/」で複数のコードが組み合わされた項目については、それぞれで主たるコードを判定した。さらに、ICD-11 MMS の X 章のコードが記載された項目が存在するが、X 章は死因統計では利用しない章とされていることから死亡者数の配分はなしとした。

上記の死亡者数の処理に基づき、死因簡単分類 11 での死亡数を推計し、また現行の死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 の死亡数の集計値の違いについて、ICD-10 と ICD-11 MMS の章ごとに解析を実施した。

3. 結果

3.1 新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類の作成

ICD-10/11 mapping tables と基本分類表、死因簡単分類表、死亡数表の名寄せにより「統合表」を作成した。この統合表に収載された項目数は 21,042 項目であり、その内訳は、ICD-10/11 mapping tables に収載されていた 15,350 項目、基本分類表のみに収載されていた 3,350 項目、死亡数表のみに収載されていた 2,342 項目であった。

この統合表を用いて、新たな ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類である死因簡単分類 11 を作成した(表1)。死因簡単分類 11 の項目数は集計項目も含めると 143 項目であり、死因簡単分類 10 の 136 項目より 7 項目増加した。

3.2 新旧の死因簡単分類の死亡者数の比較分析

死因簡単分類 10 と死因簡単分類 11 を用いて、それぞれ ICD-10 と ICD-11 MMS の章ごとに、2019 年の死亡者数を集計し、比較した(表2)。なお、ICD-10 と 11 では章立てが異なっており、本研究で使用した章は、それぞれ ICD-10 で 22 章、ICD-11 では対象外の X 章も含めて 26 章で、それぞれ対応する章ごとに死亡者数の集計値を比較した。

ICD-10 と 11 の章で死亡者数が同じと推計されたのは、ICD-10 の「7 章 眼及び付属器の疾患」、「8 章 耳及び乳様突起の疾患」、「15 章 妊娠、分娩及び産後」のみであり、これら以外の章では ICD-11 準拠の死因簡単分類 11 の適用により、集計値が異なると推計された。このうち、ICD-10 と比較して ICD-11 MMS で死亡者数が最も大きく増加すると推計された章は、「5 章 精神及び行動の障害」(23,542 から 38,607 人に、15,065 人増)と「6 章 神経系の疾患」(51,117 から 141,747 人に、90,630 人増)であり、逆に死亡者数が最も大

く減少すると推計されたのは、「9 章 循環器系の疾患」(350,505 から 232,820 人に、117,685 人減)と「11 章 消化器系の疾患」(52,742 から 43,063 人に、9,679 人減)、「13 章 筋骨格系及び結合組織の疾患」(8,996 から 4,702 人に、4,294 人減)であった。

4. 考察

ICD-11 は 2018 年 6 月に公表されたのち、2019 年 5 月の World Health Assembly にて承認され、その後各国への導入に向けた準備が始められている。わが国においても ICD-11 の導入に向け、わが国の臨床や研究で利用されている従来分類との整合性の確保や ICD-11 の日本語化など具体的な検討が実施されている。この検討の一環として、ICD-11 のわが国への適用に伴い、各種公的統計への影響について把握することは、わが国の公的統計の継続性と整合性を確保するために極めて重要である。

わが国で現在公示され使用されている ICD-10 (2013 年版)に準拠した「疾病、傷害及び死因」の統計分類は、(1)基本分類表、(2)疾病分類表(大分類、中分類、小分類)、(3)死因分類表である。このうち、死因簡単分類は、わが国の死因構造を概観することを目的に、死因基本分類表から WHO の死亡製表用リストを参考にして作成された分類表である⁹⁾。

本研究で構築を施行した死因簡単分類 11 は、従来の死因簡単分類 10 の各疾病項目を維持しつつ、ICD-11 MMS の構造を併せ持つものである。そのため、統計情報の継続性を維持しつつ新たな疾病分類の概念の導入を実現できると考えられ、今後のわが国の死因基本分類構築に大きく貢献できると期待される。

死因簡単分類 11 の項目については、ICD-10 から ICD-11 MMS への構造変化に伴い、死因簡単分類 10 では全体で 136 項目、うち章ごとの集計項目などの中間集計項目を除いた項目数は 110 項目であったが、死因簡単分類 11 では 116 項目に増加した。また死因簡単分類 10 の 110 項目のうち 67 項目(60.9%)は死因簡単分類 11 でも死亡数と同じと推計されたが、残りの 33 項目については死亡数が増減し、6 項目は死因簡単分類 11 で新規に追加された項目であった。すなわち、死因簡単分類の改訂を行うことで、死亡者数が変化する項目が 3 割以上存在することが明らかとなった。このことは、統計情報の継続性の観点から、注意が必要である。

また、死因簡単分類を集計することで、ICD の章ごとの死亡数の推計が可能であるが、新旧の分類で多くの章で変化が見られた。特に、ICD-10 と 11 の章で大きく増加すると推計されたのは、ICD-10 の章立てでは、「5 章 精神及び行動の障害」と「6 章 神経系の疾患」であり、逆に大きく減少すると推計されたのは「9 章 循環器系の疾患」と「11 章 消化器系の疾患」、「13 章 筋骨格系及び結合組織の疾患」であった。

このうち、「5 章 精神及び行動の障害」については、認知症がこれまで「6 章 神経系の疾患」に区分されていたが、ICD-11 MMS では「精神障害、行動障害、または神経発達障害」として区分されたためと考えられる。「6 章 神経系の疾患」は、上述した認知症の移動が見られたものの、脳血管疾患が「9 章 循環器系の疾患」から移動したため、全体としては死亡者数の増加に繋がったと考えられる。

一方で、脳血管疾患が「9 章 循環器系の疾患」から「神経系の疾患」に移動したため、ICD-11 MMS では「循環器系の疾患」の死亡者数が大きく減少したと考えられる。また、「11 章 消化器系の疾患」については、「K92.2 胃腸出血、詳細不明」などが「その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されな

いもの」に移動したため項目数が減少したと考えられる。「13 章 筋骨格系及び結合組織の疾患」については、全身性エリテマトーデスや多発(性)血管炎、全身性硬化症などが、ICD-11 MMS では「免疫系の疾患」として区分されたため、死亡者数が大きく減少したと考えられる。

本研究で構築を試行した死因簡単分類 11 については、以下の課題が存在する。第一に、死因簡単分類は WHO が構築し公表している ICD-10/11 mapping tables を用いて作成した。しかしながら、この対応表は完成版ではなく精緻化の途中と考えられることから、今後、WHO によるアップデートなどにより、死因簡単分類 11 の内容や構造に影響があると考えられる。

第二に、本研究では複数の表を、ICD-10 コードをキー変数として名寄せしたが、WHO による ICD-10/11 mapping tables では、一つの ICD-10 コードに対して複数の ICD-11 MMS コードが付与されているものがあり、このような 1 対多対応については、本研究においては死亡者数を均等配分した。しかしながら、実際には特定の項目に死亡者数が集中することも想定され、今後より詳細な検討が必要である。また、複数の ICD-10 コードが複数の ICD-11 MMS コードに置換されているような、いわゆる多対多対応のケースが仮にあるとしたら、本研究の方法では対応できていない。さらに、わが国の臨床で用いられている標準病名はより詳細なコード体系であり、本研究で作成した死因簡単分類 11 と標準病名との対応はできていないのが現状である。今後、標準病名マスターを用いた検討を行うことで、より精緻な ICD-10 と ICD-11 MMS の対応表の作成が可能となり、その結果としてより精緻な死因簡単分類 11 の構築が可能と考えられる。

第三に、本研究で死因簡単分類 11 の作成にあたり、作成に用いたマッピングテーブルや基本分類表に記載されている項目のうち突合できない項目も見られた。これらの項目は個々に手作業で追加したほか、ICD-10 コードや ICD-11 MMS コードの一部は手作業で付加したため、今後付加したコードの妥当性の検討が必要である。

第四に、昨今の COVID-19 感染者数及び死亡者数の増加により、わが国をはじめ各国の疾病構造や死因も大きく変容していると考えられる。今般の新たな公的統計に用いる分類の構築には、最新の疾病構造を考慮する必要があると考えられるが、本研究ではこの点は充分には配慮できていない。今後 WHO や厚生労働省とも協議しつつ、本研究を進める必要があると考えられる。

本研究により、ICD-10 から ICD-11 への構造変更に伴い、死因簡単分類の項目が変化し、それにより死因統計の集計

値が変動することで、わが国の公的統計に影響があることが示唆された。今後、同様の検討を疾病統計に用いられている傷病分類などについても実施し、わが国への ICD-11 適用が死因統計や疾病統計など公的統計に与える影響について精査する必要がある。また、公的統計の継続性を維持しつつ、新たな疾病分類のわが国への円滑な導入を図る必要がある。

謝辞

本研究は、令和 3 年度厚生労働科学研究費補助金・政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究(20AA1002)」(研究代表者:摂南大学・小川俊夫)の一環として実施した。

参考文献

- 1) 厚生労働省. 第 10 回修正死因統計分類(ICD-10)と第 9 回修正死因統計分類(ICD-9)の比較.
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/sippe/icd.html> (2021.06.17 ダウンロード)
- 2) WHO. ICD-10/11 mapping tables.
<https://icd.who.int/browse11/Downloads/Download?fileName=mapping.zip> (2021.08.21 ダウンロード)
- 3) 厚生労働省. 基本分類表(2013 年版準拠)
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/sippe/> (2021.06.17 ダウンロード)
- 4) 厚生労働省. 死因簡単分類表 人口動態調査・死因簡単分類と死因基本分類との対照表
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031982734&fileKind=0> (2021.06.17 ダウンロード)
- 5) 厚生労働省. 人口動態調査の結果表 人口動態調査下巻・死亡数, 死因(死因基本分類)・性別
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031982790&fileKind=1>
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031982791&fileKind=1> (2021.06.17 ダウンロード)
- 6) 厚生労働省. 平成 29 年人口動態統計・報告書

表1 ICD-11 MMS 準拠の死因簡単分類(死因簡単分類 11)と2019年死亡者数推計

死因簡単分類11	死亡数・2019年		
	合計	男性	女性
11.01000 特定の感染症または寄生虫症	28,331	13,885	14,346
11.01100 胃腸炎または感染性大腸炎	2,262	1,006	1,256
11.01200 結核	2,087	1,173	914
11.01201 呼吸器結核	1,801	1,055	746
11.01202 その他の結核	286	118	168
11.01300 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	41	40	1
11.01400 細菌性髄膜炎	450	258	192
11.01500 重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0	0
11.01600 インフルエンザ	3,575	1,903	1,672
11.01700 ウイルス性肝炎	2,658	1,225	1,433
11.01701 B型ウイルス性肝炎	338	208	128
11.01702 C型ウイルス性肝炎	2,122	914	1,208
11.01703 その他のウイルス性肝炎	200	103	97
11.01800 敗血症	10,222	5,079	5,143
11.01900 その他の感染症及び寄生虫症	7,037	3,302	3,735
11.02000 新生物	390,182	227,678	162,503
11.02100 脳または中枢神経系の新生物	5,706	3,032	2,674
11.02101 脳又は中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	2,886	1,655	1,231
11.02102 脳又は中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	2,820	1,377	1,443
11.02200 造血組織またはリンパ組織の新生物	32,179	18,568	13,611
11.02201 白血病	9,288	5,612	3,677
11.02202 悪性リンパ腫	13,235	7,342	5,893
11.02203 その他の造血組織又はリンパ組織の悪性新生物	4,431	2,312	2,119
11.02204 造血組織又はリンパ組織のその他の新生物	5,225	3,303	1,922
11.02300 リンパ系、造血系、中枢神経系または関連組織の原発性新生物を除く悪性新生物	352,298	206,079	146,219
11.02301 口唇、口腔または咽頭の悪性新生物	7,764	5,504	2,260
11.02302 食道および食道胃接合部の悪性新生物<腫瘍>	11,619	9,571	2,048
11.02303 胃の悪性新生物<腫瘍>	42,931	28,043	14,888
11.02304 結腸の悪性新生物<腫瘍>	35,599	17,517	18,082
11.02305 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	15,821	9,899	5,922
11.02306 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	25,264	16,750	8,514
11.02307 脾の悪性新生物<腫瘍>	36,356	18,124	18,232
11.02308 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	17,924	9,341	8,583
11.02309 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	863	806	57
11.02310 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	75,394	53,338	22,056
11.02311 皮膚の悪性新生物<腫瘍>	1,702	848	854
11.02312 乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,935	96	14,839
11.02313 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,805	0	6,805
11.02314 卵巢の悪性新生物<腫瘍>	4,733	0	4,733
11.02315 前立腺の悪性新生物<腫瘍>	12,544	12,544	0
11.02316 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	8,913	6,016	2,897
11.02317 リンパ系、造血系、中枢神経系又は関連組織の原発性新生物を除くその他の悪性新生物<腫瘍>	33,131	17,682	15,449
11.03000 血液または造血器系の疾患	3,545	1,581	1,964
11.03100 貧血	1,740	693	1,046
11.03200 その他の血液又は造血器系の疾患	1,805	888	917
11.04000 免疫系の疾患	3,722	1,514	2,208
11.05000 内分泌、栄養または代謝性疾患	22,761	11,795	10,966
11.05100 糖尿病	13,831	7,608	6,223
11.05200 その他の内分泌、栄養又は代謝疾患	8,930	4,187	4,743
11.06000 精神障害、行動障害、または神経発達障害	38,607	13,748	24,860
11.06100 認知症	36,006	12,770	23,836
11.06200 その他の精神、行動又は神経発達障害	2,601	978	1,024
11.07000 聴覚覚醒障害	119	66	53
11.08000 神経系の疾患	141,747	69,692	72,055
11.08100 パーキンソン病	3,735	1,880	1,855
11.08200 アルツハイマー病	5,518	2,003	3,515
11.08300 脳血管疾患	105,743	51,364	54,379
11.08301 脳内出血	32,776	17,957	14,819
11.08302 くも膜下出血	11,731	4,319	7,412
11.08303 脳虚血性脳卒中	59,267	28,172	31,095
11.08304 その他の脳血管疾患	1,969	916	1,053
11.08400 運動ニューロン疾患及び脊髄性筋萎縮症	2,660	1,534	1,126
11.08500 その他の神経系の疾患	24,092	12,912	11,180
11.09000 眼及び付属器の疾患	2	2	0
11.10000 耳及び耳嚢突起の疾患	15	9	6
11.11000 循環器系の疾患	232,820	108,747	124,073
11.11100 高血圧性疾患	9,549	3,971	5,578
11.11101 高血圧性心疾患	5,601	2,246	3,355
11.11102 その他の高血圧性疾患	3,948	1,725	2,223
11.11200 虚血性心疾患	198,950	92,833	106,017
11.11201 急性心筋梗塞	31,527	18,146	13,381
11.11202 その他の虚血性心疾患	35,799	21,441	14,358
11.11203 慢性リウマチ性心疾患	2,046	666	1,380
11.11204 慢性非リウマチ性心内臓疾患	11,783	3,761	8,022
11.11205 心筋症	3,820	2,106	1,634
11.11206 不整脈及び伝導障害	20,899	9,281	11,618
11.11207 心不全	89,804	35,613	54,190
11.11208 その他の心疾患	3,273	1,839	1,434
11.11300 大動脈瘤又は解離	18,830	9,342	9,488
11.11400 その他の循環器系の疾患	5,491	2,501	2,990
11.12000 呼吸器系の疾患	190,532	112,718	77,815
11.12100 慢性閉塞性肺疾患	17,836	14,822	3,014
11.12200 喘息	1,481	555	926
11.12300 肺炎	95,500	53,062	42,438
11.12400 急性気管支炎	371	137	234
11.12500 肺膿瘍及び間質性肺疾患	59,873	35,540	24,333
11.12501 肺膿瘍	40,385	22,899	17,486
11.12502 間質性肺疾患	19,488	12,641	6,847
11.12600 その他の呼吸器系の疾患	15,471	8,602	6,870
11.13000 消化器系の疾患	43,063	23,516	19,547
11.13100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,499	1,427	1,072
11.13200 ヘルニア及び閉塞	7,127	3,348	3,779
11.13300 肝疾患	17,398	11,314	6,084
11.13301 肝硬変(アルコール性を除く)	8,068	4,389	3,699
11.13302 その他の肝疾患	9,310	6,925	2,385
11.13400 その他の消化器系の疾患	16,039	7,427	8,613
11.14000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,346	984	1,362
11.15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,702	1,883	2,819
11.16000 泌尿生殖器系の疾患	40,438	18,665	21,773
11.16100 糸状体疾患及び腎尿管間質性疾患	4,611	1,764	2,847
11.16200 泌尿器系の疾患	28,644	13,573	13,071
11.16201 急性腎不全	2,596	1,211	1,385
11.16202 慢性腎臓病	19,534	10,268	9,266
11.16203 詳細不明の腎不全	4,514	2,094	2,420
11.16300 その他の腎臓生殖器系の疾患	9,183	3,328	5,855
11.17000 性的健康に関連する条件	0	0	0
11.18000 妊娠、分娩又は産褥	32	0	32
11.19000 周産期に起因する特定の状態	471	262	209
11.19100 周産期に発生した病態	39	23	16
11.19200 出生時の怪我	9	4	5
11.19300 胎児または新生児の感染症	30	20	10
11.19400 胎児または新生児の出血性または血液学的障害	56	33	23
11.19500 周産期又は新生児期に特有の呼吸器疾患及び心血管障害	267	146	121
11.19600 その他の周産期に発生した病態	70	36	34
11.20000 発達障害	1,896	878	1,018
11.20100 神経系の構造的発達異常	92	54	38
11.20200 循環器系の発達障害	821	378	443
11.20201 心臓の構造的発達異常	558	281	277
11.20202 その他の循環器系の構造的発達異常	263	97	166
11.20300 消化管の構造的発達異常	107	54	53
11.20400 その他の発達異常	418	208	210
11.20500 遺伝子変異を除く染色体異常	458	184	274
11.21000 他に分類されていない症状、徴候または臨床所見	169,048	59,043	110,006
11.21100 老衰	121,863	31,722	90,141
11.21200 乳幼児突然死症候群	78	47	31
11.21300 その他の症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの	47,107	27,274	19,834
11.22000 傷害及び死亡の外因	4	2	2
11.23000 外傷、中毒、またはその他の外因	66,710	40,655	26,055
11.23100 外的要因による傷害	43,795	24,993	18,802
11.23101 交通事故	4,412	3,040	1,372
11.23102 転倒・転落・墜落	9,567	5,088	4,479
11.23103 不慮の溺死及び溺水	7,703	4,081	3,622
11.23104 不慮の窒息	8,095	4,072	4,023
11.23105 不慮の熱への曝露	2,228	1,298	930
11.23106 不慮の有害物質への曝露	557	342	215
11.23107 その他の不慮の事故	11,233	7,072	4,161
11.23200 故意の自傷及び自殺	18,882	13,310	5,572
11.23300 加害にもとづく傷害及び死亡	299	131	168
11.23400 その他の外因	3,734	2,221	1,513
11.24000 健康状態または医療サービスとの接触に影響を与える要因	0	0	0
11.25000 特殊目的用コード	0	0	0
11.25100 COVID-19関連病態	0	0	0
対象外(X章)	0	0	0
合計	1,381,093	707,421	673,672

一般口演 6 : 2-D-1-05

表 2 新旧・死因簡単分類を用いた 2019 年死亡者数の ICD -10 及び ICD-11 MMS の章集計の比較

ICD-10	合計	男性	女性	ICD-11 MMS	合計	男性	女性
01000 感染症及び寄生虫症	23,544	11,531	12,013	11.01000 特定の感染症または寄生虫症	28,331	13,985	14,346
02000 新生物<腫瘍>	389,867	227,545	162,322	11.02000 新生物	390,182	227,678	162,503
03000 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,454	1,996	2,458	11.03000 血液または造血器の疾患	3,545	1,581	1,964
04000 内分泌、栄養及び代謝疾患	22,144	11,500	10,644	11.04000 免疫系の疾患	3,722	1,514	2,208
05000 精神及び行動の障害	23,542	8,675	14,867	11.05000 内分泌、栄養または代謝性疾患	22,761	11,795	10,966
06000 神経系の疾患	51,117	23,476	27,641	11.06000 精神障害、行動障害、または神経発達障害	38,607	13,748	24,860
07000 眼及び付属器の疾患	2	2	0	11.07000 睡眠覚醒障害	119	66	53
08000 耳及び乳突突起の疾患	15	9	6	11.08000 神経系の疾患	141,747	69,692	72,055
09000 循環器系の疾患	350,505	166,909	183,596	11.09000 眼及び付属器の疾患	2	2	0
10000 呼吸器系の疾患	193,234	114,136	79,098	11.10000 耳及び乳突突起の疾患	15	9	6
11000 消化器系の疾患	52,742	28,065	24,677	11.11000 循環器系の疾患	232,820	108,747	124,073
12000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,682	1,117	1,565	11.12000 呼吸器系の疾患	190,532	112,718	77,815
13000 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,996	3,644	5,352	11.13000 消化器系の疾患	43,063	23,516	19,547
14000 泌尿路生殖器系の疾患	40,946	18,972	21,974	11.14000 皮膚及び皮下組織の疾患	2,346	984	1,362
15000 妊娠、分娩及び産じょく	32	0	32	11.15000 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,702	1,883	2,819
16000 周産期に発生した病態	454	251	203	11.16000 泌尿生殖器系の疾患	40,438	18,665	21,773
17000 先天奇形、変形及び染色体異常	2,076	954	1,122	11.17000 性的健康に関連する条件	0	0	0
18000 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	148,027	47,982	100,045	11.18000 妊娠、分娩又は産褥	32	0	32
20000 傷病及び死亡の外因	66,714	40,657	26,057	11.19000 周産期に起因する特定の状態	471	262	209
22000 特殊目的用コード				11.20000 発達障害	1,896	878	1,018
合計	1,381,093	707,421	673,672	11.21000 他に分類されていない症状、徴候または臨床所見	169,048	59,043	110,006
				11.22000 傷病及び死亡の外因	4	2	2
				11.23000 外傷、中毒、またはその他の外因	66,710	40,655	26,055
				11.24000 健康状態または医療サービスとの接触に影響を与える要因	0	0	0
				11.25000 特殊目的用コード	0	0	0
				対象外(X章)	0	0	0
				合計	1,381,093	707,421	673,672

わが国の公的統計へのICD-11適用の 影響に関する一考察

－ ICD-11準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析 －

第41回医療情報学連合大会(於名古屋国際会議場)

2021年11月19日(金)

小川俊夫¹、滝澤雅美²、今井 健³、高橋幸恵²、坂本幸平²、
小松雅代⁴、向野雅彦⁵、今村知明⁶

1 摂南大学、2 国際医療福祉大学、3 東京大学、
4 大阪大学、5 藤田医科大学、6 奈良県立医科大学

SETSUNAN UNIVERSITY

第41回医療情報学連合大会 COI 開示

演題名: わが国の公的統計へのICD-11適用の影響に
関する一考察:ICD-11準拠の死因簡単分類
構築の試行と影響分析

筆頭演者: 小川俊夫

私が発表する今回の演題について
開示すべきCOIはありません。

SETSUNAN UNIVERSITY

背景と目的

- わが国の公的統計に用いられている現行の死因分類や疾病分類は、ICD-10国内適用に伴いICD-10準拠で構築されている
- 公的統計で使用されている各種分類は、ICD-11の国内適用に伴いICD-11準拠に変更する必要がある
 - 前回のICD-9からICD-10への改訂時には、新たな分類準拠の死因統計分類の構築と新旧分類の比較分析がなされており、ICD-11の国内導入に伴い、同様の検討が必要
- 本研究は、死因統計に用いられている死因簡単分類について、現行のICD-10準拠からICD-11準拠への改訂を試行し、新たな分類が死因統計に与える影響について考察することを目的として実施する。

SETSUNAN UNIVERSITY

方法(1)ICD-11MMS準拠の死因簡単分類作成

- ICD-11 MMS準拠の死因簡単分類を作成
 - 現行の死因簡単分類の構造をできるだけ維持
 - ICD-11 MMSで採用された新たな章立てを適用
 - ICD-11 MMS準拠の死因簡単分類における新たなコード体系を作成
 - 現行のコード体系5桁を維持
 - ICD-11MMS準拠の死因簡単分類には、「11」と5桁コードを組み合わせ
 - 5桁のうち最初の2桁は章番号とし、残りの3桁は出現順に付加

SETSUNAN UNIVERSITY

方法(2)新旧の死因簡単分類の死亡者数の 比較分析

- ICD-10コードをキー変数として各種統計表を名寄せ
 - ICD-10/11 mapping tables(2021年8月21日ダウンロード)
 - 基本分類表(2021年8月17日ダウンロード)
 - 死因簡単分類表(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saiken/hw/jinkou/houkoku17/d/08.pdf>)
 - 人口動態統計下巻・死亡数(令和元(2019)年)
- ICD-11 MMSの項目名は、google translateを用いて自動翻訳した訳文
 - ICD-10/11 mapping tablesで同一のICD-10コードに複数のICD-11 MMSコードが記載されている項目は、ICD-10/11 mapping tablesとその他のテーブルは、1対多対応で付加
 - わが国独自コードなど一部の項目にはICD-11 MMSコードを推定し付加
- 人口動態統計下巻・死亡数(令和元(2019)年)、死因(死因基本分類)・性別表から新たな死因簡単分類ごとの死亡者数を推計し、新旧分類で比較
 - 単一のICD-10コードに対して複数のICD-11 MMSコードが付与されている項目については、各コードに均等配分されると仮定
 - ICD-11 MMSの複数のコードの組み合わせは、以下のように処理
 - 「&」が用いられた項目(例えば、「I60&I69」)は、最初に記載されたコードを親コードと仮定し、最初のコードで集計を実施
 - 「/」が用いられた項目(例えば、「I0172/GB52」)その他のジフテリアについては、それぞれでまとめるコードを判定

4

結果(1)ICD-11 MMS準拠の死因簡単分類作成

- 新たなICD-11 MMS準拠の死因簡単分類を作成
 - 新たな死因簡単分類の項目数は、集計項目も含めると143項目(現行136項目より7項目増加)
 - 新型コロナウイルス関連コード(U07.1～U10.9)は、「11_25100 COVID-19 関連病態」として新規追加

新旧・死因簡単分類の例(第1章)

ICD-10分類・コード名	ICD-11 MMS分類・コード名
01000 感染症及び寄生虫病	11_01000 感染症及び寄生虫病
01100 結核	11_01100 結核
01200 梅毒	11_01200 梅毒
01300 淋病	11_01300 淋病
01400 その他の細菌性疾患	11_01400 その他の細菌性疾患
01500 真菌性疾患	11_01500 真菌性疾患
01600 その他の真菌性疾患	11_01600 その他の真菌性疾患
01700 公認伝染性疾患	11_01700 公認伝染性疾患
01800 その他の伝染性疾患	11_01800 その他の伝染性疾患
01900 その他の伝染性疾患	11_01900 その他の伝染性疾患
02000 結核及び寄生虫病	11_02000 結核及び寄生虫病

SETSUNAN UNIVERSITY

5

結語

- 本研究は、公的統計のICD-11準拠への改訂を死因簡単分類をケースとして試行し、実現可能性と妥当性について検討を行った。
- 本研究により、ICD-10からICD-11への構造変更に伴い、死因簡単分類の項目が変化し、それにより死因統計の集計値が変動することで、わが国の公的統計に影響があることが示唆された。
- 今後、わが国へのICD-11適用が死因統計や疾病統計など公的統計に与える影響について精査する必要がある。また、公的統計の継続性を維持しつつ、新たな疾病分類のわが国への円滑な導入を図る必要がある。

本研究は、令和3年度厚生労働科学研究費補助金・政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究（20AA1002）」（研究代表者：摂南大学・小川俊夫）の一環として実施した。

ご清聴ありがとうございました

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際統計分類の国内導入のための研究」
分担研究報告書(令和3年度)

ICD-11 と標準病名マスターとのマッピングに関する研究

研究分担者 今井 健 (東京大学大学院医学系研究科)

研究要旨

疾病及び関連保険問題の国際統計分類(ICD)の第 11 版改訂(ICD-11)が WHO によりリリースされ、今後国内適用に向けた準備が急務となっている。本研究班全体の目標は ICD-11 国内導入に資する各種分析を行い基礎資料として取りまとめることであるが、本分担研究ではその中でも特に、これまで ICD-10 に準拠して構築され広く診療現場において用いられてきた標準病名マスターとどのように整合性を取るか、を検討することを目的とする。既に昨年度研究で、ICD-11 自体の和訳のみでは標準病名と一致させることは難しく、Post-Coordination を駆使した対応付けが必要で、国内導入にあたりこの作業が極めて重要であることが判明している。そこで標準病名マスター中の7個の ICD-10 章(1,2,4,6,9,10,13)の病名を対象に ICD-11 への対応付け作業を行っている。本年度は、2 章について同作業を続行すると共に、新規に 12 個の章(3,5,7,8,11,12,14,15,16,17,18,19)について ICD-11 への対応付け作業を行った。結果として 2 章の一部と見直し作業が残っているが、ほぼ全ての標準病名マスター中の病名について ICD-11 との対応付けが完了した。本成果は ICD-11 の円滑な国内導入に向けて(1)国内標準である標準病名マスターとの整合性を担保すると共に、(2)死亡表・死亡個表、患者調査における病名を ICD-11 コーディングすることにより、より詳細に各種統計への影響を分析するための貴重な基礎資料となるものである。

研究協力者

伊藤由美

国際医療福祉大学 准教授

坂本幸平

国際医療福祉大学 助教

坂本千枝子

国際医療福祉大学 准教授

高橋幸恵

国際医療福祉大学 助教

滝澤雅美

国際医療福祉大学 講師

A. 研究目的

疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)は、我が国では死亡統計を始め患者調査、医療保険制度、診療情報管理に広く活用されている。WHO が進めている ICD-10 から 11 への改訂においては我が国の医療実態を踏まえたより適切な医療情報を将来的に確保するために、我が国での適用に向けた ICD-11 の妥当性の検討を行う必要があり、研究班全体の目標は ICD-11 国内導入に資する各種の分析を行い基礎資料として取りまとめることである。これには複数の要素が含まれ、例えば公的統計への影響なども重要であるが、考慮すべきことはそれだけに止まらない。ICD-11 では (1) 分類体系の構造自体の変化 (2) 個々の分類概念の詳細化 (3) 単なる分類体系の提供から用語集の提供への変化 (4) Post-Coordination を用いた任意粒度での概念のコーディング、と言ったこれまでにない特徴があり、国内で

これまで用いられてきたコーディングスキームとは大きく異なっている。国内の電子カルテ環境では厚生労働省標準ともなっている ICD-10 対応電子カルテ用標準病名マスター（以下、標準病名マスター）が広く導入されており、病名の記録と ICD-10 コードへの対応づけが行われているだけでなく、

その ICD-10 コードは DPC など診療報酬請求にも広く用いられている。一方、ICD はこれまで単なる疾患分類のためのカテゴリ体系を提供するものであったが、ICD-11 からは Foundation Component 中に約 13 万語の用語セットが含まれ、大きく拡充されると共に用語集としての性質を帯びてきた。従って、ICD-11 の日本語版を作成し国内導入する際には、これまで国内で標準的に用いられてきた用語集とのダブルスタンダードを避け、円滑な移行を促すため整合性をとる必要がある。

そこで本分担研究では、これまで国内で用いられてきた ICD-10 ベースのコーディングスキーム、特に標準病名マスターに焦点を当て、ICD-11 を国内導入した際にどのように整合性を担保するべきかを検討することを目的とする。

[昨年度での重要な知見]

ICD-11 は疾病・傷病概念のコーディングに必要な全てのエンティティをプールする Foundation Component と、そこから死亡統計、罹患統計、プライマリ・ケアなど各種の目的に応じて適切な粒度を選択し、排他的分類体系として切り出した Linearization Component から成っている。エンドユーザーが使用するのは主に Linearization であるが、各種の Linearization の大元となるデータベースは Foundation Component であり、2020 年 6 月版では総数で 130,151 エンティティが含まれている。内訳を下記表 1 に示す。この中で定義文エンティティが 16,843、注記エンティティが 731 含まれているので、実質的な用語数は 112,577 語（カテゴリ名称約 3 万含む）である。各々の章に含まれる用語数は ICD-10 までと比べて大幅に増加し、Post-Coordination に使用される拡張用コード（X 章）も約 24,000 語を収載している。

章	内容 (略記)	全数	章	内容 (略記)	全数
1	感染症	8,174	15	筋骨格	6,696
2	新生物	8,138	16	泌尿器	4,361

3	血液	1,797	17	性保健	165
4	免疫	1,669	18	妊娠	2,370
5	内分泌	6,155	19	周産期	2,357
6	精神	3,709	20	発達異常	10,172
7	睡眠障害	250	21	症状所見	4,624
8	神経	5,588	22	損傷	7,617
9	視覚	3,759	23	外因	5,438
10	耳	663	24	保健サービス	2,996
11	循環器	4,143	25	特殊	47
12	呼吸器	2,785	26	伝統医学	1,102
13	消化器	5,921	V	生活機能	131
14	皮膚	4,902	X	拡張コード	24,422

表 1 ICD11Foundation の章ごとエンティティ数(2020/6 月)

この X 章は ICD-11 での大きな特徴であるが、臨床病態をより詳細にコーディングするために、重症度、時間的特徴、病因、位置関係、解剖構造、組織病理、損傷や外因の程度、意識レベル、物質・アレルゲン等々の用語が用意されている。21 章の症状・所見用語と合わせ、国内でこれまで存在してこなかった領域の標準的な用語集・コードセットとして機能する可能性を秘めている重要なパートである。今後、X 章を含めたこれら全体 11 万語の Foundation Component の日本語版を整備していく必要がある。この作業は厚生労働省が中心となり、各関連学会との連携のもと進められており、訳語候補の集約作業と事務局での確認作業を経て、現在最終確定作業が行われているところである。

一方、これまで我が国でも臨床現場で用いられる標準用語集やコード体系の策定が進められてきた。現在、17 の厚生労働省標準規格が定められており、その中で用語集・コード体系に関するものとしては、ICD10 対応標準病名マスター5）（以下標準病名マスター）、医薬品 HOT コードマスター、臨床検査マスター、また標準歯科病名マスターや看護実践用語標準マスターといったものが存在する。しかし臨床情報のコーディングに必要な様々な領域の用語という観点では未だカバー範囲は限定されており、症状・所見や解剖用語を始め、アレルギーや化学療法などでも標準的用語・コード体系は存在していない。その中で、電子カルテの普及に伴い、比較的国内普及が進んでいるものの 1 つが病名である。MEDIS-DC からリリースされている「ICD10 対応標準病名

マスター」は、我が国における標準病名集で、電子カルテで広く用いられている。また、事実上同じ中身のものが社会保険診療報酬支払基金からも「レセプト電算処理用傷病名マスター」としてリリースされており、レセプトの傷病名欄記載、あるいはDPCでも用いられている。

標準病名マスターは V5.04 版(2020 年 6 月)では病名基本テーブル 26,420 件、修飾語テーブル 2,393 件、索引テーブル 106,834 件の規模になっており、約 26,000 の病名代表表記と、対応する同義語・類義語、これらに Post-Coordination 用の修飾語を組み合わせて用いることができるようになってきている。今や用語集としての色合いを濃くした ICD-11 の日本語版の国内導入を今後考えていく上では、この現在用いられている標準病名マスターとの適切な統合は必要不可欠である。

標準病名マスターでの病名表記は代表表記・同義語・類義語を合わせて 107,760 語存在するが、この中にはカタカナ表記の同義語(48,966 語)も大量に含まれており、異字体による同義語(4,280 語)も除くと、実質的な病名は 50,042 語である。これらについては適切な形で ICD-11 日本語版と対応付けられることが必要となる。

昨年度調査において、2020 年 3 月時点での ICD-11 Foundation 日本語版作成作業中間データ(「ICD-11 日本語版(仮)」、候補用語約 10 万語)と標準病名マスター中の約 5 万語とで文字列が一致するものは約 8,600 語程度であり、対応付けができなかった病名数について、ICD-10 での章の上位は以下の様であることが判明している。

- ・ 5,129 S 章 (損傷・中毒)
- ・ 4,653 T 章 (損傷・中毒)
- ・ 4,125 C 章 (新生物)
- ・ 3,488 D 章 (新生物)
- ・ 3,483 M 章 (筋骨格、結合組織の疾患)

上位を占めたのは S,T (損傷・中毒)と C,D (新生物)である。この上位 5 つは標準病名マスターにもともと収載されている語数が多い章の順位とも一致しており、自然だと考えられる。

一方、標準病名マスターのこれらの章は、詳細な部位を予め病名に含めたものが数多く収載されているという特徴を持つ。例えば「第 3 足趾末節骨開放骨折」は、ICD10 では S925 (Fracture of other toe) の .1 (open) である S9251 に分類される。ICD11 では、これ

に直接対応する語は無いが、ND13.5 Fracture of other toe に対する Post-Coordination として表現されるべきものである。従って ICD-11 の日本語版と直接の完全一致用語が存在せずとも妥当である。実際、ND13.5 Fracture of other toe では、左右性、骨折のサブタイプ、開放・閉鎖の別、詳細な解剖部位を Post-Coordination で表現するため、「第 3 足趾末節骨開放骨折」も ND13.5 と、XA38Q1 (Distal phalanx of third toe) と XJ7YM (Open fracture) を組み合わせることで「完全に同一概念粒度で」コーディングされる。(MMS: “ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM”)

すなわち、標準病名マスターと、ICD-11 日本語版との単純な用語一致数を考慮してもあまり意味を持たず、現在の標準病名マスター中の用語が、ICD-11 日本語版でどのように Post-Coordination で表現されるか、を調査することが重要である。

B. 研究方法

ICD-11 の国内導入に向け、2020 年度までの厚生労働省内の作業により、既に各学会から寄せられた ICD-11 Foundation の用語に対する和訳案の集約作業が終了している。その後、2021 年度において各学会での和訳確認作業が行われ、2022 年初頭にこの集計が終了したところである。まだ最終確定していないため、本研究では 2020 年までに一旦集約が行われた和訳案セットを一時的な「ICD-11 日本語版(仮)」とみなした。既に昨年度、この「ICD-11 日本語版(仮)」と標準病名マスターとのカバレッジについて調査を行い、約 5 万語の標準病名の中で文字列完全一致により ICD-11 と対応付けが行えるのは約 8600 語(約 18%)程度と判明している。

また、標準病名マスターと一致しなかった事例について調査を行い、対応づけを行うための方策について検討を行った結果、ICD-11 の Post-Coordination 機能を用いないと既存の標準病名が ICD-11 と対応付けられない事例が多数存在することが判明している。

この分析結果に基づき、昨年度は標準病名マスター中の個々の病名について 7 つの ICD-10 章(1, 2, 4, 6, 9, 10, 13)を対象に、ICD-11 コードとのマッピング試行を完了している。

本年度はさらにこれを発展させるべく、作業が完了していない 2 章の作業を進めると共に、新規に 12 個の ICD-10 章(3,5,7,8,11,12,14,15,16,17,18,19)の標準病名に対し、ICD-11 とのマッピング作業を行った。また、この ICD-11

コーディングを行う上で注意すべき点や問題点について分析を行った。

尚、本研究では倫理面への配慮は必要としない。

C. 研究結果

C-1) 標準病名マスター中の病名の ICD-11 コーディング

昨年度に引き続き標準病名マスターの個々の病名に対し、必要に応じて Post-Coordination を用い、ICD-11 コードにて表現する作業(ICD-11 コーディング)を行った。全体としては非常に膨大な作業であり、効率化のため標準病名約5万語のうち、同義語ではなく「代表表記」と区分されている約2万語に対する作業を行った。今年度は昨年度に作業が完了しなかった2章並びに、新規の12個の章を対象とした。以下に ICD-11 コーディング対象数と作業完了数を昨年度結果と共に示す。(作業完了数/コーディング対象数)

[昨年度実施分]

- ・1章(感染症) (1,029 / 1,209)
- ・2章(新生物) (130 / 3,115)
- ・4章(内分泌) (870 / 870)
- ・6章(神経) (650 / 650)
- ・9章(循環器) (712 / 712)
- ・10章(呼吸器) (371 / 371)
- ・13章(筋骨格) (1,690 / 1,690)

[今年度実施分]

- ・2章(新生物) (2,285 / 3,115)
(※昨年度作業と合算)
- ・3章(血液免疫) (329 / 329)
- ・5章(精神) (749 / 749)
- ・7章(眼) (798 / 798)
- ・8章(耳) (188 / 188)
- ・11章(消化器) (818 / 1,267)
(※歯科領域を除いた分のみ作業完了)
- ・12章(皮膚) (637 / 637)
- ・14章(尿路性器) (536 / 536)
- ・15章(妊娠産褥) (463 / 463)
- ・16章(周産期) (291 / 291)
- ・17章(先天異常) (1,098 / 1,098)
- ・18章(症状所見) (1,153 / 1,153)
- ・19章(損傷中毒) (4,472 / 4,472)

2章は分量も多く、また ICD-10 からの分類体型の考え方の変更により特に作業難しい章であり、診療情報管理士の資格を持ち ICD コーディングの専門家である研究協力者の協力を仰いでも本年度で作業を完了させることができなかった。また11章の消化器についても、医科領域の病名を優先し、歯科領域はまだ作業が行えていない。しかし上記の例外、並びに20～22章(外因、保健サービス、特殊目的)といった補足的な章を除いては、全ての章に渡り、ほぼ全ての標準病名の ICD-11 コーディングが完了している。未作業の箇所と作業結果の揺れを修正するための見直し作業については令和4年度研究にて行う予定である。

C-2) 2種類の ICD-11 コーディング

コーディング作業においては、各々の標準病名に対し以下の2種類の対応付けを行った。

- (1) Foundation 中のエンティティの URI (固有の ID) との対応付け
- (2) MMS (Mortality and Morbidity Statistics Linearization) の粒度における対応付け

MMS は Foundation の中の限られた概念のみが選択されており、粒度としては粗いものである。従って、仮にある標準病名が Foundation 中のある用語と一致したとしても、それが MMS に含まれていなければ、より粗い粒度の MMS 用語と対応付けざるを得ず、もしその標準病名の概念を完全に MMS で表現しようとするれば、Post-Coordination を利用する必要がある。

例えば、

「**A 群連鎖球菌敗血症**」(標準病名) は Foundation 中の用語としては

“Sepsis due to Streptococcus, group A without mention of septic shock”
(<http://id.who.int/icd/entity/126483251>)

と完全一致している。()内は URI である。

しかし、MMS ではこの語は採用されておらず、

1G40 “Sepsis without septic shock”

の粒度までしか存在しない。従ってこの標準病名を MMS の粒度レベルで表現しようとする

XN6LP “Streptococcus, group A”

という X 章における修飾語と組み合わせて、

1G40 & XN6LP という Post-coordination 表現にする必要がある。

つまり、**A 群連鎖球菌敗血症**は、

A群連鎖球菌敗血症 (ICD10: A400)
= <http://id.who.int/icd/entity/126483251>
(ICD-11 Foundation レベル)
= **1G40 & XN6LP**
(ICD-11 MMS レベル)

の2通りのコーディングとして表現される。元来この病名に付与されている ICD-10 コード A400 はこの病名概念が含まれる「より粒度の粗いカテゴリ」のコードであるが、ICD-11 になることにより、もっと詳細な病名自体が持つ概念粒度と等価なコーディングを行うことができる。ただしこの方法が **Foundation レベルと MMS レベルで2通りある**、ということである。

一方、MMS レベルの Post-coordination、あるいは粒度の細かい Foundation の用語を用いても、標準病名の意味粒度の方が細かく、対応付けできない事例も存在した。このような場合は ICD-11 の表現力をもって等価な表現はできず、病名より粒度が粗い表現に留めざるを得なかった。

例えば、**痛風発作 (ICD10: M1009)** は

(ICD-11 Foundation レベル)
<http://id.who.int/icd/entity/526468865>
(ICD-11 MMS レベル)
FA25.2Y Other specified gout without specification whether primary or secondary

までとの対応付けが限界であり、これ以上細かなコーディングは行えない。このような事例も多く存在した。

以上のように、本作業においては **(A) Foundation レベル、MMS レベルのそれぞれに対しコーディングを行うと共に、(B) 標準病名と ICD-11 コーディング結果の「概念としての包含関係」、さらに(C) 対応付けの確信度**についてもアノテーションを行った。

(B) は、可能な限りの Post-Coordination を行った結果、概念として完全に等価となったかどうか、を示すものであり、

「標準病名 (包含関係) ICD-11 コード表現」
として、包含関係を

< : 標準病名の方が粒度が細かい
= : 完全に意味的に等価である
> : 標準病名の方が粒度が粗い

として表現したものである。

例えば、標準病名である「膵内胆管癌 (ICD10:C240)」は、X 章の詳細な部位コードを用いても、膵内胆管という区分が存在しないため、

「胆道・遠位胆管の悪性新生物」
(ICD-11 Foundation レベル)
<http://id.who.int/icd/entity/1707654227>
(ICD-11 MMS レベル)
2C15.Z Malignant neoplasms of biliary tract, distal bile duct, unspecified

以上の詳細な Post-coordination は困難であり、

「病名 < ICD-11 コード表現」

(病名の方が概念粒度が細かい)

として表現されている。

また、(C) 確信度については、1: 完全に自信あり、2: 少々疑義がある、3: 自信なし、後で見直す際の参考情報、というように数字が大きいくほど確信度が少なくなるような仕様となっている。

MMS については Post-Coordination の記法が定められており、“STEM/STEM”, “STEM & Extension” と “/” や “&” を用いて表現することが可能である。一方、Foundation については、WHO は Post-Coordination の記法を定めていない。しかし標準病名の概念となるべく同じように近づけるためには Foundation 中の概念についても Post-Coordination を用いる必要があった。そこで本研究では、**MMS と同様の記法を用いて、Foundation 粒度のコーディングにおいても Post-Coordination を採用している。**

これらの詳細な作業結果については、**「【別添資料2】標準病名の ICD-11 コーディング結果」を参照されたい。**

(各章の先頭 5 ページのみを抜粋して示している。)

D. 考察

[標準病名との対応付けの現状]

標準病名の ICD-11 コーディングについては代表表記であるものに限定し、同義語については作業を行っていないが、一部の未作業部分を除き、ほぼ全ての標準病名について第1段階のコーディング作業が完了している。また代表表記

の病名に対する ICD-11 コーディングが可能であれば、同義語についてもほぼ同様のコーディング結果となると考えられる。これまで様々な観点から ICD-11 に関する分析研究がなされているが、既に国内に標準用語集を有する場合にそれとの整合性を分析するという観点での研究は十分に行われていない。我が国においては、電子カルテ環境にて広く普及が進む厚生労働省標準規格である標準病名マスターとの整合性を取ることは ICD-11 導入のため必須の課題であり、その意味でも本研究の成果は極めて貴重なリソースである。

ICD-11 コーディングは Post-coordination の柔軟性のため、慣れていないと同一概念に対するコーディング方法が複数あるように見えてしまい、作業結果にブレが生じやすい。今年度を通じて、作業グループとの度重なるミーティングにて作業方針の擦り合わせを行ったが、作業者の理解の進展に従い以前に作業した結果の修正が必要になったケースも多数存在する。従って、今後未作業の領域に対するコーディングと共に、これまでの作業結果の見直しによる質向上作業が必須である。しかしながらこれも含め、次年度作業にて標準病名マスター病名と ICD-11 との対応付けが一通り完了する予定である。

国内の電子カルテにて広く利用されている標準病名マスターと ICD-11 との対応付けが完了すれば、ICD-11 の国内導入に向けて大きく前進すると考えられる。ただし、現状検討しているのは標準病名マスターから ICD-11 への対応付けであり、逆方向、すなわち ICD-11 Foundation の和訳(約 10 万)の中で、標準病名マスター(約 5 万)に含まれない疾患用語も大量に存在する。これをどのように標準病名マスターに取り込み、統合していくかについては別途継続的な検討課題である。

[ICD-11 コーディングを行う際の知見]

昨年度・本年度の研究を通じ、具体的な事例を元に作業協力者と共に議論を行ったことにより、標準病名と ICD-11 との対応付けを行う際の知見が集積された。以下、ポイントをまとめる。

① ICD-11 の粒度や分類体系として ICD-10 との考え方の違いに由来する問題

標準病名の「大網消化管間質腫瘍」「腸間膜消化管間質腫瘍」は、消化管外間質腫瘍という概念であり、GIST とは異なる EGIST と呼ばれることが報告されている。GIST を頼りに Post-Coordination を行おうとしても、部位として選択ができない。消化管の外であるためこれは自然である。しかし、EGIST の概念自体が ICD-11 に含まれていないため、結果的に EGIST 系のコーディングが困難である。同様の事例は多く存在する。

また現行の標準病名マスターは ICD-10 のリリースの際に親和性を持たせて作成された経緯があるため ICD-11 において新しく新設された概念や分類体系の変更により、疾患概念の ICD-11 への対応付けが困難である事例が多数見られた。これらの多くは古い疾患概念に基づく病名で、非常に広範囲のものをカバーする「グループ名称」であるような病名が多い。これをいつまで標準病名に残しておくかという点も課題として挙げられた。特に精神科領域では今は使わない病名が多く残されている。このことから「現在では病名として不適切」という列を設け、標準病名マスター側から削除すべき病名についてはフラグを立てている。

② 身体部位(X 章:拡張コード) の粒度に由来する問題

標準病名「唾液腺癌」において、唾液腺は「顎下腺」と「舌下腺」を含む。しかし ICD-11 の 2B68.Z は「顎下腺または舌下腺の悪性新生物、詳細不明」となっており、部位の Post-Coordination では「顎下腺」と「舌下腺」のどちらかしか選択できず、両者にまたがる「部位」ということが表現できない。このような場合、「顎下腺」と「舌下腺」の両者を選択することは誤りである。なぜならば、Post-Coordination は A&B&C と表記することで A, B, C の共通部分に絞っていく(積集合)の考え方を採っているため、「顎下腺&舌下腺」とすると「そのような身体部位領域は存在しない」ということになってしまうからである。このような場合は部位の Post-Coordination として「XA5T23 Salivary

gland apparatus(唾液腺装置)」を選択するしかない。同様に複数の部位にまたがるグループ概念については「予めそれが用意されていない限り」Post-Coordination にて表現する手段がない。

例えば、標準病名「上腕悪性末梢神経鞘腫」のコーディングの際に「悪性末梢神経鞘腫」をMMSで検索すると、部位のPost-Coordinationとして細かな神経を選ぶようSuggestされる。しかし「上腕部抹消神経」という括りは存在せず、以下の6つの細かな神経が提示される。

XA7K97 Medial cutaneous nerve of arm

XA2XU7 Posterior cutaneous nerve of arm

XA6166 Lateral cutaneous nerve of forearm

XA26F7 Medial cutaneous nerve of forearm

XA0KL7 Posterior cutaneous nerve of forearm

XA6B07 Superior lateral cutaneous nerve of arm

これらをまとめた「上腕部の末梢神経」という概念が存在しないため、結局部位のPost-Coordinationをすることができない。

同様に「頸部血管肉腫」についても、血管は上位の方でまず動脈、静脈に分けられているため「頸部血管」というエンティティが存在せず、コーディングができない。血管と神経についてはこのような問題が顕著であった。

③ ICD-11 の Post-Coordination の記法の限界に由来する問題

上記の②と関係する問題であるが、現行 ICD-11 での Post-Coordination の記法では「/」や「&」を用いても論理的には AND の表現のみが許されており、OR が表現できない。そのため複数の ICD-11 エンティティにまたがる概念や複数のエンティティをまとめたグループ概念を表現する病名についてはコーディングが原理的に困難である。

歴史的経緯で今は細分化されているが、昔は区分粒度がもっと粗かった疾患も存在する。ある程度古いものは、obsolete にするべきと思われるが、いきなり変更するのが難しい、あるいは古い病名も現場で用いられることが多い領域ではある程度古い病名を残す必要もある。

例えば、「純粋性腺形成異常症」(pure gonadal dysgenesis、標準病名: 20064340, ICD10: Q991)

は、46XY, 46XX の両方のパターンがある。しかし、ICD11 では、Foundation, MMS 共に 46,XX pure gonadal dysgenesis (LB45.1), 46,XY gonadal dysgenesis (LD2A.1) に分かれてしまっており、両者を統合して表現する手段がない。

(これらをまとめる上位概念も存在していない) 同様の事例は多数あり、

LB45.1 | LD2A.1 など OR を表現する手段が現状の Post-Coordination の仕組みにないことが原因である。このような場合、国内での独自記法の導入か、古い病名については標準病名マスターから削除する、といった対応が必要と考えられ、実際の導入時には課題と考えられる。

その他詳細については「【別添資料1】標準病名の ICD-11 コーディングに際しての注意点(作業報告レポート)」を参照されたい。細かな点については作業協力者の理解度の違いや今後の作業結果見直しによってアップデートされるべき点も多く含まれているかもしれないが、診療情報管理士のスキルを持つ専門家の「一定の期間での理解」を反映した貴重な結果であることから基本的に原文のまま記している。

【ユースケースによる粒度の使い分け】

1つの標準病名に対する ICD-11 コーディングが複数レベルで行える、ということの重要性は特定の目的(例えば、公的な死亡統計という特定の目的)のみを論じている場合には軽視されがちである。しかしながら、WHO が ICD-11 にて目指す主要な目的の1つは「Multi-Purpose での利用を志向した適切な粒度での複数のコーディング手段を提供すること」であり、公的統計用途に粗い集約が為される粒度はもちろんのこと、より詳細な粒度が必要な研究用途のコーディングも想定されている。

実際、本年度の研究結果から、標準病名を対象とした場合であっても、Post-Coordination(コードの合成)を用いて Foundation レベル、MMS レベルと複数の表現が可能であった。このような複数のレベル・粒度のコーディングはその目的に応じて使い分けられるべきであり、今後ユースケースに基づいた粒度設定の議論が必要と考えられる。

例えば、Foundation レベルの (URI を用いた) Post-Coordination コーディングは最も粒度が細かいが、これは国の公的統計 (死亡・罹患) として用いられることは想定しづらく、細かな粒度が必要な研究用途に用いられると考えられる。また、MMS レベルのコーディングについても、目的に応じて必要な粒度を選定し、それ以上に細かな Post-Coordination については捨象する、という線引きが必要と考えられる。

例えば、「第 3 足趾末節骨開放骨折」は、ICD-10 では **S9251** (その他の趾<足ゆび>の骨折・開放骨折) であった。これが今や ICD-11 では病名自身が持つ概念粒度を、**ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM** (Fracture of other toe & Distal phalanx of third toe & Open fracture) として Post-Coordination により 完全に等価に表現可能である。しかし、国の公的統計 (死亡・罹患) においてここまでの粒度は必ずしも必要ではないと考えられ、その場合は例えば ND13.5 程度に丸めて集計する、という方針になると考えられる。しかしながら研究用途において、**“ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM”** というコーディングが有用な場面も多数あるであろう。

このように、ユースケースごとのコーディング粒度設定は、今後 ICD-11 を我が国に導入する際には非常に重要である。将来的には、次世代の標準病名マスターは、(1) Foundation レベルの Post-Coordination コーディング、(2) MMS レベルの Post-Coordination コーディング、(3) MMS レベルの公的統計用の粗いコーディング (Post-Coordination の結果から、必要な主要コードが選択された結果)、の全ての粒度を含め、用途の応じて必要な粒度を選択して出力する仕組みを備えるべきだと考えられる。

その点で本研究では、複数のレベルでコーディングすることによって、後に研究・公的統計・診療報酬請求など様々な用途で異なる粒度のコードが選択できるようにしている点で極めて貴重なリソースとなると考えられる。

さらに、本厚労科研班全体の目標は、公的統計への影響分析である。ICD-10 と ICD-11 のカテゴリは必ずしも 1 対 1 対応ではなく、多対多対応

であることも多い。従って、ICD-10 ベースで集計された統計データが ICD-11 ベースでどのように変化するか、を分析するためにはカテゴリベースの集計分析では不十分で、病名単位の粒度での解析が必要である。その場面においても、本分担研究の成果は活用可能であると考えられる。例えば、現在 ICD-11 導入の死亡統計への影響を調査するため統計法 33 条に基づいた死亡票情報の提供を受け分析準備中であるが、年間 130 万件に及ぶ死亡票を全て ICD-11 ベースで人手解析し直すことは現実的ではない。その際に、自由入力病名に対し、すでに標準病名ベースで ICD-11 コード付けが行えているものについてはこれを適用することで、ICD-10 ベースの確定原死因コードを ICD-11 ベースに自動変換することができ、大幅な効率化が図れると考えられる。

次年度では、「死亡票中の自由入力病名が全て標準病名マスターにてコーディングできるもの」(これまでの筆者の知見では全体の 8 割である) を対象とし、原死因として選択されたであろう病名についてこれまでの作業で既に付与された ICD-11 コードを適用することで、病名単位の死亡統計の影響分析へ繋げていく予定である。

このように本研究成果は、ICD-11 の国内診療現場への導入を円滑化するために必要不可欠なリソースであるのみならず、研究班全体の目標の効率化にも活用可能な基盤リソースとなると期待され、最終年度にはこれまでの成果を元にこの詳細分析を行う予定である。

E. 結論

本年度研究では、ICD-11 の国内導入における既存標準用語集との整合性確保のため、標準病名マスターと ICD-11 とのマッピングをほぼ全章の病名に対し完了した。標準病名と ICD-11 日本語版 (仮) と完全一致するものは少数であったが、一致しないものを対象に Post-Coordination を用いた ICD-11 コーディングを行った。結果としてほぼ全ての ICD-10 の章の標準病名について、MMS レベル、Foundation レベルなど複数の表現レベルでのマッピング作業が完了した。本研究により標準病名マスターの ICD11 化に向けた重要な知見が得られただけでなく、その成果は公的統計への影響分析を加速化する目的にも活用可能

な貴重なリソースである。今後、全研究期間において標準病名マスターと ICD-11 との対応付けを完了させ、国内診療現場への導入準備を整えていく予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 小川俊夫, 滝澤雅美, 今井 健, 高橋幸恵, 坂本幸平, 小松雅代, 向野雅彦, 今村知明. わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察 ～ICD-11 準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析～. 医療情報学 41 (Suppl.):660-664, 2021.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

別添資料 1 : 標準病名の ICD-11 コーディングに際しての留意点 (作業者レポート)

ICD-11 コーディング作業について

2022 年 3 月 11 日

坂本 千枝子

1. コーディング担当分

- ① 10 月 4 日～10 月 28 日 : C30-C39 呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 89 件
- ② 11 月 1 日～11 月 29 日 : C45-C49 中皮および軟部組織の悪性新生物 192 件
- ③ 12 月 6 日～12 月 27 日 : C60-C63 男性生殖器の悪性新生物 42 件
C64-C68 尿路の悪性新生物 22 件
- ④ 1 月 6 日～1 月 28 日 : C79.6 卵巣の続発性悪性新生物-C88 悪性免疫増殖性疾患 129 件
- ⑤ 2 月 1 日～2 月 10 日 : C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞新生物-C96 リンパ系、造血系および関連組織の他の不特定の悪性新生物 68 件

以上 計 542 件

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

以下、F: Foundation M: MMS で示します.

2-1 C34 気管支および肺の悪性新生物

① Non-small cell lung cancer コーディング時の注意点

F: 「非小細胞肺がん」という一次選択肢がある

M: 「気管支または肺の他の特定の悪性新生物」の Post-coordination で

Histopathology に「Non-small cell」を入れると、「XH2435 扁平上皮がん、小細胞、非角質化」が出てくる。Search に「Non-small cell」を入れると、「XH1DU4 非小細胞癌」が出る。

ちなみに、Search に「Non small cell」(-なし)を入れると、

2C25.Y Other specified malignant neoplasms of bronchus or lung

Non small cell lung cancer

と表示される。

→ これでは、「非小細胞がん」が Histopathology にないと勘違いしてしまうので、

注意が必要。

- ② 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌、融合遺伝子陽性非小細胞肺癌、融合遺伝子陽性非小細胞肺癌 の遺伝子情報が **F**、**M** 共にみつけれない。これから、このような遺伝子関連の情報は増えると思われる。

E G F R 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌

R O S 1 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌

A L K 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌

2-2 今井先生と決めた「PN : Problem nerve」、 「PB : Problem Blood vessel」、 「PEG : Problem EGIST」の区分で分類した問題点

- ① [PN] 神経の区分が細かく、post-coordination できないため保留

(例) C47 末梢神経および自律神経系の悪性新生物

悪性末梢神経鞘腫 は、部位の post coordination の時に、各神経を選ぶことになっている。(MMS でそう suggestion される)

しかし、一部の神経については(頸部神経、大腿神経 とか) は選べるが、上腕神経、肩部神経 などは神経の分類が細かくなりすぎており、選ぶことができない。

例えば、arm で検索すると下記の6つから選ばされることになり、これらをまとめた「**上腕部の末梢神経**」という概念の括りが必要と思われる。

XA7K97 Medial cutaneous nerve of *arm*

XA2XU7 Posterior cutaneous nerve of *arm*

XA6166 Lateral cutaneous nerve of *forearm*

XA26F7 Medial cutaneous nerve of *forearm*

XA0KL7 Posterior cutaneous nerve of *forearm*

XA6B07 Superior lateral cutaneous nerve of *arm*

- ② [PB] 血管の区分がまず動脈と静脈で分かれ、post-coordination できないため保留

(例) C49 他の結合組織および軟部組織の悪性新生物

血管肉腫 は、部位の post coordination の時に、各血管を選ぶことになっている。

(MMS でそう suggestion される)

しかし、Specific anatomy では動脈と静脈に分かれ、さらに各部位が細かく分類されている。

例えば、「頸部血管肉腫」の場合、「**頸部の動脈**」だけで下記のように細かい分類になっている。「**頸部の静脈**」も同様。よって、「**頸部の血管**」という概念の括りが必要と思われる。

XA4TS7 Artery of head, face, and neck

XA2B10 Anterior communicating artery

▽XA2QF4 Anterior ethmoidal artery

XA00K1 Anterior meningeal artery

XA1GU9 Anterior superior alveolar artery

XA2505 Artery of pterygoid canal

▽XA9AD7 Carotid artery

XA5SN3 Cerebellar artery

▽XA13S2 Cerebral artery

XA2UK9 Costocervical trunk

XA7SK1 Deep auricular artery

XA1NY7 Deep cervical artery

③ [PEG] EGIST 系が、GIST:消化管間質腫瘍でしか選択肢がなく、post-coordination できないため保留

(例) C48 後腹膜および腹膜の悪性新生物

標準病名の「大網消化管間質腫瘍」「腸間膜消化管間質腫瘍」は、**消化管外間質腫瘍**という概念であり、GIST とは異なる EGIST と呼ばれることが報告されている。

「大網原発転移性**消化管外間質腫瘍**：Extragastrintestinal Stromal Tumor」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjgs/43/9/43_43.976/pdf

本来、標準病名側も、大網や腸間膜は「消化管外間質腫瘍」などの選択肢を設けることが必要と思われる。

2-3. ご教授いただきたいコーディングについて

① 悪性新生物が原因で他章に分類される疾患（症状）が起こった場合の、コーディングについて

例 1) N6250 透析腎（C64 腎盂を除く腎臓の悪性新生物）

他疾患を併存する場合は「/」を使うため、以下のようにコーディングした。しかし、URI の「/」との区別がわかりにくいです。

F: 腎盂を除く腎臓の悪性新生物 / 透析への依存

<http://id.who.int/icd/entity/1048613131/>

<http://id.who.int/icd/entity/1638226305>

M 腎盂を除く、腎臓の悪性新生物、詳細不明 / 腎透析への依存

2C90.Z/QB42

例 2) №6938 癌性心膜炎 (**C79.8** 他の特定の部位の二次性悪性新生物)

→ICD-10 では、二次性悪性新生物として「心膜炎」が起きたコードですが、「心膜炎」は原因となったがん疾患の影響で起きた症状と考えられます。

この場合、2 章ですが「循環器系の疾患」から主病名を選択してもよいのでしょうか？

② 転移性がん疾患のコーディングについて (C79.8 他の特定の部位の二次性悪性新生物)

例 1) №6923 「転移性卵巣癌」のように、転移先が選択肢にありますが、原発巣のコーディングはどのように表記するのでしょうか？

F: 卵巣における悪性新生物転移& 原発巣 (または、原発不明)

M: 卵巣における悪性新生物転移& 原発巣 (または、原発不明)

例 2) №6981 「卵巣癌全身転移」は、原発が「卵巣癌」で転移先が「全身」です。

この場合、コーディングはどのように表記するのでしょうか？

F:悪性新生物転移、不特定の部位&卵巣癌原発

M:悪性新生物転移、詳細&卵巣癌原発

2-4. その他難しかった箇所、迷った箇所

- ① C81-C96 リンパ系、造血系および関連組織の、原発性であると述べられている、または推定される悪性新生物 は、ICD-10 同様コーディングが難しかったです。
- ② Anaemia in neoplastic disease of **unknown** behaviour か？Anaemia in neoplastic disease of **uncertain** behaviour か？はどちらを選択すべきか迷い、「**uncertain**」を選択しました。
- ③ post-coordination の **Specific anatomy** の **Search** 機能では選択肢に無い場合でも、左側の **Search** 機能で見つかるものが多いことに、当初気づかなかった。
- ④ MMS に反映される **Foundation** の **URI** がもっと増えるとコーディングも進めやすくなると思います。

3. 今後の ICD-11 の日本導入に向けての意見

1. 標準病名を利用する場合、Foundation と MMS の選択肢の粒度はある程度揃えた方がいいと思います。
2. 原死因の統計に利用するためには、2 章では「転移性〇〇がん」に加えて、原発巣を明確にしておく必要があると思います。
3. コーディングの定義や解釈等について容易に確認できる SNS のような仕組みがあると、便利だと思います。
4. 日本語版は必要だと思います。

ICD-11 コーディング作業について

2022 年 3 月 10 日

伊藤 由美

1. コーディング担当分

ICD-10	中間分類項目	作業期間 (およその実日数)	件数
	作業内容；標準病名の英訳、ICD-11 コーディング、システム入力		
C00－C14	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	11/23～12/2 (1W 程度)	89
C15－C26	消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	10/23～11/21 (2W 程度)	181
C43－C44	皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞	12/3～1/15 (2W 程度＋ α)	302
C50	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	1/17～1/21 (2 日)	29
C51－C58	女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	1/22～1/24 (3 日)	44
C69－C72	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物＜腫瘍＞	1/27, 2/3～2/6 (5 日程度)	113
C73－C75	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物＜腫瘍＞	1/29 (1 日)	19
C76－C79.5	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	1/30～1/31, 2/10～2/16 (8 日程度)	122
上記すべての中間分類項目の見直しと修正入力		2/25～3/31	
合 計			899

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

2－1. 作業方法と手順について

1) 作業手順

- ①Chap02 ダウンロード後、Excel シートにまとめて入力
- ②標準病名の英訳
- ③Foundation コーディング
- ④MMS コーディング
- ⑤確信度・関係の選択
- ⑥Excel シートから Chap02 システム転記入力
- ⑦入力後、コーディング再確認と修正

2) 検索方法

- ①フルネーム検索からキーワードを絞り込む。
- ②「Search」だけに頼らず、コード体系・構造も展開させて、標準病名に近いコードを探す。
- ③検索でヒットしない場合は標準病名・部位を再英訳する他、疾病・部位の詳細について調査を行い、再度検索する。

2－2. コーディング作業で注意すべき点（コーディングの基本）

- ① 基幹（ステム）コードと部位・病理組織等の X テンションコードを正しく認識する。
- ② 基幹コードの病名に部位・病理組織が含まれる場合は、X テンションコードを追加（重複）入力しない。

2－3. 解剖学的構造での注意点

1) 【複数の部位を含む解剖学的構造の選択】

- ・ 部位を複数選択すると概念が狭まるため、複数部位を示す場合の解剖学的構造は 2 部位ではなく、上位概念の 1 部位を選択する。

【例】3488 唾液腺癌

・ 「唾液腺」は「顎下腺」と「舌下腺」を含む。唾液腺癌の ICD-11 ブラウザーでは、2B68.Z 顎下腺または舌下腺の悪性新生物、詳細不明がヒットする。「顎下腺または舌下腺の悪性腫瘍」のため、特定の解剖学的構造には、Submandibular gland(顎下腺)と Sublingual gland(舌下腺)が明示される。顎下腺・舌下腺のように 2 部位を選択しがちだが、上位概念の XA5T23 Salivary gland apparatus(唾液腺装置)をコード検索して再選択する。特定の解剖学的構造の画面に表示されない部位を選択することは OK である。

2) 【部位の粒度選択の問題】

- ・ 皮膚の悪性新生物の部位は皮膚であり、解剖学的構造は皮膚になる。但し、皮膚がない部位もある。また、上位概念に皮膚が包含され、皮膚が特定されない場合は構造上の部位を優先する。

【例】4664 鼻翼悪性黒色腫

・ 鼻翼の悪性黒色腫。鼻翼は鼻翼の皮膚と捉えるべきである。鼻翼は構造上は Ala nasi として存在しているが、並列して皮膚だけを集めた skin of nose が存在する。厳密には鼻の構造物である鼻翼の皮膚は skin of nose の下位概念として捉えられるが（鼻翼の皮膚は skin of nose に含まれる）、それよりも「鼻翼」としてコーディングした方が情報量が多いと考えられるため、敢えて「鼻翼」の方にコーディングする。解剖学的構造が鼻翼の皮膚ではないので、関係を「<」で表記する。

2－4. 病理組織学での注意点

1) 【皮膚悪性腫瘍：有棘細胞癌のコーディング】

- ・ 皮膚扁平上皮癌（Squamous cell carcinoma）の foundation は face,neck,trunk,arm,leg のように部位ごとに分類されている。顔、首、腕、脚、体幹に該当する場合はこれらを選択し、該当しない場合は上位概念の Squamous cell carcinoma を選択する。
- ・ MMS も部位ごとに皮膚扁平上皮癌は分類されているが、コードがすべて共通のため MMS は 2C31.Z 皮膚扁平上皮がんになる。

2) 病理組織型の違い

【例】4754, 4757 口唇の基底細胞癌⇒唇表皮の基底細胞癌ととらえる。

- ・ Foundation: <http://id.who.int/icd/entity/2044047639> 唇の基底細胞がん
- MMS: 2B60.0 唇の基底細胞がん

ICD-10 C00 に該当する

- ・ Foundation: <http://id.who.int/icd/entity/1203447657> 皮膚の基底細胞がん

MMS: 2C32 皮膚の基底細胞癌（唇の皮膚の基底細胞癌含む）

ICD-10 C44 に該当する

【上記の類似例】 口唇の有棘細胞癌

3) 病理組織構造によるコーディング

- ①腺様のう胞癌の大分類は腺癌のため、基幹コードは「口蓋の悪性新生物」ではなく「口蓋の腺癌」を選択する。

【例】 3374 硬口蓋腺様のう胞癌

- ・ <http://id.who.int/icd/entity/917590633>(口蓋の腺癌)&<http://id.who.int/icd/entity/523484767>(硬口蓋) &<http://id.who.int/icd/entity/2127202862>(アデノイド嚢胞癌)
- ・ MMS 2B65.0(口蓋の腺癌)&XA4527(硬口蓋)&XH4302(腺様嚢胞癌)

- ②乳癌の浸潤性乳管癌は3型（乳頭腺管癌・充実腺管癌・硬癌）に分類される。

【例】 5903 乳頭腺管癌 浸潤性乳管癌&乳頭腺管癌

【例】 5914 乳腺充実腺管癌 浸潤性乳管癌&乳腺充実腺管癌（検索で乳腺充実腺管癌はヒットしない）

【例】 5883 乳腺硬癌 浸潤性乳管がん&硬性腺癌

2-5. 臨床上での注意点

1) カルチノイドのコーディング

- ・カルチノイドでは検索できないものが多い。神経内分泌細胞が腫瘍化したものを神経内分泌腫瘍（NET）といい、悪性度の低いものに関してカルチノイドと呼ぶ。カルチノイドは神経内分泌腫瘍の悪性度の低いもの（グレード1）としてコーディングする。

【例】 Foundation 各部位の神経内分泌腫瘍&<http://id.who.int/icd/entity/1609609938> 神経内分泌腫瘍、グレード1

【例】 MMS 各部位の神経内分泌腫瘍&XH9LV8 (&Neuroendocrine tumor, grade 1)(神経内分泌腫瘍、グレード1)

2) 消化管間質腫瘍

- ①【例】 4179 K I T (C D 1 1 7) 陽性消化管間質腫瘍

- ・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/819644414> 消化管間質腫瘍、原発部位

【説明】一般的に CD117 (KIT) に対して免疫組織化学的に陽性で、表現型的にはカハール細胞の分化と平行して、ほとんどの例には KIT または PDGFRA を活性化する変異が含まれている。

- ・ MMS 2B5B 消化管間質腫瘍、原発部位

【説明】 Foundation と同様

- ・消化管間質腫瘍、原発部位に K I T (C D 1 1 7) 陽性が含まれるが、100%ではないため、関係は「=」ではなく、「<」を選択する。

② 【例】 4180 イマチニブ耐性消化管間質腫瘍

- ・分子標的薬を付記した分類コードがないため、消化管間質腫瘍の分類コードにして、関係を「<」選択する。

3) 同じ表記の病名・部位の選択での疑問点

① 【例】 5958 外陰部の扁平上皮がん 下位概念を選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/146824338> 外陰部の扁平上皮がん

Squamous cell carcinoma of vulva

-外陰部の疣贅扁平上皮癌 他

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1805507857> -特に明記されていない外陰部の扁平上皮がん

Squamous cell carcinoma of vulva, not otherwise specified

② 【例】 5971 子宮頸管癌 5998 子宮頸癌 下位概念のどちらを選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1256072522> 子宮頸部の悪性新生物

Malignant neoplasms of cervix uteri

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/597674880>

-子宮頸部の原発性悪性新生物

違いがわからない

Primary malignant neoplasm of endocervix

【同義語】 子宮頸がん

<http://id.who.int/icd/entity/1119598827>

-子宮頸部の原発性悪性新生物

Primary malignant neoplasm of endocervix

③ 【例】 6000 子宮頸部微小浸潤癌 部位は子宮頸部と特定されているが、下位概念を選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1544785014> 子宮頸部の扁平上皮がん

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/527663527> 部位不明の微小浸潤性扁平上皮癌

④ 原発性悪性新生物＋続発性悪性新生物のコーディング

【例】 6839 胃癌骨転移 6845 乳癌骨転移

骨転移のみで OK か？それとも骨転移&癌腫（病理組織学）の2つを&でコーディングするのか？

【例】 6911 リンパ性白血病骨髄浸潤は骨髄浸潤（続発性）&リンパ性白血病と考えられる

・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/186763432> 骨または骨髄における悪性新生物転移

<http://id.who.int/icd/entity/1086407971> 骨髄

<http://id.who.int/icd/entity/1301904441> リンパ性白血病、NOS

・ MMS 2E03 骨または骨髄における悪性新生物転移

XA9XK1 (&Bone marrow)(骨髄)

XH1GQ1 (&Lymphatic leukaemia, NOS) (リンパ性白血病、NOS)

・ Foundation MMS「骨または骨髄における悪性新生物転移」骨髄を特定するために、解剖学的構造の「骨髄」コードは付記するでよいか？

⑤【例】6657 頸部神経芽腫 不特定部位で「頸部」を追加できるか？

- ・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/1822312964> 不特定部位の神経芽細胞腫

2-6. Foundation と MMS の違い

1) Foundation の方が精緻に分類されている。

【例】頬の皮膚

- ・ <http://id.who.int/icd/entity/1933135899> 頬の皮膚
- ・ MMS XA86S4 フェイス（頬の皮膚含む）

【例】3767 十二指腸ガストリノーマ（神経内分泌腫瘍）

- ・ <http://id.who.int/icd/entity/1429857069> 十二指腸の他の特定の神経内分泌腫瘍&ガストリノーマ
- ・ MMS 2B80.01 十二指腸の神経内分泌腫瘍

Foundation ように MMS には十二指腸の他の特定の神経内分泌腫瘍がないので、2B80.01 十二指腸の神経内分泌腫瘍&ガストリノーマになる

2) Foundation での分類と MMS での分類が異なるケースがある。

- ・ 日本語表記・Foundation で異なる部位が MMS では包含される。

【例】3357 正中型口底癌 解剖学的構造：<http://id.who.int/icd/entity/564649693> 口の前床

MMS XA8EY7 口の床(口の前床含む) 口の床(口の前床(正中型)含む)

【例】3360 側方型口底癌 解剖学的構造：<http://id.who.int/icd/entity/798486415> 口の横床

MMS XA8EY7 口の床(口の横床含む) 口の床(口の横床(側方型)含む)

- ・ 正中型口底癌と側方型口底癌の MMS は同じコードになる。

2-7. その他コーディング作業で難解な点や問題点

1) 標準病名や病理組織、部位が該当しない場合がある。

- ・ 日本語表記の部位とコーディングソフトの部位が一致しない。狭い範囲（部位そのもの）、あるいは広い範囲から部位を選択することになるが、解剖学の知識がないと簡単にコーディングできない。
- ・ 脳髄膜腫⇒悪性髄膜腫は原発性悪性髄膜腫、または髄膜腫、詳細不明のどちらを選択すべきか？
脳髄膜腫は日本語の部位が検索でヒットしないものが多い。

【例】6368 傍矢状洞悪性髄膜腫 6371 テント上下悪性髄膜腫 6375 鞍結節部悪性髄膜腫 6376 円蓋部

悪性髄膜腫 6379 蝶形骨縁悪性髄膜腫 6388 小脳橋角部悪性髄膜腫

2) 標準病名の修飾語のコーディングがむずかしい。

【例】3422 上顎歯肉頬移行部癌 3742 残胃癌 3702 胃重複癌 4735 皮膚境界部悪性黒色腫

5874 異所性乳癌 5878 乳房境界部癌 5884 乳癌術後胸壁再発（原発手術後＋続発）

5899 多発乳癌 5984 子宮断端癌 5989 子宮頸部境界部癌等

3) 【ICD-11 でのマッピング情報】

- ・ ICD-11 でのマッピング情報と MMS Coding が不一致になるケースがある。

【例】脂肪肉腫、肉腫、横紋筋肉腫、悪性間葉系腫瘍、消化管間質腫瘍など（但し、消化器系の肝臓は一致）、皮膚線維肉腫、皮膚の乳房外パギェット病（上皮内がん）

（今井注：WHO が提供する ICD-10 => ICD-11 のマッピングテーブルは「カテゴリ」対「カテゴリ」の対応関係の情報を提供しているが、「カテゴリ」内に含まれる「病名の概念」で考えると、必ずしもそこで示された ICD-11 カテゴリに対応せず、別の ICD-11 カテゴリに相当すると考えた方が妥当であるケースも多い）

4) 同じ表記の病名や部位がある。

ICD-11 の和訳が不完全である。

ICD-11 コーディング作業について

2022 年 3 月 24 日

坂本 幸平

1. コーディング担当分

- ・作業期間は、2021/3 ～ 2022/3
- ・作業コード数は、692 コード
- ・主な作業箇所は、ICD コードで D375～D489 (ICD-10 準拠)

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

- 適切な病名検索ができないとコーディングができない点が難しい。
 - 例)「多発性内分泌腫瘍 2 型」を英語翻訳語、翻訳単語を MMS の検索欄に入力するも対象なしの結果になる。
 - そこで、専門的なサイトで医学用語を検索して初めて「Multiple Endocrine Neoplasia Type 2」にたどり着き、初めてコーディングが開始できる。このように、日本で使用する医学用語が医学英語と適切にマッチしないとコーディングにたどり着かないというのが常であり、難しく感じた。
- 明確な病名を性状不詳又は不明のコード（本来は使用が推奨されない）に変換すること
 - マッピングテーブルに記載されている「ICD11 和訳にあった場合の英語」を活用し、MMS で検索をかけると下記の例のように良性もしくは悪性のコードが候補に挙がる。機能としては正しく、通常の現場でのコーディングでは、良性もしくは悪性の判断が第一のコーディング時の分岐点として重要になり、その後、悪性度などの詳細な特定とコーディングに移行する。一方、今回、私が担当した D375～D489 の分野は、性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>であり、いわゆる悪性かどうかなどの情報が一切分からないときに使用するコード内容となり、下記のように検索結果が一般的に使用されるコードを候補すものの、性状不詳又は不明のコードに必ず変換してコードする作業を自身の分担分すべての病名に実施していた。本来は、詳細不明のコードを使用しないように明確な病名をもってコーディングする業務をしていた立場ゆえ、明確な病名に対して詳細不明コードをあえてつけることに難しさと違和感を覚えた。
 - 例) 膵島細胞腫瘍 pancreatic islet cell tumour ⇒①2E92.9 内分泌膵臓の良性新生物、②2C10.1 膵臓の神経内分泌新生物 ⇒2F9A&XH4SH8 (内分泌腺の未知の行動の新生物&インシュリンマ,NOS) というように性状不詳又は不明コードを変換する。
- 一体いくつのコードを繋げればゴールなのか？
 - 本研究では、ICD-11 死因統計表作成に資する病名コーディングを目的に作業をしてきたが、病名が複雑になればなるほど、鎖のようにコードが長く複雑になる。そこで疑問なのは、長く複雑なコードが死因コードを付ける際に必要なのか疑問と判断に迷いながらのコーディングに

なった。例のようなコードは果たして現場で使うのか、細胞の型式までは検死解剖までしない限り特定は困難なのではと判断に迷いながらのコーディングを行った。

- 例) 仙骨巨細胞腫 2F7B&XH4TC&XA14W3 もしくはもっとコードを繋げられる可能性も考えた。

3. 今後の ICD-11 の日本導入に向けての意見

- 今回の作業を通して、日本に導入された場合は、①診療情報管理士を中心に現場でのコーディングに関する混乱が拡大する。②ICD の情報を利活用する行政などでも統計の概念に影響があるなどの理由から混乱が予想される。
- そのことに対して、①現場レベルでの ICD-11 導入を見越しての研修を強化する。②行政機関でのコードの概念に対する勉強会や研修などは最低限必要と考える。また、公式な統計などにも影響が出てくることも想像できる。

【別添資料2】：標準病名のICD-11コーディング作業結果
～ 第2章 標準病名 ～ （5ページのみ抜粋）

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 備考	ICD10コード	10⇒11でのア ビリティ情報	ICD11和訳に あつた集合の 英語	注釋 度	關係	ICD11 Foundation URI	作業者	注釋 度	關係	MMS Coding	備考(大書き&MMSでのpostcoordination)
3280	2	上唇赤唇部癌	0 L	C000	下:2B60.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/304997495 &http://id.who.int/icd/entity/1695934880	滝澤	1 <		2B60.Z	Malignant neoplasms of lip, unspecified(唇の悪性新生物、詳細不明)
3282	2	下唇赤唇部癌	0 L	C001	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1258739502	伊藤	1 =		2B60.Z&XA7H02	XA7H02 (&Vermilion of lower lip) (下唇の朱色)
3285	2	口唇赤唇部癌	0 L	C002	下:2B60.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/396837934	伊藤	1 <		2B60.Z&XA8D4	XA8D4 (&lip)(リッフ) 赤唇部は上・下に分かれ、口唇赤唇部のコードがないため、上位概念のリッフとする
3291	2	上唇癌	0 L	C003	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1364749024	伊藤	1 =		2B60.Z&XA7V04	XA7V04 (&Upper lip)(上唇)
3295	2	上唇腺様のお胞癌	0 L	C003	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1364749024&http://id.who.int/icd/entity/212702862	伊藤	1 =		2B60. Y&XA7V04 &XH4302	XA7V04 (&Upper lip)(上唇) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様囊胞癌)
3296	2	上唇粘表皮癌	0 L	C003	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1364749024&http://id.who.int/icd/entity/287052516	伊藤	1 =		2B60. Y&XA7V04 &XH136	XA7V04 (&Upper lip)(上唇) XH136 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3297	2	上唇腺房細胞癌	0 L	C003	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B60. Y&XA7V04 &XH3P69	XA7V04 (&Upper lip)(上唇) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3305	2	下唇癌	0 L	C004	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1700142766	伊藤	1 =		2B60.Z&XA15W6	XA15W6 (&Lower lip)(下唇)
3307	2	下唇腺房細胞癌	0 L	C004	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1700142766&http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B60. Y&XA15W6&XH3P69	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3308	2	下唇粘表皮癌	0 L	C004	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/1700142766&http://id.who.int/icd/entity/287052516	伊藤	1 =		2B60. Y&XA15W6 &XH136	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH136 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3309	2	下唇腺様のお胞癌	0 L	C004	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/212702862	伊藤	1 =		2B60. Y&XA15W6 &XH4302	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様囊胞癌)
3314	2	唇交連癌	0 L	C006	下:2B60.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/9380078	伊藤	1 =		2B60.Z&XA1F8	XA1F8 (&labial commissure)(唇交連)
3315	2	口唇境界部癌	0 L	C008	下:2B60.Z			1 >	http://id.who.int/icd/entity/304997495&http://id.who.int/icd/entity/363025167	伊藤	1 >		2B60.Z&XA3K27	XA3K27 (&External lip)(外部リッフ)(朱色の境界線唇のNOS)
3320	2	口唇癌	1 L	C009	下:2B60.Z	Malignant neoplasms of lip								
3322	2	舌根部癌	0 L	C01	=:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2003184099	伊藤	1 =		2B61.Z&XA25G3	XA25G3 (&Base of tongue)(舌の付け根)
3327	2	舌背癌	0 L	C020	下:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/57964392&http://id.who.int/icd/entity/2119547447	伊藤	1 =		2B61.Z&XA1V27	XA1V27 (&Dorsal surface of tongue)(舌の背面) マッチング情報と不一致
3332	2	舌縁癌	0 L	C021	下:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/63566460&http://id.who.int/icd/entity/445803026	伊藤	1 =		2B61.Z&XA49C6	XA49C6 (&Lateral margin of tongue)(舌の外側縁)
3334	2	舌尖癌	0 L	C021	下:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/63566460&http://id.who.int/icd/entity/230297298	伊藤	1 =		2B61.Z&XA1W28	XA1W28 (&Tip of tongue)(舌尖)
3337	2	舌下面癌	0 L	C022	下:2B61.Z				http://id.who.int/icd/entity/1991400753&http://id.who.int/icd/entity/1769856759	伊藤				舌下面とは舌の裏側？
3338	2	舌脂肪肉腫	0 L	C029	下:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1769856759	伊藤	1 =		2B59.Y&XA1T19	XA1T19 (&Tongue)(タツ)
3341	2	舌癌	1 L	C029	下:2B61.Z	tongue cancer								
3343	2	上顎歯肉癌	0 L	C030	下:2B61.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1719710858&http://id.who.int/icd/entity/1342534583	伊藤	1 =		2B61.Z&XA6743	XA6743 (&Upper gingiva)(上部歯肉)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 代案・同 義	ICD10コー ド	10⇒11でのア ンnotation 情報	ICD11和訳に あつた集合の 英語	評価 度	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	評価 度	関係	MMS Coding	備考(大書き& MMS での postcoordination)
3349	2	下顎歯肉癌	0 L	C031	T:2B63.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1719710858 http://id.who.int/icd/entity/1194137463	伊藤	1 =		2B63.Z &XA9303	XA9303 (&Lower gingiva)(下歯肉)
3355	2	歯肉癌	1 L	C039	T:2B63.Z	gingival cancer								
3357	2	正中型口底癌	0 L	C040	T:2B64.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/3595405108 http://id.who.int/icd/entity/56469693	伊藤	1 =		2B64.Z&XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の削床 (正中型)を含む
3359	2	正中型口腔底癌	0 L	C040	T:2B64.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/3595405108 http://id.who.int/icd/entity/56469693	伊藤	1 =		2B64.Z&XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の削床 (正中型)を含む
3360	2	側方型口底癌	0 L	C041	T:2B64.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/3595405108 http://id.who.int/icd/entity/79846415	伊藤	1 =		2B64.Z&XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の削床 (側方型)を含む
3362	2	側方型口腔底癌	0 L	C041	T:2B64.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/3595405108 http://id.who.int/icd/entity/79846415	伊藤	1 =		2B64.Z&XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の削床 (側方型)を含む
3367	2	口腔底癌	0 L	C049	T:2B64.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/359540510	伊藤	1 =		2B64.Z	
3369	2	口底癌	1 L	C049	T:2B64.Z	cancer of mouth floor								
3371	2	硬口蓋粘表皮癌	0 L	C050	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/5234847678 http://id.who.int/icd/entity/287052516	伊藤	1 =		2B65.Y &XA4527 &XH1J36	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3374	2	硬口蓋腺様上皮癌	0 L	C050	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/917290638 http://id.who.int/icd/entity/5234847678 http://id.who.int/icd/entity/2127202862	伊藤	1 =		2B65.O &XA4527 &XH4302	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) , XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様囊胞癌)
3375	2	硬口蓋癌	0 L	C050	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/5234847678 http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B65.Z &XA4527	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋)
3380	2	硬口蓋腺房細胞癌	0 L	C050	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/10122920658 http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B65.Y &XA4527 &XH3P69	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3383	2	軟口蓋腺房細胞癌	0 L	C051	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/10122920658 http://id.who.int/icd/entity/2127202862	伊藤	1 =		2B65.Y &XA8H15 &XH3P69	XA8H15 (&Soft palate)(軟口蓋) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3385	2	軟口蓋腺様上皮癌	0 L	C051	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/917290638 http://id.who.int/icd/entity/10122920658 http://id.who.int/icd/entity/2127202862	伊藤	1 =		2B65.O &XA8H15 &XH4302	XA8H15 (&Soft palate)(軟口蓋) , XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様囊胞癌)
3386	2	軟口蓋粘表皮癌	0 L	C051	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/10122920658 http://id.who.int/icd/entity/287052516	伊藤	1 =		2B65.Y &XA8H15 &XH1J36	XA8H15 (&Soft palate)(軟口蓋) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3389	2	軟口蓋癌	0 L	C051	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/10122920658 http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B65.Z &XA8H15	XA8H15 (&Soft palate)(軟口蓋)
3392	2	口蓋垂癌	0 L	C052	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/729693473	伊藤	1 =		2B65.Z &XA2993	XA2993 (&Uvula)(口蓋垂)
3401	2	口蓋癌	0 L	C059	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B65.Z	
3403	2	口蓋腺房細胞癌	0 L	C059	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/132159869	伊藤	1 =		2B65.Y &XH3P69	XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3404	2	口蓋粘表皮癌	0 L	C059	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/18815330648 http://id.who.int/icd/entity/287052516	伊藤	1 =		2B65.Y &XH1J36	XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3405	2	口蓋腺様上皮癌	0 L	C059	T:2B65.Z		1 =		http://id.who.int/icd/entity/917290638 http://id.who.int/icd/entity/2127202862	伊藤	1 =		2B65.O &XH4302	XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様囊胞癌)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と一義数	代替・同義コード	ICD10→ICD11 のコード 変換情報	ICD11和訳にあつた集合の英語	階層度	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	階層度	関係	MMS Coding	備考(マ書き& MMS での postcoordination)
3406	2	頬粘膜腺様上皮癌	0 L	C060	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1935709193&http://dx.who.int/icd/entity/2127202862	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA8WB3 & XH4302	XA8WB3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌) ※病連記載の選択画面表示がないV、追加する	
3411	2	頬粘膜腺房細胞癌	0 L	C060	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1935709193&http://dx.who.int/icd/entity/1322159869	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA8WB3 & XH3PG9	XA8WB3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH3PG9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)	
3414	2	頬粘膜粘表皮癌	0 L	C060	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1935709193&http://dx.who.int/icd/entity/287052516	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA8WB3 & XH1J36	XA8WB3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)	
3416	2	頬粘膜癌	0 L	C060	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1935709193	1 =		伊藤	1 =		2B66.Z & XA8WB3	XA8WB3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜)	
3420	2	口腔前庭癌	0 L	C061	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1379637685	1 =		伊藤	1 =		2B66.Z & XA5TW5	XA5TW5 (&Vestibule of mouth)(口の前庭)	
3422	2	上顎歯肉頬移行部癌	0 L	C061	T:2B66.Z									
3423	2	下顎歯肉頬移行部癌	0 L	C061	T:2B66.Z									
3431	2	上顎結節部癌	0 L	C062	T:2B66.Z									
3432	2	臼後部癌	0 L	C062	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1180195321	1 =		伊藤	1 =		2B66.Z & XA0S17	XA0S17 (&Retromolar region)(レトロモル領域/臼後部)	
3433	2	小唾液腺癌	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1322159869	1 =		伊藤	1 =		2B66.Z & XA30Q1	XA30Q1 (&Minor salivary gland)(小唾液腺)	
3436	2	小唾液腺腺房細胞癌	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1322159869	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA30Q1 & XH3PG9	2B66.Y口 の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物(小唾液腺の悪性新生物含む) XA30Q1 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH3PG9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)	
3441	2	口腔癌	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/212471981	1 =		伊藤	1 =		2B66.Z & XA1WN1	XA1WN1 (&Oral cavity)(口腔)	
3442	2	小唾液腺腺様上皮癌	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/1180195321&http://dx.who.int/icd/entity/2127202862	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA30Q1 & XH4302	2B66.Y口 の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物(小唾液腺の悪性新生物含む) XA30Q1 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)	
3444	2	小唾液腺粘表皮癌	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/287052516	1 =		伊藤	1 =		2B66. Y & XA30Q1 & XH1J36	2B66.Y口 の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物(小唾液腺の悪性新生物含む) XA30Q1 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(腺様細胞癌)	
3449	2	口腔腔悪性黒色腫	0 L	C069	T:2B66.Z	http://dx.who.int/icd/entity/75069495&http://dx.who.int/icd/entity/625791806	1 =		伊藤	1 =		2B66.Y & XH4846	XH4846 (&Malignant melanoma, NOS)(悪性黒色腫, NOS)	
3451	2	耳下腺癌	1 L	C07	=:2B67.Z	http://dx.who.int/icd/entity/2127202862								
3454	2	耳下腺腺様上皮癌	0 L	C07	=:2B67.Z	http://dx.who.int/icd/entity/2127202862	1 =		伊藤	1 =		2B67.0 & XH4302	XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)	
3456	2	耳下腺粘表皮癌	1 L	C07	=:2B67.Z									
3460	2	耳下腺腺房細胞癌	1 L	C07	=:2B67.Z									
3463	2	顎下腺腺房細胞癌	0 L	C080	T:2B68.Z	http://dx.who.int/icd/entity/2117769638&http://dx.who.int/icd/entity/1322159869	1 =		伊藤	1 =		2B68. 2 & XA9OG1 & XH3PG9	XA9OG1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH3PG9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)	
3466	2	顎下腺腺様上皮癌	0 L	C080	T:2B68.Z	http://dx.who.int/icd/entity/1761890526&http://dx.who.int/icd/entity/2127202862	1 =		伊藤	1 =		2B68. 0 & XA9OG1 & XH4302	XA9OG1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)	
3468	2	顎下腺癌	0 L	C080	T:2B68.Z	http://dx.who.int/icd/entity/480928417&http://dx.who.int/icd/entity/839425461	1 =		伊藤	1 =		2B68.Z & XA9OG1	XA9OG1 (&Submandibular gland)(顎下腺)	
3473	2	顎下腺粘表皮癌	0 L	C080	T:2B68.Z	http://dx.who.int/icd/entity/265706641&http://dx.who.int/icd/entity/849425461	1 =		伊藤	1 =		2B68. 0 & XA9OG1 & XH1J36	XA9OG1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌) 顎下腺/舌下腺の粘表皮癌は腺癌に包含	

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 代換・同 義	ICD10コー ド	10⇒11でのア ンノテ情報	ICD11和訳に あつた集合の 英語	評価 度	関係	ICD11 Foundation URI	作者 名	評価 度	関係	MMS Coding	備考(大書き&MMSでのpostcoordination)
3474	2	舌下腺粘表皮癌	0 L	C081	T:2B68.Z		1 =	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/265706641&http://dx.who.int/ced/entity/1467484789	伊藤	1 =	1 >	2B68. 0 & XA51Q9 & XH1J36	XA51Q9 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌) 顎下腺/舌下腺の粘表皮癌は腺癌に包含
3475	2	舌下腺癌	0 L	C081	T:2B68.Z		1 =	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/1467484789	伊藤	1 =	1 >	2B68.Z & XA51Q9	XA51Q9 (&Sublingual gland)(舌下腺)
3479	2	舌下腺腺房細胞癌	0 L	C081	T:2B68.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1555647432&http://dx.who.int/ced/entity/132159869	伊藤	1 =	1 =	2B68. 2 & XA51Q9 & XH3PG9	XA51Q9 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH3PG9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3481	2	舌下腺腺核のう胞癌	0 L	C081	T:2B68.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1586983332&http://dx.who.int/ced/entity/2127202862	伊藤	1 =	1 =	2B68. 0 & XA51Q9 & XH4302	XA51Q9 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺核細胞癌)
3488	2	唾液腺癌	0 L	C089	T:2B68.Z		1 >	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/1515005003	伊藤	1 >	1 >	2B68.Z & XA5173	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを選択しない Submandibular gland(顎下腺)&Sublingual gland(舌下腺)の上位部位XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置)を選択
3492	2	唾液腺腺核のう胞癌	0 L	C089	T:2B68.Z		1 >	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/1515005003&http://dx.who.int/ced/entity/2127202862	伊藤	1 >	1 >	2B68. 0 & XA5173 & XH4302	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを選択しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺核細胞癌)
3494	2	大唾液腺癌	0 L	C089	T:2B68.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1515005003	伊藤	1 =	1 =	2B68.Z & XA5173	XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置)(主要唾液腺含む)
3497	2	唾液腺粘表皮癌	0 L	C089	T:2B68.Z		1 >	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/265706641&http://dx.who.int/ced/entity/1515005003	伊藤	1 >	1 >	2B68. 0 & XA5173 & XH1J36	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを選択しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3498	2	唾液腺腺房細胞癌	0 L	C089	T:2B68.Z	tonsil carcinoma	1 >	1 >	http://dx.who.int/ced/entity/921330276&http://dx.who.int/ced/entity/1515005003&http://dx.who.int/ced/entity/132159869	伊藤	1 >	1 >	2B68. 2 & XA5173 & XH3PG9	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを選択しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH3PG9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3502	2	扁桃窩癌	0 L	C090	T:2B69.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/2048335898&http://dx.who.int/ced/entity/210988614	伊藤	1 =	1 =	2B69.Z & XA46Z4	XA46Z4 (&Tonsillar fossa)(扁桃窩)
3506	2	口蓋弓癌	0 L	C091	T:2B69.Z				http://dx.who.int/ced/entity/1729842914&http://dx.who.int/ced/entity/32037220	伊藤	1 =	1 =	2B5F & XA3V90	XA3V90 (&Palatine tonsil)(口蓋扁桃)
3508	2	扁桃肉腫	0 L	C099	T:2B69.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1172876400&http://dx.who.int/ced/entity/1768384152	伊藤	1 =	1 =	2B6A.Z & XA4D7	XA4D7 (&Anterior surface of epiglottis)(喉頭蓋の前)
3510	2	扁桃癌	1 L	C099	T:2B69.Z				http://dx.who.int/ced/entity/1172876400&http://dx.who.int/ced/entity/1097954495	伊藤	1 =	1 =	2B6A.Z & XA8RX5	XA8RX5 (&Lateral wall of oropharynx)(中咽頭の側壁)
3512	2	喉頭蓋谷癌	0 L	C100	T:2B6A.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1172876400&http://dx.who.int/ced/entity/1630516979	伊藤	1 =	1 =	2B6A.Z & XA8659	XA8659 (&Posterior wall of oropharynx)(中咽頭の後壁)
3515	2	喉頭蓋前面癌	0 L	C101	T:2B6A.Z		1 =	1 =		伊藤				
3519	2	中咽頭側壁癌	0 L	C102	T:2B6A.Z		1 =	1 =	http://dx.who.int/ced/entity/1729842914&http://dx.who.int/ced/entity/2116804022	伊藤	1 =	1 =	2B5F & XA4167	XA4167 (&Oropharynx)(中咽頭)
3522	2	中咽頭後壁癌	0 L	C103	T:2B6A.Z		1 =	1 =		伊藤				
3524	2	嚢原性癌	1 L	C104	T:2B6A.Z	branchiogenic carcinoma			http://dx.who.int/ced/entity/547573632&http://dx.who.int/ced/entity/1846018499	伊藤	1 =	1 =	2B68.Z & XA0659	XA0659 (&Superior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の上壁)
3527	2	中咽頭癌	1 L	C109	T:2B6A.Z	branchiogenic carcinoma l cancer			http://dx.who.int/ced/entity/547573632&http://dx.who.int/ced/entity/245122234	伊藤	1 =	1 =	2B6B.Z & XA4BR4	XA4BR4 (&Posterior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の後壁)
3530	2	中咽頭肉腫	0 L	C109	T:2B6A.Z		1 =	1 =		伊藤				
3533	2	上咽頭上壁癌	0 L	C110	T:2B68.Z		1 =	1 =		伊藤				
3535	2	上咽頭後壁癌	0 L	C111	T:2B68.Z		1 =	1 =		伊藤				

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 備考 の一致	代替・同 義 語	ICD10コード	10⇒11での 変更情報	ICD11和訳に あつた集合の 英語	評価 度	関係	ICD11 Foundation URI	作者 名	評価 度	関係	MMS Coding	備考（大書き & MMS での postcoordination）
3538	2	上咽頭側壁癌	0 L	C112	下:2B6B.Z		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1100254955	1 =		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	伊藤	1 =		2B6B.Z & YA7PY5	XA7PY5 (&lateral wall of nasopharynx)(鼻咽頭の側壁)
3540	2	上咽頭前壁癌	0 L	C113	下:2B6B.Z		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	1 =		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	伊藤	1 =		2B6B.Z & YA21P9	XA21P9 (&anterior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の前壁)
3541	2	上咽頭癌	0 L	C119	下:2B6B.Z		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	1 =		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	伊藤	1 =		2B6B.Z	
3545	2	上咽頭脂肪肉腫	0 L	C119	下:2B6B.Z		http://id.who.int/ed/entity/19914007538&http://id.who.int/ed/entity/1761851771	1 =		http://id.who.int/ed/entity/19914007538&http://id.who.int/ed/entity/1761851771	伊藤	1 =		2B59.Y & YA9AZ1	YA9AZ1 (&nasopharynx)(鼻咽頭)
3546	2	上咽頭悪性腫瘍	0 L	C119	下:2B6B.Z		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	1 =		http://id.who.int/ed/entity/547573862&http://id.who.int/ed/entity/1274860499	伊藤	1 =		2B6B.Z	
3551	2	梨状陥凹癌	1 L	C12	=:2B6C.Z		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	1 =		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	伊藤	1 =			
3553	2	輪状後部癌	0 L	C130	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/769046524&http://id.who.int/ed/entity/534733821	1 =		http://id.who.int/ed/entity/769046524&http://id.who.int/ed/entity/534733821	伊藤	1 =		2B6D.Z & YA4N29	YA4N29 (&postcricoid region)(ボストグロイト領域 (輪状後部))
3555	2	披裂喉頭蓋ひだ下咽頭面癌	0 L	C131	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/534733821&http://id.who.int/ed/entity/534733821	1 =		http://id.who.int/ed/entity/534733821&http://id.who.int/ed/entity/534733821	伊藤	1 =		2B6D.Z & YA9907	YA9907 (&aryepiglottic fold)(披裂喉頭蓋筋(下咽頭面))
3557	2	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	0 L	C131	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	1 =		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	伊藤	1 =		2B6D.Z & YA4N29	YA4N29 (&postcricoid region)(ボストグロイト領域 (輪状後部))
3561	2	下咽頭後部癌	0 L	C132	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	1 =		http://id.who.int/ed/entity/826670225&http://id.who.int/ed/entity/215648059	伊藤	1 =			
3562	2	下咽頭癌	1 L	C139	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907			http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907					
3565	2	下咽頭肉腫	0 L	C139	下:2B6D.Z		http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907	1 =		http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907	伊藤	1 =		2B5F & YA2167	YA2167 (&hypopharynx)(下咽頭)
3573	2	咽頭癌	1 L	C140	下:2B6E.Z		http://id.who.int/ed/entity/899820155&http://id.who.int/ed/entity/118531338&http://id.who.int/ed/entity/1253262643			http://id.who.int/ed/entity/899820155&http://id.who.int/ed/entity/118531338&http://id.who.int/ed/entity/1253262643					
3576	2	咽頭肉腫	0 L	C140	下:2B6E.Z		http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907	1 =		http://id.who.int/ed/entity/1729842914&http://id.who.int/ed/entity/468902907	伊藤	1 =		2B5F & YA93V5	YA93V5 (&pharynx)(咽頭)
3577	2	副咽頭間隙悪性腫瘍	0 L	C140	下:2B6E.Z		http://id.who.int/ed/entity/118531338&http://id.who.int/ed/entity/1253262643	1 =		http://id.who.int/ed/entity/118531338&http://id.who.int/ed/entity/1253262643	伊藤	1 =		2B6E.Z & YA6QV3	YA6QV3 (&Parapharyngeal recess)(旁咽頭陥凹)
3582	2	頸部食道癌	0 L	C150	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/2143578283	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/2143578283	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA4NO3	(&Cervical oesophagus)(&頸部食道)
3586	2	胸部下部食道癌	0 L	C151	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	1 <		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	伊藤	1 <		2B7D.Z & YA8FT3	(&Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部下部コードなし
3589	2	胸部食道癌	0 L	C151	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA8FT3	(&Thoracic oesophagus)(&胸部食道)
3591	2	胸部上部食道癌	0 L	C151	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	1 <		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	伊藤	1 <		2B7D.Z & YA8FT3	(&Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部上部コードなし
3593	2	胸部中部食道癌	0 L	C151	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	1 <		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1535151273	伊藤	1 <		2B7D.Z & YA8FT3	(&Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部中部コードなし
3597	2	腹部食道癌	0 L	C152	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1863250205	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1863250205	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA0TN5	(&Abdominal oesophagus)(&腹部食道)
3600	2	上部食道癌	0 L	C153	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1027002380	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/1027002380	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA1180	(&Upper third of oesophagus)(&食道の上部3分の1)
3601	2	中部食道癌	0 L	C154	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/107997583	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/107997583	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA2B73	(&Middle third of oesophagus)(&食道の中央3分の1)
3605	2	下咽頭食道癌	0 L	C155	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/193458268&http://id.who.int/ed/entity/706655436	1 >		http://id.who.int/ed/entity/193458268&http://id.who.int/ed/entity/706655436	伊藤	1 >		2B7D.00	2B7D.00 (下咽頭食道癌)
3610	2	下部食道癌	0 L	C155	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/706655436	1 =		http://id.who.int/ed/entity/669033105&http://id.who.int/ed/entity/706655436	伊藤	1 =		2B7D.Z & YA9CB6	(&Lower third of oesophagus)(&食道の下部3分の1)
3616	2	食道胃接合部癌	0 L	C158	下:2B7D.Z		http://id.who.int/ed/entity/1103107484	1 =		http://id.who.int/ed/entity/1103107484	伊藤	1 =		2B71.Z	

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第3章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

対 Foundation 粒度					対 MMS 粒度					
No	ICD11 標準病名 0章	ICD11 和訳と コード 数	ICD10 代換・ 同義 コード	10⇒11 でのマッピング 情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	対 Foundation 関係	ICD11 Foundation URI	対 MMS 関係	MMS Representatio n	備考
10577	3 プラズマ・ライオン症候群	0 L	D501	=:3A00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/156837509	1 <	3A00.Y	Plummer-Vinson syndrome
10578	3 小球性低色素性貧血	0 L	D508	下:3A00.Z	http://id.who.int/icd/entity/1932238346	1 =		1 <	3A00.Y	Microcytic hypochromic anaemia
10579	3 小球性貧血	0 L	D508	下:3A00.Z	http://id.who.int/icd/entity/1380406043	1 =		1 <	3A00.Y	Microcytic anemia
10597	3 遺伝性巨赤芽球性貧血	0 L	D511	=:3A01.Z	http://id.who.int/icd/entity/1469520192	1 =		1 <	3A01.0	Hereditary Vitamin B12 deficiency anaemia
10603	3 トランスコバリン欠乏症	0 L	D512	=:3A01.0	http://id.who.int/icd/entity/892302875	1 =		1 <	3A01.0	Hereditary megaloblastic anaemia due to transcobalamin deficiency
10606	3 胃切除後巨赤芽球性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0	http://id.who.int/icd/entity/623613402	1 <		1 <	3A01.Z	Hereditary Vitamin B12 deficiency anaemia
10616	3 小腸切除によるビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0	http://id.who.int/icd/entity/1470734867	1 =		1 <	3A01.Z 4&XA652	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease & 小腸
10618	3 フローシ病によるビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0	http://id.who.int/icd/entity/1470734867	1 =		1 <	3A01.4/DD70.Z	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease / Crohn disease
10619	3 吸収不良症候群によるビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0	http://id.who.int/icd/entity/1526938195	1 =		1 <	3A01.4/DA96.0Z	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease / intestinal malabsorption, unspecified
10621	3 ビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D519	=:3A01.Z	http://id.who.int/icd/entity/1074104026	1 =		1 =	3A01.Z	Megaloblastic anaemia due to vitamin B12 deficiency, unspecified
10627	3 薬剤性葉酸欠乏性貧血	0 L	D521	=:3A02.4	http://id.who.int/icd/entity/2065122896	1 =		1 =	3A02.4	Drug-induced folate deficiency anaemia
10630	3 溶血性貧血に伴う葉酸欠乏症	0 L	D528	上:3A02.0 上:3A02.2 上:3A02.Z	http://id.who.int/icd/entity/162767294	1 =		1 =	3A02.2/3A4Z	Acquired megaloblastic anaemia associated with haemolytic anaemia
10631	3 先天性葉酸吸収不全	0 L	D528	上:3A02.0 上:3A02.2 上:3A02.Z	http://id.who.int/icd/entity/1312508751	1 =		1 =	3A02.0	Hereditary folate deficiency anaemia
10635	3 高色素性貧血	0 L	D529	=:3A02.Z	http://id.who.int/icd/entity/918183131	1 <		1 <	3A02.Z	Folate deficiency anaemia, unspecified
10636	3 大球性貧血	0 L	D529	=:3A02.Z	http://id.who.int/icd/entity/918183131	1 <		1 <	3A02.Z	Folate deficiency anaemia, unspecified
10639	3 蛋白欠乏性貧血	0 L	D530	上:3A03.1 上:3A03.0	http://id.who.int/icd/entity/261912453	1 =		1 =	3A03.1	Protein deficiency anaemia
10642	3 オロチン酸尿性貧血	0 L	D530	上:3A03.1 上:3A03.0	http://id.who.int/icd/entity/449856959	1 =		1 =	3A03.0	Hereditary orotic aciduria
10645	3 症候性巨赤芽球性貧血	0 L	D531	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10646	3 巨赤芽球性貧血	0 L	D531	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10649	3 亜鉛欠乏性貧血	0 L	D538	下:3A03 上:3A03.40 上:3A03.3 上:3A03.42 上:3A03.5 上:3A03.4 上:3A03.41 上:3A03.6	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y /5B5K.2	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia / Zinc deficiency
10652	3 微量元素欠乏性貧血	0 L	D538	3A03.3 上:3A03.42 上:3A03.5 上:3A03.4 上:3A03.41 上:3A03.6	http://id.who.int/icd/entity/507202177	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10654	3 食事性貧血	0 L	D539	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10655	3 ビタミン欠乏性貧血	0 L	D539	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10657	3 胃切除後貧血	0 L	D539	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/31556424	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10660	3 小児食事性貧血	0 L	D539	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/347064800	1 <		1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10661	3 慢性貧血	0 L	D539	下:3A03	http://id.who.int/icd/entity/883635149	1 =		1 <	3A03.Y	Chronic simple anaemia
10666	3 ソラ豆中毒	0 L	D550	=:3A10.00	http://id.who.int/icd/entity/506935822	1 =		1 <	3A10.00	Haemolytic anaemia due to glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency の注釈の中で hemolytic anaemia, which is sometimes serious, can appear following ingestion of certain foods (fava beans)"とあるので、このコードにした
10667	3 G6PD欠乏性貧血	0 L	D550	=:3A10.00	http://id.who.int/icd/entity/506935822	1 =		1 <	3A10.00	G6PD - [glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency] anaemia

					対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	
10670	3 型溶血性非球状赤血球性貧血	0 L	D551	=:3A10.0Z	1 =	1 <	3A10.00 Hereditary haemolytic nonspherocytic type 1 anaemia
10672	3 三度難リソ糖ノメラセ欠乏性貧血	0 L	D552	=:3A10.Z	1 =	1 <	3A10.00 Haemolytic anaemia due to triose phosphate-isomerase deficiency
10674	3 II型溶血性非球状赤血球性貧血	0 L	D552	=:3A10.Z	1 =	1 <	3A10.Y Haemolytic nonspherocytic hereditary anaemia, type 2
10675	3 ヘキソキナーゼ欠乏性貧血	0 L	D552	=:3A10.Z	1 =	1 <	3A10.Y Nonspherocytic haemolytic anaemia due to hexokinase deficiency
10681	3 赤血球酵素欠乏性貧血	0 L	D559	下:3A10.Z	1 <	1 <	3A10.Y Hereditary haemolytic anaemia due to enzyme deficiency
10682	3 酵素異常による遺伝性溶血性貧血	0 L	D559	下:3A10.Z	1 =	1 <	3A10.Y Hereditary haemolytic anaemia due to enzyme deficiency
10689	3 中間型サラセミア	L	D561	=:3A50.2	1 =	1 =	3A50.2 / 3A50.02 Alpha thalassaemia intermedia / Beta thalassaemia intermedia β-サラセミア
10691	3 サラセミア保因者	0 L	D563	上:3A50.00 上:3A50.2	1 =	1 =	3A50.2 Beta thalassaemia carrier
10692	3 遺伝性高胎児性ヘモグロビン症	0 L	D564	=:3A50.4	1 =	1 =	3A50.4 Hereditary persistence of fetal haemoglobin
10697	3 ヘモグロビンSS病	0 L	D570	=:3A51.2	1 =	1 <	3A51.1 Hb SS disease
10700	3 ヘモグロビンSC病	0 L	D572	=:3A51.3	1 =	1 <	3A51.3 Hb SC disease
10705	3 重複ヘテロ接合型鎌状化障害	0 L	D572	=:3A51.3	1 =	1 <	3A51.3 Compound Hbs and beta thalassaemia heterozygotes including Hbs/delta-beta-thal compounds
10706	3 ヘモグロビンSD病	0 L	D572	=:3A51.3	1 =	1 <	3A51.3 Hb SD disease
10708	3 ヘモグロビンSE病	0 L	D572	=:3A51.3	1 =	1 <	3A51.3 Hb SE disease
10709	3 鎌状赤血球保因者	0 L	D573	=:3A51.0	1 =	1 =	3A51.0 Sickle cell trait
10711	3 ヘテロ接合型ヘモグロビンS症	0 L	D573	=:3A51.0	1 =	1 <	3A51.0 HbAS - [heterozygous haemoglobin S]
10712	3 増殖性鎌状赤血球性網膜症	0 L	D578	下:3A51.Z	1 =	1 <	9B71.Y Proliferative sickle-cell retinopathy
10730	3 ヘモグロビンD病	0 L	D582	下:3A10.Z	1 =	1 =	3A51.6 Haemoglobin D disease
10731	3 ヘモグロビン異常症	0 L	D582	下:3A10.Z	1 =	1 <	3A51.Y Abnormal haemoglobin NOS
10735	3 ヘモグロビンC病	0 L	D582	下:3A10.Z	1 =	1 <	3A51.Y Haemoglobin C trait
10737	3 異常ヘモグロビン症性骨壊死	0 L	D582	下:3A10.Z	1 =	1 =	F8B1.4 Osteonecrosis due to haemoglobinopathy Parent
10738	3 ヘモグロビンE病	0 L	D582	下:3A10.Z	1 =	1 <	3A51.Y Haemoglobin E trait
10745	3 家族性溶血性貧血	0 L	D589	下:3A10.Z	1 =	1 =	3A10.Z Hereditary haemolytic anaemia
10747	3 薬剤性自己免疫性溶血性貧血	0 L	D590	=:3A20	1 =	1 <	3A20.Y Drug-induced immune haemolytic anaemia
10754	3 寒冷性溶血素症候群	0 L	D591	下:3A22 上:3A20.0	1 =	1 =	3A20.1 Autoimmune haemolytic anaemia, cold type
10755	3 薬剤性溶血性貧血	0 L	D592	=:3A21	1 =	1 <	3A21.Y Drug-induced nonautoimmune haemolytic anaemia
10757	3 薬剤性酵素欠乏性貧血	0 L	D592	=:3A21	1 =	1 <	3A21.Y acquired nonautoimmune haemolytic anaemia due to drugs
10769	3 微小血管障害性溶血性貧血	0 L	D594	=:3A21	1 =	1 <	3A21.1 Microangiopathic haemolytic anaemia
10770	3 術後溶血性貧血	0 L	D594	=:3A21	1 =	1 =	3A4Z & X7V Haemolytic anaemias, unspecified & Postoperative
10772	3 中毒性溶血性貧血	0 L	D594	=:3A21	1 =	1 <	3A21.Y Toxic haemolytic anaemia
10778	3 寒冷性色素尿症	0 L	D596	下:3A21 上:8C01	1 =	1 <	3A20.1 cold agglutinin disease or haemoglobinuria
10790	3 慢性後天性赤芽球ろう	0 L	D600	=:3A61.1	1 =	1 =	3A61.1 Chronic acquired pure red cell aplasia
10792	3 一過性後天性赤芽球ろう	0 L	D601	=:3A61.0	1 =	1 <	3A61.0 Transient acquired pure red cell aplasia
10795	3 後天性赤芽球ろう	0 L	D609	下:3A62 下:3A61.Z	1 =	1 <	3A61.Z Acquired pure red cell aplasia, unspecified
10798	3 乳児赤芽球ろう	0 L	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0	1 =	1 <	3A6Z & XT2C Acquired pure red cell aplasia, unspecified & Infancy
10801	3 赤芽球ろう	0 L	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0	1 =	1 =	3A6Z Pure red cell aplasia, unspecified
10814	3 先天性低形成貧血	0 L	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0	1 =	1 =	KA8C Congenital hypoplastic anaemia
10818	3 薬剤性再生不良性貧血	0 L	D611	=:3A70.10 下:3A70.1Z	1 =	1 =	3A70.10 Drug-induced aplastic anaemia
10819	3 放射線性貧血	0 L	D612	=:3A70.11 下:3A70.1Z	1 =	1 =	3A70.11 & XE60C Aplastic anaemia due to other external agents & Exposure to radiation

					対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
10820	3 二次性再生不良性貧血	0 L	D612	=:3A70.11 下:3A70.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/759747321	1 <	3A70.12	Acquired aplastic anaemias, unspecified
10821	3 肝炎後再生不良性貧血	0 L	D612	=:3A70.11 下:3A70.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/759747321 http://id.who.int/icd/entity/2046015098	1 <	3A70.12 / D897.Z	Acquired aplastic anaemias, unspecified / hepatitis NOS
10823	3 骨髓機能低下	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1259617911	1 <	3A70.Z XA9KK1	bone marrow failure
10824	3 骨髓低形成	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 =	http://id.who.int/icd/entity/502834133/ http://id.who.int/icd/entity/1147802348	1 <	3A70.Z / 2A3Z	aplasia bone marrow / myelodysplastic anaemia
10826	3 中等症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133 & http://id.who.int/icd/entity/1669264387	1 <	3A70.Z & XSOT	Aplastic anaemia, unspecified & Moderate
10827	3 本態性再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133 & http://id.who.int/icd/entity/1201187093	1 <	3A70.Z & XS25	Aplastic anaemia, unspecified & Severe
10829	3 重症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133 & http://id.who.int/icd/entity/1355309673	1 <	3A70.Z & XS2R	Aplastic anaemia, unspecified & Profound
10832	3 最重症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133	1 <	3A70.Z	Aplastic anaemia, unspecified
10836	3 低形成性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133 & http://id.who.int/icd/entity/562478860	1 <	3A70.Z & XSSW	Aplastic anaemia, unspecified & Mild
10837	3 軽症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <		1 <	3A9Z & XSVV	Aplastic anaemia, unspecified & Mild
10839	3 術後貧血	0 L	D62	=:3A00.00	1 =	http://id.who.int/icd/entity/224336967 & http://id.who.int/icd/entity/182265087	1 =	3A9Z&XV7V	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified & Postoperative
10840	3 急性失血性貧血	0 L	D62	=:3A00.00	1 =	http://id.who.int/icd/entity/324845131	1 =	3A94	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10848	3 薬剤性鉄芽球性貧血	0 L	D642	=:3A72.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/587664055	1 <	3A72.1	Acute posthaemorrhagic anaemia
10851	3 ビリダキシン反応性貧血	0 L	D643	下:3A72.Z	1 =	http://id.who.int/icd/entity/808841924	1 <	3A72.00	Secondary sideroblastic anaemia due to drugs or toxins
10853	3 先天性赤血球酵素異常	0 L	D644	=:3A73	1 =	http://id.who.int/icd/entity/899830967	1 <	3A73	X-linked sideroblastic anaemia, pyridoxine-responsive
10857	3 脾性貧血	0 L	D648	上:3A90	1 =	http://id.who.int/icd/entity/801049792 & http://id.who.int/icd/entity/143777109	1 <	D898.7Y&XA7FUG	Congenital dyserythropoietic anaemia
10858	3 乳児偽白血病	0 L	D648	上:3A90	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967 & http://id.who.int/icd/entity/1588782340	1 <	3A9Z & X72C	Banti syndrome パンチ症候群ともいう
10860	3 症候性貧血	0 L	D648	上:3A90	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified & Infancy
10861	3 白赤芽球症	0 L	D648	上:3A90	1 <		1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10862	3 正色素性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Leukoerythroblastosis 末梢血中に白血球および赤血球の幼若型の出現する状態をいう、赤血球の大小不同、奇型などを伴うことが多い、貧血を伴うことが多い
10863	3 貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10865	3 正球性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10866	3 正球性正色素性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10867	3 本態性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10869	3 思春期貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10872	3 老人性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10875	3 線溶亢進	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1622289887	1 <	3B20	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10876	3 後天性無フエリノゲン血症	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1253372661	1 <	3B20	fibrinolysis NOS 線維素溶解(線溶)は凝固により生じた血栓の溶解のこと
10891	3 劇症紫斑病	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1299848111	1 <	3B20	Afibrinogenaemia, acquired
10892	3 結核性線維素溶解性障害	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1622289887	1 <	3B20	Purpura fulminans
10904	3 血友病関節炎	0 L	D66	=:3B10.Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/337607970 http://id.who.int/icd/entity/396939646	1 <	3B10.O / FAZZ	fibrinolysis NOS
10913	3 第Ⅷ因子インビター陽性先天性血友病	0 L	D66	=:3B10.Z	1 =	http://id.who.int/icd/entity/337607970	1 =	3B10.O	Haemophilia NOS / arthritis NOS
10914	3 血友病性出血	0 L	D66	=:3B10.Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/337607970 http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <	3B10.O / MG27	Haemophilia A
10931	3 低トロンビン血症	0 L	D67	=:3B11.Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/2722299518	1 <	3B14.Z	Haemophilia NOS /haemorrhage, not elsewhere classified
									Hypoprothrombinaemia フロトンビン(第Ⅱ因子)の欠乏、減少あるいは分子構造異常により臨床出血性素質を主症状とする疾患

					対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	
10932	3 第Ⅸ因子インビクター陽性先天性血友病	0 L	D67	=:3B11.Z	1 =	1 =	Haemophilia B
10935	3 ヲイルブラッド・ジュールズ血小	0 L	D680	=:3B12	1 =	1 =	Von Willebrand disease
10952	3 第Ⅹ因子欠乏症	0 L	D681	=:3B13	1 =	1 <	factor XI deficiency
10961	3 第Ⅹ因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 =	Hereditary factor X deficiency
10967	3 フリカリレン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Congenital prekallikrein deficiency
10968	3 第Ⅺ因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	actor XII deficiency disease
10970	3 第Ⅻ因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	deficiency of factor XIII / Acquired factor XIII deficiency
10975	3 先天性第Ⅻ因子Bサブユニット欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Hereditary factor XIII deficiency
11001	3 フトリリゲン異常症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	dysfibrinogenaemia NOS
11006	3 第Ⅺ因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	actor VII deficiency
11022	3 フトリリゲン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Deficiency of fibrinogen
11027	3 先天性フトリリノーゲン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Hereditary fibrinogen deficiency
11034	3 高フトリリゲン血症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 <	1 <	Congenital prekallikrein deficiency
11050	3 先天性第Ⅻ因子Aサブユニット欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 <	1 <	Hereditary factor XIII deficiency 血漿中のⅫ因子は分子量約320,000の巨大糖蛋白で、分子量約85,000の凝活血性を有するAサブユニットと分子量約75,000のキヤリアー-フトリインととのBサブユニットがそれぞれ非共有結合で二個つつ結合したチトラマーの形で存在している。
11052	3 先天性プロトロンピン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Prothrombin deficiency
11062	3 第Ⅴ因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 =	1 <	Deficiency of factor V
11068	3 フトリリゲン減少症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下: 3B1Z 上:3B14.0 上: 3B14.1 上:3B14.2	1 <	1 <	Deficiency of fibrinogen
11071	3 循環性抗凝血因子症	0 L	D683	=:3B21.Z	1 =	1 <	circulating anticoagulant disorder
11082	3 ビタミンK欠乏による凝固因子欠乏	0 L	D684	=:	1 =	1 <	Deficiency of coagulation factor due to nutritional vitamin K deficiency
11085	3 肝疾患による凝固因子欠乏	0 L	D684	=:	1 =	1 <	Deficiency of coagulation factor due to liver disease
11089	3 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0 L	D684	=:	1 <	1 <	Other specified haemorrhagic diseases due to acquired coagulation factor defects
11093	3 後天性第Ⅻ因子欠乏症	0 L	D684	=:	1 =	1 <	Acquired factor XIII deficiency

					対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	
11094	自己免疫性後天性フオンハイル ラント病	0 L	D684	=:	1 =	1 =	Acquired von Willebrand disease
11098	3 後天性第Ⅴ因子欠乏症	0 L	D684	=:	1 =	3B2Y	Acquired factor V deficiency disease
11109	3 フォクトロピンⅢ欠乏症	0 L	D685	=:3861.0	1 =	3B2Y	antithrombin deficiency
11111	3 フォクトロインS欠乏症	0 L	D685	=:3861.0	1 =	3861.0	Hereditary thrombophilia due to congenital protein S deficiency
11114	3 ヘヴィン・コファクターⅡ欠乏症	0 L	D685	=:3861.0	1 =	3861.0Y	Heparin co-factor II deficiency
11118	3 フォクトロインC欠乏症	0 L	D685	=:3861.0	1 =	3861.0Y	Hereditary thrombophilia due to congenital protein C deficiency
11121	3 後天性フォクトロインC欠乏症	0 L	D686	上:3861.1 上:4A45.Z	1 =	3861.1 & XM35D2	Acquired thrombophilia & Protein C
11122	3 ルーアスアッチコファラント	0 L	D686	上:3861.1 上:4A45.Z	1 =	4A45.3	Lupus anticoagulant-hypoprothrombinaemia syndrome (個々の凝固因子活性を阻害することにより脂質依存性凝固反応を阻害する免疫グロブリン)
11124	3 後天性フォクトロインS欠乏症	0 L	D686	上:3861.1 上:4A45.Z	1 =	3861.1	Protein S acquired deficiency
11128	3 ルーアス血小板減少症	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	1 =	4A45.3	Lupus thrombocytopenia
11131	3 先天性フラスミノゲン欠損症	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	1 =	3850.1	Congenital plasminogen activator inhibitor type 1 deficiency
11136	3 フォトリノゲン減少症	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	1 <	3814.0	hypofibrinogenaemia
11138	3 トルノー症候群	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	2 <	384Z	Coagulation defects, unspecified Trousseau's syndrome(トルノー症候群)は、「悪性腫瘍」に合併する凝固能亢進状態(hypercoagulable state)あるいは汎発性血管内血液凝固症候群(disseminated intravascular coagulation: DIC)とそれに伴う逆走性血栓性静脈炎のことをさす
11141	3 低線維素血症	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	1 <	3814.0	hypofibrinogenaemia
11143	3 無フィブリノゲン血症	0 L	D688	下:384Z 上:3850.Z	1 <	3814.0	Athrinogenaemia
11145	3 先天性血液凝固因子異常	0 L	D689	下:384Z	1 <	381Z	Congenital or constitutional haemorrhagic condition, unspecified
11149	3 遺伝性血栓性素因による特発性 血栓症	0 L	D689	下:384Z	1 <	3861.0Y	Other specified hereditary thrombophilia
11154	3 凝固因子欠乏症	0 L	D689	下:384Z	1 <	384Z	Coagulation defects, unspecified
11161	3 アナフィラクトイド紫斑	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 =	4A44.9Z	Anaphylactoid purpura
11168	3 紫斑病腎炎	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 =	4A44.9Z / GB40	Schönlein–Henoch purpura nephritis; HSPN
11171	3 症候性紫斑病	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 <	4A44.9	Allergic vasculitis
11175	3 アレルギー性血管炎	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 =	4A44.BZ	Allergic vasculitis
11184	3 IgA血管炎	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 =	4A44.9Z / FA2Z	IgA vasculitis
11190	3 IgA血管炎性関節炎	0 L	D690	=:4A44.9Z 上:4A85.03	1 =	4A44.9Z	IgA vasculitis
11197	3 先天性血小板機能低下	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Thrombocytopathy
11202	3 異常血小板	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	platelet disorder
11205	3 円形血小板症	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified
11208	3 血小板機能低下	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified
11211	3 後天性血小板機能低下	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified
11215	3 血小板放出機構異常症	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified
11218	3 血小板障害症	0 L	D691	=:3862.Z	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified
11225	3 テビエ紫斑	0 L	D692	=:3860 上:EF31	1 <	EF40.32	Purpura or bruising due to vascular fragility 女子の四肢、特に膝周囲に現れる紫斑で、時に関節痛を伴います。1週間程度で消えます
11226	3 紫斑病	0 L	D692	=:3860 上:EF31	1 =	386Z	Purpura or coagulation defect
11229	3 血管拡張性環状紫斑症	0 L	D692	=:3860 上:EF31	1 <	EF3Y	Purpura or bruising due to increased intravascular pressure
11231	3 全身性紫斑病	0 L	D692	=:3860 上:EF31	1 <	EF3Z	Purpura of unspecified aetiology
11234	3 自己赤血球感作症候群	0 L	D692	=:3860 上:EF31	1 =	ED02	autoerythrocyte sensitization Gardner-Diamond症候群とも呼ばれる

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第5章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	ICD11和・代表 訳との 義	ICD10 コード	10 => 11で あつた部分の 分情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	病名と て現代 では不 適切	評価 度	関係	ICD11 Foundation URI	評価 度	関係	MMS Post Coordination	備考
14899	5 急性発症の血管性認知症	0 L	F010	T:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1365258270_&http://id.who.int/icd/enthy/1385443355	1 =		6D81&X73Z	6D81&X73Z rapid onset
14903	5 CARASIL	0 L	F011	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1984450655	1 =		8822.C1	
14905	5 CADASIL	0 L	F011	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1621899838	1 =		8822.C0	
14906	5 皮質認知症	0 L	F011	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/645643099	1 <		6D81	Cortical dementia
14907	5 多発梗塞性認知症	0 L	F011	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/645643099	1 <		6D81	multi-infarct dementia
14914	5 皮質下認知症	0 L	F012	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2078986772	1 <		6D81	Dementia due to subcortical vascular encephalopathy
14915	5 血管性認知症	0 L	F019	=:6D81			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1365258270	1 <		6D81	Vascular dementia
14929	5 老年期認知症妄想型	0 L	F03	T:6D82			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/759326886/http://id.who.int/icd/enthy/932028588	1 <		6D82 / M826.0	* Old age dementia + 妄想型(Delusion)
14934	5 老年精神病	0 L	F03	T:6D82			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/546689346	1 <		6D82	Senile psychosis : 認知症 (Dementia) の類義語にある。
14937	5 二次性認知症	0 L	F03	T:6D82			1 ★		http://id.who.int/icd/enthy/1468768235.orhttp://id.who.int/icd/enthy/235421675	1 ★		6D85.Y or 6E67	* Dementia due to diseases classified elsewhere or Secondary neurocognitive syndrome
14946	5 老年期認知症	0 L	F03	T:6D82			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1038351310	1 <		6D82	Senile dementia
14953	5 老年期妄想状態	0 L	F03	T:6D82			1 ★		http://id.who.int/icd/enthy/1468768235.orhttp://id.who.int/icd/enthy/235421675	1 ★		6D85.Y or 6E67	* Dementia due to diseases classified elsewhere or Secondary neurocognitive syndrome
14955	5 初老期妄想状態	0 L	F03	T:6D82			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/2084912553	1 <		6D82	Presenile psychotic mental disorder
14957	5 認知症	0 L	F03	T:6D82			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/546689346	1 <		6D82	dementia
14968	5 器質性健忘症候群・精神作用物質によらないもの	0 L	F04	=:6D72.0			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/862469859	1 <		6D72.0	Organic amnesic syndrome, not induced by psychoactive substances (ICD-10)
14973	5 認知症に重ならないせん妄	0 L	F050	T:6D70.Z			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/897917531	1 <		6D70.Z	「認知症に重ならない」を表現できないので、せん妄のみとした。
14975	5 認知症に重ならないせん妄	0 L	F051	T:6D70.Z			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/897917531/http://id.who.int/icd/enthy/546689346	1 =		6D70.Z / 6D82	Delirium not superimposed on dementia, so described (ICD-10)
14986	5 急性錯乱状態	0 L	F058	±:6D70.0/ ±:6D70.2			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/897917531	1 <		6D70.Z	認知症 + せん妄 Delirium superimposed on dementia (ICD-10)
14987	5 夜間せん妄	0 L	F059	=:6D70.3			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/897917531	1 <		6D70	acute confusional state : せん妄 (Delirium) のsynonymにacute confusional state NOSがある。
14988	5 老人性夜間せん妄	0 L	F059	=:6D70.3			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/897917531	1 <		6D70	CDDGで該当する記載見つからず。老人性についてはT13.19が該当
14989	5 せん妄	0 L	F059	=:6D70.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/897917531	1 =		6D70	delirium
14990	5 非アルコール性器質性幻覚状態	0 L	F060	=:6E61.0			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2018051983	1 =		6E61.0	F06.0 Incl. organic hallucinatory state (nonalcoholic)
14991	5 器質性幻覚症	0 L	F060	=:6E61.0			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2018051983	1 =		6E61.0	6E61.0 Secondary psychotic syndrome, with hallucinations
14992	5 皮膚寄生虫妄想	0 L	F060	=:6E61.0			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/2018051983	1 <		6E61.0	F06.0 Incl. Dermatzoemwahn
14993	5 器質性緊張病性障害	0 L	F061	=:6A42			1 ★		http://id.who.int/icd/enthy/289492002.orhttp://id.who.int/icd/enthy/518306574	1 ★		6A41 OR 6E69	Organic catatonic disorder (ICD-10)
14994	5 器質性の妄想状態および幻覚妄想状態	0 L	F062	T:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2003271643	1 =		6E61.2	ICD-11 では、物質または薬物によって誘発される緊張病(Catatonia induced by substances or medications)と二次緊張病(secondary catatonia)
14995	5 器質性妄想性障害	0 L	F062	T:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/566524918	1 =		6E61.1	Secondary psychotic syndrome, with hallucinations and delusions
14997	5 器質性混合性感情障害	0 L	F063	=:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1899175158	1 <		6E62.2	Secondary mood syndrome, with delusions
14998	5 器質性気分障害	0 L	F063	=:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/216291184	1 =		6E62	Secondary mood syndrome
14999	5 器質性躁病性障害	0 L	F063	=:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/880462195	1 =		6E62.1	Secondary mood syndrome, with manic symptoms
15000	5 器質性うつ病性障害	0 L	F063	=:6E62			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/241382885	1 =		6E62.0	Secondary mood syndrome, with depressive symptoms
15001	5 感染症後うつ病	0 L	F063	=:6E62			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/216291184	1 <		6E62	Secondary mood syndrome
15002	5 動脈硬化性うつ病	0 L	F063	=:6E62			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/216291184	1 <		6E62	Secondary mood syndrome
15003	5 器質性双極性障害	0 L	F063	=:6E62			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/216291184	1 <		6E62	Index termに記載あるが対象範囲異なる

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和訳 訳との 一致	代表 ・同 コード	ICD10 の コード の 情報	10 => 11 の 変更 の 理由	ICD11 和訳に あつた場合の 英語	病名と て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	対 MMS 粒度	備考
15004	5 器質性不安障害	0 L	F064	=:6E63				1 =	1 <	6E62	Organic anxiety disorder
15005	5 器質性解離性障害	0 L	F065	=:6E65				1 =	1 <	6E65	Organic dissociative disorder
15007	5 器質性情緒不安定性障害	0 L	F066	=:6E68 下:6E62				2 <	1 <	6E65	Index term: Organic emotionally labile asthenic disorder
15008	5 軽度認知障害	0 L	F067	=:6D71				1 =	1 <	6D71	Mild neurocognitive disorder
15012	5 てんかん性精神病	0 L	F068	下:6E62				2 =	1 <	6E6Y	epileptic psychosis NOS mentioned as incl. in 10 CDDG 6E6Y Other specified secondary mental or behavioural syndrome
15015	5 多幸症	0 L	F068	下:6E62				1 =	1 =	MB24.9	euphoria
15019	5 内分泌性精神障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15020	5 動脈硬化性精神障害	0 L	F069	下:6E62			1	2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15021	5 脳出血後遺性精神障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15022	5 全身性エリテマトーデス精神病	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15027	5 高次脳機能障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15029	5 頭部外傷後精神障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15031	5 脳血管性精神障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15032	5 器質性脳症候群	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15035	5 症候性精神障害	0 L	F069	下:6E62				2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15036	5 子宮全摘術後愁訴	0 L	F069	下:6E62			1	2 <	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15037	5 器質性精神障害	0 L	F069	下:6E62				1 =	1 <	6E62	organic mental disorder : Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhereのsynonymにある。
15041	5 前頭葉症候群	0 L	F070	下:6E62				1 <	1 <	6E62	organic mental disorder : Secondary personality changeのsynonymにある。
15049	5 辺縁系てんかん人格症候群	0 L	F070	下:6E62				1 <	1 <	6E68	limbic epilepsy personality syndrome (ICD-10)
15056	5 器質性パーソナリティ障害	0 L	F070	下:6E62				1 =	1 <	6E68	organic personality disorder : Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhereのsynonymにある。
15058	5 器質性偽精神病質性人格	0 L	F070	下:6E62				2 <	2 <	6E62	organic pseudopsychopathic personality (ICD-10): 器質性人格障害の下位概念?
15059	5 脳炎後症候群	0 L	F071	下:6E62				1 =	1 <	6E62	Postencephalitic syndrome (ICD-10): =>Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhere
15061	5 閉鎖性外傷性脳症	0 L	F072	=:6D71			1?	3 =	1 =	NA07 / 6D71	頭蓋内損傷 (intracranial injury) のsynonymに閉鎖性頭部外傷 (Closed head injury) あり + 軽度認知障害 (index termに Postconfusional encephalopathy) あり
15062	5 脳震盪後症候群	0 L	F072	=:6D71				1 =	1 =	6D71	Postconcussional syndrome
15063	5 開放性外傷性脳症	0 L	F072	=:6D71			1?	3 =	1 =	NA01 / 6D71	頭部の開放創 (Open wound of head) + 軽度認知障害 (index termに Postconfusional encephalopathy) あり
15067	5 外傷性脳症・頭蓋内に達する開放創合併なし	0 L	F072	=:6D71			1?	3 =	1 =	NA07 / 6D71	頭蓋内損傷 (intracranial injury) のsynonymに閉鎖性頭部外傷 (Closed head injury) あり + 軽度認知障害 (index termに Postconfusional encephalopathy) あり
15068	5 非精神病性外傷後脳症候群	0 L	F072	=:6D71				1 =	1 <	6D71	Post-traumatic brain syndrome, nonpsychotic: Postconcussional syndrome (脳震盪後症候群) のsynonymにある。
15070	5 外傷性脳症・頭蓋内に達する開放創合併あり	0 L	F072	=:6D71			1?	3 =	1 =	NA01 / 6D71	頭部の開放創 (Open wound of head) + 軽度認知障害 (index termに Postconfusional encephalopathy) あり
15071	5 側頭葉症候群	0 L	F078	下:6E62				2 <	2 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome, unspecified
15072	5 器質性人格行動障害	0 L	F078	下:6E62				2 <	2 <	6E62	

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和代表 訳との一致	ICD10 コード	10⇒11で あつた場合の 分類	ICD11 和訳に あつた場合の 英語	病名と て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	ICD11 Foundation URI	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	MMS Post Coordination	備考
15073	5 クリューバー・ヒューシー症候群	0 L	F078	下:6E6Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		
15075	5 間脳症	0 L	F078	下:6E6Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		
15076	5 失語・失行・失認症候群	0 L	F078	下:6E6Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		
15077	5 右半球器質性感情障害	0 L	F078	下:6E6Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		Right hemispheric organic affective disorder (ICD-10)
15079	5 脳局所性精神症候群	0 L	F078	下:6E6Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		
15084	5 器質性精神病	0 L	F09	下:6E8Z			2 =		http://id.who.int/icd/entity/686956921	1 <	6E8Z		
15089	5 症状精神病	0 L	F09	下:6E8Z			2 <		http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z		Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders, unspecified: 症状精神病とは、頭（脳）を除くさまざまな身体の病気が原因で精神症状をおこす病気です。 らしいので、意味合いとしてはsecondary...が相当すると思われる。
15090	5 宿酔	0 L	F100	=:6C40.3		1	1 =		http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3		アルコール中毒(alcohol intoxication): 宿酔=alcohol hangoverはSynonymstにある。 アルコール中毒(alcohol intoxication): 酩酊=DrunkennessはSynonymstにある。 アルコール中毒(alcohol intoxication): 病的酩酊⇒Pathological alcohol intoxicationはSynonymstにある。 アルコール中毒: 複維酩酊=Complex drunkennessは、ICD-11に無い。 アルコール誘発性せん妄(Alcohol-induced delirium): アルコール中毒せん妄=alcohol deliriumはSynonymstにある。 アルコール中毒(alcohol intoxication): 急性アルコール中毒=acute alcohol intoxicationが類義語にある。 アルコールの有害な使用/滥用⇒Harmful pattern of use of alcohol: アルコール乱用⇒alcohol abuseはSynonymstにある。 アルコール依存症(Alcohol dependence): アルコール依存症=Alcohol addictionが類義語にある。 アルコール離脱(Alcohol withdrawal): アルコール離脱状態=alcohol withdrawal stateがはSynonymstにある。 アルコール誘発性せん妄(Alcohol-induced delirium): アルコール離脱せん妄⇒alcohol withdrawal state with deliriumが類義語にある。 幻覚を伴うアルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder with hallucinations): アルコール幻覚症=Alcoholic hallucinosisはSynonymstにある。 妄想を伴うアルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder with hallucinations): アルコール性妄想=Alcoholic delusion アルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder): アルコール性精神病⇒alcoholism with psychosisはSynonymstにある。 アルコール性嫉妬=Alcoholic jealousy アルコール性 Korsakoff 症候群⇒Alcoholic Korsakoff Syndrome は、アルコール関連の神経障害になる。 アルコール性フラグゼンバック⇒Alcoholic flashbacks?はICD-11に無い。 うつ状態アルコール中毒⇒depressed alcoholism 慢性アルコール性脳症候群⇒Chronic alcoholic brain syndrome: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonymstにある。
15091	5 単純酩酊	0 L	F100	=:6C40.3			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3		
15092	5 病的酩酊	0 L	F100	=:6C40.3			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3		
15093	5 複維酩酊	0 L	F100	=:6C40.3			2 <		http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3		
15094	5 アルコール中毒せん妄	0 L	F100	=:6C40.3			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1217486356	1 <	6C40.5		
15095	5 急性アルコール中毒	0 L	F100	=:6C40.3			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3		
15098	5 アルコール乱用	0 L	F101	=:6C40.1Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/714690795	1 <	6C40.1Z		
15103	5 アルコール依存症	0 L	F102	=:6C40.2Z 下:6C40.Z 上:8D44.Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1580466198	1 <	6C40.2Z		
15112	5 アルコール離脱状態	0 L	F103	=:6C40.4Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/998231424	1 <	6C40.4Z		
15115	5 アルコール離脱せん妄	0 L	F104	=:6C40.5			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1217486356	1 <	6C40.5		
15121	5 アルコール幻覚症	0 L	F105	=:6C40.6Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/226414625	1 <	6C40.60		
15122	5 アルコール性妄想	0 L	F105	=:6C40.6Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/226414625	1 <	6C40.60		
15123	5 アルコール性精神病	0 L	F105	=:6C40.6Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/769299330	1 <	6C40.6Z		
15125	5 アルコール性嫉妬	0 L	F105	=:6C40.6Z			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1484332320	1 <	6C40.6Z		
15135	5 アルコール性 Korsakoff 症候群	0 L	F106	=:6D72.10			1 <		http://id.who.int/icd/entity/1001737902	1 <	6D72.10		
15139	5 アルコール性フラグゼンバック	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 <		http://id.who.int/icd/entity/1676588433	1 <	6C40.Z		
15142	5 うつ状態アルコール中毒	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =		http://id.who.int/icd/entity/241576806	1 <	6C40.70		
15143	5 慢性アルコール性脳症候群	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1619582852	1 <	6D84.0		

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 義	ICD10 コード	10 => 11 で のコードの 情報	ICD11 和訳に あつた場合の 英語	病名と て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	ICD11 Foundation URI	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	MMS Post Coordination	備考
15145	5 アルコール性運発性バーソナリティ障害	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324394161 & http://id.who.int/icd/entity/1324394161	1 =	6E68 & XM6U34	Secondary personality change + アルコール	
15146	5 アルコール性残遺性感情障害	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 =	http://id.who.int/icd/entity/216291184 & http://id.who.int/icd/entity/1991751314	1 =	6E62 & XM6U34	Secondary mood syndrome + アルコール	アルコール性障害候群 =Alcoholic brain syndrome: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonymsにある。
15147	5 アルコール性脳症候群	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1619582852	1 <	6D84.0		
15148	5 アルコール性運発性精神病性障害	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1619582852	1 <	6D84.0		アルコール性運発性精神病性障害 =Abuse onset alcoholic psychosis: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonymsにある。
15149	5 アルコール性躁病	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/769299330	1 <	6C40.Z		アルコール性躁病 =Alcoholic mania: アルコール誘発性精神病性障害のSynonymsにある。
15150	5 アルコール性認知症	0 L	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1619582852	1 <	6D84.0		アルコール性認知症 =Alcoholic dementia: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonymsにある。
15151	5 アヘン類使用による急性精神・行動障害	0 L	F110	=:6C43.3			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1395283456	1 <	6C43.3		アヘン類使用による精神・行動障害 =Mental and behavioural disorders due to use of opiods, 急性使用 =Acute intoxication: アヘン類中毒 =opioid intoxication
15152	5 モルヒネ乱用	0 L	F111	=:6C43.1Z			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/506198470	1 <	6C43.Y		モルヒネ乱用 =Disorders due to abuse of morphine: モルヒネの使用による障害(Disorders due to use of morphine)のSynonymsにある。
15153	5 アヘン中毒	0 L	F112	=:6C43.2Z			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1120716949	1 <	6C43.2Z		アヘン中毒 =アヘン依存(Opium dependence): オピオイド依存症 (Opioid dependence)のSynonymにある。
15154	5 モルヒネ依存	0 L	F112	=:6C43.2Z			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/387142707	1 <	6C43.2Z		モルヒネ依存 =Morphine dependence
15155	5 モルヒネ型薬物依存	0 L	F112	=:6C43.2Z			1 =	1 =	http://id.who.int/icd/entity/2143971168 & http://id.who.int/icd/entity/1715406755	1 =	6C43.2Z & XM1KZ		モルヒネ型薬物依存 =薬物依存(drug dependence) + モルヒネとシタ。
15156	5 メサドン中毒	0 L	F112	=:6C43.2Z			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1628002224	1 <	6C43.2Z		メサドン中毒 =Methadone addiction: メサドン依存(Methadone dependence)のSynonymsにある。
15157	5 麻薬中毒	0 L	F112	=:6C43.2Z			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/2143971168	1 <	6C4G.2Z		麻薬中毒 =Drug dependence: 未知または不特定の向精神薬依存 (Unknown or unspecified psychoactive substance dependence)のSynonymsにある。
15158	5 大麻類使用による急性精神・行動障害	0 L	F120	=:6C41.3 上:6C42.3			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1387132352	1 <	6C41.3		大麻類使用による急性精神・行動障害 =Mental and behavioural disorders due to use of cannabinoids, 急性使用 =Acute intoxication: 大麻中毒 =Cannabis intoxication
15161	5 ツリワツナ依存	0 L	F122	=:6C41.2Z 上:6C42.2Z 上:6C42.21 上			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1129015467	1 <	6C41.2Z		ツリワツナ依存 =Cannabis dependence
15163	5 ツリワツナ中毒	0 L	F122	=:6C41.2Z 上:6C42.2Z 上:6C42.21 上			1 <	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361649231	1 <	6C41.3		ツリワツナ中毒 =poisoning by marijuana: 大麻の有害な影響 (Harmful effects of Cannabis)のSynonymsにある。 Cannabis intoxicationとしてMMSのコードは同じ。
15165	5 大麻類使用による健忘症候群	0 L	F126	下:6D72.1			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/913846324	1 <	6D72.12		大麻類使用による健忘症候群(Amesic syndrome): 薬物を含む他の特定の向精神薬による健忘症とした。
15166	5 大麻類使用による残遺性および運発性精神病性障害	0 L	F127	重:6C42.6 重:6C41.6			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/816184127	1 <	6C41.6		大麻誘発性精神病性障害 =cannabis-induced psychotic disorder/ 残遺性および運発性精神病性障害(residual and late-onset psychotic disorder)
15167	5 鎮静薬による急性精神・行動障害	0 L	F130	=:6C44.3			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1314209089	1 <	6C44.3		鎮静剤、催眠剤、または抗不安剤中毒 =sedative, hypnotic or anxiolytic intoxication
15168	5 精神安定薬乱用	0 L	F131	上:6C44.11 上:6C44.0 上:6C44.10			1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1870346724	1 <	6C4G.3		精神安定薬乱用は、精神作用物質乱用(psychoactive substance abuse)と同義と判断。 未知または不特定の向精神薬による中毒 (intoxication due to unknown or unspecified psychoactive substance)のsynonymsにpsychoactive substance abuseがある。
15171	5 バリタール酸依存	0 L	F132	=:6C44.2Z			1 =	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1605607466 & http://id.who.int/icd/entity/2000022550	1 =	6C44.2Z & XM1Z2		鎮静、催眠または抗不安依存症 + バリタール
15174	5 ペンゾジアゼピン依存症	0 L	F132	=:6C44.2Z			1 =	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1605607466 & http://id.who.int/icd/entity/771629025	1 =	6C44.2Z & XM9X4		鎮静、催眠または抗不安依存症 + ペンゾジアゼピン精神安定剤

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 義	ICD10 コード	10 => 11 で あつた情報の 英語	ICD11 和訳に て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
						対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	
15176	5 睡眠薬依存	0 L F132	=:6C44.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1605607466	1 < 6C44.2Z	鎮静、催眠または抗不安依存症
15178	5 精神安定薬依存	0 L F132	=:6C44.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1605607466	1 < 6C44.2Z	鎮静、催眠または抗不安依存症
15180	5 コカイン使用による急性精神・行動障害	0 L F140	=:6C45.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1965837313	1 < 6C45.3	コカイン中毒=Cocaine intoxication
15181	5 コカイン乱用	0 L F141	=:6C45.1Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/225218837	1 < 6C45.1Z	コカイン乱用=Cocaine abuse、コカインの有害な使用、バターン (Harmful pattern of use of cocaine)のsynonymに ¹ ある。
15182	5 コカイン依存	0 L F142	=:6C45.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1691013484	1 < 6C45.2Z	コカイン依存=Cocaine dependence
15184	5 カフェイン等の精神刺激薬使用による急性精神・行動障害	0 L F150	=:6C46.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1775353234	1 < 6C46.3	アンフェタミン、メタンフェタミンまたはメカチンを含む覚醒剤中毒 =Stimulant intoxication including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15186	5 カフェイン使用による急性精神・行動障害	0 L F150a			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1775353234	1 < 6C46.3	
15188	5 アンフェタミン使用による急性精神・行動障害	0 L F150b			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1775353234	1 < 6C46.3	
15189	5 アンフェタミン乱用	0 L F151	=:6C46.1Z 上:6C46.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/211765524	1 < 6C46.1Z	アンフェタミン乱用=amphetamines abuse、アンフェタミン、メタン フェタミンまたはメカチンを含む覚醒剤の有害な使用、バターン (Harmful pattern of use of stimulants including amphetamines, methamphetamine or methcathinone)のsynonymに ¹ ある。
15190	5 カフェイン中毒	0 L F152	=:6C46.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1648213213	1 = 6C48.2	カフェイン中毒=Caffeine intoxication
15191	5 覚醒剤依存症	0 L F152	=:6C46.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/2016549365	1 < 6C46.2Z	覚醒剤依存症=Stimulant dependence
15192	5 アンフェタミン中毒	0 L F152	=:6C46.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1072097387	1 < 6C46.3	アンフェタミン中毒=amphetamines intoxication
15193	5 カフェイン依存	0 L F152a			1 <	http://id.who.int/icd/entity/31898480	1 < 6C48.2	Caffeine dependenceはICD-11に無い。
15194	5 アンフェタミン依存	0 L F152b			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2016549365	1 < 6C46.2	Stimulant dependence including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15196	5 精神刺激薬依存	0 L F152c			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2016549365	1 < 6C46.2	Stimulant dependence
15197	5 覚醒剤精神病	0 L F155	下:6C46.6Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/199002751	1 < 6C46.6Z	Stimulant-induced psychotic disorder including amphetamines, methamphetamine or methcathinone、アンフェタミン、メタンフェ タミンまたはメカチンを含む覚醒剤誘発性精神病性障害 Certain specified stimulant-induced mental or behavioural disorders including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15198	5 覚醒剤中毒後遺症	0 L F157	下:6C46.6Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096250471	1 < 6C46.7	
15200	5 LSD反応	0 L F160	=:6C49.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1750279388	1 < 6C49.3	LSD reaction: Hallucinogen intoxicationのsynonymに ¹ ある。 Certain specified hallucinogen-induced mental or behavioural disorders
15204	5 LSD使用による急性精神・行動障害	0 L F160	=:6C49.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1286787402	1 < 6C49.3	
15205	5 幻覚薬使用による急性精神・行動障害	0 L F160	=:6C49.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1967909777	1 < 6C49.2	Mental or behavioural disorders due to use of hallucinogens
15206	5 幻覚薬乱用	0 L F161	=:6C49.1Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/219796364	1 < 6C49.1Z	Harmful pattern of use of hallucinogens
15209	5 幻覚薬依存	0 L F162	=:6C49.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/2041952725	1 < 6C49.2Z	Hallucinogen dependence
15211	5 タバコ使用による急性精神・行動障害	0 L F170	=:6C4A.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/268445189	1 < 6C4A.Z	Mental and behavioural disorders due to use of tobacco: Disorders due to use of nicotineのsynonymに ¹ ある。
15213	5 ニコチン依存症	0 L F172	=:6C4A.2Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1699574100	1 < 6C4A.2Z	Nicotine dependence
15214	5 揮発性溶剤使用による急性精神・行動障害	0 L F180	=:6C4B.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/976174979	1 < 6C4B.3	Volatile inhalant intoxication
15215	5 有機溶剤吸引	0 L F181	=:6C4B.1Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1600451095	1 < 6C4B.1Z	harmful use of volatile solvents
15216	5 アジソント血症	0 L F182	=:6C4B.2Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1835610961	1 < 6C4B.Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15218	5 エーテル中毒症	0 L F182	=:6C4B.2Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1835610961	1 < 6C4B.Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15219	5 シンナー中毒	0 L F182	=:6C4B.2Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1835610961	1 < 6C4B.Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15220	5 アジソント中毒症	0 L F182	=:6C4B.2Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1835610961	1 < 6C4B.Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15221	5 シンナー嗜癖	0 L F182	=:6C4B.2Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1835610961	1 < 6C4B.Z	Disorders due to use of volatile inhalants

標準病名のICD-11コーディング作業結果
～ 第7章 標準病名 ～ （5ページのみ抜粋）

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度					
No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳と一致	代表・ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は英語	病名として現代で通用しない	関連性	ICD11 Foundation URI	関連性	MMS Representation	備考
18879	7 マイボーム腺炎	0 L	H000	=9A01.2Z 上:9A01.0 上: 9A01.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1435390252 & http://id.who.int/icd/entity/1223272140	1 =	9A01.Y&XA9D80		Infectious disorders of eyelid & Meibomian gland	
18881	7 眼瞼蜂巣炎	0 L	H000	=9A01.2Z 上:9A01.0 上: 9A01.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1435390252 & http://id.who.int/icd/entity/21447474073 & http://id.who.int/icd/entity/11424633691	1 <	9A01.Y/1B70.Z&XA3R81		Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & eyelids	
18890	7 下眼瞼蜂巣炎	0 L	H000	=9A01.2Z 上:9A01.0 上: 9A01.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1435390252 & http://id.who.int/icd/entity/21447474073 & http://id.who.int/icd/entity/1468820019	1 <	9A01.Y/1B70.Z&XA0V9		Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & lower eyelids	
18891	7 上眼瞼蜂巣炎	0 L	H000	=9A01.2Z 上:9A01.0 上: 9A01.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1435390252 & http://id.who.int/icd/entity/21447474073 & http://id.who.int/icd/entity/844452929	1 <	9A01.Y/1B70.Z&XA9K79		Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & upper eyelids	
18898	7 上尖性霰粒腫	0 L	H001	=9A02.0Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z			
18900	7 急性霰粒腫	0 L	H001	=9A02.0Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/777918741 & http://id.who.int/icd/entity/786106375	1 <	9A02.0Z & XT5R		Chalazion & Acute	
18901	7 化膿性霰粒腫	0 L	H001	=9A02.0Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z			
18902	7 下尖性霰粒腫	0 L	H001	=9A02.0Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z			
18908	7 薬物性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3			
18909	7 潰瘍性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		blepharitis, nonulcerative	
18913	7 しゅさ性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		Infectious blepharitis	
18914	7 毒物性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		Infectious blepharitis	
18915	7 湿疹性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		Infectious blepharitis	
18916	7 毛包眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		Infectious blepharitis	
18917	7 眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		Infectious blepharitis	
18919	7 ふどう球菌性眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1475156994 & http://id.who.int/icd/entity/428956900	1 =	9A01.3 & XN9ZG		Infectious blepharitis & Staphylococcus	
18920	7 眼角部眼瞼炎	0 L	H010	=9A01.3 下: 9A02	1 =	http://id.who.int/icd/entity/2044502963 & http://id.who.int/icd/entity/1475156994	1 =	9A01.3 & XA0403		Infectious blepharitis & Lateral canthus	
18924	7 アレルギー性眼瞼縁炎	0 L	H011	下:9A06	1 =	http://id.who.int/icd/entity/394493841	1 <	9A06.Y		Allergic dermatitis of eyelid	
18928	7 湿疹性眼瞼皮膚炎	0 L	H011	下:9A06	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1226494097	1 <	9A06.Y		Eczematous dermatitis of eyelids	
18931	7 接触眼瞼皮膚炎	0 L	H011	下:9A06	1 =	http://id.who.int/icd/entity/2083171222	1 <	9A06.Y		Contact dermatitis of eyelid	
18932	7 眼瞼乾皮症	0 L	H011	下:9A06	1 =	http://id.who.int/icd/entity/144401595	1 <	9A06.Y		Xeroderma of eyelid	
18934	7 眼瞼腫孔	0 L	H018	下:9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1504678744	1 <	9A02.Y		Other specified inflammatory disorders of eyelid	
18935	7 眼瞼びらん	0 L	H018	下:9A02	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1504678744	1 <	9A02.Y		Other specified inflammatory disorders of eyelid	
18936	7 睫毛内反症	0 L	H020	上:9A03.1Z 上:9A04.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/945071067	1 =	9A03.1Z		Entropion of eyelid	

				対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度					
No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳と一致	代表・ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は不適切	病名として現代では不適切	関連性	ICD11 Foundation URI	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
18939	7 瘢痕性眼瞼内反症	0 L	H020	上:9A03.12 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1058496688	1 =	9A03.10	Cicatricial entropion of eyelid
18940	7 瞼毛乱生症	0 L	H020	上:9A03.12 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/945071067	1 <	9A03.12	Entropion of eyelid
18942	7 老人性眼瞼内反症	0 L	H020	上:9A03.12 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/787611099	1 =	9A03.12	Senile entropion of eyelid
18943	7 痙性眼瞼内反症	0 L	H020	上:9A03.12 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1562340943	1 =	9A03.13	Spastic entropion of eyelid
18947	7 痙性眼瞼外反症	0 L	H021	上:9A03.22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/857829804	1 <	9A03.22	Ectropion of eyelid, unspecified
18948	7 老人性眼瞼外反症	0 L	H021	上:9A03.22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2033497540	1 =	9A03.22	Senile ectropion of eyelid
18952	7 瘢痕性眼瞼外反症	0 L	H021	上:9A03.22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1758603433	1 =	9A03.20	Cicatricial ectropion of eyelid
18954	7 痙性眼瞼外反症	0 L	H021	上:9A03.22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/182068824	1 =	9A03.23	Spastic ectropion of eyelid
18960	7 偽性眼瞼下垂症	0 L	H023	上:9A06.8			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18964	7 筋無力性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18965	7 痙性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1433019392	1 =	9A03.03	Paralytic ptosis of eyelid
18966	7 機械性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1150073195	1 =	9A03.01	Mechanical ptosis of eyelid
18967	7 筋原性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 =	http://id.who.int/icd/entity/807528854	1 =	9A03.02	Myogenic ptosis of eyelid
18968	7 交感神経性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18971	7 痙性眼瞼下垂症	0 L	H024	上:9A03.02			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1433019392	1 =	9A03.03	Paralytic ptosis of eyelid
18972	7 筋萎縮性眼瞼下垂	0 L	H024	上:9A03.02			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18974	7 眼裂異常	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18976	7 眼瞼瘢痕	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/829235056	1 <	9A06.3	Traumatic scar of eyelid
18977	7 眼瞼後退症	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.02	Blepharoptosis, unspecified
18978	7 眼裂縮小	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18979	7 眼裂狭小	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18981	7 眼瞼縮小	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18982	7 眼瞼癒着	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240	1 <	9A06.Y	Other specified disorders of eyelid
18983	7 眼瞼狹窄	0 L	H025	下:9A06 上: 9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240	1 <	9A06.Y	Other specified disorders of eyelid
18989	7 瞼毛白毛	0 L	H027	下:9A06 上: 9A03.5 上: 9A04.1			1 <	http://id.who.int/icd/entity/469605305	1 <	9A04.Y	Acquired poliosis of eyelashes
18990	7 眼瞼白斑	0 L	H027	下:9A06 上: 9A03.5 上: 9A04.1			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1390019541	1 <	9A06.1	Vitiligo of eyelid or periorcular area

			対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度		
No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳と一致	代表・ICD10 一致コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は不適用	病名として適切	確信度 関係	備考
18991	7 眼瞼肝斑	0 L	H027	下:9A06 上:9A03.5 上:9A04.1	http://id.who.int/icd/entity/136743240 / http://id.who.int/icd/entity/101755595	1 <	9A06.V / ED60.1	Other specified disorders of eyelid / Melasma
18993	7 瞼毛脱毛	0 L	H027	下:9A06 上:9A03.5 上:9A04.1	http://id.who.int/icd/entity/9323202401	1 =	9A04.1	Madarosis of eyelid or perocular area
18996	7 特発性眼瞼浮腫症	0 L	H028	下:9A06 上:9A05.2	http://id.who.int/icd/entity/136743240 / http://id.who.int/icd/entity/330898059	1 <	9A06.V / EB04	Other specified disorders of eyelid / Idiopathic angioedema
19001	7 マイボーム腺梗塞	0 L	H028	下:9A06 上:9A05.2	http://id.who.int/icd/entity/2113471999	1 =	9A02.4	マイボーム腺機能不全 (Meibomian Gland Dysfunction: 以下、MGD)
19004	7 瞼縁肥厚症	0 L	H028	下:9A06 上:9A05.2	http://id.who.int/icd/entity/136743240	1 <	9A06.V	Other specified disorders of eyelid
19005	7 眼瞼異物残留	0 L	H028	下:9A06 上:9A05.2	http://id.who.int/icd/entity/136743240 & http://id.who.int/icd/entity/2113471999	1 <	9A06.V	Other specified disorders of eyelid
19008	7 瞼板腺分泌過多	0 L	H028	下:9A06 上:9A05.2	http://id.who.int/icd/entity/247839673 / http://id.who.int/icd/entity/174460256	1 <	9A06.V & XA9D80	Other specified disorders of eyelid & Meibomian gland
19009	7 眼瞼良性腫瘤	0 L	H029	≡MCI8 下:9A02	http://id.who.int/icd/entity/247839673 / http://id.who.int/icd/entity/174460256	1 <	9A01.1 / 2F36.4	Abscess of eyelid / Cysts of eyelid
19010	7 眼瞼腫瘤	0 L	H029	≡MCI8 下:9A02	http://id.who.int/icd/entity/174460256	1 <	9A01.1 / 2F36.4	Abscess of eyelid / Cysts of eyelid
19012	7 慢性涙腺炎	0 L	H040	上:MC12	http://id.who.int/icd/entity/2022949279 & http://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	9A10.V & XT8W	Inflammatory disorders of lacrimal gland & Chronic
19013	7 急性涙腺炎	0 L	H040	上:MC12	http://id.who.int/icd/entity/2022949279 & http://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	9A10.V & XT5R	Inflammatory disorders of lacrimal gland & Acute
19014	7 涙腺炎	0 L	H040	上:MC12	http://id.who.int/icd/entity/2022949279	1 =	9A10.V & XT5R	Inflammatory disorders of lacrimal gland
19015	7 涙腺肥大	0 L	H040	上:MC12	http://id.who.int/icd/entity/1108174726	1 <	9A10.Z	Disorders of lacrimal gland, unspecified
19016	7 ドライアイ	0 L	H041	下:9A12	http://id.who.int/icd/entity/634778462	1 <	9A10.4	Underproduction of tears
19017	7 涙腺粘液のう胞	0 L	H041	下:9A12	http://id.who.int/icd/entity/1108174726 / http://id.who.int/icd/entity/1269792630	1 <	9A10.Z / 2F36.V	Disorders of lacrimal gland, unspecified / Other specified benign neoplasm of eye or ocular adnexa
19022	7 涙腺のう腫	0 L	H041	下:9A12	http://id.who.int/icd/entity/1108174726 / http://id.who.int/icd/entity/1269792630	1 <	9A10.Z / 2F36.V	Disorders of lacrimal gland, unspecified / Other specified benign neoplasm of eye or ocular adnexa
19023	7 涙腺萎縮	0 L	H041	下:9A12	http://id.who.int/icd/entity/1464034329	1 <	9A10.Z	Disorders of lacrimal gland, unspecified
19026	7 涙液分泌不全	0 L	H041	下:9A12	http://id.who.int/icd/entity/221405565 / http://id.who.int/icd/entity/1611503766	1 =	9A11.V	Obstruction of lacrimal drainage system
19030	7 流涙	0 L	H042	≡MC13	http://id.who.int/icd/entity/221405565 / http://id.who.int/icd/entity/1611503766	1 =	MC13 / 9A10.3	Epiphora / Hyperlacrimation
19031	7 症候性流涙症	0 L	H042	≡MC13	http://id.who.int/icd/entity/1628710366	1 <	MC13 / 9A10.3	Epiphora / Hyperlacrimation
19033	7 涙のう周囲腫瘍	0 L	H043	上:9A11.2	http://id.who.int/icd/entity/1034960883 & http://id.who.int/icd/entity/2058324694	1 <	9A11.V	Other specified disorders of lacrimal apparatus
19034	7 亜急性涙のう炎	0 L	H043	上:9A11.2	http://id.who.int/icd/entity/2058324694	1 =	9A11.2 & XT1L	Dacryocystitis & Subacute
19036	7 急性涙のう炎	0 L	H043	上:9A11.2	http://id.who.int/icd/entity/743890238	1 =	9A11.2	Acute dacryocystitis

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度					
No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳と一致	代表・ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は英語	病名として現代では不適切	関連性係数	ICD11 Foundation URI	関連性係数	MMS Representation	備考
19037	7 涙のう周囲炎	0 L	H043	上:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1628710366	1 <	9A1Y	Other specified disorders of lacrimal apparatus
19046	7 涙のう炎	0 L	H043	上:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1034960983	1 =	9A11.2	Dacryocystitis
19050	7 涙小管のう胞	0 L	H044	下:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1252902422 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11Y & XA6C35	Anomaly of lacrimal apparatus or duct & Lacrimal canaliculi
19051	7 慢性涙のう炎	0 L	H044	下:9A12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/617640909	1 <	9A11.2	Chronic dacryocystitis
19058	7 鼻涙管結石	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683 & http://id.who.int/icd/entity/640375349	1 <	9A11.2 & XA5SW9	Disorders of lacrimal drainage system & Nasolacrimal duct
19059	7 涙道閉塞症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/629756149	1 <	9A11.8 & XA7Y9	Nasolacrimal duct obstruction & Lacrimal gland
19065	7 涙小管狭窄	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/287126827 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11.5 & XA6C35	Nasolacrimal canalicular stenosis & Lacrimal canaliculi
19067	7 涙点外反	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/129526571	1 =	9A11.0	Punctal ectropion
19070	7 涙小管結石症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11.2 & XA5SW9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19072	7 総涙小管狭窄	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11.2 & XA5SW9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19074	7 鼻涙管狭窄症	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/287126827	1 =	9A11.5	Nasolacrimal canalicular stenosis
19076	7 涙小管閉塞症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/729476309 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11.8 & XA5SW9	Nasolacrimal duct obstruction & Lacrimal canaliculi
19077	7 鼻涙管閉鎖症	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/729476309	1 =	9A11.8	Nasolacrimal duct obstruction
19080	7 涙管腫	0 L	H046	下:9A12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/315494486	1 <	2F36.Y	Benign neoplasm of lacrimal duct
19082	7 涙道狭	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683	1 <	9A11Y	Other specified disorders of lacrimal drainage system Lacrimal
19083	7 涙のう瘻	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683 & http://id.who.int/icd/entity/1063556764	1 <	9A11Y & XA0096	Other specified disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal sac
19084	7 涙小管瘻	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1807441683 & http://id.who.int/icd/entity/1263812675	1 <	9A11.2 & XA5SW9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19088	7 眼窩下膿瘍	0 L	H050	下:9A22.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/490666746	1 <	9A22.2	Orbital inflammation, unspecified
19091	7 テノンのう炎	0 L	H050	下:9A22.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2010962534	1 <	9A22.2	Tenonitis of eye
19093	7 急性眼窩うっ血	0 L	H050	下:9A22.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096451605 & http://id.who.int/icd/entity/786106375	1 <	9A20.00 & XT5R	orbital congestion & Acute
19099	7 眼窩炎性偽腫瘍	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/4173665970	1 <	9A22.2	Pseudotumor of orbit
19104	7 眼窩筋炎	0 L	H051	下:9A22.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/882282008	1 <	9A22.2	Chronic orbital myositis
19106	7 炎症性眼窩うっ血	0 L	H051	下:9A22.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096451605	1 <	9A20.00	orbital congestion
19108	7 眼窩炎	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/490666746	1 =	9A22.2	Orbital inflammation
19109	7 眼窩偽腫瘍	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/4173665970	1 <	9A22.2	Pseudotumor of orbit
19110	7 眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2096451605	1 =	9A20.00	Exophthalmic conditions
19112	7 拍動性眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1825207679	1 <	9A20.00	Pulsating exophthalmos
19117	7 眼窩浮腫	0 L	H052	=:9A20.00			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096451605	1 <	9A20.00	orbital swelling
19118	7 間欠性眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://id.who.int/icd/entity/409412994	1 <	9A20.00	Intermittent exophthalmos

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度						
No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳と一致	代表・ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は不適用	病名として現代では不適切	関連性係数	ICD11 Foundation URI	粒度	関係	MMS Representation	備考
19119	7 眼球突出性眼筋麻痺	0 L	H052	=:9A20.00			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096451605/ http://id.who.int/icd/entity/1848588735/	1 <	9A20.00 / 9C82.Y		Exophthalmic conditions / Ophthalmoplegia
19121	7 眼窩うつ血	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2096451605/	1 <	9A20.00		orbital congestion
19126	7 眼窩外骨腫症	0 L	H053	=:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/6161532279/ http://id.who.int/icd/entity/950647567/	1 <	2E83.0 & XH5Y87		Benign neoplasm of orbital bone & Osteochondroma
19127	7 眼窩萎縮	0 L	H053	=:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2059048078/	1 <	9A2.Y		Atrophy of orbit
19132	7 外傷性眼球陥没症	0 L	H054	下:9A20.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1080492035/	1 <	9A20.01		Enophthalmos due to trauma or surgery
19137	7 眼球陥没	0 L	H054	下:9A20.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1783631381/	1 =	9A20.01		Enophthalmos
19138	7 眼筋内異物残留	0 L	H055	=:NA06.2 下: 9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/131498364/	1 <	NA06.2		Retained foreign body of ocular muscle
19139	7 眼窩内異物残留	0 L	H055	=:NA06.2 下: 9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/105174385/	1 =	NA06.2		Retained foreign body following penetrating wound of orbit
19140	7 外眼筋ミオパチー	0 L	H058	下:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1877039847/ http://id.who.int/icd/entity/1639496499/	1 <	8C77 & XA9WT4		Ocular myopathy & Extraocular muscle
19141	7 眼窩脂肪ヘルニア	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22		Disorders of orbit, unspecified
19146	7 眼窩のう胞	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1244231313/	1 <	9A23		Orbital cyst
19147	7 眼窩隔壁弛緩症	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22		Disorders of orbit, unspecified
19151	7 眼窩内疾患	0 L	H059	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22		Disorders of orbit, unspecified
19153	7 眼窩腫瘤	0 L	H059	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22		Disorders of orbit, unspecified
19155	7 コッホ・ライークス菌性結膜炎	0 L	H100	=:9A60.32			1 =	http://id.who.int/icd/entity/447802965/	1 <	9A60.32		Koch-Weeks conjunctivitis
19171	7 カタル性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.Z		catarrhal ophthalmia
19173	7 モラクセス・アクセンツエ	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1104599251/	1 <	9A60.Y		morax-axenfeld conjunctivitis
19175	7 化学性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.Y		Other specified conjunctivitis
19178	7 急性濾胞性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2065252360/ http://id.who.int/icd/entity/786106375/	1 <	9A60.1 & XT5R		Follicular conjunctivitis & Acute
19181	7 亜急性性結膜炎	0 L	H103	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/ http://id.who.int/icd/entity/2058324694/	1 <	9A60.Y & XT1L		conjunctivitis & Subacute
19184	7 結膜化膿性肉芽腫	0 L	H104	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1974447087/	1 <	9A61.3		Pyogenic granuloma of conjunctiva
19185	7 萎縮性角結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/741260397/	1 <	9A7.Y		Keratitis and keratoconjunctivitis
19187	7 慢性濾胞性結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1448663971/	1 <	9A60.1		Chronic follicular conjunctivitis
19190	7 慢性カタル性結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/831696556/ http://id.who.int/icd/entity/490003542/	1 <	9A60.Z & XT8W		catarrhal ophthalmia & Chronic
19191	7 眼瞼縁結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/956823887/	1 =	9A60.4		Blepharoconjunctivitis
19192	7 接触性眼瞼結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 <	http://id.who.int/icd/entity/956823887/	1 <	9A60.4		Blepharoconjunctivitis
19193	7 眼角部眼瞼縁結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/602571061/	1 <	9A60.4		Angular blepharoconjunctivitis
19196	7 結膜びらん	0 L	H108	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.Y		inflammation of conjunctiva
19199	7 バリノー結膜腺症候群	0 L	H108	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/996948013/	1 <	9A60.Y		Parinaud's oculoglandular syndrome
19200	7 結膜濾胞症	0 L	H108	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2065252360/	1 <	9A60.1		Follicular conjunctivitis
19208	7 結膜乾燥症	0 L	H111	=:9A61.6			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1590568415/	1 <	9A61.6		Conjunctival xerosis, not elsewhere classified

標準病名のICD-11コーディング作業結果
～ 第8章 標準病名 ～ （5ページのみ抜粋）

対 Foundation 粒度						対 MMS 粒度		備考					
No	ICD11 標準病名 0章	ICD11 1和訳と 一致	代表 ・同義 コード	ICD10 マッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現 代では不適切	確信度		関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation
20771	8 緑膿菌性外耳炎	0 L	H602	=AA02			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/984580942 & https://id.who.int/icd/entity/1811342866	1 <		AA02 & XN516	Malignant otitis externa & 緑膿菌 :Pseudomonas aeruginosa
20777	8 急性化膿性外耳炎	0 L	H603	=AA0Z/8XA6Z76			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/499437681	1 <		AA0Z	Acute bacterial inflammation of external ear (外耳の急性細菌性炎症)
20780	8 出血性外耳炎	0 L	H603	=AA0Z/8XA6Z76			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2035326404 / https://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		AA0Z / MG27	Infectious diseases of external ear, unspecified & Bleeding
20781	8 ひまん性外耳炎	0 L	H603	=AA0Z/8XA6Z76			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2035326404 & https://id.who.int/icd/entity/1265853763	1 <		AA0Z & XK31	Infectious diseases of external ear, unspecified & Diffuse distribution
20783	8 感染性外耳炎	0 L	H603	=AA0Z/8XA6Z76			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2035326404	1 <		AA0Z	Infectious diseases of external ear, unspecified
20785	8 外耳道閉塞性角化症	0 L	H604	=AA40.2			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/634950675	1 <		AA4Y	Keratoisis obturans / Keratoisis obturans of external ear (ICD-10)
20787	8 急性接触性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/1296312490	1 =		EK02.10	Irritant contact dermatitis of external ear
20790	8 テルギー性外耳道炎	0 L	H605	=AA11			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/94282662	1 =		EG40.0	Allergic contact dermatitis of external ear
20791	8 急性湿疹性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1229000922	1 <		AA11	acute eczematoid otitis externa
20794	8 急性反応性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/786106375	1 <		AA3Z & XT5R	Otitis externa, unspecified & Acute
20795	8 耳介部皮膚炎	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/2030796271	1 <		AA3Z & XA4E71	Otitis externa, unspecified & Pinna
20796	8 耳介周囲湿疹	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/2030796271	1 <		AA3Z & XA4E71	Otitis externa, unspecified & Pinna
20797	8 急性光線性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/786106375	1 <		AA3Z & XT5R	Otitis externa, unspecified & Acute
20798	8 急性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/786106375	1 <		AA3Z & XT5R	Otitis externa, unspecified & Acute
20802	8 化学性急性外耳炎	0 L	H605	=AA11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1229000922	1 <		AA11	Acute noninfectious otitis externa
20804	8 外耳道痛	0 L	H609	F-AA3Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 / https://id.who.int/icd/entity/661232217	1 <		AA3Z / MG3Z	Otitis externa (外耳炎)MG3Z Pain, unspecified
20807	8 限局性外耳道炎	0 L	H609	F-AA3Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/1296498321 & https://id.who.int/icd/entity/1303990434	1 <		AA3Z & XA3UC1 & X	Otitis externa& External auditory canal & Localised distribution
20808	8 外耳道肉芽腫	0 L	H609	F-AA3Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1303990434 & https://id.who.int/icd/entity/1296498321	1 <		AA3Z & XA3UC1	Otitis externa& External auditory canal
20812	8 外耳道軟骨炎	0 L	H610	=AA04			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/934401704	1 <		AA04	Perichondritis of external auditory canal
20817	8 耳介瘻	0 L	H611	=AA41			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1685830948	1 <		AA4Y	External ear fistula (外耳瘻)
20821	8 軟耳垢	0 L	H612	=AA42			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/643255245	1 <		AA42	AA42 Impacted cerumen
20829	8 複雑耳垢	0 L	H612	=AA42			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/643255245	1 <		AA42	*マッピング表によると、Impacted cerumen(耳垢栓塞) 複雑耳垢:complication of cerumen (注ICD-11に見当たらず)
20830	8 外傷性外耳道狭窄症	0 L	H613	=AA40.1			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1125942873	1 <		AA40.1	AA40.1 Acquired stenosis of external auditory canal
20832	8 外耳道腫瘍	0 L	H618	上-AA40.0			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1046187143 & https://id.who.int/icd/entity/1296498321 / https://id.who.int/icd/entity/1844086508	1 <		AA6Z & XA3UC1 / 2F	Diseases of external ear, unspecified & External auditory canal / tumour mass NOS
20833	8 外耳道癌	0 L	H618	上-AA40.0			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1046187143 & https://id.who.int/icd/entity/1212937040	1 <		AA6Z & XA3UC1 / NC	Diseases of external ear, unspecified & External auditory canal / Superficial injury of unspecified body regionscratch NOS
20834	8 耳介後部腫瘍	0 L	H618	上-AA40.0			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1046187143 & https://id.who.int/icd/entity/184793967 / https://id.who.int/icd/entity/1844086508	1 <		AA6Z & XA3547 / 2F	Diseases of external ear, unspecified & Posterior surface of pinna / tumour mass NOS

		対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度							
No	標準病名 ICD10章	ICD11和訳と一致の 代表 ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として得られない不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
20837	8 耳癰孔	0 L	H618	上:AA40.0		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1685830948	1 <	AA4Y		External ear fistula (外耳癰)と同じとみなした
20839	8 耳介後部腫脹	0 L	H618	上:AA40.0		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/1046187143 &http://id.who.int/icd/entitv/13847793967 / http://id.who.int/icd/entitv/826220775	1 <	AA6Z & XA3547 / M Oedema, unspecified		Diseases of external ear, unspecified & Posterior surface of pinna / Oedema, unspecified
20840	8 耳介部腫瘍	0 L	H618	上:AA40.0		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/1046187143 &http://id.who.int/icd/entitv/2030796271 / http://id.who.int/icd/entitv/1844086508	1 <	AA6Z & XA4E71 / ZF		Diseases of external ear, unspecified & pinna / tumour mass NOS
20845	8 急性滲出性中耳炎	0 L	H650	=AA80		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/223283162	1 =	AA80		Acute serous or mucoid otitis media (急性滲出性もしくは粘液性中耳炎)
20847	8 亜急性血性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1282929571	1 <	AA81		Acute and subacute sanguinous otitis media (急性および亜急性血性中耳炎)
20848	8 急性アレルギー性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/325203106	1 <	AA81		Acute and subacute allergic otitis media (急性および亜急性アレルギー性中耳炎)
20849	8 亜急性漿液ムチン性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/420562692	1 <	AA81		Acute or subacute seromucinous otitis media (急性または亜急性の漿液ムチン性中耳炎)
20850	8 亜急性アレルギー性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/325203106	1 <	AA81		Acute and subacute allergic otitis media (急性および亜急性アレルギー性中耳炎)
20851	8 急性非化膿性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1745144396	1 <	AA81		Acute nonserous nonsuppurative otitis media (急性非漿液性非化膿性中耳炎)*ただし漿液性急性非化膿性中耳炎NOS:acute nonsuppurative otitis media NOS が類義語にある
20852	8 急性ムコイド中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/223283162	1 <	AA81		Acute serous or mucoid otitis media (急性漿液性またはムコイド中耳炎)
20853	8 急性血性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1282929571	1 <	AA81		Acute and subacute sanguinous otitis media (急性および亜急性血性中耳炎)
20854	8 亜急性ムコイド中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1868355332	1 <	AA81		Subacute mucoid otitis media
20856	8 急性漿液ムチン性中耳炎	0 L	H651	=AA81		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/420562692	1 <	AA81		Acute or subacute seromucinous otitis media (急性または亜急性の漿液ムチン性中耳炎)
20861	8 慢性漿液性中耳炎	0 L	H652	下:AA82		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/480877235	1 =	AA82		Chronic serous or mucoid otitis media (慢性漿液性または粘液性中耳炎)
20864	8 慢性ムコイド中耳炎	0 L	H653	下:AA82		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/2044876583	1 <	AA82		Chronic mucoid otitis media
20867	8 慢性非化膿性中耳炎	0 L	H654	下:AA82		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/168608947	1 <	AA82		nonsuppurative chronic otitis media, NOS
20868	8 好酸球性中耳炎	0 L	H654	下:AA82		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/800153181	1 <	AA8Z & XA0V82		Nonsuppurative otitis media (非化膿性中耳炎)& Eosinophils
20875	8 アレルギー性中耳炎	0 L	H659	下:AA8Z		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/800153181	1 <	AA8Z		Illegic otitis media NOS
20876	8 中耳炎後遺症	0 L	H659	下:AA8Z		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/800153181	1 <	AA8Z		*アッペンダ表によると、Nonsuppurative otitis media (非化膿性中耳炎)
20878	8 ムコーズス中耳炎	0 L	H659	下:AA8Z		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/529326892	1 <	AB0Y		Otitis media due to Streptococcus pneumoniae
20879	8 ムコイド中耳炎	0 L	H659	下:AA8Z		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/800153181	1 <	AA8Z		ムコイド中耳炎: ムコイド型肺炎球菌を起炎菌とする。急性中耳炎
20890	8 水疱性中耳炎	0 L	H660	=AA90		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/214476774	1 <	AA8Z		mucoid otitis media
20893	8 慢性耳管鼓室化膿性中耳炎	0 L	H661	=AA91.0		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1770220148	1 =	AA91.0		*アッペンダ表によると、Acute suppurative otitis media (急性化膿性中耳炎)
20895	8 上鼓室化膿症	0 L	H662	=AA91.1		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/489568909	1 =	AA91.1		水疱性中耳炎: otitis media bullosa はICD-11に見当たらず
												Chronic tubotympanic suppurative otitis media
												*アッペンダ表によると、Chronic atticocentral suppurative otitis media (慢性上鼓室乳突洞化膿性中耳炎)

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
No	ICD11 標準病名 0章	ICD11和訳と一致	代表コード	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は英語	病名として代用不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
20978	8 鼓室茸珠腫症	0 L	H71	=AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/2134365487	1 <	AB12	AB12	Cholesteatoma of middle ear (中耳茸珠腫)
20983	8 鼓膜全欠損	0 L	H728	下:AB13.2				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1748399726	1 <	AB13.Y	AB13.Y	Total perforation of tympanic membrane
20991	8 水疱性鼓膜炎	0 L	H730	=AB14				1 =		http://id.who.int/icd/entity/207025082	1 <	AB14	AB14	Bullous myringitis
20994	8 鼓膜充血	0 L	H738	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/136058250/ http://id.who.int/icd/entity/1649907950	1 <	AB1.Y / MG4Y	AB1.Y / MG4Y	Disorder of tympanic membrane, unspecified / hyperaemia NEC
20995	8 鼓膜炎	0 L	H738	下:AB12				1 =		http://id.who.int/icd/entity/383090792	1 <	AB1.Y	AB1.Y	myringitis NEC
20996	8 肉芽性鼓膜炎	0 L	H738	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/383090792	1 <	AB1.Y	AB1.Y	肉芽性鼓膜炎:Granular myringitis はICD-11に見当たらず
20997	8 鼓膜出血	0 L	H738	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/136058250/ http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <	AB1.Y / MG27	AB1.Y / MG27	Disorder of tympanic membrane, unspecified / Bleeding
20998	8 鼓膜湿疹	0 L	H738	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/136058250/ http://id.who.int/icd/entity/1887882424	1 <	AB1.Y / EA8Z	AB1.Y / EA8Z	Disorder of tympanic membrane, unspecified / Eczema
20999	8 上鼓室炎	0 L	H738	下:AB12				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1391287252 http://id.who.int/icd/entity/383090792 & http://id.who.int/icd/entity/1391287252	1 <	AB1.Y & XA3KB2	AB1.Y & XA3KB2	Disorder of tympanic membrane, unspecified & Tympanic cavity
21001	8 外耳道鼓膜損傷	0 L	H739	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/136058250/ & http://id.who.int/icd/entity/1296498321	1 <	AB1.Y & XA3UC1	AB1.Y & XA3UC1	Disorder of tympanic membrane, unspecified & External auditory canal
21003	8 鼓膜癒着症	0 L	H741	=AB17				1 <		http://id.who.int/icd/entity/1692803582 & http://id.who.int/icd/entity/347265434	1 <	AB17 & XA08X4 T	AB17 & XA08X4 T	Adhesive middle ear disease & ympanic membrane
21008	8 外傷性耳小骨脱臼	0 L	H742	=AB18				1 <		http://id.who.int/icd/entity/997760203	1 <	AB18	AB18	Dislocation of ear ossicles (耳小骨脱臼)* ただし「外傷性」の記載なし
21009	8 外傷性耳小骨離断	0 L	H742	=AB18				1 <		http://id.who.int/icd/entity/1906410288	1 <	AB18	AB18	Discontinuity of ear ossicles (耳小骨離断)* ただし「外傷性」の記載なし
21020	8 茎状突起過長症	0 L	H748	下:AB12				1 <		http://id.who.int/icd/entity/902999289	1 <	AB1.Y	AB1.Y	Eagle Syndrome : Other specified diseases of middle ear or mastoid
21024	8 迷路骨包耳硬化症	0 L	H802	=AB33				1 =		http://id.who.int/icd/entity/844933646	1 <	AB33	AB33	Otosclerosis involving otic capsule (迷路骨包を含む耳硬化症)
21027	8 蝸牛型メニエール病	0 L	H810	=AB31.0				1 <		http://id.who.int/icd/entity/683932278 & http://id.who.int/icd/entity/1597714010	1 <	AB31.0 & XA0Y0	AB31.0 & XA0Y0	Meniere disease (メニエール病) & Cochlea
21029	8 前庭型メニエール病	0 L	H810	=AB31.0				1 <		http://id.who.int/icd/entity/683932278 & http://id.who.int/icd/entity/1209223834	1 <	AB31.0 & XA44P4	AB31.0 & XA44P4	Meniere disease (メニエール病) & Auditory vestibule
21033	8 内リンパ水腫	0 L	H810	=AB31.0				1 <		http://id.who.int/icd/entity/683932278	1 <	AB31.0	AB31.0	*マツビング表によると、Meniere disease (メニエール病) 内リンパ水腫・endolymphatic hydrops *突発性内リンパ水腫が類義語にある
21042	8 内耳性めまい	0 L	H810	=AB31.0				1 <		http://id.who.int/icd/entity/1300772836	1 <	AB31.2	AB31.2	BPPV - [benign positional paroxysmal vertigo] とみなした
21048	8 遷発性内リンパ水腫	0 L	H810	=AB31.0				1 <		http://id.who.int/icd/entity/683932278 & http://id.who.int/icd/entity/1715724188	1 <	AB31.0 XT64	AB31.0 XT64	endolymphatic hydrops & Delayed onset
21052	8 良性発作性めまい	0 L	H811	=AB31.2				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1300772836	1 =	AB31.2	AB31.2	Benign positional paroxysmal vertigo (良性発作性頭位／体位性めまい)* ただし「頭位／体位」の記載あり
21056	8 体位性めまい	0 L	H811	=AB31.2				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1300772836	1 =	AB31.2	AB31.2	Benign positional paroxysmal vertigo (良性発作性頭位／体位性めまい)* ただし「頭位／体位」の記載あり
21063	8 末梢性めまい症	0 L	H813	=AB34.1				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1550756489	1 <	AB34.1	AB34.1	“Benign positional paroxysmal vertigo” is elicited by certain critical provocative physical positions of the patient
21065	8 頭位めまい症	0 L	H814	=IMB48.00				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1300772836	1 =	AB31.2	AB31.2	Peripheral vertigo NOS
21067	8 中枢性めまい症	0 L	H814	=IMB48.00				1 =		http://id.who.int/icd/entity/796932381	1 =	MB48.00	MB48.00	良性発作性頭位めまい症benign positional paroxysmal vertigo (*ただし「頭位／体位」の記載あり)
21071	8 頭位変換性めまい	0 L	H814	=IMB48.00				1 =		http://id.who.int/icd/entity/1300772836	1 <	AB31.2	AB31.2	Benign positional paroxysmal vertigo (良性発作性頭位／体位性めまい)* ただし「頭位／体位」の記載ありと同じとみなした
21072	8 中枢性眼振	0 L	H814	=IMB48.00				1 =		http://id.who.int/icd/entity/796932381	1 <	MB48.00	MB48.00	Central positional nystagmus

			対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度			
No	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	備考
21073	8 中枢性頭位眼振	0 L	H814	10 => 11 のコード情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として病状と不適切	1 =	1 <	central positional vertigo
21074	8 小脳血管性めまい	0 L	H814	=:MB48.00			1 =	1 <	cerebellar vertigo
21077	8 ボーニエ症候群	0 L	H818	下:AB34.Z			1 <	1 <	*「アビベン」表によると、Disorders of vestibular function (前庭機能障害) Bonnier's syndrome
21078	8 器質性めまい	0 L	H818	下:AB34.Z			1 <	1 <	*「アビベン」表によると、Disorders of vestibular function (前庭機能障害) めまいを引き起こす器質疾患は、内耳前庭疾患、脳血管障害や変性疾患、脳腫瘍を含む中枢疾患、脳血流低下による失神を伴う循環器疾患など
21080	8 頭位眼振	0 L	H819	下:AB34.Z			1 =	1 <	*「アビベン」表によると、Disorders of vestibular function (前庭機能障害) おあるが、「末梢性中枢性両疾患における頭位眼振」頭位変換眼振」など多様性があり、どれを指すのか明確でない。頭位性めまいによる眼振であれば、benign paroxysmal nystagmus と与えることができる。
21081	8 前庭性運動失調症	0 L	H819	下:AB34.Z			1 <	1 <	Disorders of vestibular function (前庭機能障害) 運動失調症 ataxia
21082	8 末梢前庭障害	0 L	H819	下:AB34.Z			1 <	1 <	Disorders of vestibular function (前庭機能障害) 末梢前庭障害: peripheral vestibular dysfunction (はICD-11に見当たらず)
21088	8 痙性めまい	0 L	H819	下:AB34.Z			1 <	1 <	Spasticity/ 痙性: Spasticity
21093	8 平衡異常	0 L	H819	下:AB34.Z			1 =	1 =	Disorder equilibrium
21096	8 回転性めまい	0 L	H819	下:AB34.Z			1 =	1 =	Vertigo
21101	8 急性迷路炎	0 L	H830	=:AB30.1			1 =	1 =	Labyrinthitis (迷路炎: 内耳炎) & Acute
21103	8 中耳炎性内耳炎	0 L	H830	=:AB30.1			1 =	1 <	Labyrinthitis / Otitis media 中耳炎の原因菌が内耳に入って内耳炎を起こす
21105	8 細菌性内耳炎	0 L	H830	=:AB30.1			1 =	1 <	Labyrinthitis (迷路炎) / disease caused by bacteria
21112	8 迷路機能異常	0 L	H832	=:AB36			1 =	1 =	Labyrinthine dysfunction
21115	8 迷路機能低下症	0 L	H832	=:AB36			1 =	1 <	Hypofunction of labyrinth
21120	8 末梢迷路障害	0 L	H832	=:AB36			1 <	1 <	labyrinthine disorder NOS
21130	8 迷路障害	0 L	H839	下:AB32			1 <	1 <	labyrinthine disorder NOS
21132	8 両側性伝音難聴	0 L	H900	=:AB51.0			1 =	1 <	conduction deafness & Bilateral
21133	8 一側性伝音難聴	0 L	H901	重:AB51.0 重:AB50.0			1 =	1 <	conduction deafness & Unilateral, unspecified
21138	8 老年発症型両側性感音難聴	0 L	H903	下:AB51.1 上:EC23.2			1 <	1 <	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴) & Bilateral & Adolescent
21139	8 両側性高音障害漸増型感音難聴	0 L	H903	下:AB51.1 上:EC23.2			1 <	1 <	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴) & Bilateral & Gradual onset 漸増型は徐々に低下するケース
21140	8 両側性感音難聴	0 L	H903	下:AB51.1 上:EC23.2			1 <	1 <	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴) & Bilateral
21142	8 両側性高音障害急墜型感音難聴	0 L	H903	下:AB51.1 上:EC23.2			1 <	1 <	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴) & Bilateral & Rapid onset

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第 1 1 章 標準病名 (歯科以外) ～

(5ページのみ抜粋)

								対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致 代表 同義コード	ICD10 10⇒11 でのマappings情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名とICD11病名が一致しない	強度	関係	ICD11 Foundation URI	強度	関係	MMS Representation	
26135	11 舌潰瘍	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1	<	DA03.Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26136	11 リガッフェーデ病	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1	<	DA03.Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26137	11 カタル性舌炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.Y	Glossitis
26138	11 慢性舌炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384 & https://id.who.int/icd/entity/490003542	1	<	DA03.0 & X18.W	Glossitis & Chronic
26139	11 舌炎	1 L	K140 =:D:A03.0	Glossitis								
26141	11 悪液質アフト	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1	<	DA03.Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26143	11 メラー舌炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26144	11 舌ひらん	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1	<	DA03.Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26145	11 舌膿瘍	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1405733502	1	<	DA01.30	Sublingual abscess
26146	11 舌乳頭炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26147	11 硬化性舌炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26148	11 表在性舌炎	0 L	K140 =:D:A03.0			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26149	11 良性移動性舌炎	1 L	K141 =:D:A03.1	Benign migratory glossitis		1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26151	11 地図状舌	1 L	K141 =:D:A03.1	Oral erythema migrans								
26152	11 剥離性舌炎	0 L	K141 =:D:A03.1			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26153	11 剥離性限局性舌炎	0 L	K141 =:D:A03.1			1	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1	<	DA03.0	Glossitis
26154	11 正中菱形舌炎	1 L	K142 =:D:A03.3	persistent tuberculum impar								
26155	11 舌苔	1 L	K143 =:D:A03.4	tongue coat								
26157	11 黒毛舌	1 L	K143 =:D:A03.4	melanoglossia								
26158	11 舌乳頭肥大	0 L	K143 =:D:A03.4			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1189946017	1	=	DA03.4	Hypertrophy of tongue papillae
26159	11 舌乳頭萎縮	0 L	K144 =:D:A03.2			1	=	https://id.who.int/icd/entity/889434421	1	=	DA03.2	Atrophy of tongue papillae
26161	11 亀裂舌	0 L	K145 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/699700094	1	<	DA03.Y	Fissured tongue
26164	11 溝状舌	0 L	K145 =:D:A03			1	=	https://id.who.int/icd/entity/699700094	1	<	DA03.Y	Fissured tongue
26166	11 舌痛症	0 L	K146 =:D:A0F.0			1	=	https://id.who.int/icd/entity/618998878	1	=	DA0F.0	Burning mouth syndrome
26171	11 舌根部粘膜下出血	0 L	K148 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1	<	DA03.Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26172	11 舌肥大	0 L	K148 =:D:A03			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1950617208	1	<	DA03.Y	Hypertrophy of tongue
26173	11 縦歯状舌	1 L	K148 =:D:A03	Crenated tongue								
26174	11 舌腫瘍	0 L	K148 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1844086508 & https://id.who.int/icd/entity/1769856759	1	<	2F90 & XA1T19	tumour mass NOS & Tongue
26176	11 舌萎縮	0 L	K148 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/889434421	1	<	DA03.2	Atrophy of tongue papillae
26178	11 舌色素沈着症	0 L	K148 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/928435705	1	<	DA03.Y	Other specified diseases of tongue
26179	11 舌根腫瘍	0 L	K148 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1844086508 & https://id.who.int/icd/entity/1769856759	1	<	2F90 & XA1T19	tumour mass NOS & Tongue
26182	11 舌ホリーフ	0 L	K149 =:D:A03			1	<	https://id.who.int/icd/entity/928435705	1	<	DA03.Y	Other specified diseases of tongue
26185	11 好酸球性食道炎	1 L	K20 =:D:A24.Z	Eosinophilic oesophagitis								
26186	11 食道炎	1 L	K20 =:D:A24.Z	Oesophagitis								
26187	11 腐食性食道炎	0 L	K20 =:D:A24.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1540965840 / https://id.who.int/icd/entity/1438820135	1	<	DA24.Y / NE11	Other specified oesophagitis / Corrosion of unspecified body region, unspecified degree
26188	11 アリカリ性食道炎	1 L	K20 =:D:A24.Z	Alkaline oesophagitis								腐食性食道炎は、酸やアリカリ農薬、重金屬、などの組織壊害性の強い薬剤の取用により発生する食道炎

							対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度				
No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義	ICD10 コード	10⇒11 のマappings 情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上にて病名が不適切	病 度	関係	ICD11 Foundation URL	病 度	関係	MMS Representation	備考
26189	11 壊死性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		necrotising oesophagitis								
26190	11 感染性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		infectious oesophagitis								
26191	11 化学性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		chemical oesophagitis								
26192	11 消化性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		peptic esophagitis								
26193	11 剥離性食道炎	0 L	K20	=:D:A2.4.Z			1 <			https://id.who.int/icd/entity/1540965840	1 <		DA24.Y	Other specified oesophagitis
26194	11 術後食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		postoperative oesophagitis								
26195	11 食道膿瘍	1 L	K20	=:D:A2.4.Z		Abscess of oesophagus								
26197	11 逆流性食道炎	1 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z		Reflux oesophagitis								
26198	11 維持療法が必要な難治性逆流性食道炎	0 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z			1 <			https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <		DA22.Z	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease]
26200	11 術後難治性逆流性食道炎	0 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z			1 <			https://id.who.int/icd/entity/1391387859 & https://id.who.int/icd/entity/182265087	1 <		DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26201	11 維持療法が必要な術後難治性逆流性食道炎	0 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z			1 <			https://id.who.int/icd/entity/1391387859 & https://id.who.int/icd/entity/182265087	1 <		DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26202	11 術後逆流性食道炎	0 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z			1 =			https://id.who.int/icd/entity/182265087	1 <		DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26203	11 難治性逆流性食道炎	0 L	K210	上:D:A2.4.Z 上:DA2.2.Z			1 =			https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <		DA22.Z	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease]
26204	11 非びらん性胃食道逆流症	1 L	K219	下:D:A2.2.Z		Non-erosive gastro-oesophageal reflux disease								
26205	11 胃食道逆流症	1 L	K219	下:D:A2.2.Z		Gastro-oesophageal reflux disease								
26212	11 巨大食道	1 L	K220	=:D:A2.1.0		Megaesophagus								
26214	11 食道アカラシア	1 L	K220	=:D:A2.1.0		oesophagus achalasia								
26215	11 薬剤性食道潰瘍	0 L	K221	=:D:A25.2			1 =			https://id.who.int/icd/entity/2041404971	1 =		DA25.31	Drug-induced oesophageal ulcer
26217	11 真菌性食道潰瘍	1 L	K221	=:D:A25.2		Fungal oesophageal ulcer								
26218	11 食道びらん	1 L	K221	=:D:A25.2		Oesophageal erosion								
26219	11 消化性食道潰瘍	1 L	K221	=:D:A25.2		peptic oesophageal ulcer								
26221	11 噴門部潰瘍	1 L	K221	=:D:A25.2		cardia ulcer								
26222	11 食道潰瘍	1 L	K221	=:D:A25.2		Oesophageal ulcer								
26223	11 バレット潰瘍	1 L	K221	=:D:A25.2		Barrett ulcer								
26226	11 食道閉塞症	0 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2			1 =			https://id.who.int/icd/entity/873018279	1 =		DA20.0	Oesophageal obstruction
26227	11 噴門狹窄	1 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2		cardia stenosis								
26228	11 食道圧迫症	0 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2			1 =			https://id.who.int/icd/entity/15072731999	1 <		DA20.0	Compression of oesophagus
26231	11 食道狹窄	1 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2		oesophageal narrowing								
26232	11 食道瘢痕	0 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2			1 <			https://id.who.int/icd/entity/1594312948/ https://id.who.int/icd/entity/782258967	1 <		DA2Z / ME2Y	Diseases of oesophagus, unspecified / Other specified clinical findings in the digestive system
26233	11 食道良性狹窄	0 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2			1 =			https://id.who.int/icd/entity/1684319314	1 <		DA20.0	Constriction of oesophagus
26234	11 腐食性食道狹窄	0 L	K222	=:D:A20.0 下:ME24.2			1 =			https://id.who.int/icd/entity/1684319314/ https://id.who.int/icd/entity/1438820135	1 <		DA20.0 / NE11	Constriction of oesophagus / Corrosion of unspecified body region, unspecified degree
26238	11 特発性食道破裂	1 L	K223	=:D:A20.3Z 上:DA20.30		Spontaneous rupture of oesophagus								
26239	11 食道穿孔	1 L	K223	=:D:A20.3Z 上:DA20.30		oesophageal perforated								

					対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度						
No	ICD10 標準病名	ICD11和訳との一致 代表・同義	ICD10 コード	10⇒11 のマッピング情報	ICD11和訳にあった場合の英語	病名と病状は不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
26240	11 螺旋状食道		K224	=:DA21.2 上: DA21.22 上:DA21.1 上:DA21.21 上: DA21.22 上:DA21.20 上:DA21.3 =:DA21.2 上: DA21.22 上:DA21.1 上:DA21.21 上: DA21.22 上:DA21.20 上:DA21.3 =:DA21.2 上: DA21.22 上:DA21.1 上:DA21.21 上: DA21.22 上:DA21.20 上:DA21.3			1	=	https://id.who.int/icd/entity/Z20915819	1	<	DA21.20	Corkscrew Esophagus
26241	11 食道痙攣		K224		oesophageal spasm								
26242	11 ひまゝ性食道痙攣		K224		Diffuse oesophageal spasm								
26245	11 咽頭食道憩室		K225	=:DA20.1	pharyngo-oesophageal diverticulum								
26248	11 ロキタンスキー憩室		K225	=:DA20.1	Rokitansky diverticulum								
26251	11 後天性食道憩室		K225	=:DA20.1	acquired oesophageal diverticulum								
26257	11 フロリ・ライズ症候群		K226	=:DA26.3			1	=	https://id.who.int/icd/entity/860549324	1	=	DA26.3	Malloy-Weiss syndrome
26258	11 バレット食道		K227	=:DA23.2	Barrett oesophagus								
26260	11 食道粘膜下腫瘍		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	<	https://id.who.int/icd/entity/A1572683579	1	<	2E87	Benign gastrointestinal stromal tumour of oesophagus GIST(ジストマ・Gastrointestinal Stromal Tumor)は、胃や腸の消化管壁の粘膜下にある未熟な間葉系細胞に由来する「肉腫」の一種とされ、いわゆる「がん」には異なりません
26261	11 食道ポリープ		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/617510698	1	<	2E92.0	Hyperplastic polyp of oesophagus
26262	11 食道通過障害		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/A1594312948/ https://id.who.int/icd/entity/923782542	1	<	DA22 / VV40	Diseases of oesophagus / impairments in oesophageal passage of substances
26263	11 食道腫瘍		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1827459816	1	<	2E92.0	Benign neoplasm of oesophagus
26266	11 食道軟化症		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1	oesophagomalacia								
26268	11 食道のう胞		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/558017605	1	<	DA2Y	Oesophageal cyst
26269	11 食道瘻		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1	oesophageal fistula								
26270	11 食道出血		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/752713197	1	=	ME24.A2	Oesophageal haemorrhage
26272	11 食道拡張症		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/193000689	1	<	DA2Y	Dilatation of oesophagus
26273	11 食道弛緩症		K228	上:DA20.2 上: DA22 上:DA26.2 上:DA26.1			1	=	https://id.who.int/icd/entity/6536464846	1	=	DA21.0	oesophageal achalasia
26275	11 食道障害		K229	下:DA22	oesophageal disorder								

					対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度						
No	ICD10 標準病名	ICD11和訳との一致 代表 同義	ICD10 コード	10⇒11 でのマappings 情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名に代えては不適切	病 度	関係	ICD11 Foundation URI	病 度	関係	MMS Representation	備考
26351	11 十二指腸穿孔	1 L	K265	F :D:A63.Z	Perforation of duodenum								
26353	11 穿孔性十二指腸潰瘍	0 L	K265	F :D:A63.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/1982276925	1 <	DA63.Y		Perforated duodenal ulcer
26355	11 穿通性十二指腸潰瘍	0 L	K265	F :D:A63.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Y		Other specified duodenal ulcer
26358	11 出血性十二指腸潰瘍穿孔	0 L	K266	F :D:A63.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/1982276925	1 <	DA63.Y / MG27		Perforated duodenal ulcer / Haemorrhage, not elsewhere classified
26360	11 慢性十二指腸潰瘍	1 L	K267	F :D:A63.Z	chronic duodenal ulcer								
26366	11 十二指腸潰瘍瘢痕	0 L	K267	F :D:A63.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Y		Other specified duodenal ulcer
26367	11 慢性十二指腸潰瘍活動期	0 L	K267	F :D:A63.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	DA63.Z & XT8W & XT98		Duodenal ulcer & Chronic & Active
26371	11 再発性十二指腸潰瘍	0 L	K267	F :D:A63.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/1772847694	1 <	DA63.Z & XT44		Duodenal ulcer & Recurrent
26372	11 多発性十二指腸潰瘍	0 L	K269	F :D:A63.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Z		Duodenal ulcer, unspecified
26374	11 難治性十二指腸潰瘍	0 L	K269	F :D:A63.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1721353160	1 <	DA63.Z		Duodenal ulcer, unspecified
26375	11 十二指腸潰瘍	1 L	K269	F :D:A63.Z	Duodenal ulcer		1 <		https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Z		Duodenal ulcer, unspecified
26378	11 NSAIDs十二指腸潰瘍	0 L	K269	F :D:A63.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/371582185	1 <	DA63.50		Duodenal ulcer due to NSAID - [non-steroidal anti-inflammatory drug]
26379	11 十二指腸びらん	1 L	K269	F :D:A63.Z	Duodenal erosion								
26381	11 十二指腸球後部潰瘍	0 L	K269	F :D:A63.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Y		Other specified duodenal ulcer
26383	11 クラウン潰瘍	1 L	K270	F :D:A61	Cushings ulcer								
26385	11 術後胃十二指腸潰瘍	0 L	K270	F :D:A61			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1145813715	1 <	DA61 & XT7V		peptic ulcer disease & Postoperative
26388	11 ストレス潰瘍	0 L	K270	F :D:A61			1 <		https://id.who.int/icd/entity/182265087	1 <	DA61		peptic ulcer disease
26390	11 胃十二指腸潰瘍瘢痕	0 L	K277	F :D:A61			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1145813715	1 <	DA61		peptic ulcer disease
26392	11 胃十二指腸潰瘍	1 L	K279	F :D:A61	gastroduodenal ulcer								
26395	11 NSAIDs潰瘍	0 L	K279	F :D:A61			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1145813715	1 <	DA61		peptic ulcer disease
26401	11 出血性吻合部潰瘍	0 L	K284	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z / ME24.9Z		Anastomotic ulcer, unspecified / Gastrointestinal bleeding, unspecified
26403	11 穿孔性吻合部潰瘍	0 L	K285	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z / ME24.3Y		Anastomotic ulcer, unspecified / Digestive system perforation
26406	11 吻合部潰瘍瘢痕	0 L	K287	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z		Anastomotic ulcer, unspecified
26409	11 難治性吻合部潰瘍	0 L	K289	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z		Anastomotic ulcer, unspecified
26412	11 吻合部潰瘍	1 L	K289	F :D:A62.Z	Anastomotic ulcer								
26415	11 急性胃炎	1 L	K290	=:D:A62.72	haemorrhagic gastritis								
26416	11 急性胃炎	1 L	K291	F :D:A62.Z	acute gastritis								
26419	11 急性びらん性胃炎	1 L	K291	F :D:A62.Z	acute erosive gastritis								
26421	11 胃峰窩織炎	1 L	K291	F :D:A62.Z	Phlegmonous gastritis		1 <		https://id.who.int/icd/entity/1398301359	1 <	DA94.Z & XA8UM1		Noninfectious enteritis or ulcer of small intestine, unspecified 6 Jejunum
26422	11 胃周囲炎	0 L	K291	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/18598211	1 <	DA42.Z		Gastritis, unspecified
26423	11 アルコール性胃炎	1 L	K292	=:D:A62.80	Alcoholic gastritis				https://id.who.int/icd/entity/1871672644	1 <	DA42.Z		
26426	11 表層性胃炎	0 L	K293	=:D:A62.71			1 =		https://id.who.int/icd/entity/624491761	1 =	DA42.71		Chronic superficial gastritis of unknown aetiology
26427	11 萎縮性胃炎	1 L	K294	=:D:A62.73	atrophic gastritis		1 <		https://id.who.int/icd/entity/45689379Z	1 <	DA42.73		Gastric atrophy
26431	11 萎縮性化生性胃炎	0 L	K294	=:D:A62.73			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1871672644	1 <	DA42.Z & XT8W		Gastritis, unspecified &Chronic
26435	11 慢性胃炎	0 L	K295	F :D:A62.Z			1 =		https://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	DA42.Z & XT8W		Granulomatous gastritis of unknown aetiology
26438	11 肉芽腫性胃炎	0 L	K296	F :D:A62.Z			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1796017140	1 <	DA42.75		

～ 第12章 標準病名 ～

標準病名のICD-11コーディング作業結果

		対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
No	ICD11標準病名	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	
28311 12	ふどう球菌性熱傷様皮膚症候群	0 L	L00	=EA50.2 重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	EA50.2 Staphylococcal scalded skin syndrome
28313 12	全身伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 <	1872.2 伝染性膿痂疹-膿痂疹、全身性は無し。
28314 12	外耳膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	AA3Y / 1872 外耳膿痂疹Otitis externa (in impetigo)
28316 12	膿痂疹外耳炎	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	AA3Y / 1872 Otitis externa in impetigo
28317 12	痂皮性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.1 膿痂疹には、水泡性と痂皮性性の2種類があり、水泡性とはそれ以外に分けられている。痂皮性性は、Non-bullous impetigo
28318 12	上肢伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XA4BA8 伝染性膿痂疹 & 上肢-XA4BA8 Upper extremity
28319 12	外陰部膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XA78U5 伝染性膿痂疹 & XA78U5 Vulva
28320 12	胴幹伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Z & XA3FR3 伝染性膿痂疹 & XA3FR3 Trunk
28321 12	下肢伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XA45A6 伝染性膿痂疹 & XA45A6 Lower extremity
28324 12	顔面膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XA86S4 伝染性膿痂疹 & XA86S4 Face
28326 12	連鎖球菌性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XN3NM 伝染性膿痂疹 & XN3NM Streptococcus
28329 12	伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 <	1872.Z 伝染性膿痂疹-膿痂疹
28332 12	新生児膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XT16 伝染性膿痂疹 & XT16 Neonatal
28333 12	白色ふどう球菌性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z	1 =	1872.Y & XN9ZG 白色ふどう球菌性膿痂疹(土肥)→ブドウ球菌性伝染性膿痂疹という名称が一般化。伝染性膿痂疹XN9ZG Staphylococcus
28335 12	顔面膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2	1 <	1872.2 & XA86S4 皮膚の二次刺激 & XA86S4 Face
28337 12	臀部膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2	1 <	1872.2 & XA3VA7 皮膚の二次刺激 & XA3VA7 Buttock
28339 12	膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2	1 <	1872.2 皮膚の二次刺激
28340 12	全身膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2	1 <	1872.2 皮膚の二次刺激、全身は無し。

		対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度							
No	IC D1 標準病名 章	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	健信 関係	ICD11 Foundation URI	健信 関係	MMS Representation	備考	
28342	12 軀幹膿瘍性湿疹	0 L	L011	=1B72.2			1 <	http://id.who.int/icd/entry/25824900 & http://id.who.int/icd/entry/947150833	1 <	1B72.2 & XA3FR3	皮膚の二次刺激 & XA3FR3 Trunk	
28343	12 上肢膿瘍性湿疹	0 L	L011	=1B72.2			1 <	http://id.who.int/icd/entry/25824900 & http://id.who.int/icd/entry/986233688	1 <	1B72.2 & XA4BA8	皮膚の二次刺激 & XA4BA8 Upper extremity【上肢:upper limb】	
28344	12 頭部膿瘍性湿疹	0 L	L011	=1B72.2			1 <	http://id.who.int/icd/entry/25824900 & http://id.who.int/icd/entry/1357976561	1 <	1B72.2 & XA20Q1	皮膚の二次刺激 & XA20Q1 Head【頭部:head】	
28347	12 顔面膿瘍	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/968129184	1 =	1B75.3 & XA86S4	【膿瘍=abscess】& XA86S4 Face ☆I02002の項目に共通する整理せつ(おでき)は、ツドナ球菌感染により生じる皮膚膿瘍であり、毛包とその周囲の組織を侵す。ようは複数のせつが皮下でつながつてできる病変であり、せつよりも化膿が深く、膿瘍化を来す。それらは皮下膿瘍よりは小さく浅在性である。診断は病変の外観による。	
28350	12 下顎部膿瘍	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/608198862	1 =	1B75.3 & XA2C62	【膿瘍=abscess】& XA2C62 Chin :ICD-11 X章においてには、皮膚として考えると下顎部は「顎」に含まれると判断した。	
28351	12 顔面よう	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1456834066 & http://id.who.int/icd/entry/968129184	1 =	1B75.1 & XA86S4	【よう=Carbuncle】& XA86S4 Face	
28352	12 頬部膿瘍	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/1286369458	1 =	1B75.3 & XA7MK8	【皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 頬部=Cheek	
28353	12 顔面せつ	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1081137172 & http://id.who.int/icd/entry/968129184	1 =	1B75.0 & XA86S4	【せつ=Furuncle】& XA86S4 Face	
28356	12 前額部膿瘍	0 L	L020	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/862454798	1 =	1B75.3 & XA6TR8	【皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 前額部=Forehead	
28358	12 頸部よう	0 L	L021	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1456834066 & http://id.who.int/icd/entry/956558826	1 =	1B75.1 & XA7AA6	【よう=Carbuncle】& XA7AA6 Neck	
28360	12 頸部せつ	0 L	L021	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1081137172 & http://id.who.int/icd/entry/956558826	1 =	1B75.0 & XA7AA6	【せつ=Furuncle】& XA7AA6 Neck	
28363	12 頸部膿瘍	0 L	L021	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/956558826	1 =	1B75.3 & XA7AA6	【皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 頸部=Neck	
28373	12 背部膿瘍	0 L	L022	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1324834502 & http://id.who.int/icd/entry/1187030	1 =	1B75.3 & XA2P90	【皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 背=Back	
28375	12 胸部よう	0 L	L022	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1456834066 & http://id.who.int/icd/entry/650081113	1 =	1B75.1 & XA5D93	【よう=Carbuncle】& 【胸部=Thorax】	
28377	12 会陰部よう	0 L	L022	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1456834066 & http://id.who.int/icd/entry/402925049	1 =	1B75.1 & XA53N9	【よう=Carbuncle】& 会陰=Perineum	
28381	12 臍部せつ	0 L	L022	重:1B75.01重:1B75.21重:1B75.31重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1081137172 & http://id.who.int/icd/entry/1330482498	1 =	1B75.0 & XA3MT8	【せつ=Furuncle】& 臍=Umbilicus	

対 Foundation 粒度										対 MIMS 粒度			備考
No	ICD11 標準病名章	ICD11 和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10⇒11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	価値度	関係	ICD11 Foundation URI	価値度	関係	MIMS Representation	
28382	12 会陰部せつ		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =		1B75.0 & XA53N9	【せつ=Furuncle】& 会陰=Perineum
28383	12 会陰部膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =		1B75.3 & XA53N9	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 会陰=Perineum
28385	12 臍部よう		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	1 =		1B75.1 & XA3MT8	【よう=Carbuncle】& 臍=Umbilicus
28386	12 腹部膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =		1B75.3 & XA6GV0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 腹部=Abdomen
28388	12 胸部せつ		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	1 =		1B75.0 & XA5D93	【せつ=Furuncle】& 【胸部=Thorax】
28390	12 肋骨周囲膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		2 <		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	2 <		1B75.3 & XA5D93	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。肋骨周囲膿瘍=Pericostal abscessは、無い。肋骨周囲⇒around the ribsも無い。そのため、胸郭=XA5D93 Thoraxの下位とした。
28395	12 肩胛部よう		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =		1B75.1 & XA0GN7	【よう=Carbuncle】& 【肩胛部=Inguinal region】
28396	12 肩胛部せつ		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =		1B75.0 & XA0GN7	【せつ=Furuncle】& 【肩胛部=Inguinal region】
28398	12 腹部よう		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =		1B75.1 & XA6GV0	【よう=Carbuncle】& 腹部=Abdomen
28400	12 臍部膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	1 =		1B75.3 & XA3MT8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 臍=Umbilicus
28401	12 腸骨部膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1286173258	1 =		1B75.3 & XA0NH8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 腸骨領域=Iliac region
28404	12 下腹部膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/2105593940	1 =		1B75.3 & XA4TC0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 下腹部=Lower abdomen
28405	12 背部せつ		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1187030	1 =		1B75.0 & XA2P90	【せつ=Furuncle】& 背部=Back
28406	12 腹壁膿瘍		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/119571850	1 =		1B75.3 & XA3KX0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。& 腹壁=Abdominal wall
28407	12 背部よう		0 L	L022	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1187030	1 =		1B75.1 & XA2P90	【よう=Carbuncle】& 背部=Back

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度				備考			
No	ICD11 標準病名章	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	評価度	関係	ICD11 Foundation URI	評価度	関係	MMS Representation	
28411	12 前胸部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/481043491	1 =	=	1B75.3 & XA2RT1	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 前胸部=Precordium
28413	12 側胸部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			2 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/691256124	1 =	=	1B75.3 & XA7884	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 側胸部=横胸部領域
28415	12 腹部せつ	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =	=	1B75.0 & XA6GV0	*【せつ=Furuncle】& 腹部=Abdomen
28416	12 腰部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1218764272	1 =	=	1B75.3 & XA9ET2	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【腰=Lower back】皮膚科なので、Surface topographyからLower backを選択した。
28418	12 外陰部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =	=	1B75.3 & XA0GN7	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【鼠径部=Inguinal region】
28420	12 股部膿瘍	0 L	L023	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	=	1B75.3 & XA3VA7	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【股部=Buttock】
28422	12 股部せつ	0 L	L023	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	=	1B75.0 & XA3VA7	*【せつ=Furuncle】& 【股部=Buttock】
28424	12 股部よう	0 L	L023	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	=	1B75.1 & XA3VA7	*【よう=Carbuncle】& 【股部=Buttock】
28425	12 示指膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/15105170	1 =	=	1B75.3 & XA6NZ0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【示指(人差し指=index finger)】
28429	12 小指膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1621005983	1 =	=	1B75.3 & XA5EN3	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【小指=little finger】
28430	12 足背膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/2084017562	1 =	=	1B75.3 & XA8BE2	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【足背=dorsum of foot】
28431	12 環指膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1823823558	1 =	=	1B75.3 & XA06X8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【環指(薬指)=ring finger】
28433	12 中指膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/806667718	1 =	=	1B75.3 & XA0Y38	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & 【中指=middle finger】
28434	12 趾膿瘍	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	=	1B75.3 & XA4LC9	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍⇒abscess】は類義語。 & ; 【趾=toes】
28435	12 腋窩よう	0 L	L024	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1 重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1494375321	1 =	=	1B75.1 & XA17J1	*【よう=Carbuncle】& 【腋窩=Axilla】

		対 Foundation				対 MIMS				備考			
		粒度		関係	価値度	粒度		関係	MIMS Representation				
No	ICD11標準病名 0章	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	価値度	関係	ICD11 Foundation URI	価値度	関係	MIMS Representation	備考
28444	12 足趾腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/179255514	1 =	=	1B75.3 & XA1XM4	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【足蹠⇒足の裏で発赤 足の裏⇒Sole of foot】
28449	12 下腿腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/106050921	1 =	=	1B75.3 & XA45A6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【下腿⇒lower leg】
28451	12 肩よう	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/2127070735	1 =	=	1B75.1 & XA2ND5	*【よう⇒Carbuncle】&【肩⇒Shoulder】
28456	12 大腿部腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/238202718	1 =	=	1B75.3 & XA5S78	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【大腿部⇒Thigh】
28457	12 前腕腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1477228030	1 =	=	1B75.3 & XA7WB0	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【前腕⇒Forearm】
28460	12 腋窩せつ	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1494375321	1 =	=	1B75.0 & XA17J1	*【せつ⇒Furuncle】&【腋窩⇒Axilla】
28466	12 肩せつ	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/2127070735	1 =	=	1B75.0 & XA2ND5	*【せつ⇒Furuncle】&【肩⇒Shoulder】
28474	12 腋窩部腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1494375321	1 =	=	1B75.3 & XA17J1	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【腋窩⇒Axilla】
28475	12 上腕腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/312192089	1 =	=	1B75.3 & XA6809	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【上腕⇒Upper arm】
28477	12 足腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1896004518	1 =	=	1B75.3 & XA47V8	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【足⇒Foot】
28479	12 手指腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/822750113	1 <	=	1B75.3 & XA2593	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【手指⇒fingers: Fingers and thumbのindex termにある】
28485	12 膝部腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1670056745	1 =	=	1B75.3 & XA8KL5	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【膝部⇒knee】
28486	12 股関節部よう	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1188078244	1 =	=	1B75.1 & XA4XS4	*【よう⇒Carbuncle】&【股関節部→股関節⇒hip joint】
28488	12 母指腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/452671086	1 =	=	1B75.3 & XA8DJ6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【母指⇒Thumb】
28489	12 手背腫瘍	0 L	L024	重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1 重:1B75.0 重:1B75.2 重:1B75.3 重:1B75.1			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/2088002216	1 =	=	1B75.3 & XA30Z6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。&【手背⇒Dorsum of hand】

～ 第 1 4 章 標準病名 ～

標準病名のICD-11コーディング作業結果

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と 一致	代表・同 義	ICD10 コード	10⇒11 での マッピング情報	ICD11和訳にあつた項目の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33846	14 急性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N002	下:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/817733606/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome / diffuse membranous glomerulonephritis
33847	14 急性びまん性メサンギウム増殖性糸球体腎	0 L		N003	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1992151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1017635638/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome / Glomerular disease with diffuse mesangial proliferation
33848	14 急性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N004	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis
33849	14 急性デンスデポジット病	0 L		N006	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : dense deposit disease
33850	14 急性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N007	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1992151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1290243376/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33852	14 溶連菌感染後急性糸球体腎炎	0 L		N009	=:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ & http://id.who.int/icd/entitv/1997317917/ / http://id.who.int/icd/entitv/520429137/	1 <		GB40 & XN3NM / 1C41	Acute glomerulonephritis after streptococcal infection
33857	14 急速進行性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N012	下:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/817733606/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : diffuse membranous glomerulonephritis
33858	14 急速進行性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N014	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : Diffuse endocapillary proliferation
33859	14 急速進行性デンスデポジット病	0 L		N016	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : dense deposit disease
33861	14 抗糸球体基底膜腎炎	0 L		N017	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/591376785/	1 <		GB40 / MF85	Anti-glomerular basement membrane antibody mediated disease
33867	14 急速進行性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N017	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33869	14 ANCA関連腎炎	0 L		N017	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1404622836/ / http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / 4A44.AZ	Nephritic syndrome/ANCA - [Antineutrophil cytoplasmic antibodies] associated vasculitis
33871	14 特発性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N017	下:GB40		1 <	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ & http://id.who.int/icd/entitv/894194405/ / http://id.who.int/icd/entitv/1039550850/	1 <		GB40&XBSF/MF8Y	Idiopathic Crescent glomerulonephritis
33877	14 IgA腎症	0 L		N028	下:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/30371100/	1 <		GB40 / MF8Y	Nephritic syndrome/ Glomerular disease with IgA disease
33879	14 血尿症候群	0 L		N029	=:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33883	14 腎性血尿	0 L		N029	=:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33887	14 糸球体性血尿	0 L		N029	=:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33893	14 軽症慢性腎炎症候群	0 L		N030	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/914480092/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : minor glomerular abnormality
33894	14 慢性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N032	下:MF8Z		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/661079735/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse membranous glomerulonephritis
33895	14 慢性びまん性メサンギウム増殖性糸球体腎	0 L		N033	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1110215459/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse mesangial proliferative glomerulonephritis
33896	14 慢性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N034	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/834803895/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis
33897	14 慢性デンスデポジット病	0 L		N036	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/539264478/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : dense deposit disease
33898	14 慢性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N037	下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1164920904/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33901	14 慢性腎炎症候群	0 L		N039	=:MF8Z 下:GB40		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ & http://id.who.int/icd/entitv/490003542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1039550850/	1 <		GB40 & XT8W / MF8Z	Nephritic syndrome&慢性/Clinical findings in specimens from the urinary system
33910	14 微小変化型ネフローゼ症候群	0 L		N040	下:GB41		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1629260860/	1 <		GB41	Minimal change glomerulonephritis
33911	14 異状分節性糸球体硬化症ネフローゼ症候群	0 L		N041	下:GB41		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/1623933120/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome : Glomerular disease with focal and segmental sclerosis
33912	14 びまん性膜性糸球体腎炎ネフローゼ症候群	0 L		N042	下:GB41		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1384209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/817733606/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome :Diffuse membranous glomerulonephritis
33913	14 びまん性管内増殖性糸球体腎炎ネフローゼ	0 L		N044	下:GB41		1 =	1 <	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と薬の一致	代表・同コード	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた項目の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33914	14 デンスデボヅリ病ネフローゼ症候群	0 L	N046		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951/_http://id.who.int/icd/entitv/1041399919	1 =	1 <	GB41 / MF8Y	1 <	GB41 / MF8Y	GB41 / MF80	Nephrotic syndrome : dense deposit disease
33915	14 びまん性マヤンギアム硬化症	0 L	N048		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951/_http://id.who.int/icd/entitv/84161233	1 =	1 <	GB41	1 <	GB41	GB41/MF80	Nephrotic syndrome/diffuse mesangial sclerosis
33917	14 一次性ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951	1 =	1 =	GB41	1 =	GB41	GB41	Nephrotic syndrome/明らかな原因疾患がないものが一次性ネフローゼ症候群
33920	14 難治性ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	GB41	Nephrotic syndrome
33922	14 小児ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	GB41	Nephrotic syndrome
33923	14 二次性ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	GB41	Nephrotic syndrome
33925	14 頻回再発型ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951_&http://id.who.int/icd/entitv/1721353160	1 <	1 <	GB41 &XT44	1 =	GB41 &XT44	GB41	Nephrotic syndrome&再発
33928	14 ステロイド依存性ネフローゼ症候群	0 L	N049		下:GB41	http://id.who.int/icd/entitv/1184209951	1 <	1 <	GB41	1 <	GB41	GB41	Nephrotic syndrome : minor glomerular abnormality
33929	14 微小糸球体変化	0 L	N050		=:MF8Z 下:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/1184209951/_http://id.who.int/icd/entitv/312582803	1 =	1 <	GB40/MF8Y	1 <	GB40/MF8Y	GB40/MF8Y	Nephritic syndrome : minor glomerular abnormality
33931	14 巣状糸球体腎炎	0 L	N051		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/_http://id.who.int/icd/entitv/1623933120	1 >	1 <	GB40/MF8Y	1 <	GB40/MF8Y	GB40/MF8Y	Nephritic syndrome/Glomerular disease with focal and segmental sclerosis
33935	14 膜性腎症	0 L	N052		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/_http://id.who.int/icd/entitv/817733606	1 =	1 =	GB40/MF8Y	1 <	GB40/MF8Y	GB40/MF8Y	Nephritic syndrome/Diffuse membranous glomerulonephritis
33938	14 マヤンギアム増殖性糸球体腎炎	0 L	N053		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/1110215459	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse mesangial proliferative glomerulonephritis 慢性糸球体腎炎のうち
33941	14 管内性増殖性糸球体腎炎	0 L	N054		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/834803895	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis
33944	14 膜性増殖性糸球体腎炎3型	0 L	N055		下:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/1418319139	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, types 1 and 3, or NOS
33945	14 膜性増殖性糸球体腎炎1型	0 L	N055		下:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/14183191399	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, types 1 and 3, or NOS
33948	14 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0 L	N055		下:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/539264478	1 <	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Chronic nephritic syndrome : dense deposit disease
33950	14 膜性増殖性糸球体腎炎2型	0 L	N056		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/539264478	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, type 2
33955	14 半月体形成性糸球体腎炎	0 L	N057		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/1164920904	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33957	14 増殖性糸球体腎炎	0 L	N058		下:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/939941130	1 =	1 <	GB40	1 <	GB40	GB40	Proliferative glomerulonephritis NOS
33959	14 糸球体腎炎	0 L	N059		=:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/658360080	1 =	1 =	GB4Z	1 =	GB4Z	GB40	Glomerular diseases, unspecified
33960	14 腎炎	0 L	N059		=:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886	1 =	1 =	GB40	1 =	GB40	GB40	Nephritic syndrome
33962	14 糸球体性蛋白尿症	0 L	N069		下:GB42.Z	http://id.who.int/icd/entitv/1467154806	1 =	1 =	GB42.Z	1 =	GB42.Z	GB42.Z	Persistent proteinuria or albuminuria, unspecified
33964	14 リボタンバク糸球体症	0 L	N078		重:GB4Z	http://id.who.int/icd/entitv/69778702	1 =	1 =	MF8Z	1 =	MF8Z	MF82	Lipoprotein glomerulopathy
33965	14 フアロネクテン腎症	0 L	N078		重:GB4Z	http://id.who.int/icd/entitv/1877994378	1 =	1 =	MF81	1 =	MF81	MF81	Fibronectin glomerulopathy
33967	14 家族性腎炎	0 L	N079		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/749865544	1 =	1 <	MF8Y	1 <	MF8Y	MF8Y	Glomerular disease with appearance typical of familial and genetic diseases
33970	14 LMX1白関連腎症	0 L	N079		=:MF8Z	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/_http://id.who.int/icd/entitv/1121867410	1 =	1 <	GB40/LD24.J0	1 <	GB40/LD24.J0	GB40/LD24.J0	ネーリル・バウ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症
33973	14 気腫性腎盂腎炎	0 L	N10		上:GB50 上:GB51	http://id.who.int/icd/entitv/1935203065	1 <	1 <	GB55.Z	1 <	GB55.Z	GB55.Z	Chronic tubulo-interstitial nephritis, unspecified
33976	14 単純性腎盂腎炎	0 L	N10		上:GB50 上:GB51	http://id.who.int/icd/entitv/1935203065	1 <	1 <	GB55.Z	1 <	GB55.Z	GB55.Z	Chronic tubulo-interstitial nephritis, unspecified
33979	14 急性巣状細菌性腎炎	0 L	N10		上:GB50 上:GB51	http://id.who.int/icd/entitv/403411521	1 =	1 =	GB51	1 =	GB51	GB51	Acute bacterial pyelonephritis
33985	14 逆流性腎症	0 L	N110		下:GB55.Z	http://id.who.int/icd/entitv/416405628	1 =	1 <	GB55.Z	1 <	GB55.Z	GB55.Z	Refluxive chronic pyelonephritis, not otherwise specified
33986	14 慢性閉塞性腎盂腎炎	0 L	N111		下:GB55.Z	http://id.who.int/icd/entitv/1214692275	1 =	1 <	GB55.Z	1 <	GB55.Z	GB55.Z	Obstructive chronic pyelonephritis, not otherwise specified
33987	14 非閉塞性慢性腎盂腎炎	0 L	N118		下:GB55.Z	http://id.who.int/icd/entitv/1297257549	1 =	1 <	GB55.Z	1 <	GB55.Z	GB55.Z	Nonobstructive chronic pyelonephritis not otherwise specified

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と薬の一致	代表・同コード	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報の有無	ICD11和訳にある自己の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33989	14 IgG4関連腎臓病	0 L		N119	下:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1877692678	1 =	=	4A43.0	IgG4-related kidney disease
33995	14 慢性複発性腎盂腎炎	0 L		N119	下:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1297257549	1 <	<	GB55.2	Nonobstructive chronic pyelonephritis not otherwise specified
33998	14 術後腎盂腎炎	0 L		N12	=:GB54		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/15152455412	1 <	<	GB54	Pyelonephritis not otherwise specified
34000	14 上行性腎盂腎炎	0 L		N12	=:GB54		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1346439976	1 <	<	GB55.2	Chronic pyelonephritis
34001	14 BKウイルス腎症	0 L		N12	=:GB54		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/133532468 & http://id.who.int/icd/entity/7713413721	1 <	<	GB54 & KN9WH	Tubulo-interstitial nephritis, not specified as acute or chronic&Polyomavirus
34004	14 腎盂腎炎	0 L		N12	=:GB54		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1272641957	1 =	=	GB54	Pyonephritis
34006	14 尿管腎盂移行部閉塞を伴う水腎症	0 L		N130	=:GB56.0		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/647756013	1 <	<	GB56.0	Hydronephrosis with ureteropelvic junction obstruction
34007	14 後天性腎盂尿管移行部狭窄を伴う水腎症	0 L		N130	=:GB56.0		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/953391681	1 <	<	GB56.0	GB56.0 Hydronephrosis with ureteropelvic junction obstruction, acquired
34008	14 尿管狭窄を伴う水腎症	0 L		N131	=:GB56.1		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1137718649	1 =	=	GB56.1	Hydronephrosis with ureteral obstruction
34009	14 尿管結石性閉塞を伴う水腎症	0 L		N132	=:GB56.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1022294860	1 =	=	GB56.2	Calculus of ureter with calculus of kidney and hydronephrosis
34012	14 腎結石性閉塞を伴う水腎症	0 L		N132	=:GB56.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1022294860	1 <	<	GB56.2	Calculus of ureter with calculus of kidney and hydronephrosis
34013	14 腎盂拡張	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/904530955	1 <	<	GB56.4	Calyx dilatation
34014	14 両側水腎尿管管症	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/627678743 & http://id.who.int/icd/entity/1379313682 & http://id.who.int/icd/entity/627678743	1 <	<	GB56.4&X9J	Hydrourteronephrosis & Bilateral
34015	14 両側水腎症	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/901992465	1 <	<	GB56.4&X9J	Hydronephrosis & Bilateral
34017	14 萎縮性水腎症	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/821518619	1 <	<	GB56.4	Hydronephrotic kidney atrophy
34019	14 後天性水腎症	0 L		N133	=:GB56.4		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <	<	GB56.4	Hydrourteronephrosis
34021	14 水腎症	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/821518619	1 <	<	GB56.4	Hydronephrosis NOS
34023	14 水腎尿管管症	0 L		N133	=:GB56.4		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/567819142	1 <	<	GB56.4	Hydrourteronephrosis
34025	14 水尿管症	0 L		N134	=:GB90.1		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/150247476	1 =	=	GB90.1	Hydrourter
34027	14 水腎症を伴わない後天性腎盂尿管移行部形	0 L		N135	=:GB90.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/967295607	1 <	<	GB90.2	Kinking and stricture of ureter without hydronephrosis
34028	14 後腹膜線維症	0 L		N135	=:GB90.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1656637330	1 =	=	FB51.4	Retropertoneal fibrosis
34040	14 腎外尿逆流	0 L		N138	下:GB56.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1656637330	1 <	<	GB56.2	Obstructive or reflux nephropathy, unspecified
34046	14 尿路閉塞	0 L		N139	下:GB56.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/501385645	1 <	<	GB56.2	Obstructive or reflux nephropathy, unspecified
34049	14 NSAIDs腎症	0 L		N140	=:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1845354831 & http://id.who.int/icd/entity/727651889	1 <	<	GB55.Y	Analgic nephropathy
34051	14 造影剤腎症	0 L		N141	上:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1248991996	1 <	<	GB55.Y&XWJ2571	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents& X-ray contrast media, iodinated
34054	14 薬剤性腎障害	0 L		N142	上:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/727651889	1 <	<	GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents
34055	14 薬物性腎障害	0 L		N142	上:GB55.2		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1766840660	1 <	<	GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents
34056	14 重金属誘発性腎症	0 L		N143	=:GB55.1		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1210263011	1 =	=	GB55.1	Nephropathy induced by heavy metals
34057	14 中毒性腎症	0 L		N144	下:GB52		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/1248991996	1 <	<	GB52	Renal tubulo-interstitial diseases, unspecified
34062	14 腎感染症	0 L		N159	下:GB52		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <	<	GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial diseases, unspecified
34063	14 ショック腎	0 L		N170	=:GB52		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <	<	GB60.2	Acute kidney failure, stage unspecified
34064	14 急性腎性腎不全	0 L		N170	=:GB52		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/629276055	1 =	=	GB60.2	Acute kidney failure, stage unspecified
34067	14 急性腎皮質壊死	0 L		N171	重:GB60.2		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/338317373	1 <	<	GB60.Z	Acute renal failure with tubular necrosis
34068	14 腎髓質壊死	0 L		N172	=:GB53		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/338317373	1 <	<	GB53	Acute renal papillary necrosis
34069	14 腎乳頭壊死	0 L		N172	=:GB53		1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <	<	GB53	GB53 Acute renal papillary necrosis
34070	14 急性腎後性腎不全	0 L		N178	重:GB60.2		1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <	<	GB60.Z	Acute kidney failure, stage unspecified (腎前性: 全身疾患のために腎臓への血流が低下する場合)

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と薬の一致	代表・同コード	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた項目の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMIS	備考
34071	14 急性腎前性腎不全	0 L		N178	重:GB60.2		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/47639182Z	1 <		GB60.2	GB60.2 Acute kidney failure, stage unspecified (腎後性:腎臓より下部の尿路(尿管・膀胱・尿道)に原因がある場合)
34074	14 急性尿毒性腎症	0 L		N179	重:GB60.2		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/47639182Z	1 <		GB60.2	GB60.2 Acute kidney failure, stage unspecified
34078	14 慢性腎臓病ステージG1	0 L		N181	=:GB61.0		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/93390226Z	1 =		GB61.0	Chronic kidney disease, stage 1
34085	14 慢性腎臓病ステージG2	0 L		N182	=:GB61.1		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1124558660	1 =		GB61.1	Chronic kidney disease, stage 2
34091	14 慢性腎臓病ステージG3b	0 L		N183	上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/671059308	1 =		GB61.3	Chronic kidney disease, stage 3b
34093	14 慢性腎臓病ステージG3	0 L		N183	上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1416760208	1 >		GB61.2	Chronic kidney disease stage 3 NOS
34107	14 慢性腎臓病ステージG3a	0 L		N183	上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1416760208	1 =		GB61.2	Chronic kidney disease, stage 3a
34112	14 慢性腎臓病ステージG4	0 L		N184	=:GB61.4		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1436694854	1 =		GB61.4	Chronic kidney disease, stage 4
34123	14 赤血球造血刺激因子製剤低反応性貧血	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/8743359291 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		3A71.2/GB61.2	Anaemia in chronic kidney disease/Chronic kidney disease, stage unspecified
34129	14 尿毒症性多発性ニューロパチー	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/58868923	1 <		GB62/8C0Z	uraemia NOS/multiple neuropathy
34137	14 尿毒症性ニューロパチー	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/58868923	1 <		GB62/8C0Z	GB62/8C0Z uraemia NOS/neuropathy NOS
34139	14 尿毒症肺	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/850824593	1 <		GB62/C940Y	uraemia NOS/other specified diseases of the respiratory system
34140	14 慢性腎臓病ステージG5D	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/820638928	1 <		GB61.5	Chronic kidney disease, stage 5
34142	14 尿毒症性脳症	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/1927024232	1 <		GB62/8E47	uraemia NOS/Metabolic encephalopathy
34144	14 腎性網膜症	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2000854880 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		9B71.Z/GB61	Retinopathy/Chronic kidney disease
34146	14 尿毒症性心筋症	0 L		N185	=:GB61.5		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/282225286 / http://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		BC43.Y/GB62	Other specified cardiomyopathy/uraemia NOS
34147	14 慢性腎臓病ステージG5	0 L		N185	=:GB61.5		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/820638928	1 =		GB61.5	Chronic kidney disease, stage 5
34151	14 腎性無尿	0 L		N19	下:GB62		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/248693056	1 <		GB62/MF51	Kidney failure, unspecified/Anuria
34152	14 無機能腎	0 L		N19	下:GB62		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		GB62	renal shutdown NOS
34153	14 尿毒症	0 L		N19	下:GB62		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		GB62	uraemia NOS
34157	14 腎性貧血	0 L		N19	下:GB62		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/8743359291 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		3A71.2/GB61.2	Anaemia in chronic kidney disease/Chronic kidney disease, stage unspecified
34159	14 多発性腎結石	0 L		N200	=:GB70.02		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.02	multiple kidney calculus
34160	14 腎結石 自排	0 L		N200	=:GB70.02		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.02	GB70.02 Calculus of kidney unspecified
34164	14 珊瑚状結石	0 L		N200	=:GB70.02		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.02	GB70.02 Calculus of kidney (サング状結石とは上部尿路結石の形態の一種)
34169	14 腎砂状結石	0 L		N200	=:GB70.02		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.02	GB70.02 Calculus of kidney
34177	14 腎尿管結石	0 L		N202	上:GB70.02 上:GB70.1		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/295907514	1 =		GB70.02	GB70.2 Calculus of upper urinary tract, unspecified
34185	14 膀胱憩室結石	0 L		N210	=:GB71.0		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/197850369	1 =		GB71.0	Calculus in bladder
34193	14 腎性骨軟化症	0 L		N250	=:GB62		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1017718945 / http://id.who.int/icd/entitv/4148429600	1 <		GB62/FB83.2Z	renal osteodystrophy/osteomalacia NOS
34195	14 腎性骨ジストロフィー	0 L		N250	=:GB62		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/1017718945	1 <		GB62	ROD - [renal osteodystrophy]
34196	14 リン酸喪失性尿細管障害	0 L		N250	=:GB62		1 <		http://id.who.int/icd/entitv/1017718945	1 <		GB62	Hypophosphatemia in chronic kidney disease
34201	14 2型尿細管性アシドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49		1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1207939938	1 =		GB90.44	Type II renal tubular acidosis

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表・同義	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた項目の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
34205	14 原発性尿管管性アジドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49		1 <		http://id.who.int/icd/entity/1272869150	1 <		GB90.44	renal tubular acidosis
34207	14 腎原性続発性副甲状腺機能亢進症	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1442752937/ http://id.who.int/icd/entity/412389819	1 =			1 <		5A51.1/GB61.2	Secondary hyperparathyroidism/Chronic kidney disease, stage unspecified
34209	14 遠位尿管管性アジドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 =			1 <		GB90.44	Distal renal tubular acidosis
34210	14 ライト・ウッブ・オルブライト症候群	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 =			1 <		GB90.44	lightwood-Albright syndrome
34218	14 遅延性副甲状腺機能亢進症	0 L		N258	GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/9633776/ http://id.who.int/icd/entity/412389819	1 <			1 <		5A51.Y/GB61.2	Other specified hyperparathyroidism/Chronic kidney disease, stage unspecified
34219	14 二次性近位尿管管性アジドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 <			1 <		GB90.44	Proximal renal tubular acidosis
34221	14 一次性近位尿管管性アジドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 <			1 <		GB90.44	GB90.44 Proximal renal tubular acidosis
34222	14 1 型尿管管性アジドーシス	0 L		N258	上:GB90.44 上:GB90.46 上:GB90.49	http://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 =			1 <		GB90.44	GB90.44 Type I renal tubular acidosis
34224	14 急性尿管管障害	0 L		N259	下:GB90.4Z	http://id.who.int/icd/entity/1815482567/ http://id.who.int/icd/entity/786106375	1 =			1 <		GB90.4Z&XT5R	Renal tubular function disorders, unspecified& Acute
34225	14 巣状腎硬化症	0 L		N26	下:MF54.1 上:MF54.0	http://id.who.int/icd/entity/1623933120	1 =			1 <		MF8Y	focal sclerosis
34227	14 萎縮腎	0 L		N26	下:MF54.2 上:MF54.1 上:MF54.0	http://id.who.int/icd/entity/117862072	1 =			1 <		MF54.0	renal atrophy
34228	14 一側性矮小腎	0 L		N270	=:MF54.2	http://id.who.int/icd/entity/743132352	1 =			1 <		MF54.2	Small kidney unilateral
34229	14 両側性矮小腎	0 L		N271	=:MF54.2	http://id.who.int/icd/entity/1224769878	1 =			1 <		MF54.2	Small kidney bilateral
34230	14 矮小腎	0 L		N279	下:MF54.2	http://id.who.int/icd/entity/1649255214	1 =			1 =		MF54.2	Small kidney
34232	14 腎動脈血栓症	0 L		N280	=:GB90.3	http://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <		GB90.3	renal artery clot
34236	14 腎動脈閉塞症	0 L		N280	=:GB90.3	http://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <		GB90.3	GB90.3 renal arterial occlusion
34238	14 腎虚血	0 L		N280	=:GB90.3	http://id.who.int/icd/entity/18571712225	1 =			1 =		GB90.3	GB90.3 kidney ischemia
34239	14 腎コリステロール塞栓症	0 L		N280	=:GB90.3	http://id.who.int/icd/entity/1376329063	1 =			1 <		BD53.40	Cholesterol atheroembolism to kidneys
34244	14 多くの泡化萎縮腎	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/822955213/ http://id.who.int/icd/entity/117862072	1 <			1 <		GB80.Y/MF54.0	Multiple localized renal cysts/renal atrophy
34247	14 傍腎孟のう胞	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/1914297331/ http://id.who.int/icd/entity/1038788978	1 <			1 <		GB80.Z&KX70	Nontamillar nongenetic cystic kidney disease, unspecified&Unilateral, unspecified
34249	14 孤立性腎のう胞	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/2028260622/ http://id.who.int/icd/entity/598591206	1 =			1 <		GB80.0/GB80.Y	Solitary simple renal cyst / Solitary localized renal cyst
34252	14 後天性腎のう胞	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/1435131505	1 <			1 <		GB88.0	Simple renal cyst (後天性嚢胞は単純性であり、すなわち、形状は円形で、平滑な壁により境界が明瞭である。病変は孤立性の場合と多発性の場合がある。)
34254	14 単純性腎のう胞	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/1435131505	1 =			1 =		GB88.0	Simple renal cyst
34256	14 腎のう胞	0 L		N281	=:GB80.2	http://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <		GB90.3	renal artery clot

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第 1 5 章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	標準病名	ICD11 和訳と 一致	代表・ 同義 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和 訳にあつ た場合 の英語	対 Foundation	粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS	粒度	MMS Representatio n	備考
35483	15 腹膜妊娠	0 L	0000	=:JA01.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1396448570	1 =		JA01.0	Abdominal pregnancy
35487	15 卵管妊娠破裂	0 L	0001	=:JA01.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/913821868	1 <		JA01.1	Rupture of fallopian tube due to pregnancy
35491	15 卵管峡部妊娠	0 L	0001	=:JA01.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/913821868 & http://id.who.int/icd/entity/987725990	1 =		JA01.1 1&XA3EEF0	Tubal pregnancy & Fallopian Tube
35497	15 子宮頸管妊娠	0 L	0008	下:JA01.2		1 =		http://id.who.int/icd/entity/514389732	1 <		JA01.Y	Cervical pregnancy
35498	15 子宮筋層内妊娠	0 L	0008	下:JA01.2		1 =		http://id.who.int/icd/entity/514389732 & http://id.who.int/icd/entity/918009805	1 =		JA01.Y &XA2LU5	Other specified ectopic pregnancy & Myometrium
35500	15 子宮広間膜内妊娠	0 L	0008	下:JA01.2		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1036098211 & http://id.who.int/icd/entity/1302701349	1 =		JA01.Y & XA0E9	Pregnancy in broad ligament
35503	15 副角妊娠	0 L	0008	下:JA01.2		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1560155880	1 <		JA01.Y	Cornual gestation or pregnancy
35509	15 非侵入全奇胎	0 L	0010	=:JA02.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1338299833	1 =		JA02.0	Complete hydatidiform mole
35510	15 胎児共存奇胎	0 L	0010	=:JA02.0		1 <		http://id.who.int/icd/entity/1338299833	1 <		JA02.0	「正常妊娠＋全奇胎」から成る双胎
35515	15 非侵入部分奇胎	0 L	0011	=:JA02.1		1 =		http://id.who.int/icd/entity/714020909	1 =		JA02.1	Incomplete or partial hydatidiform mole
35524	15 塞栓症併発不全流産	0 L	0032	=:JA00.02		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1130176621	1 =		JA00.02	Spontaneous abortion, incomplete, complicated by embolism
35525	15 不全流産	0 L	0034	=:JA00.04		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1442348653	1 =		JA00.04	Spontaneous abortion, incomplete, without complication (胎芽あるいは胎児および附属物が完全に排出されず、一部が子宮内に残存し、子宮が十分に収縮せず、子宮口も閉鎖しないで、出血などの症状が持続している状態)
35528	15 進行流産	0 L	0039	下:JA00.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/964163142	1 =		JA00.09	Spontaneous abortion, complete or unspecified, without complication (胎芽あるいは胎児とその附属物が子宮外に排出されてきている状態。「完全流産」と「不全流産」にわけられる)
35530	15 完全流産	0 L	0039	下:JA00.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/964163142	1 =		JA00.09	Spontaneous abortion, complete or unspecified, without complication (胎芽あるいは胎児とその附属物が完全に排出された状態。完全流産の多くの場合、子宮は十分に収縮し、子宮口は閉鎖する)
35531	15 塞栓症合併不完全人工流産	0 L	0042	下:JA00.12		1 =		http://id.who.int/icd/entity/2015645997	1 =		JA00.12	Induced abortion, incomplete, complicated by embolism
35539	15 非医学的人工妊娠中絶	0 L	0059	=:JA00.39		1 <		http://id.who.int/icd/entity/59320124	1 <		JA00.39	Other or unspecified failed attempted abortion, without complication
35542	15 人工妊娠中絶の不成功	0 L	0074	=:JA00.34		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1862709011	1 =		JA00.34	Failed medical abortion, without complication
35543	15 流産後子宮傍結合組織炎	0 L	0080	=:JA05.0		1 <		http://id.who.int/icd/entity/650231750	1 <		JA05.0	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy
35544	15 流産後子宮内膜炎	0 L	0080	=:JA05.0		1 <		http://id.who.int/icd/entity/650231750	1 <		JA05.0	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy
35545	15 流産後卵管炎	0 L	0080	=:JA05.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/1258559873	1 <		JA05.0	Oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35547	15 流産後卵巣炎	0 L	0080	=:JA05.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/50436307	1 <		JA05.0	Salpingo-oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35548	15 流産後敗血症性ショック	0 L	0080	=:JA05.0		1 =		http://id.who.int/icd/entity/650231750 / http://id.who.int/icd/entity/622600769	1 =		JA05.0/1G40	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy / Sepsis without septic shock

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と一致	代表・同義	ICD10 コード	10 ⇒ 11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
								確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	
35549	15	流産後卵管卵巣炎	0 L	0080	=JA05.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/5043630Z	1 <	JA05.0	Salpingo-oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35550	15	流産後敗血症	0 L	0080	=JA05.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1486595936	1 <	JA05.0	Sepsis following abortion
35552	15	流産後DIC	0 L	0081	=JA05.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/539671670	1 <	JA05.1	Intravascular coagulation following pregnancy with abortive outcome Parent(s)
35553	15	流産後無フイブリノゲン症	0 L	0081	=JA05.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1727231880	1 <	JA05.1	Afibrinogenaemia following pregnancy with abortive outcome
35554	15	流産後尿毒症	0 L	0084	=JA05.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/139714974Z	1 <	JA05.4	Uraemia following pregnancy with abortive outcome
35555	15	流産後尿管壊死	0 L	0084	=JA05.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/312201574	1 <	JA05.4	Renal tubular necrosis following pregnancy with abortive outcome
35556	15	流産後乏尿	0 L	0084	=JA05.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/578910208	1 <	JA05.4	Oliguria following pregnancy with abortive outcome
35557	15	流産後無尿	0 L	0084	=JA05.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/56219972Z / http://id.who.int/icd/entity/43846510Z	1 =	JA05.4 / MF51	Renal failure following abortion, ectopic or molar pregnancy / Anuria
35558	15	妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症	0 L	0100	=JA20.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1126579721	1 =	JA20.0	Pre-existing essential hypertension complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35559	15	妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性心疾患	0 L	0101	=JA20.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/64473999Z	1 =	JA20.1	Pre-existing hypertensive heart disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35560	15	妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性腎疾患	0 L	0102	=JA20.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1388356450	1 =	JA20.2	Pre-existing hypertensive renal disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35561	15	妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性心腎疾患	0 L	0103	=JA20.3			1 =	http://id.who.int/icd/entity/93188479Z	1 =	JA20.3	Pre-existing hypertensive heart and renal disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35562	15	妊娠・分娩・産褥の既存の二次性高血圧症	0 L	0104	=JA20.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/114753469Z	1 =	JA20.4	Pre-existing secondary hypertension complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35567	15	妊娠浮腫	0 L	0120	=JA22.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1582913208	1 =	JA22.1	oedema of pregnancy
35568	15	妊娠蛋白尿	0 L	0121	=JA22.0			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1042184245	1 <	JA2Z	Oedema, proteinuria, or hypertensive disorders in pregnancy, childbirth, or the puerperium, unspecified
35569	15	妊娠中一過性高血圧症	0 L	013	=JA23			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2118553363	1 <	JA23	Gestational hypertension
35572	15	軽症妊娠高血圧症候群	0 L	0140	=JA24.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2044260215	1 =	JA24.0	Mild to moderate pre-eclampsia
35575	15	重症妊娠高血圧症候群	0 L	0141	=JA24.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/479404771	1 =	JA24.1	Severe pre-eclampsia
35581	15	HELLP症候群	0 L	0142	=JA24.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1748922908	1 =	JA24.2	HELLP syndrome
35582	15	遅発型妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下JA24.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <	JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35585	15	妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下JA24.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <	JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35591	15	早発型妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下JA24.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <	JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35595	15	子癰発作	0 L	0159	=JA25.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/250375350	1 <	JA25.3	Eclampsia, time period unspecified
35597	15	産後高血圧症	0 L	016	下JA2Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1042184245	1 <	JA2Z	Oedema, proteinuria, or hypertensive disorders in pregnancy, childbirth, or the puerperium, unspecified

				対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度		
No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表・ICD10 コード	10 ≧ 11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	確信度	関係	MMS Representatio n	備考
35599	15 絨毛膜下血腫	0 L	0208	下:JA40		1 <		JA40.Z	Haemorrhage in early pregnancy, unspecified
35600	15 妊娠初期の出血	0 L	0209	下:JA40		1 <		JA40.Z	Haemorrhage in early pregnancy, unspecified
35601	15 軽症妊娠悪阻	0 L	0210	=:JA60.0	http://id.who.int/icd/entity/1878037467	1 =		JA60.0	Mild hyperemesis gravidarum
35604	15 悪阻	0 L	0210	=:JA60.0	http://id.who.int/icd/entity/1878037467	1 >		JA60.0	hyperemesis gravidarum NOS
35608	15 ウェルニツク脳症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1	http://id.who.int/icd/entity/180051535 / http://id.who.int/icd/entity/1360335041	1 >		JA60.1 /SB5A.10	Hyperemesis gravidarum with metabolic disturbance / Wernicke encephalopathy
35609	15 電解質異常を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1	http://id.who.int/icd/entity/1744135350	1 >		JA60.1	Hyperemesis gravidarum with electrolye imbalance
35610	15 ビタミン欠乏症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1	http://id.who.int/icd/entity/180051535 / http://id.who.int/icd/entity/1927722434	1 >		JA60.1 /SB7Y	Hyperemesis gravidarum with metabolic disturbance / Vitamin deficiencies
35612	15 炭水化物欠乏症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1	http://id.who.int/icd/entity/1469998965	1 >		JA60.1	Hyperemesis gravidarum with carbohydrate depletion
35615	15 妊娠後期嘔吐	0 L	0212	=:JA60.2	http://id.who.int/icd/entity/2115374770	1 =		JA60.2	Late vomiting of pregnancy
35617	15 妊娠性静脈瘤	0 L	0220	=:JA61.0	http://id.who.int/icd/entity/1853305829	1 =		JA61.0	Varicose veins of lower extremity in pregnancy
35620	15 妊娠中の性器の静脈瘤	0 L	0221	=:JA61.1	http://id.who.int/icd/entity/188546673	1 =		JA61.1	Genital varices in pregnancy
35623	15 妊娠中の下肢血栓性静脈炎	0 L	0222	=:JA61.2	http://id.who.int/icd/entity/2140253838 / http://id.who.int/icd/entity/134264365	1 =		JA61.2 / BD70.0	Superficial thrombophlebitis in pregnancy / Superficial thrombophlebitis of lower limbs
35624	15 妊娠中の深在静脈血栓症	0 L	0223	=:JA61.3	http://id.who.int/icd/entity/450519836	1 =		JA61.3	Deep phlebothrombosis in pregnancy
35629	15 妊娠性静脈炎	0 L	0229	下:JA61.Z	http://id.who.int/icd/entity/633358134	1 =		JA61.Y	Gestational phlebitis NOS
35630	15 妊娠性静脈血栓症	0 L	0229	下:JA61.Z	http://id.who.int/icd/entity/633358134	1 <		JA61.Y	Phlebitis complicating pregnancy
35636	15 妊娠中の子宮頸管炎	0 L	0235	=:JA62.4	http://id.who.int/icd/entity/607839855	1 <		JA62.4	Cervicitis complicating pregnancy
35639	15 子宮内感染症	0 L	0235	=:JA62.4	http://id.who.int/icd/entity/277345691	1 <		JA62.4	Infections of the genital tract in pregnancy
35643	15 妊娠中の性器感染症	0 L	0235	=:JA62.4	http://id.who.int/icd/entity/277345691	1 <		JA62.4	Infections of the genital tract in pregnancy
35644	15 妊娠中の日群溶連菌性膣炎	0 L	0235	=:JA62.4	http://id.who.int/icd/entity/1432580606 & http://id.who.int/icd/entity/1145498957 & http://id.who.int/icd/entity/942223947	1 =		JA62.4&XA1LK7 & XN2M1	Vaginitis complicating pregnancy & vagina & Streptococcus, group B
35646	15 妊娠中の子宮内感染	0 L	0235	=:JA62.4	http://id.who.int/icd/entity/1907993182 & http://id.who.int/icd/entity/648738923	1 =		JA62.4XA99N3	Intrauterine infection in pregnancy & Uterus
35647	15 妊娠中の尿路性器感染症	0 L	0239	下:JA62.Z	http://id.who.int/icd/entity/2046208198	1 =		JA62.Z	Infection of genitourinary tract in pregnancy, site unspecified
35648	15 1型糖尿病合併妊娠	0 L	0240	=:JA63.0	http://id.who.int/icd/entity/1240893990	1 =		JA63.0	Pre-existing type 1 diabetes mellitus in pregnancy
35652	15 2型糖尿病合併妊娠	0 L	0241	=:JA63.1	http://id.who.int/icd/entity/750602160	1 =		JA63.1	Pre-existing type 2 diabetes mellitus in pregnancy
35657	15 妊娠中の栄養失調症	0 L	025	=:JA64	http://id.who.int/icd/entity/1867773640	1 =		A64	Malnutrition in pregnancy
35658	15 妊娠中の体重過剰増加	0 L	0260	=:JA65.2	http://id.who.int/icd/entity/1418322587	1 =		JA65.2	Excessive weight gain in pregnancy
35660	15 習慣流産妊娠の管理	0 L	0262	=:JA65.4	http://id.who.int/icd/entity/1164935152	1 =		JA65.4	Pregnancy care of habitual aborter
35661	15 妊娠中の遺残した子宮内避妊器具	0 L	0263	=:JA65.5	http://id.who.int/icd/entity/539279878	1 =		JA65.5	Retained intrauterine contraceptive device in pregnancy
35670	15 妊娠中の黄疸	0 L	0266	上:JA65.0	http://id.who.int/icd/entity/1110228123 / http://id.who.int/icd/entity/1056591229	1 =		JA65.0/ME10.1	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium / Unspecified jaundice
35672	15 妊娠中肝障害	0 L	0266	上:JA65.0	http://id.who.int/icd/entity/1110228123	1 =		JA65.0	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium

対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度						
No	標準病名	ICD11 和訳と 一致	代表・ 同義 コード	ICD11和 訳にあつ た場合 の英語	確 信 度	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MIMS Representatio n	備考
35674	15 妊娠性反復性黄疸	0 L	O266	上:JA65.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1110228123 & http://id.who.int/icd/entity/1721353160 / http://id.who.int/icd/entity/1056591229	1 =		JA65. 0&XT44/ME10. 1	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium & Recurrent / Unspecified jaundice
35675	15 恥骨結合開離	0 L	O267	=:JA65.7	1 =	http://id.who.int/icd/entity/661090575	1 =		JA65.7	Subluxation of symphysis pubis in pregnancy, childbirth or the puerperium
35676	15 妊娠高血圧網膜症	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/218513628 & http://id.who.int/icd/entity/714822826	1 =		9B71.1.&XT05	Hypertensive retinopathy & Pregnancy
35680	15 妊娠腎	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1820143581	1 <		JA65.Y	Nephropathy in pregnancy
35681	15 水腎症合併妊娠	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1820143581 / http://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <		JA65.Y / GB56. 4	Nephropathy in pregnanc / hydronephrosis
35682	15 妊娠性エコーリス	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/810195673	1 <		DA0B.Y	Pregnancy-associated gingivitis
35684	15 妊娠性末梢神経炎	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1545981529	1 <		JA65.Y	Peripheral neuritis complicating pregnancy or puerperium
35685	15 妊娠性の衰弱および疲労	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1430926096	1 <		JA65.Y	pregnancy-related exhaustion and fatigue
35686	15 妊娠水腎症	0 L	O268	下:JA65.Z 上: JA65.1 上: JA65.11 上: JA65.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1820143581 / http://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <		JA65.Y / GB56. 4	Nephropathy in pregnanc / hydronephrosis
35691	15 妊娠中の肺の圧迫性虚脱	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/106885712	1 <		JA67.0	Pressure collapse of lung due to anaesthesia during pregnancy
35692	15 妊娠中メンデルソン症候群	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/375502347 / http://id.who.int/icd/entity/854587674	1 <		JA67.0 / CA72	Mendelson syndrome due to anaesthesia during pregnancy / Mendelson syndrome
35693	15 妊娠中呼吸器合併症	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/437072167	1 =		JA67.0	Pulmonary complications of anaesthesia during pregnancy
35694	15 妊娠中誤嚥性肺炎	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1660500938 / http://id.who.int/icd/entity/1975993872	1 =		JA67.0 / CA71. 0	Inhalation of stomach contents or secretions due to anaesthesia during pregnancy / Pneumonitis due to inhalation of food or vomit
35700	15 妊娠中の挿管不成功	0 L	O296	=:JA67.5	1 =	http://id.who.int/icd/entity/212365095	1 =		JA67.5	Failed or difficult intubation during pregnancy
35701	15 妊娠中の挿管困難	0 L	O296	=:JA67.5	1 =	http://id.who.int/icd/entity/212365095	1 =		JA67.5	Failed or difficult intubation during pregnancy
35703	15 一絛毛膜二羊膜性双胎	0 L	O300	=:JA80.0	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1662154859	1 <		JA80.0	Twin pregnancy 2人の赤ちゃんが1つの胎盤を共有し、その間が羊膜で隔てられています。

				対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表・同義	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報の有無	ICD11和訳にあつた場合の英語	確信度	備考
				関係	ICD11 Foundation URI	関係	MMS Representatio n	
35704	15 二絨毛膜二羊膜性双胎	0 L	0300	=JA80.0		1 <	JA80.0	2人の赤ちゃんが各自の胎盤をもち、各自が絨毛と羊膜という層の膜に包まれています。
35707	15 一絨毛膜一羊膜性双胎	0 L	0300	=JA80.0	http://id.who.int/icd/entity/1662154859	1 <	JA80.0	2人の赤ちゃんが一つの胎盤を共有し、その間を隔てるものではありません。
35713	15 五胎妊娠	0 L	0308	下JA80.Z	http://id.who.int/icd/entity/775149547	1 =	JA80.Y	Quintuplet pregnancy
35717	15 一胎以上流産後の妊娠継続	0 L	0311	=JA81.1	http://id.who.int/icd/entity/446791040	1 =	JA81.1	Continuing pregnancy after abortion of one fetus or more
35718	15 一胎以上子宮内死亡後の妊娠継続	0 L	0312	=JA81.2	http://id.who.int/icd/entity/1846291841	1 =	JA81.2	Continuing pregnancy after intrauterine death of one fetus or more
35719	15 多胎妊娠に特異的な合併症	0 L	0318	下JA81.Z	http://id.who.int/icd/entity/1070955958	1 =	JA81.Z	Maternal care related to complications specific to multiple gestation, unspecified
35720	15 不安定胎位のための母体管理	0 L	0320	=JA82.0	http://id.who.int/icd/entity/2121076950	1 =	JA82.0	Maternal care for unstable lie
35721	15 不全足位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	片脚は下へ伸ばし、片脚は上にあげた状態。Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35722	15 全足位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	両脚を下へ伸ばした状態Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35723	15 単殿位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	胎児のお尻が下で、V字型の姿勢をしており骨盤位の8割が単殿位で経産分娩も可能Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35724	15 骨盤位のための母体管理	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/455531840	1 =	JA82.1	Maternal care for breech presentation
35726	15 膝位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	両膝をついた姿勢「全膝位」、片膝をついた「不全膝位」Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35727	15 複殿位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	臀部に足部が同時に下降するのを複臀部Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35728	15 足位	0 L	0321	=JA82.1	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0	脚を伸ばして立ったように、足先が子宮口側を向いている状態。Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction（骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児）
35729	15 横位のための母体管理	0 L	0322	=JA82.2	http://id.who.int/icd/entity/728699714	1 =	JA82.2	Maternal care for transverse presentation of fetus
35731	15 斜位のための母体管理	0 L	0322	=JA82.2	http://id.who.int/icd/entity/784253996	1 =	JA82.2	Maternal care for oblique presentation
35732	15 前頭位分娩	0 L	0323	=JA82.3	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3	Maternal care for face, brow or chin presentation
35733	15 頤位のための母体管理	0 L	0323	=JA82.3	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3	Maternal care for face, brow or chin presentation
35734	15 顔位のための母体管理	0 L	0323	=JA82.3	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3	Maternal care for face, brow or chin presentation

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第 1 6 章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳 訳語の 数	代 表 的 同 義 語	ICD10 コード	10 ⇒ 11 での マ ジ リ ン グ 情 報	ICD11 和訳に あつた 病 名 の 数	対 Foundation 相 対 性	対 MNIS 相 対 性	対 MNIS 相 対 性	備 考
36400	16	高血圧性肺音のある母体より出生した児	0 1		P000	=KA00.0	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.0	Fetus or newborn affected by maternal hypertensive disorders
36404	16	大腸菌感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN6P4	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Escherichia coli (大腸菌)] J+ XN6P4 Escherichia coli
36409	16	成人T細胞白血病ウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XH6TE2	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Adult T-cell leukaemia (成人T細胞白血病)] J+ XH6TE2 Adult T-cell leukaemia/lymphoma (HTLV-1 positive)
36421	16	単核ヘルペスウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XNA1T & XN5V1	KAO.3 Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Herpes simplex virus (単核ヘルペスウイルス)] J+ XNA1T & XN5V1 Herpes simplex virus (単核ヘルペスウイルス)] J+ XNA1T & XN5V1
36422	16	ヒトパピローマウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN81Y	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Human papillomavirus (ヒトパピローマウイルス)] J+ XN81Y Human papillomavirus
36423	16	日群溶連菌感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN2M1	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Streptococcal infection, Group B (日群溶連菌感染症)] J+ XN2M1 Streptococcus, Group B
36424	16	トキソプラズマ感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN7HC	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Toxoplasma (トキソプラズマ)] J+ XN7HC Toxoplasma
36429	16	コクサッキーウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN3MC	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Coxsackievirus (コクサッキーウイルス)] J+ XN3MC Coxsackievirus
36441	16	クラミジア感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN27H	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Chlamydia (クラミジア)] J+ XN27H Chlamydia
36445	16	水痘・帯状疱疹ウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN07A	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Varicella zoster virus (水痘・帯状疱疹ウイルス)] J+ XN07A Varicella zoster virus
36449	16	風疹ウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN2WE	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Rubella virus (風疹ウイルス)] J+ XN2WE Rubella virus
36456	16	HIV感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN487	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [HIV (HIV)] J+ XN487 Human immunodeficiency virus
36458	16	B型肝炎ウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN0GA	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Hepatitis B virus (B型肝炎ウイルス)] J+ XN0GA Hepatitis B virus
36459	16	梅毒感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 <	KA00.3	Syphilis complicating pregnancy, childbirth or puerperium, affecting fetus or newborn (胎児または新生児に影響を与える、妊娠、分娩もしくは産後における梅毒) ⇒index term にある
36460	16	サイトメガロウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN3SQ	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)] J+ XN3SQ Cytomegalovirus
36463	16	C型肝炎ウイルス感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 & XN1EZ	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Hepatitis C virus (C型肝炎ウイルス)] J+ XN1EZ Hepatitis C virus
36465	16	カンジダ感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 =	KA00.3 / 1F23	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Candidosis (カンジダ)] J+ 1F23 Candidosis
36468	16	ヒトヘルペスウイルスB19感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 <	KA00.3 / 1F04	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Human Parvovirus B19 infection (ヒトヘルペスウイルスB 19)] J+ 1F04 Erythema infectiosum (index term) にある
36469	16	真菌感染母体より出生した児	0 1		P002	=KA00.3	1 =	http://dx.doi.org/10.1111/1469-7610.130326	1 <	KA00.3 / 1F22	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Mycosis (真菌)] J+ 1F22 Mycoses, unspecified (all index term) にある

No	ICD10 章	疾病病名	ICD11 和訳 第2版	代 表 症 候 群	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の表 示	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
								疾病 関係	ICD11 Foundation URI	疾病 関係	MMS 関係	
36472	16	タリエー病母体より出生した児			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/643994486	1 <	KA00 / EC20.2	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y (現在の妊娠には無関係の母体の病態により影響を受けた胎児または新生児)
36478	16	関節リウマチ母体より出生した児			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/576319925	1 <	KA00 / FA20	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 関節リウマチ: Rheumatoid arthritis
36479	16	皮膚筋炎母体より出生した児			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/739030449	1 =	KA00 / 4A41.0	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 皮膚筋炎: Dermatomyositis
36481	16	バセドウ病母体			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/713028385	1 <	KA00 / 5A02.0	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y バセドウ病: Basedow disease + 5A02.0 Thyrotoxicosis with diffuse goitre (index termにある)
36482	16	橋本病母体より出生した児			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/972502934	1 <	KA00 / 5A03.20	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 橋本病: Hashimoto disease + 5A03.20 Hashimoto thyroiditis (index termにある)
36483	16	SLE母体			P008	↳KA00.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/128908879/http://id.who.int/icd/entity/794996428	1 =	KA00 / 4A40.0	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y SLE: Systemic lupus erythematosus + 4A40.0 Systemic lupus erythematosus
36484	16	前期破水による胎児の障害			P011	⇒KA01.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1350867235	1 =	KA01.1	Foretus or newborn affected by ectopic pregnancy/ (子宮外妊娠により影響を受けた胎児または新生児)
36485	16	前期破水による新生児の障害			P011	⇒KA01.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1350867235	1 =	KA01.1	Foretus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y SLE: Systemic lupus erythematosus + 4A40.0 Systemic lupus erythematosus
36486	16	胎児腹膜炎			P014	⇒KA01.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/848074718	1 =	KA01.4	Foretus or newborn affected by premature rupture of membranes/KA01.1
36488	16	双胎妊娠胎児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/73279151	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 三胎妊娠: Triplet pregnancy は、index termにある
36489	16	三胎妊娠新生児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/21187519	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 三胎妊娠: Triplet pregnancy は、index termにある
36490	16	五胎妊娠胎児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/6110652983	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 五胎妊娠: Quintuplet pregnancy は、index termにある
36491	16	双胎妊娠新生児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/73279151	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by twin pregnancy/KA01.5 (双胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児)
36492	16	五胎妊娠新生児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/6110652983	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 五胎妊娠: Quintuplet pregnancy は、index termにある
36493	16	三胎妊娠胎児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/21187519	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 三胎妊娠: Triplet pregnancy
36494	16	双生児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/73279151	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 双生児: Twin(s) (newborn) は、index termにある
36495	16	四胎妊娠胎児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/189670494	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by Twin pregnancy
36496	16	双胎児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/73279151	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 双胎児: Twin(s) (fetuss)
36497	16	四胎妊娠新生児			P015	⇒KA01.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/189670494	1 <	KA01.5	Foretus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 四胎妊娠: Quadruplet pregnancy は、index termにある
36498	16	自然流産胎児			P018	↳KA01.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/162906636	1 <	KA01.Y	Foretus or newborn affected by unspecified maternal complication of pregnancy (詳細不明の母体の妊娠合併症に影響を受けた胎児または新生児)
36499	16	胎盤早期剥離新生児			P021	⇒KA02.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/862996958	1 <	KA02.Y	自然流産、胎児: Spontaneous abortion, fetus/KA01.Y(index termにある)
36500	16	胎盤早期剥離胎児			P021	⇒KA02.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/862996958	1 <	KA02.Y	胎盤早期剥離: premature separation of placenta fetus and newborn affected by premature separation of placenta/KA02.Y
36501	16	分娩前出血新生児			P021	⇒KA02.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/212381468	1 =	KA01.8	分娩前出血: Antepartum haemorrhage ⇒Antepartum haemorrhage affecting fetus or newborn/KA01.8

No	ICD10 章	病名	ICD11 和訳 二重	代 表 コ ード	10 ⇒ 11 のマ ップ情報	ICD11 和訳に あつた場合の表 度	対 Foundation 相 対性	対 MMS 相 対性	MMS 代 表	備考
36502	16	分娩前出血胎児	0 L	P021	=KA02.Z	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287502	1 =	KA01.8	分娩前出血: Antepartum haemorrhage ⇒ Antepartum haemorrhage affecting fetus or newborn/KA01.8
36503	16	胎盤梗塞胎児	0 L	P022	=KA02.Z	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287503	1 =	KA02.2	胎盤梗塞: Placental infarction ⇒ Fetus or newborn affected by placental infarction/KA02.2
36504	16	胎盤機能低下新生児	0 L	P022	=KA02.Z	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287504	1 <	KA02.Y	胎盤機能低下: 胎盤機能不全: Placental dysfunction / Insufficiency ⇒ Fetus or newborn affected by placental dysfunction, not otherwise specified/KA02.Y の index term がある
36505	16	胎児胎盤機能低下	0 L	P022	=KA02.Z	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287505	1 <	KA02.Y	胎盤機能低下: 胎盤機能不全: Placental dysfunction / Insufficiency ⇒ Fetus or newborn affected by placental dysfunction, not otherwise specified/KA02.Y の index term がある
36506	16	胎盤梗塞新生児	0 L	P022	=KA02.Z	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287506	1 =	KA02.2	胎盤梗塞: Placental infarction ⇒ Fetus or newborn affected by placental infarction/KA02.2
36509	16	胎盤輸血症候群による胎児の障害	0 L	P023	=KA02.4	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287509	1 =	KA02.4	Fetus or newborn affected by placental transfusion syndromes/KA02.4
36511	16	胎盤輸血症候群による新生児の障害	0 L	P023	=KA02.4	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287511	1 =	KA02.4	Fetus or newborn affected by placental transfusion syndromes/KA02.4
36513	16	胎盤脱出による新生児の障害	0 L	P024	=KA03.0	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287513	1 =	KA03.0	Fetus or newborn affected by prolapsed cord/KA03.0
36514	16	胎児胎盤頸部巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287514	1 <	KA03.1	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡: Cord (tightly) around neck
36516	16	胎児胎盤巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287516	1 <	KA03.1	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡: Cord (tightly) around neck
36517	16	胎盤圧迫による新生児の障害	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287517	1 =	KA03.1	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 (胎盤のその他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児)
36519	16	胎児胎盤過捻転	0 L	P025	=KA03.1	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287519	1 <	KA03.1	Torsion of umbilical cord in fetus or newborn/KA03.1
36520	16	新生児胎盤過捻転	0 L	P025	=KA03.1	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520	1 <	KA03.1	Torsion of umbilical cord in fetus or newborn/KA03.1
36521	16	胎児胎盤下肢巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287521	1 =	KA03.1 & XA45A6	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 (胎盤のその他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児)
36522	16	新生児胎盤下肢巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287522	1 =	KA03.1 & XA45A6	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 (胎盤のその他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児)
36524	16	新生児胎盤巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287524	1 <	KA03.1	⇒ 胎盤巻絡: E n tanglement of cord
36525	16	新生児胎盤上肢巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287525	1 =	KA03.1 & XA4BA8	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 (胎盤のその他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児)
36526	16	新生児胎盤結節	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287526	1 <	LB03.Y	Fetus or newborn affected by umbilical cord knot/KB03.Y 胎盤結節: Knot in cord/KB03.Yの index term がある。
36527	16	新生児胎盤頸部巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287527	1 <	KA03.1	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡: Cord (tightly) around neck
36528	16	胎児胎盤上肢巻絡	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287528	1 =	KA03.1 & XA4BA8	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 (胎盤のその他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児)
36529	16	胎児胎盤結節	0 L	P025	=KA03.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287529	1 <	LB03.Y	Fetus or newborn affected by umbilical cord knot/KB03.Y 胎盤結節: Knot in cord/KB03.Yの index term がある。
36530	16	胎児胎盤過短	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287530	1 =	KA03.20	Fetus or newborn affected by short umbilical cord/KA03.20
36531	16	新生児胎盤過短	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287531	1 =	KA03.20	Fetus or newborn affected by short umbilical cord/KA03.20
36532	16	胎盤脱着遅延	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287532	1 =	KB02.0	胎盤脱着遅延: Delayed separation of umbilical cord
36533	16	胎盤脱着付着による新生児の障害	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287533	1 <	KA03.Y	胎盤脱着付着: V elamentous cord attachment* ICD-11中に該当する訳語見当たらず —胎盤脱着付着は、胎盤の異常と判断
36534	16	前置血管新生児	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287534	1 =	KA03.3	Fetus or newborn affected by vasa praevia/KA03.3
36535	16	胎盤脱落不全	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	2 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287535	2 <	KA03.Z	Fetus or newborn affected by other or unspecified conditions of umbilical cord 胎盤脱落不全: Separation failure of umbilical cord ? * ICD-11中に該当する訳語見当たらず
36536	16	前置血管胎児	0 L	P026	=KA03.Z1上KA03.	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287536	1 =	KA03.3	Fetus or newborn affected by vasa praevia/KA03.3
36537	16	胎位異常新生児	0 L	P031	=KA05.1	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287537	1 <	KA05.1	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery

No	ICD10 章	病名	ICD11 和訳 訳語の 一致	代 表 的 症 候	ICD10 コード	10 ⇒ 11 の コード の 変 化	ICD11 和訳に あつた場合の 変 化	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
								対 Foundation 関係	ICD11 Foundation URI	対 MMS 関係	MMS Representation	
36538	16	横位新生児	0 L	P031	=KA05.1		1 >		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery 痛名からは、分娩前なのか、分娩中なのか判断ができないがICD-10の項目が分娩中となっているので、それを踏襲した。
36540	16	横位胎児	0 L	P031	=KA05.1		1 >		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.1	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery 痛名からは、分娩前なのか、分娩中なのか判断ができないがICD-10の項目が分娩中となっているので、それを踏襲した。
36541	16	胎位異常胎児	0 L	P031	=KA05.1		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.1	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery
36542	16	胎向異常新生児	0 L	P031	=KA05.1		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition or disproportion during labour or delivery/KA05.1 (分娩中のその他の胎位異常、胎向異常及び胎児骨盤不均衡により影響を受けた胎児または新生児)
36543	16	胎向異常胎児	0 L	P031	=KA05.1		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition or disproportion during labour or delivery/KA05.1 (分娩中のその他の胎位異常、胎向異常及び胎児骨盤不均衡により影響を受けた胎児または新生児)
36544	16	鉗子分娩による新生児の障害	0 L	P032	=KA05.2		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA05.2	Fetus or newborn affected by forceps delivery/KA05.2
36545	16	吸引分娩による新生児の障害	0 L	P033	=KA05.3		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA05.3	Fetus or newborn affected by caesarean delivery/KA05.3
36547	16	希切児症候群	0 L	P034	=KA05.4		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA05.4	Fetus or newborn affected by precipitate delivery/KA05.4
36548	16	急速分娩による新生児の障害	0 L	P035	=KA05.5		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA05.5	Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36549	16	異常子宮収縮による新生児の障害	0 L	P036	=KA05.6		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA05.6	Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36550	16	微弱陣痛胎児	0 L	P036	=KA05.6		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) 微弱陣痛: uterine inertia
36551	16	過強陣痛新生児	0 L	P036	=KA05.6		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) 過強陣痛: hyperactive labour
36552	16	微弱陣痛新生児	0 L	P036	=KA05.6		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) 微弱陣痛: uterine inertia
36553	16	過強陣痛胎児	0 L	P036	=KA05.6		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) 過強陣痛: strong uterine contraction
36554	16	向精神薬服用母体より出生した児	0 L	P041	=KA06.2		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA06.2	Fetus or newborn affected by other maternal medication/KA06.2 向精神薬: psychotropic drugs
36555	16	抗逆薬服用母体より出生した児	0 L	P041	=KA06.2		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA06.2	Fetus or newborn affected by other maternal medication/KA06.2 抗逆薬: anticonvulsant
36567	16	超低出生体重児	0 L	P070	=KA21.02		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA21.02	Extremely low birth weight of newborn/KA21.0
36569	16	超低出生体重児	0 L	P071a	=KA21.02		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA21.02	Very low birth weight of newborn/KA21.1
36572	16	低出生体重児	0 L	P071b	=KA21.02		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA21.02	Low birth weight of newborn/KA21.2
36575	16	妊娠28週未満で出生した児	0 L	P072	=KA21.32		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA21.32	Extreme prematurity of newborn/KA21.3
36577	16	妊娠28週以降の早産児	0 L	P073	=KA21.42		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA21.42	Preterm newborn/KA21.4
36583	16	過体重児	0 L	P081	=KA22.0		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA22.0	Excessively large newborn/KA22.0
36584	16	高身長児	0 L	P081	=KA22.0		2 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	2 =	KA22.0	Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/高身長: tall stature (はあるが、高身長児)における英語はCD-11に異ならず Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/KA22.2 (遅延妊娠及び高出生体重に関連する新生児の障害) 胎児発育過度: excessive fetal growth
36585	16	胎児発育過度	0 L	P081	=KA22.0		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA22.2	Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/高身長: tall stature (はあるが、高身長児)における英語はCD-11に異ならず Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/KA22.2 (遅延妊娠及び高出生体重に関連する新生児の障害) 胎児発育過度: excessive fetal growth
36588	16	分娩時新生児硬膜下出血	0 L	P100	=KA40.00		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA40.00	Subdural haemorrhage due to birth injury/KA40.00
36589	16	分娩時新生児脳出血	0 L	P101	=KA40.01		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA40.01	Cerebral haemorrhage due to birth injury/KA40.01
36590	16	分娩時新生児脳室内出血	0 L	P102	=KA40.03		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA40.03	Intraventricular haemorrhage due to birth injury/KA40.03
36591	16	分娩時新生児くも膜下出血	0 L	P103	=KA40.04		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA40.04	Subarachnoid haemorrhage due to birth injury/KA40.04
36592	16	分娩時新生児上肢裂傷	0 L	P104	=KA40.05		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	KA40.05	Temoral tear due to birth injury/KA40.05
36593	16	分娩時新生児頭蓋内裂傷	0 L	P109	=KA40.02		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA40.02	Intracranial laceration or haemorrhage due to birth injury/
36594	16	分娩時新生児頭蓋内出血	0 L	P109	=KA40.02		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	KA40.02	Intracranial laceration or haemorrhage due to birth injury/

No	ICD10 章	傷害病名	ICD11 和訳 訳との 一致	代替 コード	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11 和訳に あつた場合の表 度	対 Foundation 粒度		ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度		備考
								資源	関係		資源	関係	MMS Representation
36595	16	新生児脳損傷	0 L	P112	〒KA40.Z		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1816163855	1 <	KA40.Y		1 <	脳損傷: Damage to brain * http://dx.whoi.int/cd/entity/1816163855 Damage to brain due to birth injury, not elsewhere classified/KA40.Y
36596	16	分娩時無酸素脳症	0 L	P112	〒KA40.Z		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1047110381/ http://dx.whoi.int/cd/entity/1199499236	1 =	KA40./8E65		1 =	Birth injury to central nervous system (中枢神経系の出生損傷) + 無酸素脳症 anoxic brain damage
36598	16	新生児顔面神経損傷	0 L	P113		KA44.00	1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1366828921	1 =	KA44.00		1 =	Birth injury to facial nerve/KA44.00
36599	16	新生児頭血腫	0 L	P120	KA42.1		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/609408932	1 =	KA42.1		1 =	Cephalohaematoma due to birth injuryKA42.1
36602	16	新生児帽状腱膜下出血	0 L	P122	KA42.3		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/901008083	1 =	KA42.4		1 =	Subgaleal epipranial subaponeurotic haemorrhage due to birth injury/KA42.4
36603	16	頭皮クレンジ損傷	0 L	P124	KA42.3		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1001536908	1 =	KA42.3		1 =	Injury to scalp of newborn due to scalp clip or electrode/KA42.3
36604	16	頭皮の分娩損傷	0 L	P129	〒KA42		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1099270885	1 =	KA42.2		1 =	Birth injury to scalp/KA42.2
36605	16	新生児頭蓋骨折	0 L	P130	KA45.02		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/950673209	1 =	KA45.0		1 =	Fracture of skull due to birth injury/KA45.0
36606	16	大腿骨の分娩損傷	0 L	P132	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/958841520 & http://dx.whoi.int/cd/entity/963135600	1 =	KA45.6 & YA68A0		1 =	Birth injury to long bones (長骨の出生損傷) 大腿骨: femur は入っていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36607	16	尺骨の分娩損傷	0 L	P133	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1162389936 & http://dx.whoi.int/cd/entity/1895435407	1 =	KA45.6 & XA5007		1 =	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 尺骨: ulna
36608	16	橈骨の分娩損傷	0 L	P133	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1162389936 & http://dx.whoi.int/cd/entity/255752241	1 =	KA45.6 & XA3WG1		1 =	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 橈骨: radius は入っていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36609	16	上腕骨の分娩損傷	0 L	P133	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1162389936 & http://dx.whoi.int/cd/entity/7595255864	1 =	KA45.6 & XA2X4		1 =	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 上腕骨: humerus は入っていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36610	16	腓骨の分娩損傷	0 L	P133	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1162389936 & http://dx.whoi.int/cd/entity/85354215	1 =	KA45.6 & XA3KT5		1 =	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 腓骨: fibula は入っていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36611	16	腰骨の分娩損傷	0 L	P133	〒KA45.6		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1162389936 & http://dx.whoi.int/cd/entity/520825881	1 =	KA45.6 & XA4U1		1 =	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 腰骨: tibia は入っていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36612	16	新生児鎖骨骨折	0 L	P134	〒KA45		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1072290900	1 =	KA45.5		1 =	Birth injury to skeleton (骨格の出生損傷) 鎖骨: clavicle ⇒CD-10 P13.4 Fracture of clavicle due to birth injury ⇒KA45.5
36613	16	分娩損傷による骨格	0 L	P139	〒KA45		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/612014953	1 =	KA45.Y		1 =	Birth injury to skeleton/KA45.Y (骨格の出生損傷)
36618	16	新生児末梢神経損傷	0 L	P149	〒KA44.Z		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1462269245	1 <	KA44.Z		1 <	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z
36619	16	上肢分娩麻痺	0 L	P149	〒KA44.Z		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1462269245 & http://dx.whoi.int/cd/entity/986233688	1 =	KA44.2 & XA4BA8		1 =	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z 上肢: upper limb
36620	16	分娩麻痺	0 L	P149	〒KA44.Z		1 >	http://dx.whoi.int/cd/entity/1462269245	1 >	KA44.Z		1 >	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z
36621	16	肝の分娩損傷	0 L	P150	KA46.0		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/529554490	1 =	KA46.0		1 =	Birth injury to liver/KA46.0
36622	16	脾の分娩損傷	0 L	P151	KA46.1		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/205139308	1 =	KA46.1		1 =	Birth injury to spleen/KA46.1
36624	16	新生児先天性斜頸	0 L	P152	KA43.0		1 <	http://dx.whoi.int/cd/entity/248331155	1 <	KA43.0		1 <	Birth injury to sternocleidomastoid/KA43.0 (胸鎖乳突筋の出生損傷)
36625	16	眼の分娩損傷	0 L	P153	KA41		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/180406919	1 =	KA41		1 =	Birth injury to eye/KA41 筋性斜頸: muscular torticollis
36626	16	顔面の分娩損傷	0 L	P154	KA43.3		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/409494931	1 =	KA43.3		1 =	Birth injury to face/KA43.3
36627	16	外性器の分娩損傷	0 L	P155	KA43.1		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/2099485775	1 =	KA43.1		1 =	Birth injury to external genitalia/KA43.1
36628	16	出産時児損傷	0 L	P159	〒KA42		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/62443803	1 =	KA42		1 =	Birth injury/KA42
36631	16	分娩時児損傷	0 L	P159	〒KA42		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/62443803	1 =	KA42		1 =	Birth injury/KA42
36634	16	第2度仮死	0 L	P210	KA20.0		1 <	http://dx.whoi.int/cd/entity/1968732603	1 <	KB21.0		1 <	Severe birth asphyxia/ (重度出生時仮死)
36636	16	第1度仮死	0 L	P211	KA20.1		1 <	http://dx.whoi.int/cd/entity/1968732603	1 <	KB21.0		1 <	Mild and moderate birth asphyxia/ (軽度及び中等度出生時仮死)
36637	16	軽度新生児仮死	0 L	P211	KA20.1		1 =	http://dx.whoi.int/cd/entity/1968732603	1 <	KB21.0		1 <	Mild and moderate birth asphyxia/ (軽度及び中等度出生時仮死)

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第17章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	標準病名	ICD10 章	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11初版に あった場合の 変更	病名として親 代ではない不適切	対 Foundation 相度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 相度	MMS Representation	備考
								対 Foundation 相度		対 MMS 相度		
37048	17	後頭孔脳脱出症	0 L	Q002	≡LA00.1			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/1558931335	1 =	LA00.1	後頭孔脳脱出症 Jnencephaly Encephalocele (脳嚢)
37059	17	頭蓋周囲静脈洞	0 L	Q019	≡LA01			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/2115894108	1 <	LA01	* 頭蓋周囲静脈洞 sinus pericranii はICD-11に見当たらず
37061	17	頭蓋骨膜洞	0 L	Q019	≡LA01			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/2115894108	1 <	LA01	* 頭蓋骨膜洞 sinus pericranii はICD-11に見当たらず
37074	17	中脳水道狭窄症	0 L	Q030	≡LA04.0			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/1284135636	1 <	LA04.0	Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * 中脳水道狭窄症 Stenosis of the aqueduct of Sylvius は類義語にある
37077	17	中脳水道先天異常	0 L	Q030	≡LA04.0			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/1284135636	1 <	LA04.0	* ヴェルンガ表によると Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * 先天性中脳水道狭窄症 (congenital stenosis of aqueduct of Sylvius) J 中脳水道の異常 中脳水道狭窄症は、先天性と後天性がある。
37079	17	ダンデ・ウーカー症候群	0 L	Q031	≡LA06.0			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/993088960	1 <	LA06.0	中脳水道先天異常は、先天性の中脳水道の異常と判断。 Dandy-Walker malformation (ダンデ・ウーカー奇形) * Dandy-Walker syndrome (ダンデ・ウーカー症候群) は類義語にある
37083	17	モントロー孔閉塞症	0 L	Q038	≡LA04.2			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/1878746673	2 <	LA04.2	* モントロー孔閉塞症 obstruction of foramen of Monro / Monro's foramen ⇒モントロー孔とは、脳内の空洞である脳室のうち、左右の側脳室と第三脳室をつなぐ穴の。
37086	17	X連鎖性遺伝性水頭症	0 L	Q039	≡LA04.2			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/1878746673	2 <	LA04.2	* ヴェルンガ表によると Congenital hydrocephalus (先天性水頭症) に分類
37089	17	脳梁形成不全	0 L	Q040	≡LA05.3			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/2012425106	1 <	LA05.3	* X連鎖性遺伝性水頭症 X-linked genetic hydrocephalus) はICD-11に見当たらず
37102	17	水頭症性無脳症	0 L	Q043	≡LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/1963574608	1 <	LA05.62	Corpus callosum agenesis Hydranencephaly 水頭症性無脳症(水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒脳の形成不全＋小脳
37104	17	小脳形成不全	0 L	Q043	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/179350437&http://	1 =	LA05.0 & XA1CW2	⇒脳の形成不全＋小脳症 (Synonymy) がある。
37105	17	小脳欠損	0 L	Q043	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/1292761836&http://	1 =	LA00.0 & XA1C	⇒脳の欠損 Absence of brain＋小脳とした。
37110	17	小脳回症	0 L	Q043	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/2081858551	1 <	LA05.50	小脳回症 microgyria * Polymicrogyriaは通常「多少脳回症」と訳されているようにだが、医学用語辞典に「小脳回症 Syndromes with lissencephaly as a major feature (滑脳症を主な特徴とする症候群) 無脳回症 agyriaは類義語
37114	17	無脳回症	0 L	Q043	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/805385297	1 <	LD20.1	**ただし、医学用語辞典によると agyria/lissencephalyは、どちらも無脳回症/滑脳症の訳が 脳形成不全水頭症 hydranencephalodysplasiaだがICD-11には訳語見当たらず
37115	17	脳形成不全性水頭症	0 L	Q043	≡LA02			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/1943473314/https://	2 =	8D64.10 / LA05.0	水頭症 Hydrocephalus * 構造奇形による水頭症＋脳の形成不全 とした。
37116	17	滑脳症	0 L	Q043	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/805385297	1 <	LD20.1	滑脳症 lissencephaly/agyria * Syndromes with lissencephaly as a major feature (滑脳症を主な特徴とする症候群) J の類義語にagyriaがある。
37123	17	片側巨脳症	0 L	Q045	≡LA05.1			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/2961229160	1 <	LA05.1	Hemimegalencephaly
37127	17	先天性脳のう胞	0 L	Q046	≡LA05.7			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/1633056148	1 <	LA05.7	Brain cystic malformations (脳のう胞性奇形) Congenital cerebral cysts: 先天性脳のう胞は類義語
37131	17	巨脳回症	0 L	Q048	≡LA02			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/810833887	2 <	LA05.5	macrogyria: 巨脳回症 * 左記URLは「Abnormal neuronal migration (異常なニューロンの移動)」
37132	17	巨大大槽	0 L	Q048	≡LA02			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/2150572724	2 <	LA02	巨大大槽 megalosterna magna はCD-11に該当する英語見当たらず ⇒巨大大槽 megalosterna magna: 後頭蓋窩の脳組織に明らかな形態異常は伴わず、脳底
37133	17	ジュベール症候群関連疾患	0 L	Q048	≡LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/entity/1488858760	1 <	LD20.0Z	* ヴェルンガ表によると Q048は左記の3つのURIがある
37135	17	先天性脳萎縮	0 L	Q048	≡LA02			2 <	http://id.who.int/ICD/entity/2150572724	2 <	LA02	Joubert syndrome 先天性脳萎縮 congenital brain atrophy はICD-11に該当する英語見当たらず * 左記URLは「Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造発:
37136	17	大脳皮質形成異常	0 L	Q048	≡LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/entity/1556086233&http://	1 =	LA05.01 & XA64R0	Focal cortical dysplasia (限局性皮質異常形成) 大脳皮質 cerebral cortex

No	ICD10 章	標準病名	ICD10 章コード	10⇒11でのコード	ICD11和訳にあつた場合のコード	病名として親代では不適切	対 Foundation 相度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 相度	MMS Representation	備考
37210	17	キアリ畸形第2奇形	0 L Q070	≦LA03			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/1987249422	1 =	LA03	Arnold-Chiari malformation type II
37219	17	キアリ畸形第1奇形	0 L Q070	≦LA03			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/1383121646	1 =	LA07.4	Chiari malformation type I
37222	17	キアリ畸形第3奇形	0 L Q070	≦LA03			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1987349422	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation type I
37223	17	アーリルド・キアリ 奇形	0 L Q070	≦LA03			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1987349422	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation NOS
37227	17	キアリ畸形第4奇形	0 L Q070	≦LA03			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1987349422	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation NOS
37229	17	先天性神経系萎縮	0 L Q078	≦LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経系萎縮: congenital atrophy of nervous system) はICD-11に見当たらず
37230	17	下顎眼瞼異常運動症候群	0 L Q078	≦LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02	*左記URLは「Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造発
37232	17	ガジ症候群	0 L Q078	≦LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/590216180	1 =	9A03.00	Marcus Gunn syndrome
37234	17	上胸神経叢転位	0 L Q078	≦LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経系異常: Congenital anomalies of nervous system) http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724
37235	17	腰仙部神経根奇形	0 L Q079	≦LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02 / 8B93.Y	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経根奇形: Anomaly of lumbosacral nerve root) はICD-11に見当たらず
37236	17	先天性中枢神経異常	0 L Q079	≦LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 =	LA02 & XA3U6	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性中枢神経異常: Congenital anomalies/abnormalities of central nervous system) はICD
37238	17	神経管奇形	0 L Q079	≦LA02			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系神経管奇形: malformation of neural canal)
37239	17	先天性神経系異常	0 L Q079	≦LA02			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724	1 <	LA02	*「マビントラ表によるとStructural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経系異常: Congenital anomalies of nervous system) http://id.who.int/ICD/enthy/2150572724
37244	17	眼瞼先天性異常	0 L Q103	≦9A00.Z			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536	2 <	LA14.Z	*「Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536
37247	17	睫毛欠損	0 L Q103	≦9A00.Z			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1317258138	2 <	9A00.Z	*「マビントラ表によるとCongenital malposition of eyelids (まぶたの先天性位置異常) J
37248	17	副眼筋	0 L Q103	≦9A00.Z			2 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536	2 <	LA14.Z	*「副眼筋Jは医学用語辞典でも、ネットでも検索しても英訳不明ICD-10(日本語)で「眼瞼の
37249	17	先天性睫毛内反症	0 L Q103	≦9A00.Z			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1317258138	1 <	9A00.Z	「Congenital malposition of eyelids (まぶたの先天性位置異常) J
37251	17	無眼瞼症	0 L Q103	≦9A00.Z			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/959651392	1 <	LA14.Y	Congenital aplachiaは、LA14.Yのindex termにある。
37252	17	眼瞼変形	0 L Q103	≦9A00.Z			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536	2 <	LA14.Z	*「Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536
37253	17	副眼瞼	0 L Q103	≦9A00.Z			2 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536	2 <	LA14.Z	*「Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) http://id.who.int/ICD/enthy/1902845536
37256	17	先天性眼裂縮小	0 L Q103	≦9A00.Z			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/301437768	1 <	LA14.OY	Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) http://id.who.int/ICD/enthy/301437768
37261	17	涙器先天異常	0 L Q106	≦LA14.Z			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/1007532677	1 =	LA14.Z	Structural developmental anomalies of lacrimal apparatus
37263	17	眼窩先天異常	0 L Q107	≦LA14.2			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/788089417	1 <	LA14.2	Structural developmental anomalies of orbit (眼窩の構造発達異常)
37264	17	眼窩形成不全	0 L Q107	≦LA14.2			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/788089417	1 <	LA14.2	Structural developmental anomalies of orbit (眼窩の構造発達異常)
37265	17	のう胞状眼球	0 L Q110	≦LA10.2			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/1106186590	1 <	LA10.2	Buphthalmos (水眼症) のう胞状眼球: Cystic eyeball は類義語にある
37273	17	潜伏眼球	0 L Q112	≦LA10.0 / ≦LA10.1			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/740233582	1 =	LA14.01	Cryptophthalmia
37275	17	眼球形成不全	0 L Q112	≦LA10.0 / ≦LA10.1			1 =	http://id.who.int/ICD/enthy/1342802999	1 <	LA10.0	Microphthalmos (小眼球) 眼球形成不全: Hypoplasia of eye は類義語にある
37280	17	超微小眼球	0 L Q112	≦LA10.0 / ≦LA10.1			1 <	http://id.who.int/ICD/enthy/1342802999	1 <	LA10.0	Microphthalmia (微小眼球) は類義語にある

No	ICD10 章	標準病名	ICD10 章	ICD10 章	ICD10 章	ICD11 和	ICD11 和	ICD11 和	ICD11 和	対 Foundation 精度	対 MMS 精度	備考
37368	17	ぶどう膜欠損	0 L	Q148	下:LA13.Z					1 <	2 <	Congenital malformations of the uvea (ぶどう膜の先天奇形)
37371	17	眼底欠損	0 L	Q148	下:LA13.Z					1 <	1 <	眼底欠損: Coloboma of the fundus (ICD-10)では、ICD-11 ではない。
37373	17	後房の先天異常	0 L	Q149	下:LA13.Z					1 <	1 <	*マビエンツグ表によるとStructural developmental anomalies of the posterior segment of eye
37377	17	新生児緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z					1 =	9C61.4Z	*マビエンツグ表によるとStructural developmental anomalies of the posterior segment of eye
37379	17	変異型発達緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z					1 =	9C61.4 & XT3R	*眼底: fundus
37380	17	早発型発達緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z					1 =	9C61.4 & XT2Q	*マビエンツグ表によるとStructural developmental anomalies of the posterior segment of eye
37383	17	先天性球状角膜	0 L	Q158	下:LA12 上:LA12.2 上:9A00.0 上:9A0					1 =	1 <	Developmental glaucoma (発達緑内障) 新生児緑内障: Glaucoma of newbornは類義語にある
37386	17	先天性眼異常	0 L	Q159	=LA12 =ID21.2					1 =	1 <	Developmental glaucoma (発達緑内障) 変異型発達緑内障 = 発達性緑内障 + 変異型 (late onset)
37387	17	先天性眼奇形	0 L	Q159	=LA12 =ID21.2					1 =	1 <	Developmental glaucoma (発達緑内障) 早発型発達緑内障 = 発達性緑内障 + 早発型 (early onset)
37404	17	耳小骨融合	0 L	Q163	=LA22.3					1 =	1 <	Congenital keratoglobus
37406	17	先天性耳管異常	0 L	Q164	下:LA22.Z					1 =	1 <	Congenital malformations of the eye (眼の先天奇形) 先天性眼異常: congenital anomaly of eye は類義語にある
37408	17	中耳先天奇形	0 L	Q164	下:LA22.Z					1 =	1 =	Congenital abnormal fusion of auditory ossicles (LA22.3のindex term) がある
37411	17	内耳先天奇形	0 L	Q165	=LA22.4					1 =	1 <	Congenital structural anomaly of eustachian apparatus
37413	17	前庭水管拡大症	0 L	Q165	=LA22.4					1 =	1 <	*マビエンツグ表によると, Structural developmental anomalies of ear causing hearing impairment
37422	17	過剰耳	0 L	Q170	=LA24					1 =	1 <	*中耳先天奇形: Congenital deformity of middle ear はICD-11に見当たらず (deformity of e
37424	17	大耳症	0 L	Q171	=LA21.0					1 =	1 =	Structural developmental anomalies of inner ear (内耳の構造発達異常)
37429	17	尖耳	0 L	Q173	=LA21.3					1 <	1 <	Enlarged vestibular aqueduct
37430	17	先天性耳介奇形	0 L	Q173	=LA21.3					1 =	1 <	Accessory auricle (小)
37436	17	垂耳	0 L	Q175	=LA21.1					1 =	1 <	Macrotia
37437	17	聳立耳	0 L	Q175	=LA21.1					1 =	1 <	*マビエンツグ表によると, Misshapen ear (奇形耳)
37440	17	耳垂裂	0 L	Q178	下:LA22					2 <	2 <	尖耳: pointed ear はICD-11に見当たらず
37441	17	外耳道奇形	0 L	Q178	下:LA22					1 =	1 <	Minor anomalies of pinnae
37442	17	先天性耳垂欠損	0 L	Q178	下:LA22					1 =	1 <	(耳介の隆起な異常)
37443	17	スター耳	0 L	Q178	下:LA22					1 <	1 <	先天性耳介奇形: congenital deformity of pinna of ear は類義語にある
37445	17	袋耳	0 L	Q178	下:LA22					1 <	1 <	*垂耳はICD-10(Q175)に分類されており, 対応するCD-11はProtruding ear (突き出た耳)
37447	17	耳輪埋没症	0 L	Q178	下:LA22					1 =	1 <	*「垂耳」が「垂れた耳」を示すならばLop or cup ear anomaly (http://id.who.int/icd/entity/1
37448	17	折耳	0 L	Q178	下:LA22					1 <	1 <	Protruding ear (突き出た耳)
37450	17	耳珠異常	0 L	Q179	=LA22					1 <	1 <	聳立耳: prominent ear は, 類義語にある (Congenital prominent auricle (先天性の顕著な耳

～ 第18章 標準病名 ～

標準病名のICD-11コーディング作業結果

対 Foundation 粒度					対 MMS 粒度		
No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	ICD10 コード	10=>11 でのマッピング情報	ICD11 和訳に於ける英訳	病名とコードの関係
40454	18	頻脈性不整脈	0 L	R000	下:BC9Z		1 <
40455	18	頻拍症	0 L	R000	下:BC9Z		1 >
40456	18	呼吸性不整脈	0 L	R000	下:BC9Z		1 <
40457	18	洞頻脈	0 L	R000	下:BC9Z		1 <
40458	18	頻脈症	0 L	R000	下:BC9Z		1 <
40455	18	徐脈	0 L	R001	上:BC9Z 下:BC9Z		1 =
40467	18	徐脈性不整脈	0 L	R001	上:BC9Z 下:BC9Z		1 =
40468	18	洞徐脈	1 L	R001	上:BC9Z 下:BC9Z	Sinus bradycardia	=
40469	18	徐脈発作	0 L	R001	上:BC9Z		1 =
40470	18	徐脈性失神	0 L	R001	上:BC9Z 下:BC9Z		1 =
40473	18	動悸	1 L	R002	上:BC9Z	Palpitations	=
40474	18	胸悸悸	0 L	R002	上:BC9Z		1
40479	18	心下悸	0 L	R002	上:BC9Z		1
40480	18	三段脈	0 L	R008	上:BC9Z		1 <
40481	18	二段脈	0 L	R008	上:BC9Z		1 <
40482	18	心拍異常	1 L	R008	上:BC9Z	abnormal heart beat	=
40484	18	機能性収縮期雑音	0 L	R010	上:BC9Z		1 <
40486	18	機能性心雑音	0 L	R010	上:BC9Z		1 =
40488	18	連続性雑音	0 L	R011	上:BC9Z		1 <
40489	18	心雑音	0 L	R011	上:BC9Z		1 =
40490	18	拡張期雑音	0 L	R011	上:BC9Z		1 <
40491	18	収縮期雑音	0 L	R011	上:BC9Z		1 <
40492	18	器質性心雑音	0 L	R011	上:BC9Z		1 <

備考

頻脈性不整脈には、Ventricular tachyarrhythmia (心室性頻脈性不整脈) と supraventricular tachyarrhythmia (上室性頻脈性不整脈) がある。
発作性、上室、心室、など種類有
心臓に何の病氣もないのに脈を打つ音が呼吸によつて不規則になることを「呼吸性不整脈」と呼ぶ。洞性には正常とほぼ同義。脈が速くなっている状態。

bradyarrhythmia: Cardiac arrhythmia の同義語にある。

徐脈性不整脈とほぼ同義

Bradycardia (徐脈) +syncope (失神)

漢方医に確認
漢方医に確認

Functional cardiac murmur: Benign and innocent cardiac murmurs の index term にある。

Cardiac bruit: Cardiac murmurs and other cardiac sounds の synonymst にある。

対 Foundation 粒度							対 MMS 粒度					
No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 ICD10 コード	10⇒11 のマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信 関係	ICD11 Foundation URI	確信 関係	MMS Representation	備考
40494	18	心濁音界拡大	0 L	R012	=MC83.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1604997463	1 <	MC83.1	Increased cardiac dullness: Other cardiac soundsの index termにある。
40495	18	前胸部摩擦音	0 L	R012	=MC83.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2053573781	1 <	MC83.1	Precordial friction: Other cardiac soundsの index termにある。
40496	18	心濁音界縮小	0 L	R012	=MC83.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/711397910	1 <	MC83.1	Decreased cardiac dullness: Other cardiac soundsの index termにある。
40497	18	下肢壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	Gangrene & Lower extremity (Lower limbは、index termにある)
40498	18	手指指壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/452671086	1 =	MC85 & XA8D16	Gangrene & Thumb
40499	18	壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	necrosis: Gangrene のsynonymsにある。
40501	18	趾壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 <	MC85 & XA4LC9	necrosis: Gangrene のsynonymsにある。&【趾=Toes】
40502	18	下肢趾脱疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	MC85 & XA45A6 & XA4LC9	gangrene & Lower extremity & Toes
40504	18	潰瘍性壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	ulcerative gangrene: Gangreneのsynonymsにある。
40505	18	脊椎壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/405704375	1 =	MC85 & XA5J55	Gangrene & Vertebral column (spineは、index termにある)
40506	18	下腿壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	necrosis: Gangrene のsynonymsにある。& Lower extremity
40507	18	末梢壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/1756775526	1 =	MC85 & XA06U6	necrosis(壊死) + Peripheral nerve(末梢)
40508	18	足壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/1896004518	1 =	MC85 & XA4TV8	Gangrene & foot
40509	18	皮膚壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1159845363	1 =	MC85 & XA0364	skin necrosis: Gangrene of skinのsynonymsにある。
40510	18	腹壁壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/817763182	1 =	MC85&XA6GV0	abdominal wall gangreneは、Abdominal gangrene のsynonymにある。MMSでは、Gangrene & Abdominal wall (Abdominalのsynonyms)としてコード付けされる。
40511	18	水腫性壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/826220775	1 =	MC85 & MG29	Gangrene & Oedema(浮腫)
40512	18	壊死潰瘍	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	gangrenous ulcer: Gangreneのsynonymsにある。
40513	18	特発性壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/894194405	1 =	MC85 & XB5F	Gangrene & Idiopathic(特発性)
40514	18	血管神経性壊疽	0 L	R02	=MC85			1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	血管神経足すべき？
40515	18	下腿壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	Gangrene & Lower extremity
40516	18	耳介壊疽	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271	1 =	MC85 & XA4E71	Gangrene & Pinna
40517	18	足壊死	0 L	R02	=MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/1896004518	1 =	MC85 & XA4TV8	necrosis: Gangrene のsynonymsにある。& foot
40518	18	神経原性壊疽	0 L	R02	=MC85			1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	神経部分足すべき？

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	代義コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
40520	18	皮膚壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1159845363	1 =	=	MC85 & XA0364	Gangrene of skin
40522	18	壊疽	1 L	R02	=:MC85	Gangrene						=	MC85	
40523	18	手指脱疽	0 L	R02	=:MC85			1 =		http://id.who.int/icd/entity/822750113	1 =	=	MC85 & XA2593	手指は、手の指と扱えた。
40526	18	趾脱疽	0 L	R02	=:MC85			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1159845363 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	=	MC85 & XA4LC9	Gangrene & 【趾＝Toes】
40527	18	うっ血性壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 <		http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	<	MC85	
40529	18	壊死性炎症	0 L	R02	=:MC85			1 =		http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 =	=	MC85	necrosis: Gangrene のsynonymsにある
40530	18	会陰壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 =		http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =	=	MC85 & XA53N9	Gangrene & Perineum
40532	18	結節性壊死性皮膚炎	0 L	R02	=:MC85			1 <		http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	<	MC85	“結節性” 該当なし
40533	18	非特異的血圧上昇	0 L	R030	=:MC80.0Z			1 <		http://id.who.int/icd/entity/523963970	1 <	<	MC80.0Z	
40534	18	白衣高血圧	1 L	R030	=:MC80.0Z	White coat hypertension						=	MC80.00	
40537	18	非特異性低血圧症	0 L	R031	=:MC80.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/2054210520	1 <	<	MC80.1	Nonspecific low blood-pressure reading?
40539	18	鼻中隔出血	0 L	R040	=:MD20			1 =		http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	<	MD20	類義語に鼻甲介出血があり
40540	18	特発性鼻出血	0 L	R040	=:MD20			1 =		http://id.who.int/icd/entity/608337668 & http://id.who.int/icd/entity/894194405	1 =	=	MD20 & XB5F	Epistaxis (鼻血) +Idiopathic (特発性)
40541	18	鼻血	0 L	R040	=:MD20			1 =		http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 =	=	MD20	Nosebleed: Epistaxisのsynonymsにある。
40543	18	習慣性鼻出血	0 L	R040	=:MD20			1 <		http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	<	MD20	習慣性は、無し。
40544	18	鼻出血症	0 L	R040	=:MD20			1 =		http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	<	MD20	
40546	18	突発性咽頭出血	0 L	R041	=:MD21			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1091154582 & http://id.who.int/icd/entity/1385443355	1 =	=	MD21 & XT3Z	pharyngeal haemorrhage: Haemorrhage from throatのsynonyms (咽頭出血) +Rapid onset (特発性)
40547	18	咽喉出血	0 L	R041	=:MD21			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 =	=	MD21	Haemorrhage from throat
40548	18	声帯出血	0 L	R041	=:MD21			1 <		http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 <	<	MD21	
40549	18	咽頭出血	1 L	R041	=:MD21	bleeding of pharynx						<	MD21	
40550	18	喉頭出血	0 L	R041	=:MD21			1 <		http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 <	<	MD21	
40551	18	血痰	0 L	R042	=:MD22			1 =		http://id.who.int/icd/entity/899998313	1 <	<	MD22	Blood-stained sputum: Haemoptysisのsynonymsにある。
40553	18	咯血	0 L	R042	=:MD22			1 =		http://id.who.int/icd/entity/899998313	1 =	=	MD22	Haemoptysis
40554	18	肺出血	0 L	R048	=:MD23			1 =		http://id.who.int/icd/entity/54016416	1 <	<	MD23	Pulmonary haemorrhage
40555	18	気管内出血	0 L	R048	=:MD23			1 =		http://id.who.int/icd/entity/2002615588	1 <	<	MD23	tracheal hemorrhage: Endotracheal haemorrhage のsynonymsにある。

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度			
No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	代義・同義	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
40556	18	気管支出血	1 L	R048	=:MD23		tracheobronchial tree haemorrhage					<		MD23	
40557	18	肺胞出血	1 L	R048	=:MD23		alveolar haemorrhage					<		MD23	
40558	18	上気道出血	0 L	R048	=:MD23				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1042575386	1 <		MD23	Upper airway haemorrhage
40560	18	気道出血	0 L	R049	下:MD22				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/496129435	1 <		MD22	Haemorrhage from respiratory passages
40563	18	慢性咳嗽	0 L	R05	=:MD12				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1651982587	1 <		MD12	Chronic cough
40565	18	アレルギー性咳嗽	0 L	R05	=:MD12				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159 & http://id.who.int/icd/entitv/971190258	1 =		MD12 / 4A8Z	Cough (咳) + Allergic(アレルギー)
40569	18	カタル性咳	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40570	18	咳	0 L	R05	=:MD12				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 =		MD12	Cough
40571	18	乾性咳	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40572	18	湿性咳	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40573	18	感染後咳嗽	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40575	18	アトピー咳嗽	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40576	18	咳失神	0 L	R05	=:MD12				2 =		http://id.who.int/icd/entitv/1647642651	2 <		MD12	Tussive syncope
40578	18	遷延性咳嗽	0 L	R05	=:MD12				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159 & http://id.who.int/icd/entitv/1313511357	1 =		MD12 & XT6Z	Cough (咳嗽) + Persistent (遷延性)
40579	18	夜間咳	0 L	R05	=:MD12				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/2027526159	1 <		MD12	
40584	18	呼吸促進	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/960305085	1 <		MD11.5	respiratory distress: Dyspnoeaのsynonymにある。
40585	18	呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/960305085	1 =		MD11.5	Dyspnoea
40586	18	呼吸困難発作	0 L	R060	=:MD11.5				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/960305085	1 <		MD11.5	
40589	18	起坐呼吸	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1076152687	1 <		MD11.5	Orthopnoea: Dyspnoeaのindex terms
40590	18	息切れ	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/960305085	1 <		MD11.5	short of breath: Dyspnoeaのsynonyms
40591	18	労作時呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1409318119	1 <		MD11.5	Exertional dyspnoea
40593	18	発作性呼吸困難	1 L	R060	=:MD11.5		Cardiac asthma					<		BD11.Z	
40594	18	夜間呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1625623389	1 <		MD11.5	Nocturnal dyspnoea
40595	18	肺性呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5				1 <		http://id.who.int/icd/entitv/960305085	1 <		MD11.5	
40596	18	喘鳴	0 L	R061	=:MD11.B				1 =		http://id.who.int/icd/entitv/1551292969	1 =		MD11.B	Stridor

				対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度						
No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	代表薬・同薬	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	MMS Representation	備考
40597	18	ぜいぜい音	0 L	R061	=:MD11.B		1?	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1551292969	1 <	MD11.B	
40599	18	周期性呼吸	0 L	R063	=:MD11.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2084498182	1 <	MD11.Y	Periodic breathing
40600	18	チェーン・ストークス呼吸	0 L	R063	=:MD11.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2084498182	1 <	MD11.Y	Cheyne-Stokes breathing: Periodic breathingの synonymsにある。
40603	18	過換気症	0 L	R064	=:MD11.7			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1048499416	1 <	MD11.7	Hyperventilation
40604	18	過換気ヲタニ	0 L	R064	=:MD11.7			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1048499416	1 <	MD11.7	Hyperventilation tetany: Hyperventilationの synonymsにある。
40608	18	口呼吸	1 L	R065	=:MD11.8Z	Mouth breathing		=			MD11.8	
40609	18	いびき	0 L	R065	=:MD11.8Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1795485025	1 <	MD11.Y	Snoring
40610	18	しゃっくり	1 L	R066	=:MD11.6	hiccup		=			MD11.6	
40611	18	横隔膜痙攣症	0 L	R066	=:MD11.6			1 =	http://id.who.int/icd/entity/798509501	1 =	MD11.6	hiccup
40614	18	くしゃみ	1 L	R067	=:MD11.A	Sneezeing		=			MD11.A	
40615	18	ためいき	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/620989714	1 <	MD11.Y	Sighing
40617	18	あくび	1 L	R068	下:MD11.Z	Yawniing		=			MD11.D	
40618	18	努力性呼吸	0 L	R068	下:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	Abnormalities of breathing
40619	18	頻呼吸	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/85919676	1 <	MD11.Y	Tachypnea
40622	18	異常呼吸	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	Abnormalities of breathing
40623	18	無呼吸発作	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/992235907	1 <	MD11.0	Apnoea spells: Apnoeaのsynonymsにある。
40625	18	多呼吸	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/85919676	1 <	MD11.Y	Tachypnea
40626	18	高炭酸ガス血症	0 L	R068	下:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	高炭酸ガス血症⇒Hypercapniaだが、ヒットせず。
40630	18	窒息感	0 L	R068	下:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2072305549	1 <	MD11.Y	Choking sensation
40632	18	呼吸麻痺	1 L	R068	下:MD11.Z	respiratory paralysis		<			MD11.Y	
40633	18	CO2ナルコーシス	0 L	R068	下:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	CO2ナルコーシスとは、高CO2血症によって、意識障害などの中枢神経症状を呈している状態
40634	18	喉頭痛	1 L	R070	=:MD36.0	Superior laryngeal neuralgia		<			8886	
40635	18	咽喉痛	0 L	R070	=:MD36.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/633724732	1 =	MD36.0	Pain in throat
40636	18	呼吸時の胸痛	0 L	R071	=:MD30.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1083052714	1 =	MD30.0	Chest pain on breathing
40637	18	前胸部痛	1 L	R072	=:MC86	Precordial pain		=			MC86	

標準病名のICD-11コーディング作業結果
～ 第19章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

					対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度						
No	ICD11 標準病名 0章	ICD11和訳との一致	代表・同義コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
42407	19 側頭部皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1257764542 & http://id.who.int/icd/entity/1642669190	1 <		NA00.0Y & XA9DZ0	Haematoma of scalp & Temporal scalp
42413	19 頭部皮下出血	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2055653544 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.0Y / MG27	Superficial injury of scalp / Bleeding
42418	19 頭部虫刺傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2055653544 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292	1 <		NA00.0Z & XJ69A	Superficial injury of scalp & Insect bite, nonvenomous
42419	19 頭部擦過創	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/1858655630	1 =		NA00.00	Abrasion of scalp
42421	19 頭部外傷性皮下異物	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2055653544 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183	1 <		NA00.0Z & XJ06K	Superficial injury of scalp & Superficial injury of scalp
42422	19 頭部皮下異物	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2010469183	1 <		NA00.0Z & XJ06K	Superficial injury of scalp & Superficial injury of scalp
42423	19 頭部打撲血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1257764542 & http://id.who.int/icd/entity/204098541	1 <		NA00.0Y & XJ9NV	Haematoma of scalp & Contusion
42424	19 頭皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1257764542	1 <		NA00.0Y	Haematoma of scalp
42425	19 頭部外傷性皮下気腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/134353249 & http://id.who.int/icd/entity/1357976561	1 =		NF0A.7 & XA20Q1	Traumatic subcutaneous emphysema, not elsewhere classified & Head
42426	19 頭部血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1257764542	1 <		NA00.0Y	Haematoma of scalp
42428	19 頭部打撲	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/609452693	1 =		NA00.01	Contusion of scalp
42429	19 頭部皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1257764542	1 <		NA00.0Y	Haematoma of scalp
42432	19 頭頂部擦過創	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/1858655630 & http://id.who.int/icd/entity/1436854266	1 =		NA00.00 & XA5BY6	Abrasion of scalp & Vertex of scalp
42433	19 外傷性帽状腱膜下出血	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/122906336	1 <		NA00.Y	Subgaleal haematoma
42435	19 前頭部挫傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/609452693 & http://id.who.int/icd/entity/1992376390	1 =		NA00.01 & XA0WK0	Contusion of scalp & Frontal scalp
42437	19 後頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/609452693 & http://id.who.int/icd/entity/1992376390	1 =		NA00.01 & XA0WK0	bruise of scalp & Frontal scalp
42439	19 側頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1290845313	1 <		NA00.01	Contusion of occipital region
42440	19 前頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/609452693 & http://id.who.int/icd/entity/1992376390	1 =		NA00.01 & XA0WK0	bruise of scalp & Frontal scalp
42442	19 頭部挫傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/1469680619	1 =		NA00.01	Contusion of scalp
42443	19 頭頂部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 <	https://id.who.int/icd/entity/609452693	1 <		NA00.01	Contusion of parietal region
42444	19 頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 =	1 =	https://id.who.int/icd/entity/103374449 / http://id.who.int/icd/entity/609452693	1 =		NA00.01	bruise of scalp
42446	19 頭皮外傷性腫脹	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/103374449 / http://id.who.int/icd/entity/603422881	1 <		NA00.Y / ME61	Superficial injury of head / head swelling
42448	19 頭部切創	0 L	S000	=:NA00.0Z			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/150593144Z	1 <		NA00.Y / ND56.1	Superficial injury of head / cut NOS
42450	19 眼瞼打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/2081291488	1 <		NA00.11	Contusion (Bruise) of eyelid
42452	19 前額部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.7	Contusion (Bruise) of supraorbital region
42454	19 眼瞼皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.1Z / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma
42455	19 眼周囲部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.1Z / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma
42457	19 眼周囲部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11			1 <	1 <	https://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.1Z / MG27	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度			
No	ICD1 標準病名 0章	ICD11和訳との 一致	代表・ 同義 コード	10⇒11でのマッ ピング情報	ICD11和訳 にあつた場 合の英語	病名とし て現代では不 適切	確信 度	関係	ICD11 Foundation URI	確信 度	関係	MMS Representation	備考		
42459	19 眼部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.1Z / MG27	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding		
42461	19 眼部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11			1 =		http://id.who.int/icd/entity/533529906	1 =		NA00.11	Contusion of eyelid or periorcular area		
42463	19 眼部挫傷	0 L	S001	=:NA00.11			1 =		http://id.who.int/icd/entity/533529906	1 =		NA00.11	Contusion (Bruise) of eyelid or periorcular area		
42465	19 眼周囲部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11			1 =		http://id.who.int/icd/entity/533529906	1 =		NA00.11	Contusion (Bruise) of eyelid or periorcular area		
42467	19 前額部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11			1 <		http://id.who.int/icd/entity/2081291488 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.7 / MG27	Contusion of supraorbital region / Subcutaneous bleeding		
42468	19 眼瞼皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.1Z / MG27	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding		
42469	19 眼鏡棘皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <		NA00.1Z / MG27	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding		
42470	19 前額部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.7 / ND56.0	Contusion of supraorbital region / Subcutaneous haematoma		
42471	19 眼部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.1Z / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma		
42473	19 眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <		NA00.1Y / ND56.1	Superficial injury of eyelid or periorcular area / cut NOS		
42475	19 眼部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/entity/43620373	1 =		NA00.10	Abrasion of eyelid or periorcular area		
42476	19 眼部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292	1 =		NA00.1Y & XJ69A	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Insect bite, nonvenomous		
42479	19 眼周囲部切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <		NA00.1Y / ND56.1	Superficial injury of eyelid or periorcular area / cut NOS		
42480	19 眼瞼外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183	1 <		NA00.1Y & XJ06K	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Superficial foreign body		
42481	19 前額部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/entity/43620373 & http://id.who.int/icd/entity/216471431	1 =		NA00.10 & XA5WP1	Abrasion of eyelid or periorcular area & Supraorbital region		
42483	19 眼部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/1531077719	1 <		NA00Y / ME61	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous swelling		
42484	19 眼部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183 / http://id.who.int/icd/entity/1842783299	1 <		NA00.1Y & XJ06K / ND56.2	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Superficial foreign body / Trauma NOS		
42485	19 前額部切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/43620373 & http://id.who.int/icd/entity/216471431 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 =		NA00.10 & XA5WP1 / ND56.1	Abrasion of eyelid or periorcular area & Supraorbital region / cut NOS		
42486	19 前額部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/216471431 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719	1 <		NA00.1Y & XA5WP1 / ME61	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Supraorbital region / localised swelling		
42489	19 眼周囲部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/46580295 / http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <		NA00.10	Abrasion of eyelid or periorcular area		
42490	19 眉部血腫	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292	1 <		NA00.1Z & XA1LZ5 / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyebrow / Subcutaneous haematoma		
42491	19 眼周囲部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/672245559 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719	1 <		NA00.1Z & XJ69A	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Insect bite, nonvenomous		
42493	19 眼周囲部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/84452979 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <		NA00.1Y / ME61	Superficial injury of eyelid or periorcular area / localised swelling		
42495	19 上眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/entity/84452979 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <		NA00.10 & XA9K79 / ND56.1	Abrasion of eyelid or periorcular area & upper eyelid / cut NOS		

						対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度			
No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表・同義コード	ICD10 10→11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場 合の英語	病名とし て現代 ではない 適切	確 信 度	関係	ICD11 Foundation URI	確 信 度	関係	MMS Representation	備考
42496	19 眼部切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/43620373/ & http://id.who.int/icd/enthy/754990790	1 <		NA00.10 / ND56.1	Abrasion of eyelid or periorcular area / cut NOS
42497	19 下眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/43620373/ & http://id.who.int/icd/enthy/1468820019/ & http://id.who.int/icd/enthy/754990790	1 <		NA00.10 & XA01V9 / ND56.1	Abrasion of eyelid or periorcular area & lower eyelid/ cut NOS
42499	19 眼瞼擦過創	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/43620373/ & http://id.who.int/icd/enthy/1142633691	1 =		NA00.10 & XA3RB1	Abrasion of eyelid or periorcular area & Eyelids
42500	19 眼瞼虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/672745559/ & http://id.who.int/icd/enthy/1142633691/ & http://id.who.int/icd/enthy/1704055292	1 =		NA00.1Y & XA3RB1 & XJ06K	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyelids & insect bite, nonvenomous
42501	19 眼周囲部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2010469183/	1 =		NA00.1Y & XJ06K	Superficial foreign body
42505	19 前額部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/216471431/ & http://id.who.int/icd/enthy/1704055292	1 =		NA00.1Y & XA5WP1 & XJ06K	Superficial injury of eyelid or periorcular area & &Supraorbital region & insect bite, nonvenomous
42507	19 前額部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/672745559/ & http://id.who.int/icd/enthy/216471431/ & http://id.who.int/icd/enthy/2010469183/	1 =		NA00.1Y & XA5WP1 & XJ06K	Superficial injury of eyelid or periorcular area & &Supraorbital region & Superficial foreign body
42508	19 眼瞼外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/672745559/ & http://id.who.int/icd/enthy/1142633691/ & http://id.who.int/icd/enthy/1531077719	1 <		NA00.1Y & XA3RB1 / ME61	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyelids / localised swelling
42510	19 鼻部下血腫	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/809451889/	1 <		NA00.3	Haematoma of nose
42512	19 鼻部挫傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/700862257/	1 <		NA00.3	Contusion of nose
42513	19 鼻部皮膚剥離創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/237738073/ & http://id.who.int/icd/enthy/707540125	1 =		NA00.3 / ED53	Superficial injury of nose / Skin peeling
42514	19 鼻部打撲傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/700862257/	1 <		NA00.3	Contusion (Bruise) of nose
42515	19 鼻部切創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/754990790/	1 =		NA00.3 / ND56.1	Superficial injury of nose / Cut NOS
42516	19 鼻部外傷性腫脹	0 L	S003	=:NA00.3			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/237738073/ & http://id.who.int/icd/enthy/1531077719	1 <		NA00.3 / ME61	Superficial injury of nose / localised swelling
42518	19 鼻部外傷性皮下異物	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2010469183/	1 =		NA00.3 & XJ06K	Superficial injury of nose & Superficial foreign body
42520	19 鼻部皮下出血	0 L	S003	=:NA00.3			1 <		http://id.who.int/icd/enthy/237738073/ & http://id.who.int/icd/enthy/940081636	1 <		NA00.3 / MG27	Superficial injury of nose / bleeding
42522	19 鼻部擦過創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/377475788/	1 =		NA00.3 & XJ652	Superficial injury of nose & Abrasion
42523	19 鼻部虫刺傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/1926398500/ & http://id.who.int/icd/enthy/1704055292	1 =		NA00.3 & XJ69A	Superficial injury of nose & insect bite, nonvenomous
42525	19 耳介挫傷	0 L	S004	=:NA00.2			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2040998541/	1 =		NA00.2 & XJ9NV	Contusion of ear
42526	19 耳介打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2030796271/ & http://id.who.int/icd/enthy/2040998541/	1 =		NA00.2 & XA4E71& XJ9NV	Contusion of ear (Bruise) & Pinna
42527	19 耳介切創	0 L	S004	=:NA00.2			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/2110065613/ & http://id.who.int/icd/enthy/2030796271/ & http://id.who.int/icd/enthy/754990790	1 =		NA00.2 & XA4E71 / ND56.1	Superficial injury of ear & Pinna / Cut NOS
42528	19 外耳部外傷性皮下異物	0 L	S004	=:NA00.2			1 =		http://id.who.int/icd/enthy/768242906/ & http://id.who.int/icd/enthy/2010469183/	1 =		NA00.2 & XA6ZV6 & XJ06K	Superficial injury of ear & External Ear & Superficial foreign body

対 Foundation 粒度										対 MMS 粒度			
No	ICD11 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表・同義コード	ICD10 10→11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
42530	19 外耳部皮下血腫	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/768242906		1 =			1 <		NA00.2& XA6ZV6	Haematoma of auricle & External Ear
42533	19 外耳部皮下出血	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 / http://id.who.int/icd/entity/940081636		1 <			1 <		NA00.2 & XA6ZV6 / MG27	Superficial injury of ear & External Ear / bleeding
42535	19 耳介皮下血腫	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271		1 =			1 <		NA00.2 & XA4E71	Haematoma of auricle & Pinna
42537	19 外耳部虫刺傷	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292		1 =			1 =		NA00.2 & XA6ZV6 & XJ69A	Superficial injury of ear & External Ear & Insect bite, nonvenomous
42539	19 外耳部打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =			1 =		NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV	Contusion of ear & External Ear & Contusion (Bruise)
42541	19 耳介虫刺傷	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292		1 =			1 =		NA00.3 & XA4E71 & XJ69A	Superficial injury of ear & Pinna & Insect bite, nonvenomous
42542	19 耳介擦過創	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/377475788		1 =			1 =		NA00.2 & XA4E71 XJ652	Superficial injury of nose & Pinna & Abrasion
42544	19 耳後部打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 <			1 =		NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV	Contusion of ear (Bruise) & External Ear
42546	19 外耳部外傷性腫脹	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719		1 <			1 <		NA00.2 & XA6ZV6 / ME61	Superficial injury of ear & External Ear / localised swelling
42547	19 外耳部切創	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 / http://id.who.int/icd/entity/754990790		1 <			1 <		NA00.2 & XA6ZV6 / ND56.1	Superficial injury of ear & External Ear / Cut NOS
42548	19 耳介外傷性腫脹	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719		1 <			1 <		NA00.2 & XA4E71 / ME61	Superficial injury of ear & Pinna / localised swelling
42549	19 外耳部挫傷	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =			1 =		NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV	Contusion of ear (Bruise) & External Ear
42550	19 耳介外傷性皮下異物	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183		1 =			1 =		NA00.2 & XA4E71 & XJ06K	Superficial injury of ear & Pinna & Superficial foreign body
42553	19 耳介皮下出血	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 / http://id.who.int/icd/entity/940081636		1 <			1 <		NA00.2 & XA4E71 / MG27	Haematoma of auricle & Pinna / bleeding
42554	19 外耳部擦過創	0 L	S004	=:NA00.2	http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/377475788		1 =			1 =		NA00.2 & XA4E71 & XJ652	Superficial injury of ear & Pinna & Abrasion
42555	19 口唇切創	0 L	S005	=:NA00.4	http://id.who.int/icd/entity/412010073 / http://id.who.int/icd/entity/754990790		1 =			1 <		NA00.4 / ND56.1	Superficial injury of lip or oral cavity / cut NOS
42557	19 口腔外傷性腫脹	0 L	S005	=:NA00.4	http://id.who.int/icd/entity/1531077719		1 <			1 <		NA00.4 / ME61	Superficial injury of lip or oral cavity / localised swelling
42558	19 口唇挫傷	0 L	S005	=:NA00.4	http://id.who.int/icd/entity/412010073 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =			1 =		NA00.4 & XJ9NV	Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion
42559	19 口唇打撲傷	0 L	S005	=:NA00.4	http://id.who.int/icd/entity/412010073 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =			1 =		NA00.4 & XJ9NV	Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
No	ICD11 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表・同義コード	10→11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考	
42561	19 口蓋挫傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/142476745 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4& XJ9NV	Superficial injury of palate & Contusion	
42564	19 歯肉挫傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1641494565 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4& XJ9NV	Superficial injury of gum & Contusion	
42567	19 口腔内血腫	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1274789040	1 =	=	NA00.4	Haematoma of mouth	
42568	19 口唇皮下血腫	0 L	S005	=:NA00.4			1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/1274789040	1 <	<	NA00.4	Haematoma of mouth	
42569	19 口腔擦過創	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/1749666746	1 <	<	NA00.4	Abrasion of lip or oral cavity	
42570	19 口唇外傷性皮下異物	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/412010073 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183	1 =	=	NA00.4 & XD6K	Superficial injury of lip or oral cavity & Superficial foreign body	
42571	19 上口唇挫傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	=	http://id.who.int/icd/entity/412010073 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4 & XJ9NV	Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion	
42572	19 軟口蓋血腫	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/1012292065	1 <	<	NA00.4 & XA8HJ5	Haematoma of mouth & Soft palate	
42578	19 口腔外傷性異物	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/661144001	1 <	<	NA00.4	Superficial foreign body in lip or oral cavity	
42580	19 口唇擦過創	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/1749666746	1 <	<	NA00.4	Abrasion of lip or oral cavity	
42581	19 口唇虫刺傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/1745584988	1 <	<	NA00.4	Nonvenomous insect bite of lip or oral cavity	
42585	19 口腔打撲傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/680755635	1 <	<	NA00.4	Contusion of lip or oral cavity	
42586	19 口腔挫傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/680755635	1 <	<	NA00.4	Contusion of lip or oral cavity	
42589	19 舌咬傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/401932616	1 <	<	DA03Y	Tongue biting	
42590	19 頬粘膜咬傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/1802102950	1 <	<	NA00.4	Abrasion of buccal mucosa	
42592	19 口唇皮下出血	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/530203471	1 <	<	NA00.4	Haematoma of lip	
42593	19 口腔切創	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/412010073 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <	<	NA00.4 / ND56.1	Superficial injury of lip or oral cavity / cut NOS	
42594	19 口腔粘膜咬傷	0 L	S005	=:NA00.4			1 <	<	http://id.who.int/icd/entity/1802102950	1 <	<	NA00.4	Abrasion of buccal mucosa	
42596	19 口唇外傷性腫脹	0 L	S005	=:NA00.4			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/1531077719	1 <	<	NA00.4 / ME61	Superficial injury of lip or oral cavity / localised swelling	
42601	19 顔面多発皮下出血	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/968129184 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / MG27	Multiple superficial injuries of head & Face / Bleeding	
42603	19 顔面多発皮下血腫	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/968129184 / http://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / ND56.0	Multiple superficial injuries of head & Face / Subcutaneous haematoma	
42604	19 顔面多発挫傷	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/968129184 / http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XA8654 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Face & Contusion	
42605	19 頭部多発擦過創	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/377475788	1 <	<	NA00.5 & XJ652	Multiple superficial injuries of head & Abrasion	
42607	19 頭部多発打撲傷	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Contusion	
42608	19 顔面多発切創	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/968129184 / http://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / ND56.1	Multiple superficial injuries of head & Face / cut NOS	
42609	19 顔面多発打撲傷	0 L	S007	=:NA00.5			1 =	<	http://id.who.int/icd/entity/157834036 & http://id.who.int/icd/entity/968129184 / http://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XA8654 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Face & Contusion	

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小川俊夫、滝澤雅美、 今井 健、高橋幸恵、 坂本幸平、小松雅代、 向野雅彦、今村知明	Iわが国の公的統計へのICD-11適用の影響に関する一考察：ICD-11準拠の死因簡単分類構築の試行と影響分析	医療情報学	41(Suppl.)	660-664	2021

厚生労働大臣 殿

機関名 学校法人常翔学園 摂南大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 荻田 喜代一

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 令和2年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
2. 研究課題名 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究（20AA1002）
3. 研究者名 （所属部署・職名） 農学部食品栄養学科・教授
（氏名・フリガナ） 小川 俊夫・オガワ トシオ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐ ☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称： ）	☐ ☒	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

- （※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
- （※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣

殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤井 輝夫

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
2. 研究課題名 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究
3. 研究者名 （所属部署・職名） 大学院医学系研究科・准教授
（氏名・フリガナ） 今井 健・イマイタケシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人奈良県立医科大学
所属研究機関長 職 名 理事長
氏 名 細井 裕司

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
2. 研究課題名 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究
3. 研究者名 （所属部署・職名） 公衆衛生学講座・教授
（氏名・フリガナ） 今村 知明・イマムラ トモアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年2月14日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職 名 大学院医学系研究科長

氏 名 熊ノ郷 淳

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
2. 研究課題名 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究
3. 研究者名 （所属部署・職名） 大学院医学系研究科・助教
（氏名・フリガナ） 小松 雅代・コマツ マサヨ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称： ）	☐	☒	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 4 年 3 月 31 日

厚生労働大臣 殿

所属研究機関長 機関名 国際医療福祉大学
職 名 学長
氏 名 大友 邦

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
2. 研究課題名 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究（20AA1002）
3. 研究者名 （所属部署・職名）医療福祉学部・医療福祉マネジメント学科・講師
（氏名・フリガナ）滝澤 雅美・タキザワ マサミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ 有 ☒ 無	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

所属研究機関長

機関名
職 名
氏 名

藤田医科大学
学長
湯澤 由紀夫

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名
- 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
2. 研究課題名
- 社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する国際疾病分類の国内導入のための研究（20AA1002）
3. 研究者名
- （所属部署・職名）医学部 リハビリテーション医学Ⅰ・准教授
（氏名・フリガナ）向野 雅彦・ムカイノ マサヒコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☒ ☐	☒	藤田医科大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☐	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☐	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ ☐	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。